

第5次船橋市地域福祉計画策定のための アンケート調査結果報告書

令和8年3月

船 橋 市

目 次

I	調査の概要.....	5
1	調査の目的.....	5
2	調査対象.....	5
3	調査期間.....	5
4	調査方法.....	5
5	回収状況.....	5
6	調査結果の表示方法.....	5
II	調査結果.....	6
1	市民調査結果.....	6
(1)	回答者属性.....	6
(2)	世帯の状況.....	14
(3)	地域との関わり合い.....	17
(4)	地域での活動.....	57
(5)	その他.....	83
2	団体調査結果.....	98
(1)	回答者属性.....	98
(2)	ボランティア活動・市民活動・地域福祉活動等.....	100
(3)	その他.....	119
3	相談支援機関調査結果.....	134
(1)	回答者属性.....	134
(2)	複雑な課題等を持つ個人・世帯への対応.....	135
(3)	相談機関間等の連携.....	141
(4)	重層的支援体制整備事業.....	142
4	法人調査結果.....	145
(1)	回答者属性.....	145
(2)	当市における貴法人と地域との関わり（地域活動など）.....	148
(3)	地域の福祉活動の推進等.....	154
(4)	社会福祉法人の地域における公益的な取組.....	158
(5)	その他.....	161

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は「第5次船橋市地域福祉計画」の策定にあたり、市内在住者等の地域福祉に関する意識や、地域活動の実態や課題を把握し、計画策定の基礎資料を得ることを目的として実施したものです。

2 調査対象

市民：市内に在住する満18歳以上の方3,000人

(住民基本台帳から性別、年齢、地域などを考慮して無作為抽出)

団体：地域福祉の担い手となっている各種団体

(町会・自治会、地区社会福祉協議会、民生児童委員協議会、老人クラブ連合会、ボランティア団体、助け合いの会、PTAなど)

相談支援機関：市内の相談支援機関

(地域包括支援センター、在宅介護支援センター、障害者(児)総合相談窓口、子育て支援センター、保健センター、子育て世代包括支援センター「ふなここ」、家庭児童相談室、「保健と福祉の総合相談窓口 さーくる」など)

法人：市内の社会福祉法人、医療法人等

3 調査期間

令和7年9月30日から令和7年10月31日

4 調査方法

郵送等による配布、郵送及びインターネット等による回収

5 回収状況

調査票の種類	配布数	回収数	回収率
市民	3,000件	1,518件 (インターネット回答：551件)	50.6%
団体	341件	255件 (インターネット回答：59件)	74.8%
相談支援機関※1	50機関	50件 (インターネット回答：43件)	—※2
法人	58件	35件 (インターネット回答：22件)	60.3%

※1 相談支援機関調査は、今回より新たに実施

※2 相談支援機関調査は、1つの機関から複数の回答があったため回収率については不記載

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数の内訳を百分率(%)で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計(全体)の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えています。

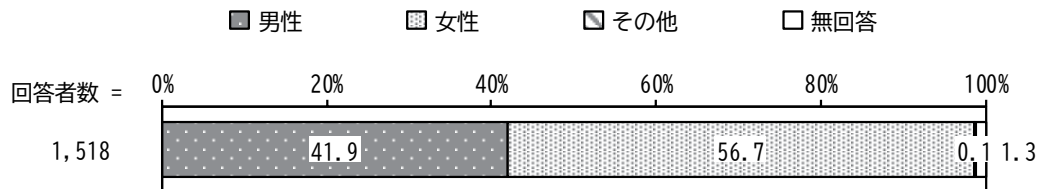
II 調査結果

1 市民調査結果

(1) 回答者属性

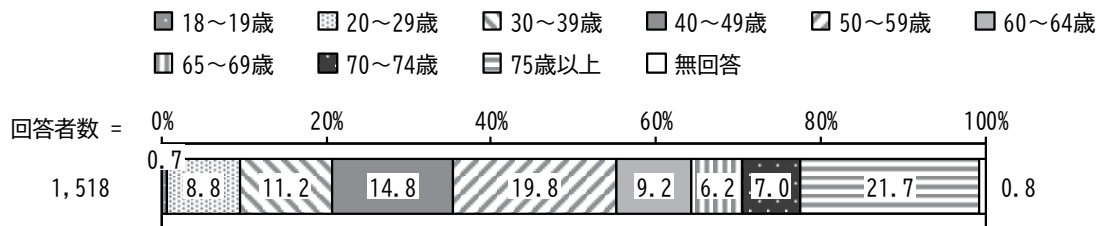
問1 あなたの性別についてお伺いします。(○は1つだけ)

「男性」の割合が41.9%、「女性」の割合が56.7%となっています。



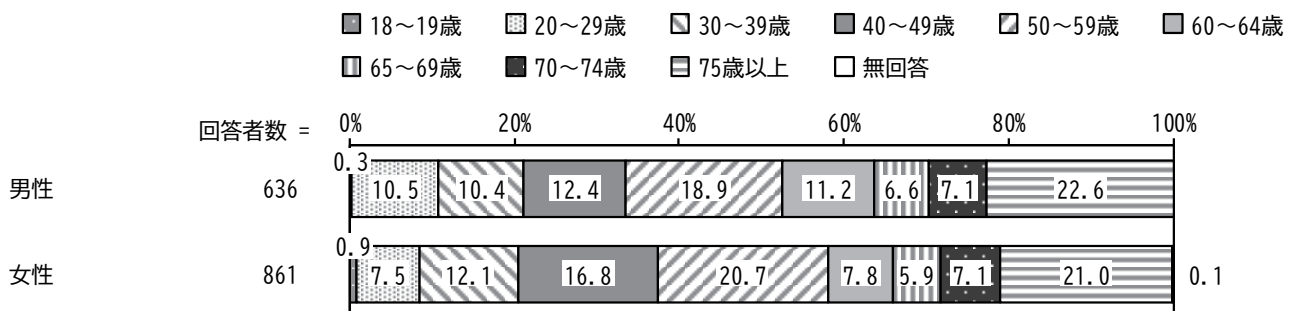
問2 あなたの年齢を次の中から選んでください。(○は1つだけ)

「75歳以上」の割合が21.7%と最も高く、次いで「50～59歳」の割合が19.8%、「40～49歳」の割合が14.8%となっています。



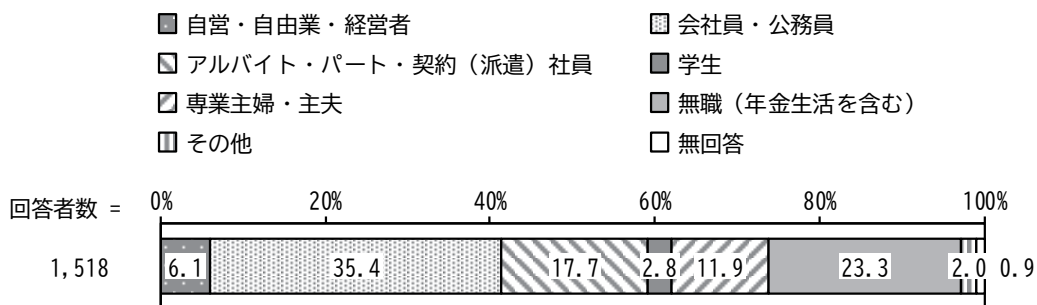
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



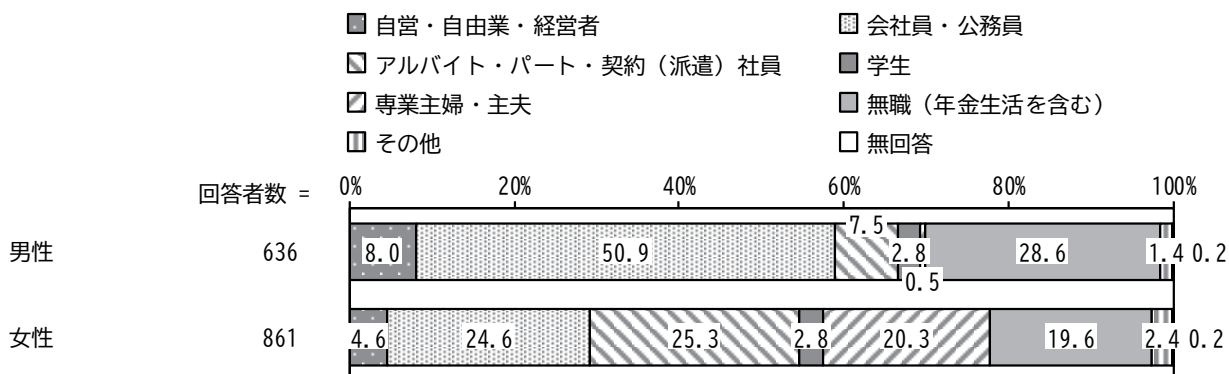
問3 あなたのご職業は何ですか。(○は1つだけ)

「会社員・公務員」の割合が35.4%と最も高く、次いで「無職（年金生活を含む）」の割合が23.3%、「アルバイト・パート・契約（派遣）社員」の割合が17.7%となっています。



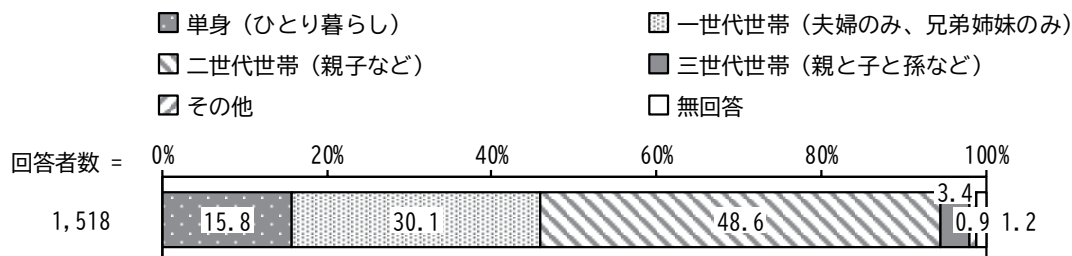
【性別】

性別にみると、男性で「会社員・公務員」「無職（年金生活を含む）」の割合が高く、女性で「アルバイト・パート・契約（派遣）社員」「専業主婦・主夫」の割合が高くなっています。



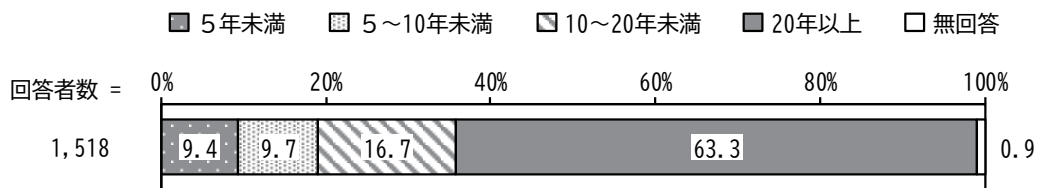
問4 あなたの世帯状況を伺います。(○は1つだけ)

「二世帯世帯（親子など）」の割合が48.6%と最も高く、次いで「一世代世帯（夫婦のみ、兄弟姉妹のみ）」の割合が30.1%、「単身（ひとり暮らし）」の割合が15.8%となっています。



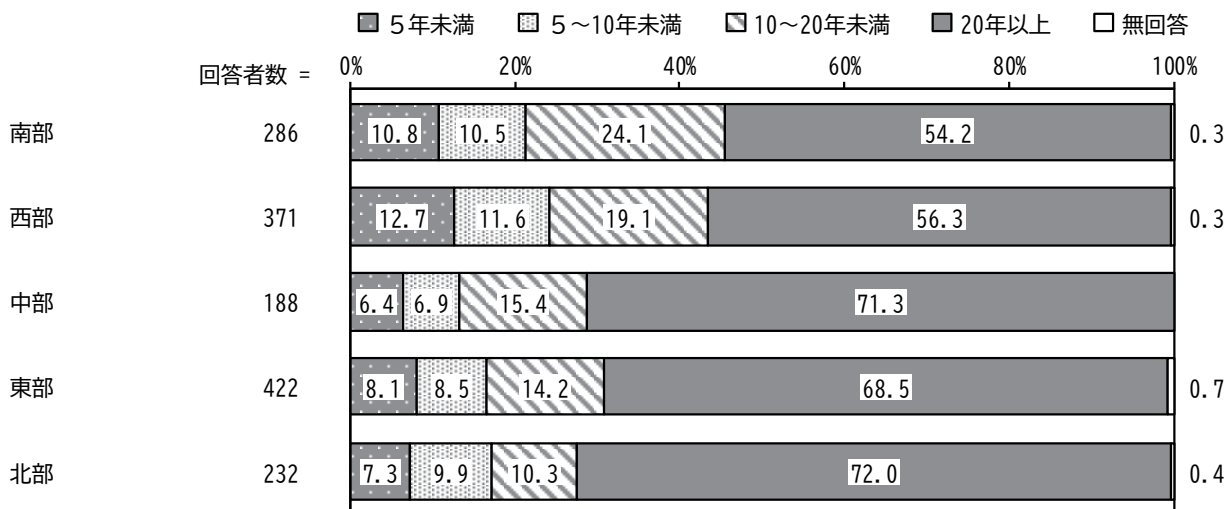
問5 あなたは、船橋市に何年お住まいですか。(〇は1つだけ)

「20年以上」の割合が63.3%と最も高く、次いで「10～20年未満」の割合が16.7%となっています。



【地区別】

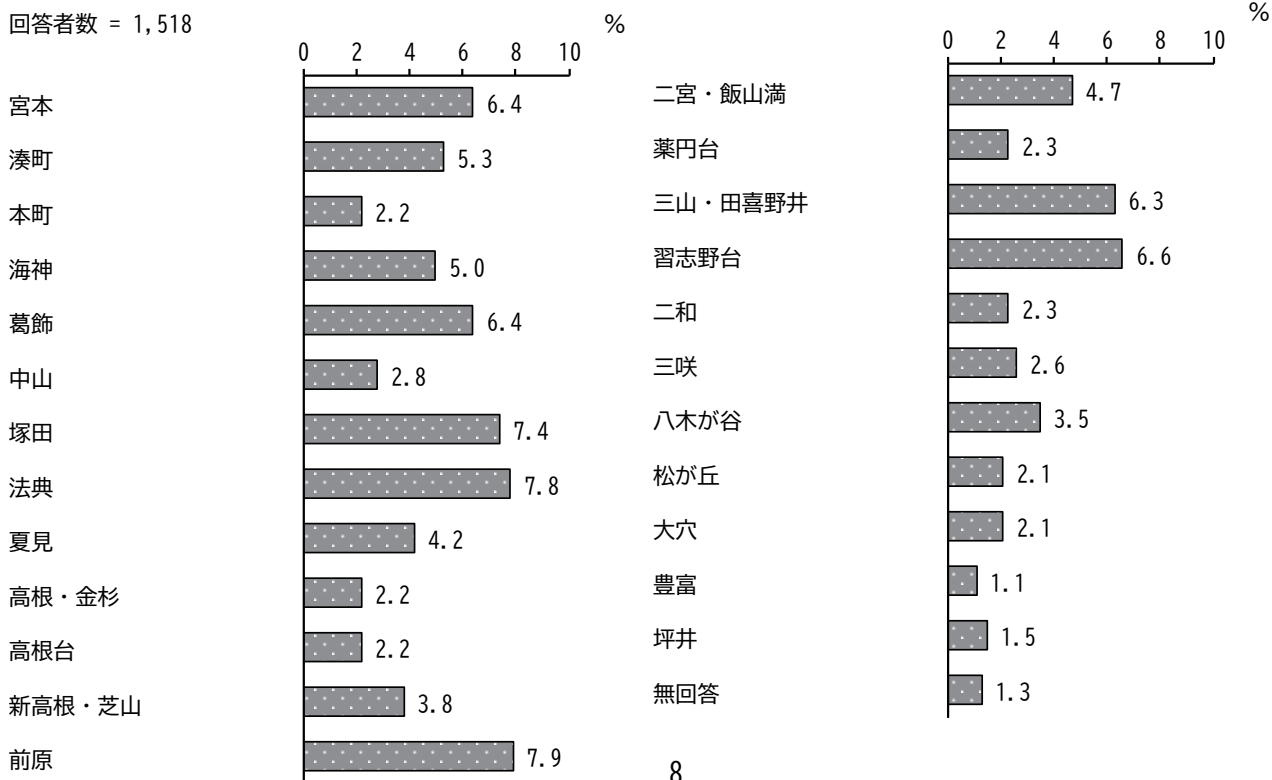
地区別にみると、南部で「10～20年未満」、中部、北部で「20年以上」の割合が高くなっています。



問6 あなたが現在お住まいの地区を伺います。(〇は番号に1つだけ)

「前原」の割合が7.9%と最も高くなっています。

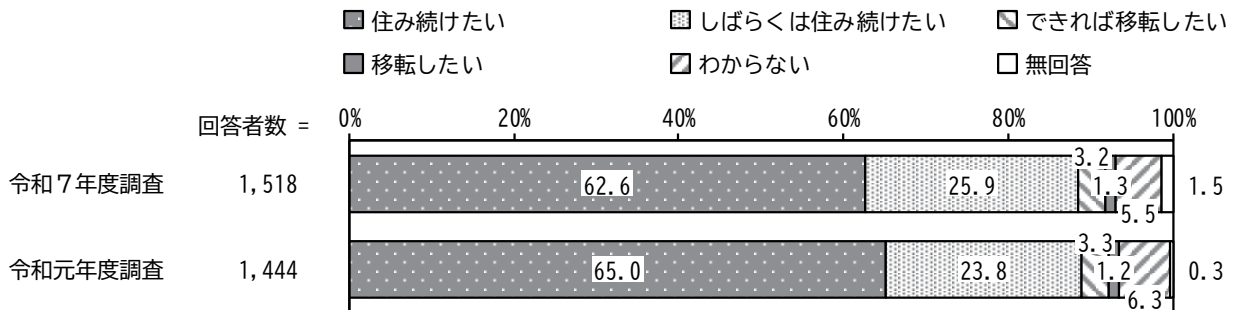
回答者数 = 1,518



問7 あなたは、今後も船橋市に住み続けたいと思いますか。(○は1つだけ)

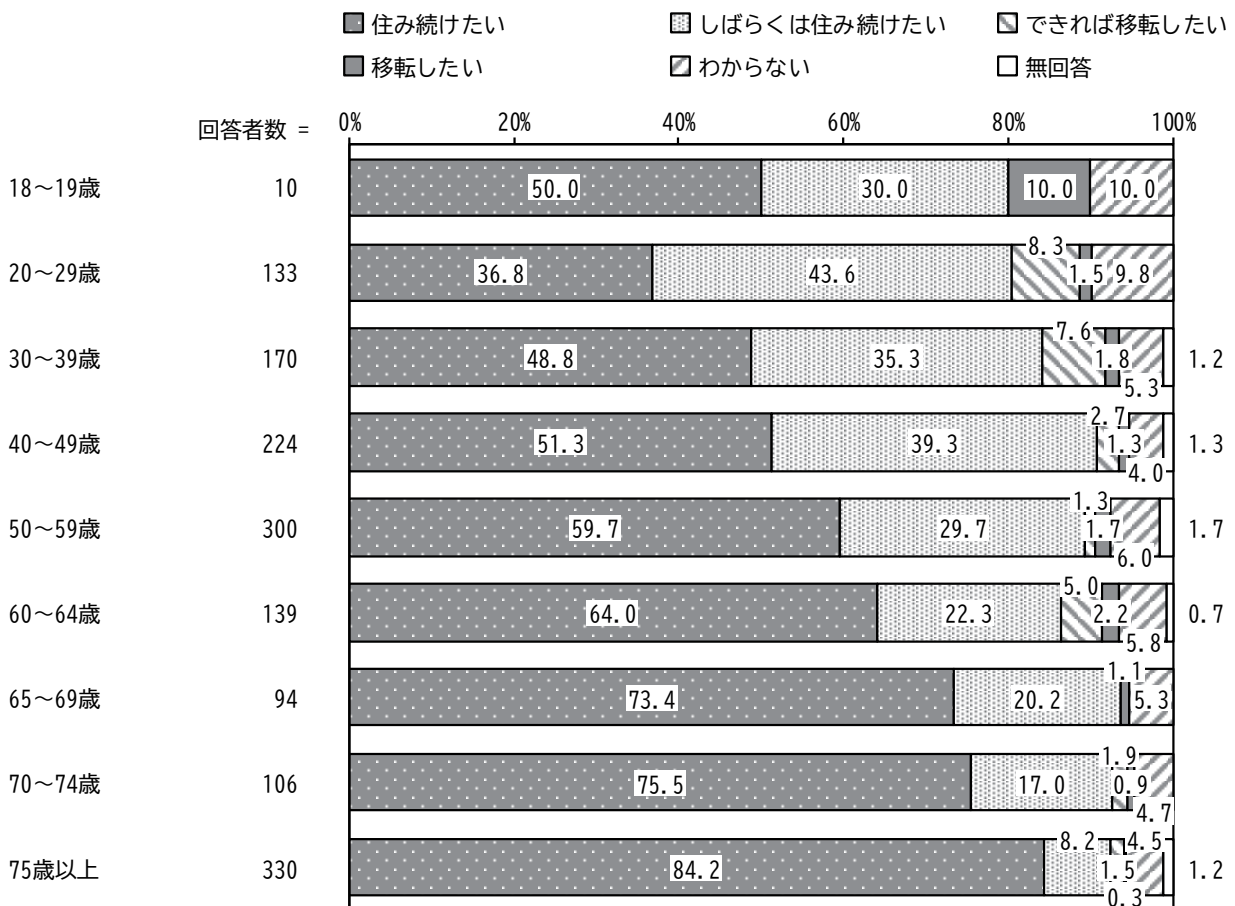
「住み続けたい」の割合が62.6%と最も高く、次いで「しばらくは住み続けたい」の割合が25.9%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



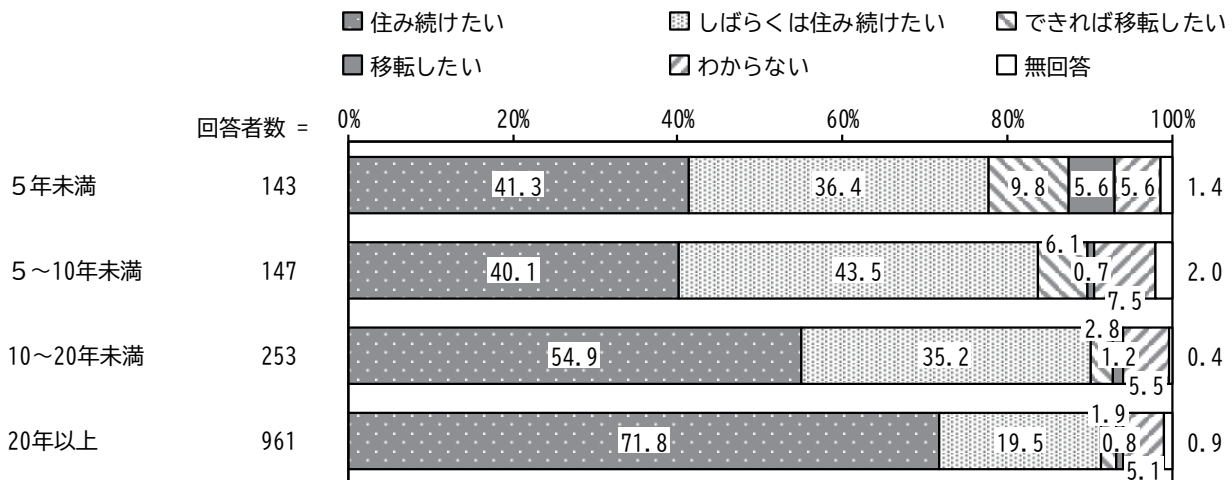
【年齢別】

年齢別にみると、20～29歳から75歳以上まで年齢が上がるほど「住み続けたい」の割合が高く、75歳以上から20～29歳まで年齢が下がるほど「しばらくは住み続けたい」の割合が高い傾向にあります。



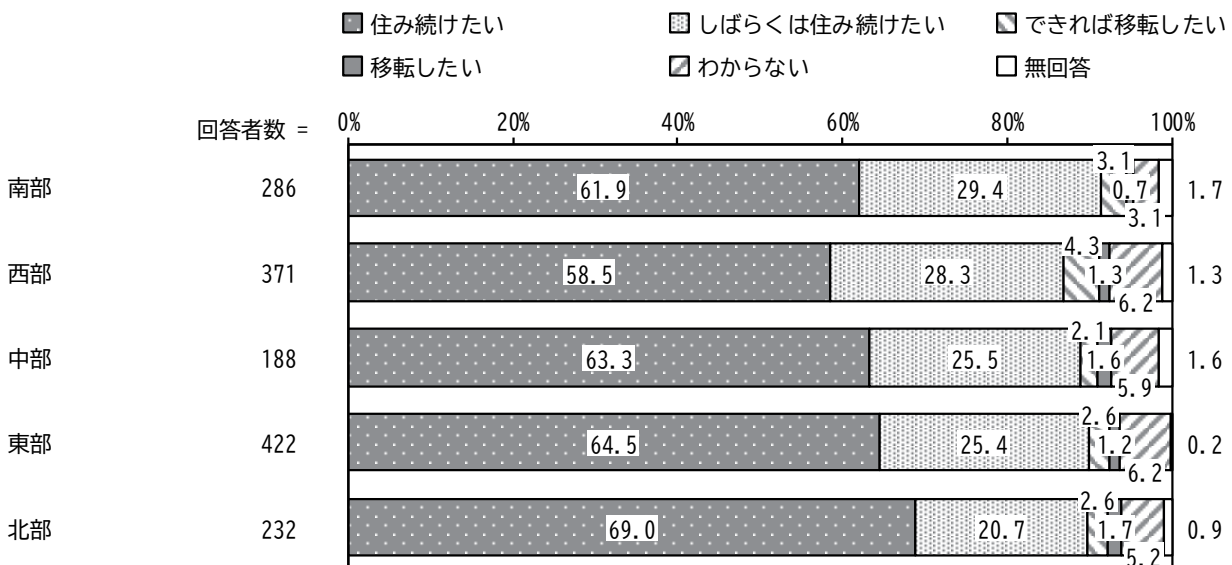
【居住年数別】

居住年数別にみると、5～10年未満から20年以上まで年数が長いほど「住み続けたい」の割合が高く、「しばらくは住み続けたい」の割合が低くなっています。



【地区別】

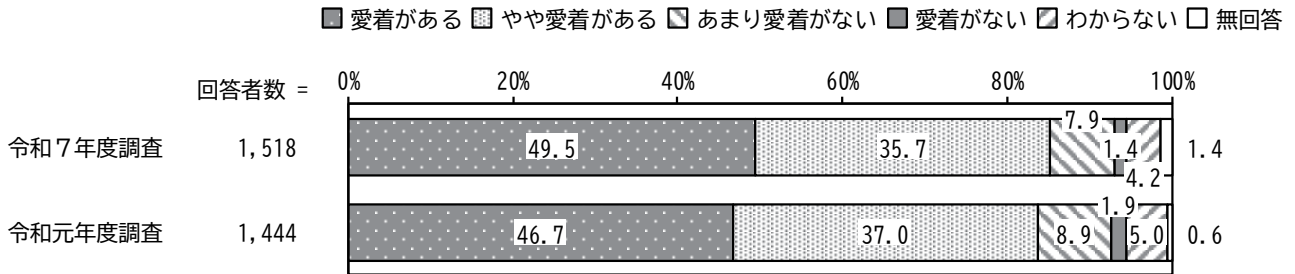
地区別にみると、北部で「住み続けたい」の割合が高く、「しばらくは住み続けたい」の割合が低くなっています。



問8 あなたは、船橋市に愛着を持っていますか。(○は1つだけ)

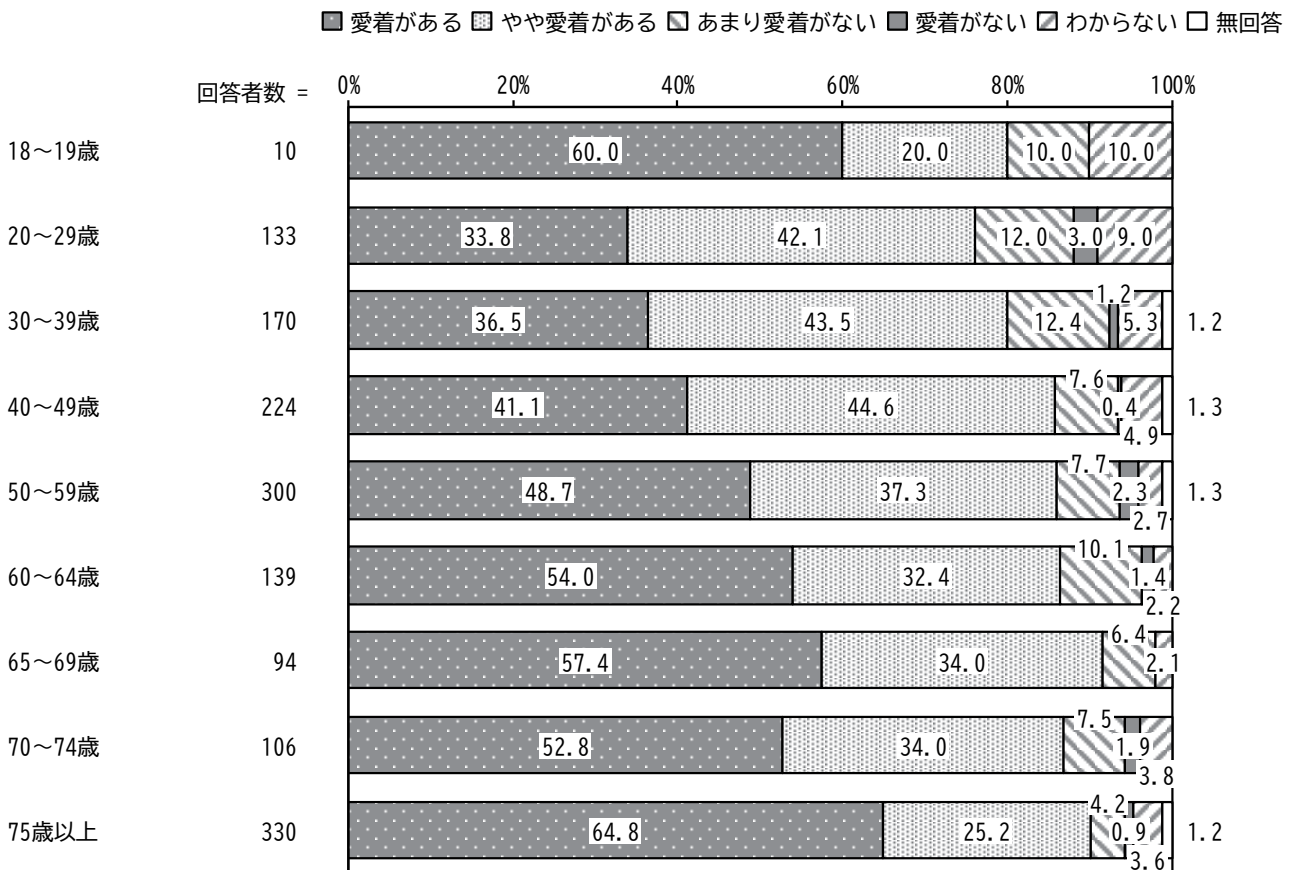
「愛着がある」「やや愛着がある」を合わせた“愛着がある”の割合が85.2%、「あまり愛着がない」「愛着がない」を合わせた“愛着がない”の割合が9.3%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



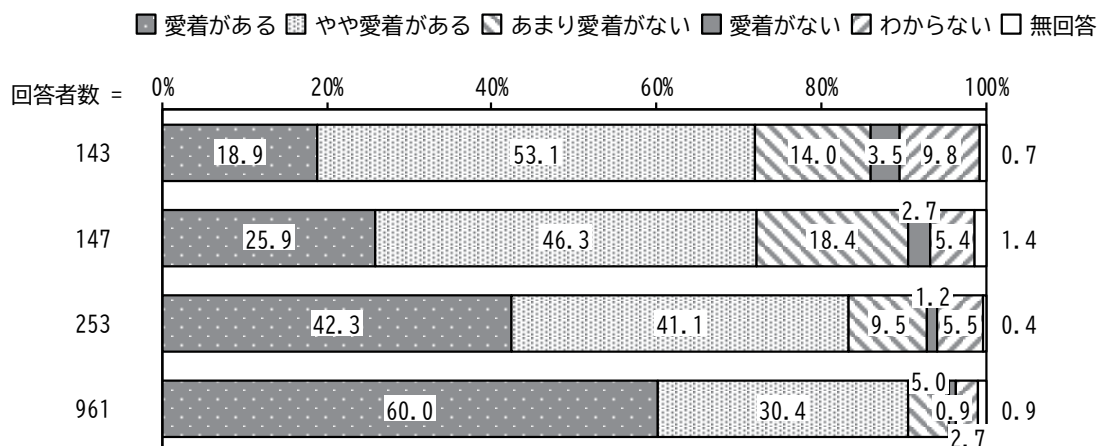
【年齢別】

年齢別にみると、20～29歳から65～69歳まで年齢が上がるほど“愛着がある”の割合が高くなっています。また、75歳以上で「愛着がある」の割合が最も高くなっています。



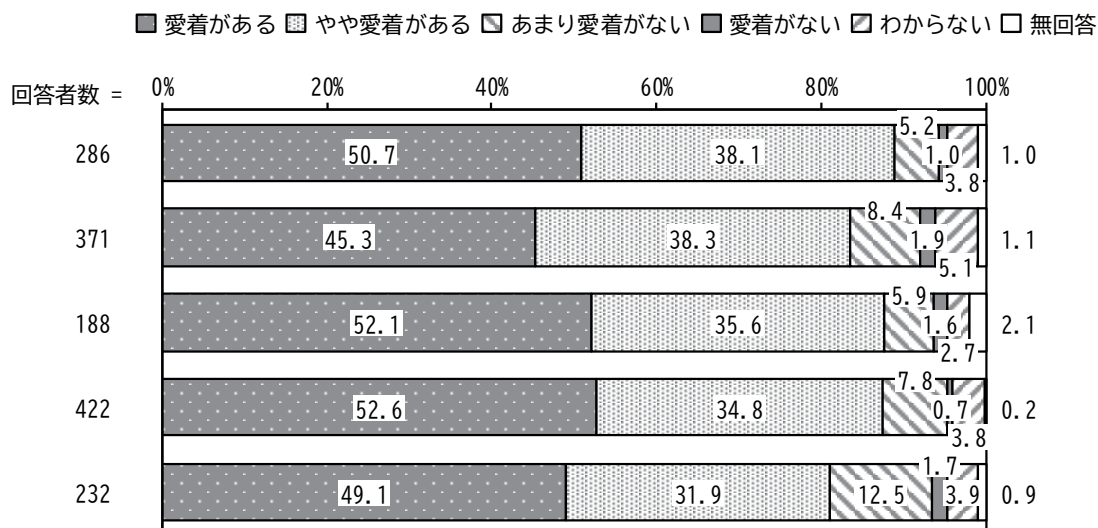
【居住年数別】

居住年数別にみると、年数が長いほど“愛着がある”の割合が高くなっています。



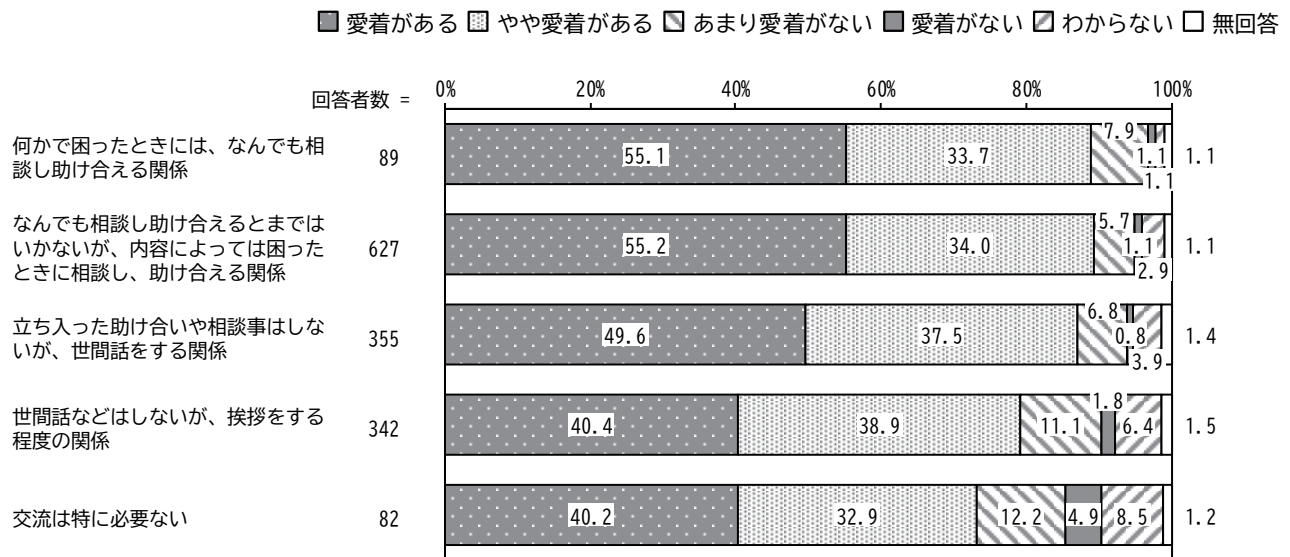
【地区別】

地区別にみると、大きな差はみられません。



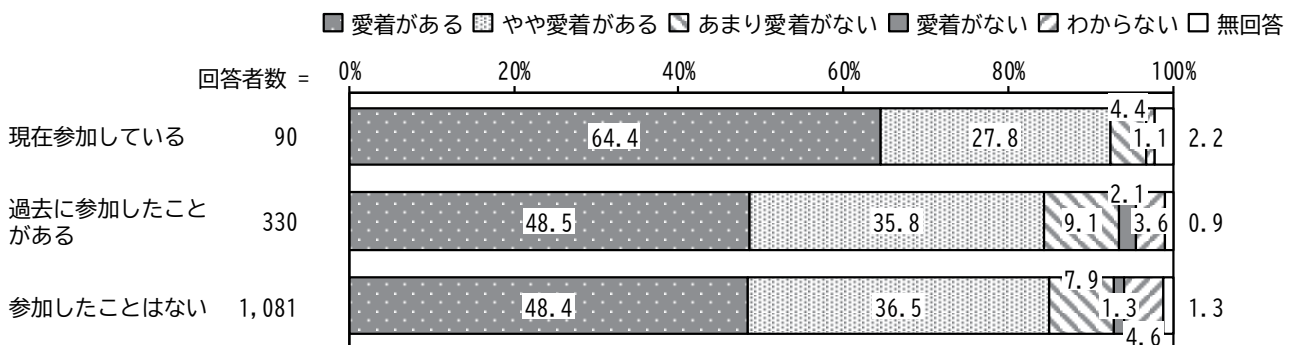
【近所付き合いの程度別】

近所付き合いの程度別にみると、『交流は特に必要ない』で“愛着がある”の割合が低くなっています。



【ボランティア活動への参加別】

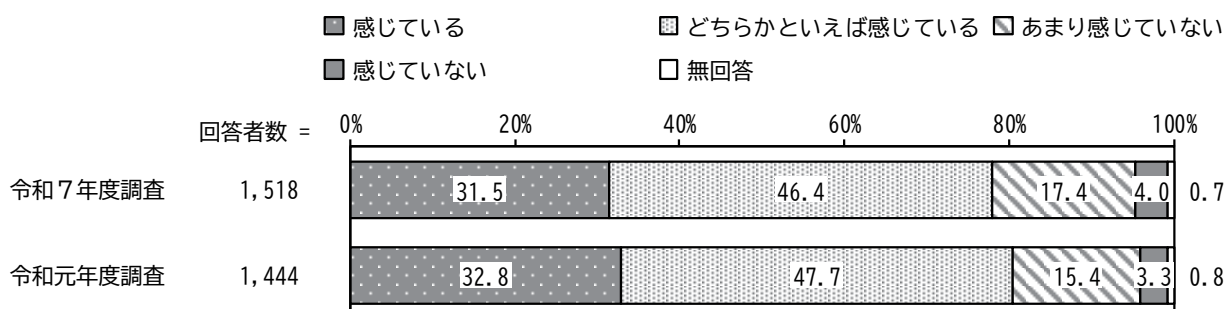
ボランティア活動への参加別にみると、現在参加しているで“愛着がある”の割合が高くなっています。



問9 あなたは、生きがいを持ち楽しく生きていますか。(○は1つだけ)

「感じている」「どちらかといえば感じている」を合わせた“感じている”の割合が77.9%、「あまり感じていない」「感じていない」を合わせた“感じていない”の割合が21.4%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

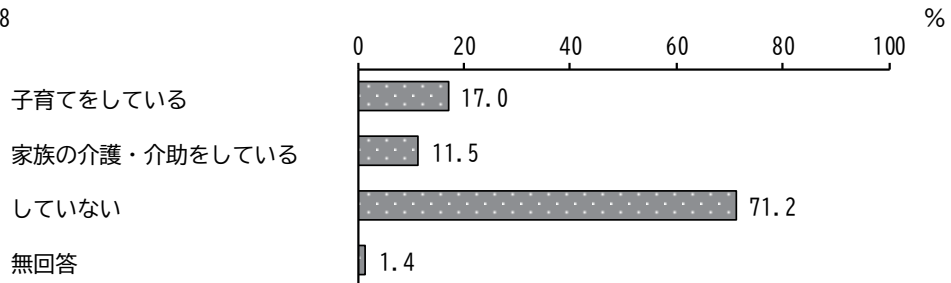


(2) 世帯の状況

問10 あなたは、現在、小学校以下の子を育てていたり、ご家族（同居・別居を問わない）の介護・介助をしていますか。（あてはまるものすべてに○）

「子育てをしている」の割合が17.0%、「家族の介護・介助をしている」の割合が11.5%、「していない」の割合が71.2%となっています。

回答者数 = 1,518



【地区別】

地区別にみると、大きな差はみられません。

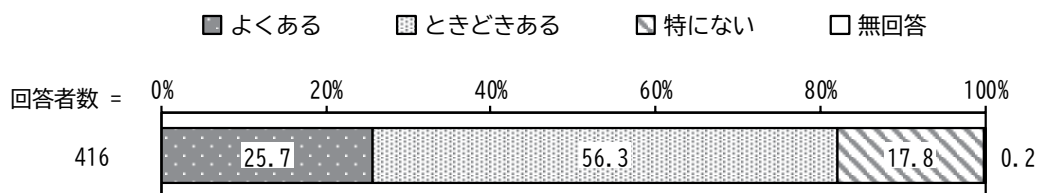
単位：%

区分	回答者数 (件)	子育てをしている	家族の介護・介助をしている	していない	無回答
全体	1,518	17.0	11.5	71.2	1.4
南部	286	20.6	8.7	70.3	1.0
西部	371	19.4	8.4	71.7	2.2
中部	188	14.4	12.8	71.8	2.1
東部	422	14.9	13.5	71.8	0.7
北部	232	15.5	15.9	69.0	0.9

（問10で「子育てをしている」「家族の介護・介助をしている」の両方又はいずれかにお答えの方に伺います）

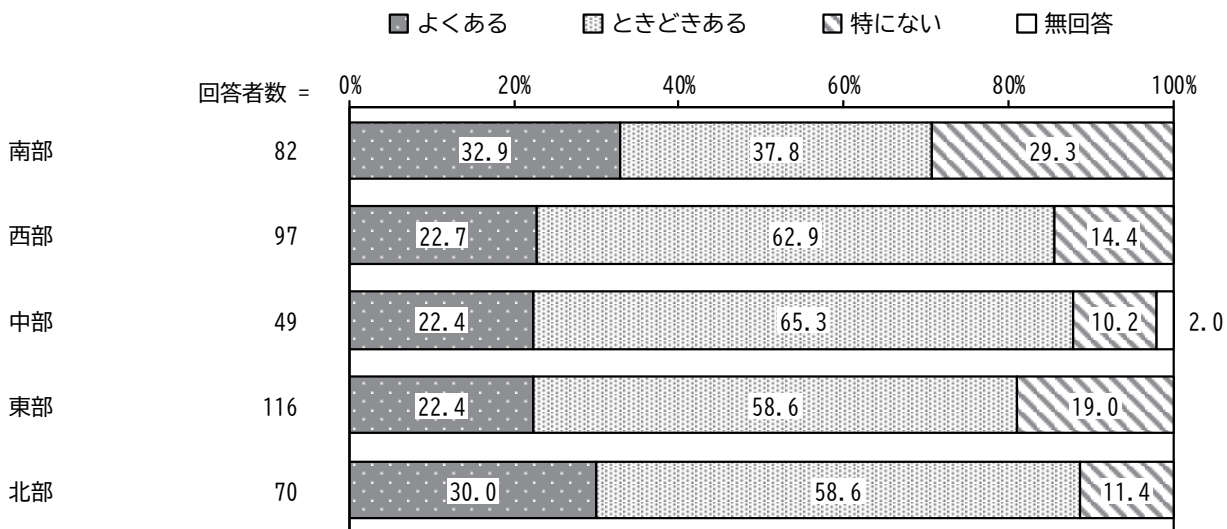
問10-1 あなたが子育てやご家族の介護・介助をしているなかで、生活上困ったことや不便を感じることはありますか。（○は1つだけ）

「よくある」の割合が25.7%、「ときどきある」の割合が56.3%となっています。



【地区別】

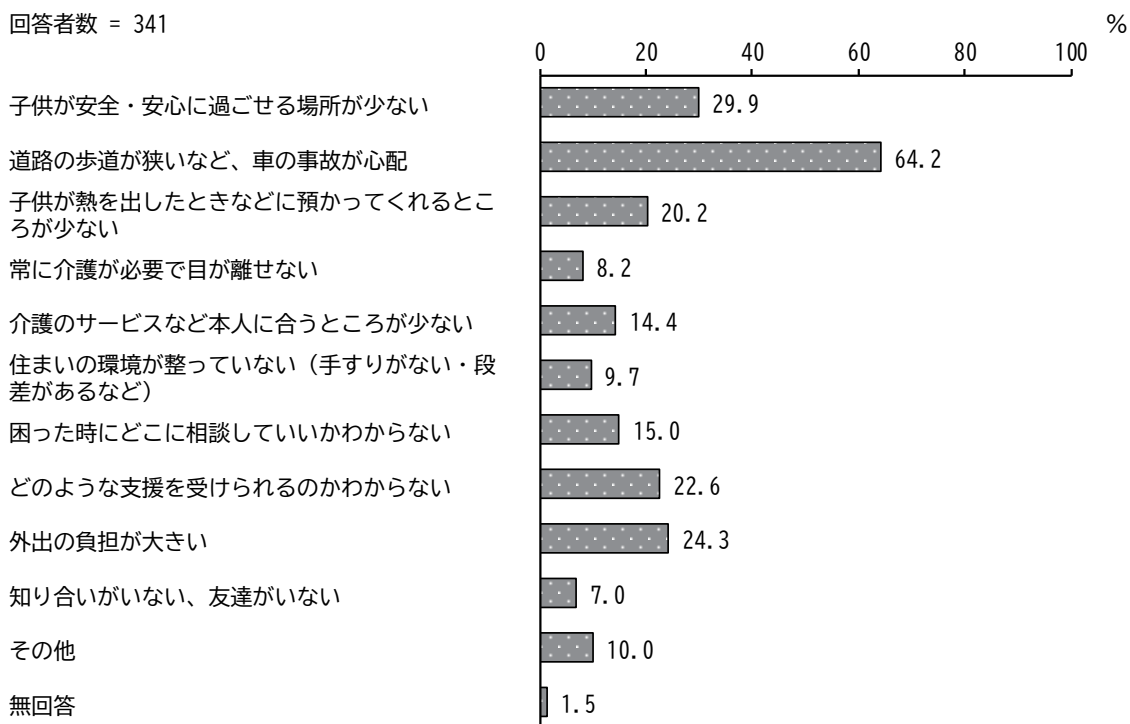
地区別にみると、西部、中部、北部で「よくある」と「ときどきある」を合わせた“ある”の割合が高くなっています。



(問 10-1 で「よくある」「ときどきある」のいずれかにお答えの方に伺います)

問 10-2 あなたは上記の生活上で困ったことや不便を感じるのはどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

「道路の歩道が狭いなど、車の事故が心配」の割合が 64.2%と最も高く、次いで「子供が安全・安心に過ごせる場所が少ない」の割合が 29.9%、「外出の負担が大きい」の割合が 24.3%となっています。



【地区別】

地区別にみると、南部で「子供が安全・安心に過ごせる場所が少ない」、西部で「道路の歩道が狭いなど、車の事故が心配」「子供が熱を出したときなどに預かってくれるところが少ない」、中部で「住まいの環境が整っていない（手すりがない・段差があるなど）」、北部で「外出の負担が大きい」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	子供が安全・安心に過ごせる場所が少ない	道路の歩道が狭いなど、車の事故が心配	子供が熱を出したときなどに預かってくれるところが少ない	常に介護が必要で目が離せない	介護のサービスなど本人に合うところが少ない	住まいの環境が整っていない(手すりがない・段差があるなど)	困った時にどこに相談していいかわからない	どのような支援を受けられるのかわからない	外出の負担が大きい	知り合いがいない、友達がいらない	その他	無回答
全体	341	29.9	64.2	20.2	8.2	14.4	9.7	15.0	22.6	24.3	7.0	10.0	1.5
南部	58	41.4	63.8	20.7	8.6	17.2	6.9	15.5	25.9	25.9	5.2	3.4	0.0
西部	83	31.3	74.7	30.1	9.6	8.4	9.6	15.7	19.3	19.3	7.2	12.0	1.2
中部	43	30.2	60.5	20.9	7.0	14.0	16.3	14.0	20.9	18.6	4.7	14.0	0.0
東部	94	29.8	60.6	11.7	4.3	17.0	9.6	14.9	22.3	21.3	7.4	11.7	2.1
北部	62	17.7	59.7	19.4	12.9	16.1	8.1	14.5	25.8	38.7	9.7	8.1	1.6

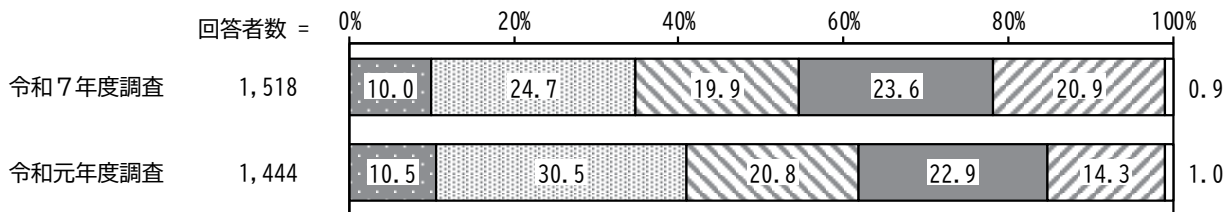
(3) 地域との関わり合い

問 11 隣近所（歩いて行ける程度の範囲）にどの程度のおつきあいの人がいますか。
（○は1つだけ）

「なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がいる」の割合が24.7%と最も高く、次いで「世間話などはしないが、挨拶をする程度の人はいらる」の割合が23.6%、「ほとんど近所づきあいはない」の割合が20.9%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「ほとんど近所づきあいはない」の割合が増加しています。一方、「なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がいる」の割合が減少しています。

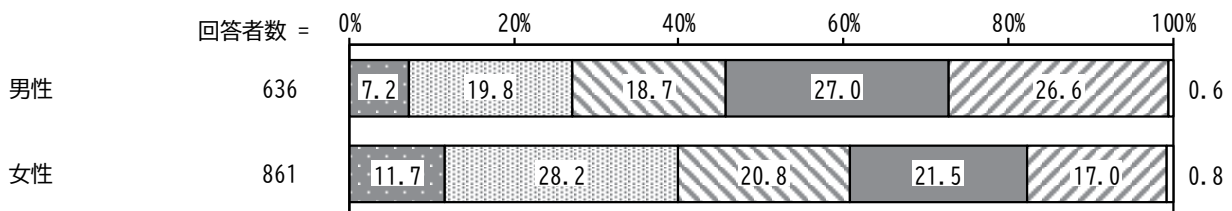
- 何かで困ったときには、なんでも相談し助け合える人がいる
- ▨ なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がいる
- ▩ 助け合いや相談事はしないが、世間話をする程度の人はいらる
- 世間話などはしないが、挨拶をする程度の人はいらる
- ▨ ほとんど近所づきあいはない
- 無回答



【性別】

性別にみると、男性で「世間話などはしないが、挨拶をする程度の人はいらる」「ほとんど近所づきあいはない」の割合が高く、女性で「なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がいる」の割合が高くなっています。

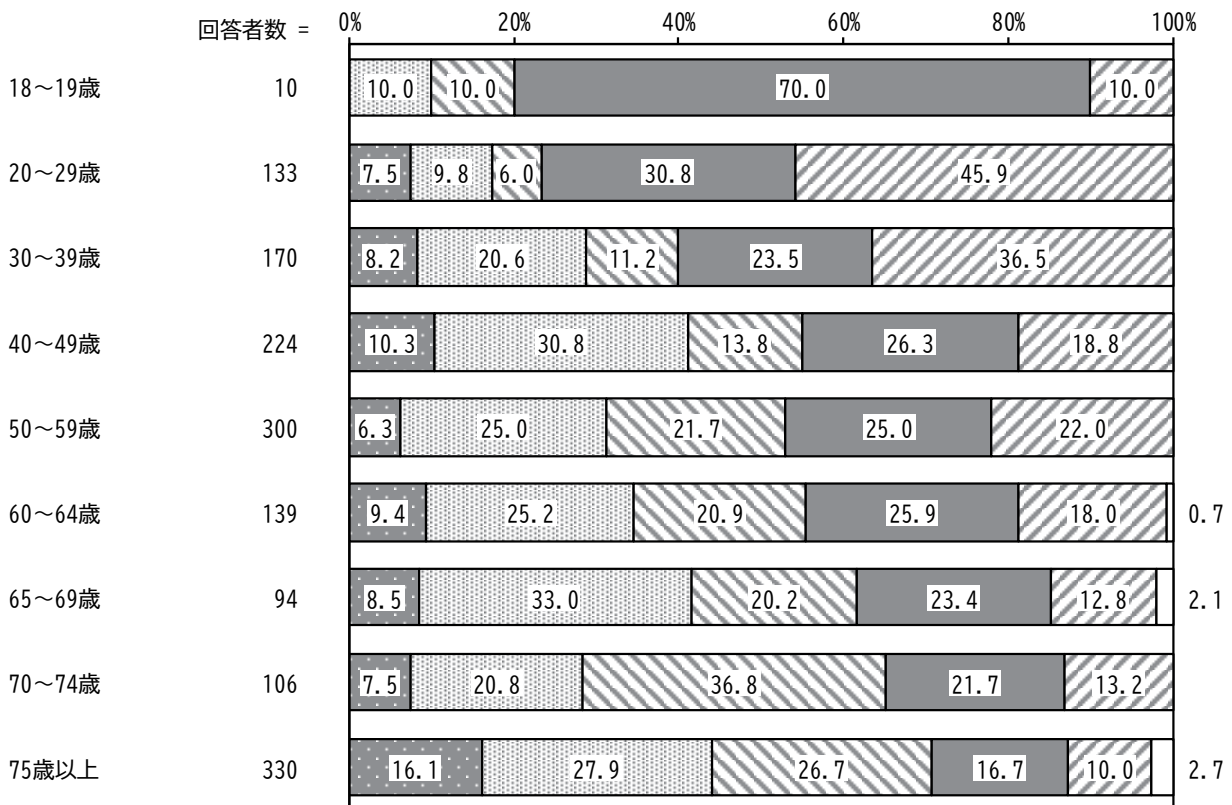
- 何かで困ったときには、なんでも相談し助け合える人がいる
- ▨ なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がいる
- ▩ 助け合いや相談事はしないが、世間話をする程度の人はいらる
- 世間話などはしないが、挨拶をする程度の人はいらる
- ▨ ほとんど近所づきあいはない
- 無回答



【年齢別】

年齢別にみると、70～74歳で「助け合いや相談事はしないが、世間話をする程度の人はいる」、18～19歳で「世間話などはしないが、挨拶をする程度の人はいる」、20～29歳で「ほとんど近所づきあいはない」の割合が高くなっています。

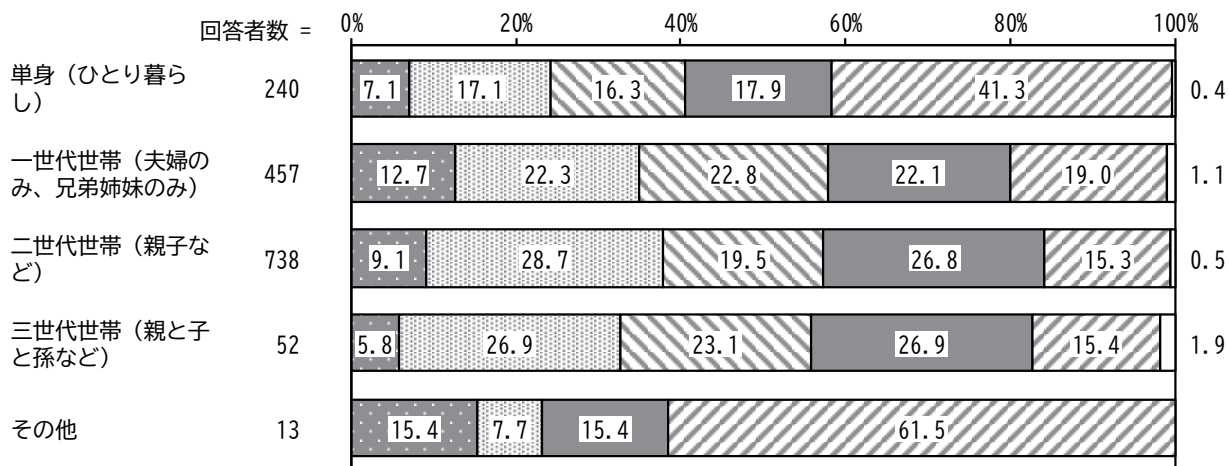
- 何かで困ったときには、なんでも相談し助け合える人がある
- ▨ なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がある
- ▩ 助け合いや相談事はしないが、世間話をする程度の人はいる
- 世間話などはしないが、挨拶をする程度の人はいる
- ▨ ほとんど近所づきあいはない
- 無回答



【世帯状況別】

世帯状況別にみると、単身（ひとり暮らし）で「ほとんど近所づきあいはない」の割合が高く、「なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がいる」「世間話などはしないが、挨拶をする程度の人はいる」の割合が低くなっています。

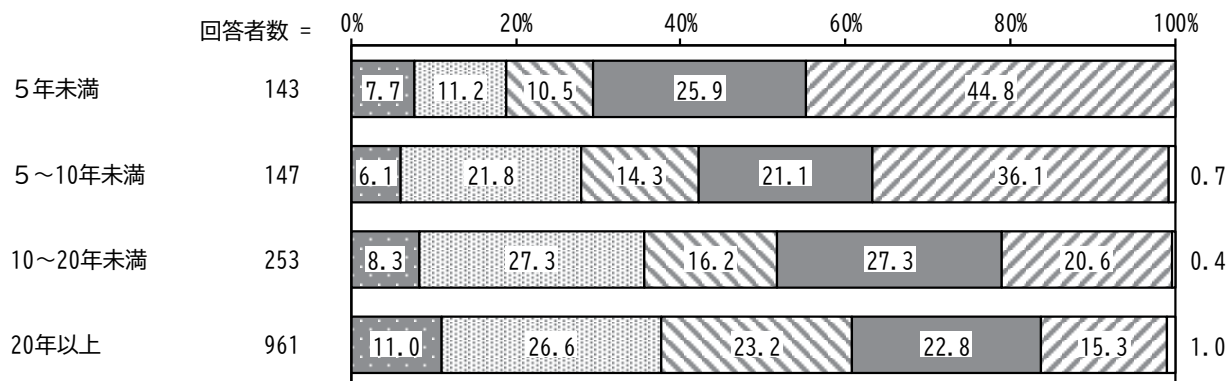
- 何かで困ったときには、なんでも相談し助け合える人がいる
- ▨ なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がいる
- ▩ 助け合いや相談事はしないが、世間話をする程度の人はいる
- 世間話などはしないが、挨拶をする程度の人はいる
- ▨ ほとんど近所づきあいはない
- 無回答



【居住年数別】

居住年数別にみると、年数が長いほど「助け合いや相談事はしないが、世間話をする程度の人はいる」の割合が高く、「ほとんど近所づきあいはない」の割合が低く、5～10年未満から20年以上まで年数が長いほど「何かで困ったときには、なんでも相談し助け合える人がいる」の割合が高くなっています。また、5年未満で「なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がいる」の割合が低くなっています。

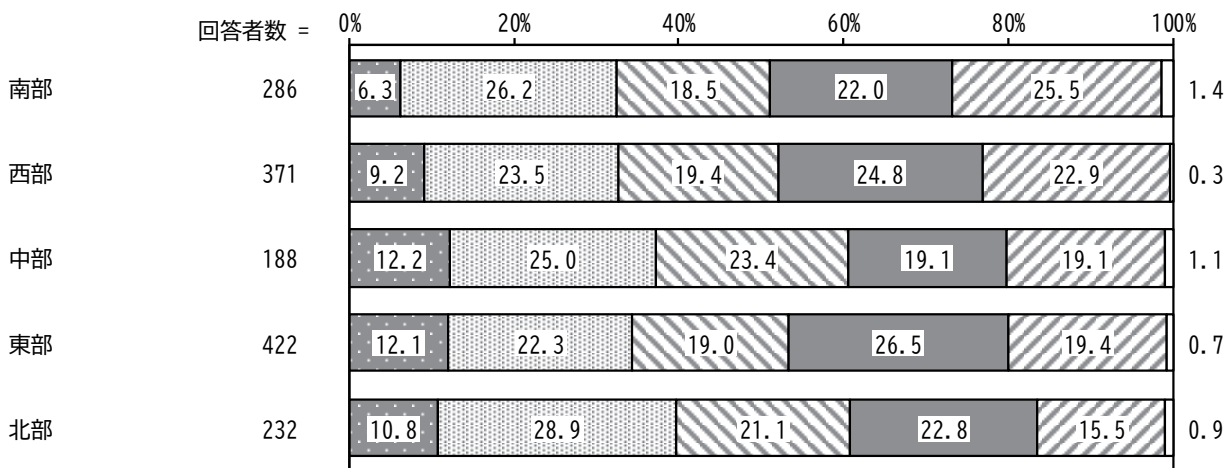
- 何かで困ったときには、なんでも相談し助け合える人がいる
- ▨ なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がいる
- ▩ 助け合いや相談事はしないが、世間話をする程度の人はいる
- 世間話などはしないが、挨拶をする程度の人はいる
- ▨ ほとんど近所づきあいはない
- 無回答



【地区別】

地区別にみると、北部で「ほとんど近所づきあいはない」の割合が低くなっています。

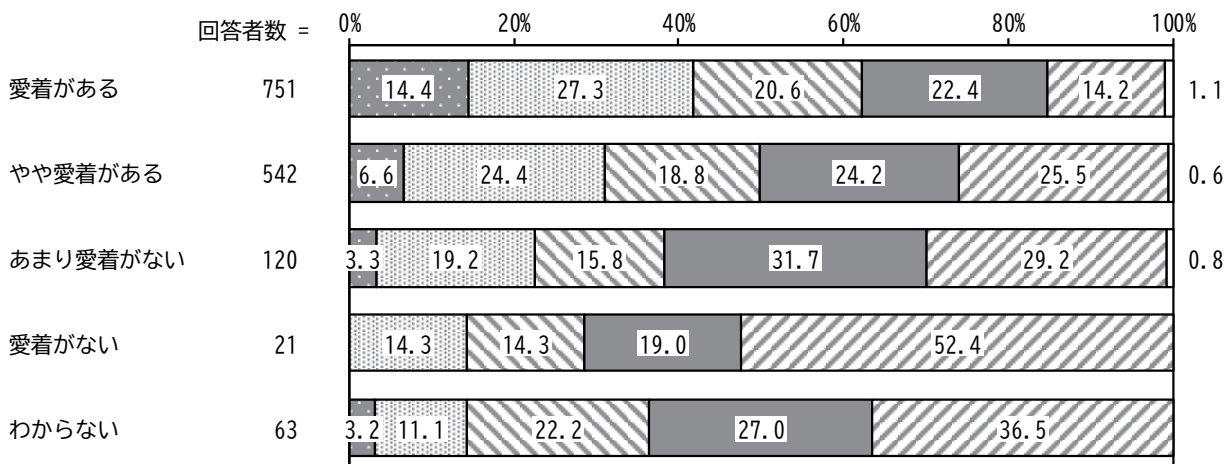
- 何かで困ったときには、なんでも相談し助け合える人がいる
- ▨ なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がいる
- ▩ 助け合いや相談事はしないが、世間話をする程度の人はいる
- 世間話などはしないが、挨拶をする程度の人はいる
- ▨ ほとんど近所づきあいはない
- 無回答



【市への愛着度別】

市への愛着度別にみると、愛着度が上がるほど「何かで困ったときには、なんでも相談し助け合える人がいる」「なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がいる」「助け合いや相談事はしないが、世間話をする程度の人はいる」の割合が高く、「ほとんど近所づきあいはない」の割合が低くなっています。

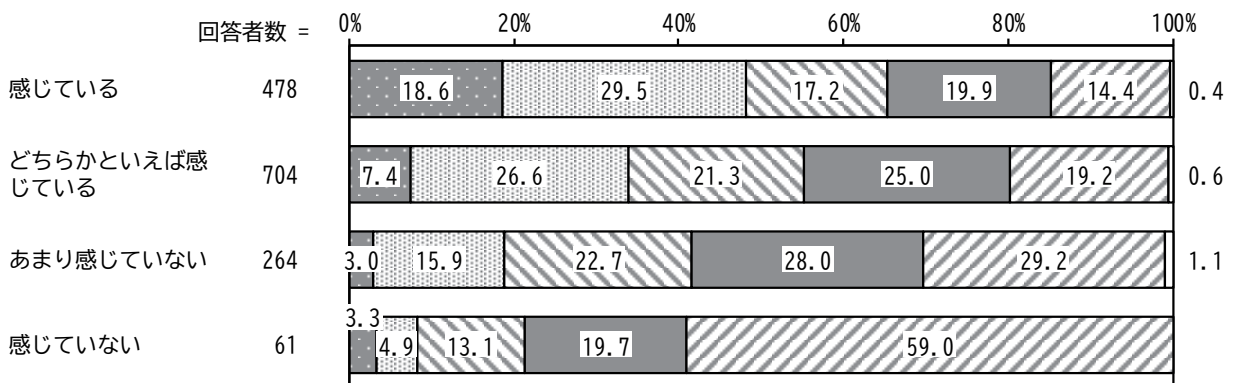
- 何かで困ったときには、なんでも相談し助け合える人がいる
- ▨ なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がいる
- ▩ 助け合いや相談事はしないが、世間話をする程度の人はいる
- 世間話などはしないが、挨拶をする程度の人はいる
- ▨ ほとんど近所づきあいはない
- 無回答



【生きがいの感じ方別】

生きがいの感じ方別にみると、生きがいが小さいほど「ほとんど近所づきあいはない」の割合が高く、「なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がある」の割合が低くなっています。また、生きがいを『感じている』で「何かで困ったときには、なんでも相談し助け合える人がある」の割合が高くなっています。

- 何かで困ったときには、なんでも相談し助け合える人がある
- ▨ なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がある
- ▩ 助け合いや相談事はしないが、世間話をする程度の人はいる
- 世間話などはしないが、挨拶をする程度の人はいる
- ▨ ほとんど近所づきあいはない
- 無回答

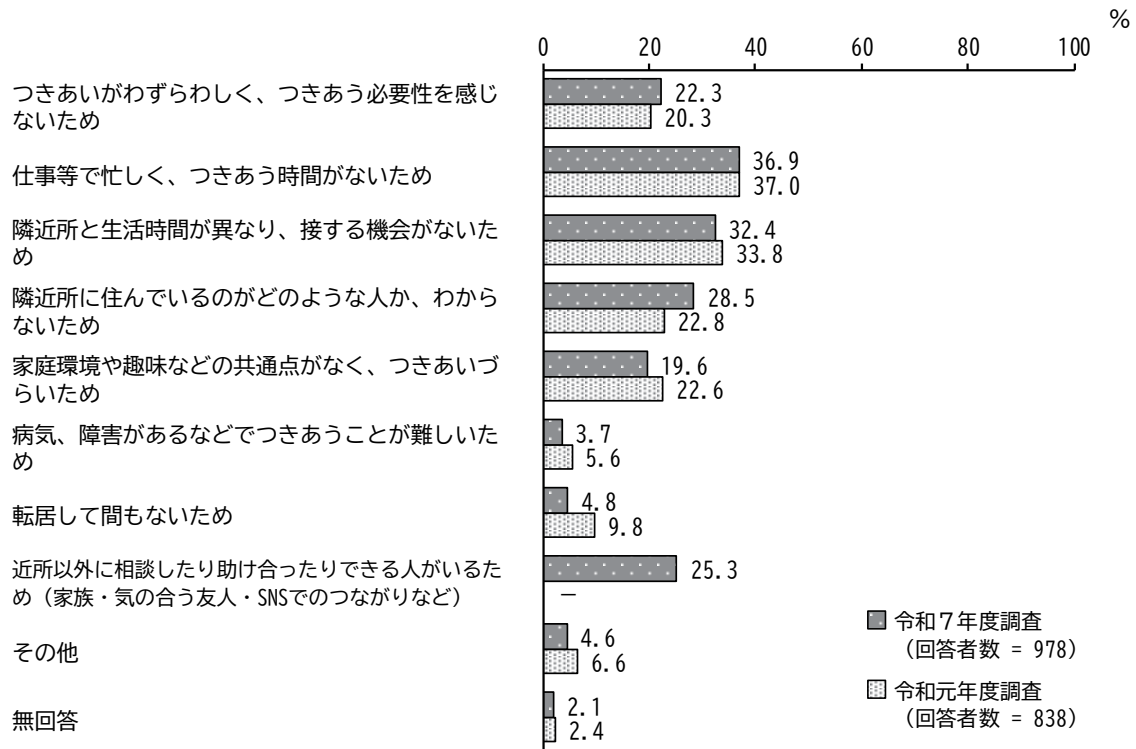


(問 11 で「助け合いや相談事はしないが、世間話をする程度の人はある」「世間話などはしないが、挨拶をする程度の人はある」「ほとんど近所づきあいはない」のいずれかにお答えの方に伺います)

問 11-1 近所づきあいがあまりないのはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

「仕事等で忙しく、つきあう時間がないため」の割合が 36.9%と最も高く、次いで「隣近所と生活時間が異なり、接する機会がないため」の割合が 32.4%、「隣近所に住んでいるのがどのような人か、わからないため」の割合が 28.5%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「隣近所に住んでいるのがどのような人か、わからないため」の割合が増加しています。



※令和元年度調査では、「近所以外に相談したり助け合ったりできる人がいるため (家族・気の合う友人・SNSでのつながりなど)」がありませんでした。

【性別】

性別にみると、男性で「つきあいがわずらわしく、つきあう必要性を感じないため」「仕事等で忙しく、つきあう時間がないため」「隣近所に住んでいるのがどのような人か、わからないため」の割合が高く、女性で「近所以外に相談したり助け合ったりできる人がいるため（家族・気の合う友人・SNSでのつながりなど）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	つきあいがわずらわしく、つきあう必要性を感じないため	仕事等で忙しく、つきあう時間がないため	隣近所と生活時間が異なり、接する機会がないため	隣近所に住んでいるのがどのような人か、わからないため	家庭環境や趣味などの共通点がなく、つきあいづらいため
全体	978	22.3	36.9	32.4	28.5	19.6
男性	460	26.7	39.8	32.8	31.5	21.1
女性	510	18.2	34.5	32.4	25.5	18.6

区分	病気、障害があるなどでつきあうことが難しいため	転居して間もないため	近所以外に相談したり助け合ったりできる人がいるため（家族・気の合う友人・SNSでのつながりなど）	その他	無回答
全体	3.7	4.8	25.3	4.6	2.1
男性	3.7	3.5	14.8	4.6	1.3
女性	3.5	6.1	34.9	4.7	2.9

【年齢別】

年齢別にみると、75歳以上から40～49歳まで年齢が下がるほど「仕事等で忙しく、つきあう時間がないため」の割合が高くなっています。また、20～29歳で「隣近所と生活時間が異なり、接する機会がないため」、30～39歳で「隣近所に住んでいるのがどのような人か、わからないため」、65～69歳で「近所以外に相談したり助け合ったりできる人がいるため（家族・気の合う友人・SNSでのつながりなど）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	つきあいがわずらわしく、つきあう必要性を感じないため	仕事等で忙しく、つきあう時間がないため	隣近所と生活時間が異なり、接する機会がないため	隣近所に住んでいるのがどのような人か、わからないため	家庭環境や趣味などの共通点がなく、つきあいがづらい
全体	978	22.3	36.9	32.4	28.5	19.6
18～19歳	9	11.1	22.2	44.4	22.2	0.0
20～29歳	110	20.0	34.5	42.7	33.6	11.8
30～39歳	121	26.4	54.5	33.9	41.3	18.2
40～49歳	132	27.3	55.3	40.2	31.8	25.0
50～59歳	206	21.8	49.5	35.9	27.7	17.0
60～64歳	90	24.4	46.7	36.7	32.2	28.9
65～69歳	53	32.1	32.1	22.6	28.3	17.0
70～74歳	76	19.7	10.5	27.6	21.1	28.9
75歳以上	176	14.8	6.8	17.6	17.0	18.2

区分	病気、障害があるなどでつきあうことが難しいため	転居して間もないため	近所以外に相談したり助け合ったりできる人がいるため（家族・気の合う友人・SNSでのつながりなど）	その他	無回答
全体	3.7	4.8	25.3	4.6	2.1
18～19歳	0.0	11.1	22.2	0.0	11.1
20～29歳	1.8	4.5	26.4	4.5	0.9
30～39歳	4.1	11.6	26.4	3.3	1.7
40～49歳	3.0	3.8	16.7	3.8	0.8
50～59歳	0.5	5.3	19.9	4.4	1.0
60～64歳	2.2	4.4	22.2	3.3	3.3
65～69歳	0.0	1.9	39.6	1.9	0.0
70～74歳	2.6	1.3	35.5	1.3	2.6
75歳以上	10.8	2.8	29.5	9.7	5.1

【地区別】

地区別にみると、南部で「隣近所に住んでいるのがどのような人か、わからないため」、東部で「家庭環境や趣味などの共通点がなく、つきあいづらいため」、中部で「近所以外に相談したり助け合ったりできる人がいるため（家族・気の合う友人・SNSでのつながりなど）」の割合が高くなっています。

単位：%

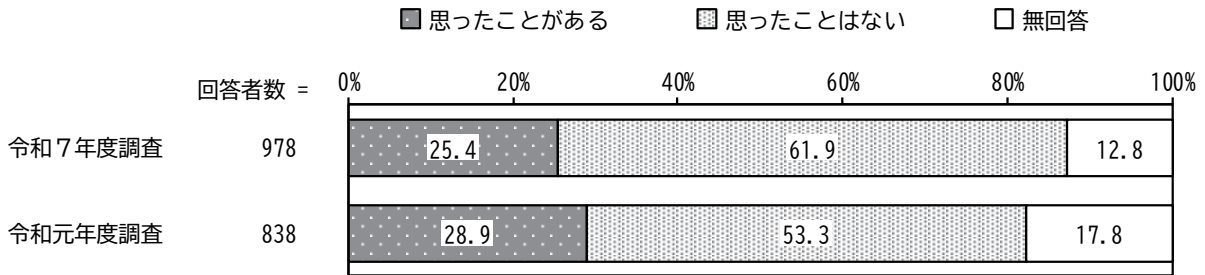
区分	回答者数(件)	つきあいがわずらわしく、つきあう必要性を感じないため	仕事等で忙しく、つきあう時間がないため	隣近所と生活時間が異なり、接する機会がないため	隣近所に住んでいるのがどのような人か、わからないため	家庭環境や趣味などの共通点がなく、つきあいづらいため
全体	978	22.3	36.9	32.4	28.5	19.6
南部	189	22.8	37.0	36.5	34.4	13.8
西部	249	22.9	40.2	29.7	30.5	16.9
中部	116	16.4	31.9	31.9	27.6	18.1
東部	274	24.1	35.8	30.7	28.8	26.3
北部	138	21.7	38.4	36.2	16.7	21.7

区分	病気、障害があるなどつきあうことが難しいため	転居して間もないため	近所以外に相談したり助け合ったりできる人がいるため（家族・気の合う友人・SNSでのつながりなど）	その他	無回答
全体	3.7	4.8	25.3	4.6	2.1
南部	3.2	4.2	24.9	5.8	1.1
西部	3.6	5.2	23.7	5.2	0.8
中部	0.0	4.3	31.0	3.4	6.0
東部	3.6	5.5	24.5	4.0	2.6
北部	5.1	4.3	25.4	4.3	2.2

(問 11 で「助け合いや相談事はしないが、世間話をする程度の人はある」「世間話などはしないが、挨拶をする程度の人はある」「ほとんど近所づきあいはない」のいずれかにお答えの方に伺います)

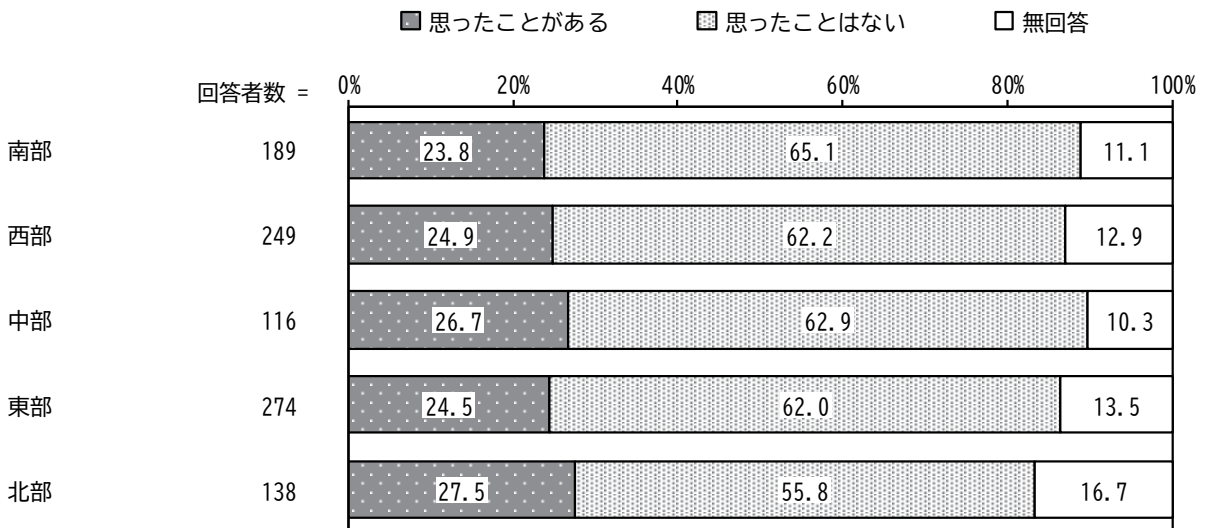
問 11-2 これまでに、何か困ったときに、隣近所に助け合える人がいればよかったと思ったことはありますか。(○は1つだけ)

「思ったことがある」の割合が 25.4%、「思ったことはない」の割合が 61.9%となっています。令和元年度調査と比較すると、「思ったことはない」の割合が増加しています。



【地区別】

地区別にみると、南部で「思ったことはない」の割合が高くなっています。

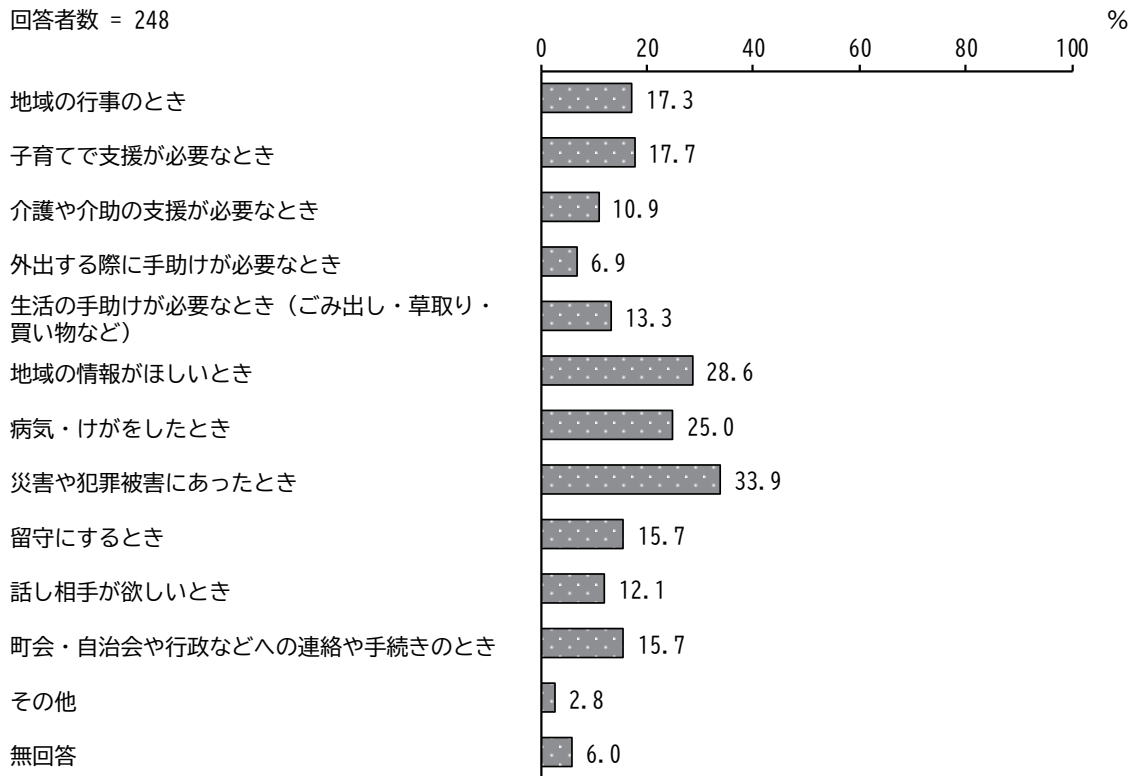


(問 11-2 で「思ったことがある」とお答えの方に伺います)

問 11-3 これまでに、どのようなときに、隣近所に助け合える人がいればよかったですか。あるいは、どのようなときに隣近所の助けが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「災害や犯罪被害にあったとき」の割合が 33.9%と最も高く、次いで「地域の情報がほしいとき」の割合が 28.6%、「病気・けがをしたとき」の割合が 25.0%となっています。

回答者数 = 248



【年齢別】

年齢別にみると、65～69歳から30～39歳まで年齢が下がるほど「子育てで支援が必要なとき」の割合が高く、18～19歳から50～59歳まで年齢が上がるほど「町会・自治会や行政などへの連絡や手続きのとき」の割合が高い傾向にあります。また、70～74歳で「介護や介助の支援が必要なとき」「病気・けがをしたとき」、60～64歳、70～74歳で「生活の手助けが必要なとき（ごみ出し・草取り・買い物など）」、50～59歳で「災害や犯罪被害にあったとき」、30～39歳で「話し相手が欲しいとき」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	地域の行事のとき	子育てで支援が必要なとき	介護や介助の支援が必要なとき	外出する際に手助けが必要なとき	生活の手助けが必要なとき(ごみ出し・草取り・買い物など)	地域の情報がほしいとき	病気・けがをしたとき	災害や犯罪被害にあったとき	留守にするとき	話し相手が欲しいとき	町会・自治会や行政などへの連絡や手続きのとき	その他	無回答
全体	248	17.3	17.7	10.9	6.9	13.3	28.6	25.0	33.9	15.7	12.1	15.7	2.8	6.0
18～19歳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
20～29歳	14	14.3	7.1	7.1	0.0	7.1	14.3	21.4	28.6	14.3	7.1	7.1	14.3	0.0
30～39歳	33	6.1	51.5	3.0	9.1	6.1	27.3	24.2	30.3	18.2	27.3	6.1	0.0	3.0
40～49歳	38	21.1	39.5	7.9	2.6	10.5	39.5	10.5	26.3	13.2	18.4	15.8	2.6	0.0
50～59歳	49	16.3	14.3	12.2	12.2	10.2	36.7	26.5	59.2	16.3	4.1	26.5	4.1	8.2
60～64歳	23	21.7	8.7	17.4	0.0	26.1	17.4	21.7	34.8	21.7	13.0	21.7	0.0	13.0
65～69歳	12	16.7	0.0	8.3	8.3	16.7	50.0	33.3	25.0	8.3	0.0	8.3	8.3	0.0
70～74歳	23	21.7	8.7	21.7	8.7	26.1	21.7	39.1	13.0	13.0	13.0	8.7	0.0	8.7
75歳以上	53	18.9	0.0	11.3	7.5	13.2	22.6	30.2	30.2	15.1	7.5	17.0	1.9	9.4

【地区別】

地区別にみると、北部で「地域の行事のとき」「子育てで支援が必要なとき」「地域の情報がほしいとき」、南部で「介護や介助の支援が必要なとき」「病気・けがをしたとき」、中部で「災害や犯罪被害にあったとき」、南部、北部で「話し相手が欲しいとき」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	地域の行事のとき	子育てで支援が必要なとき	介護や介助の支援が必要なとき	外出する際に手助けが必要なとき	生活の手助けが必要なとき(こみ出し・草取り・買い物など)	地域の情報がほしいとき	病気・けがをしたとき	災害や犯罪被害にあったとき	留守にするとき	話し相手が欲しいとき	町会・自治会や行政などへの連絡や手続きのとき	その他	無回答
全体	248	17.3	17.7	10.9	6.9	13.3	28.6	25.0	33.9	15.7	12.1	15.7	2.8	6.0
南部	45	2.2	22.2	17.8	8.9	17.8	31.1	33.3	37.8	20.0	17.8	11.1	2.2	4.4
西部	62	21.0	16.1	11.3	11.3	16.1	22.6	29.0	32.3	14.5	9.7	19.4	6.5	1.6
中部	31	19.4	12.9	3.2	6.5	3.2	22.6	16.1	41.9	9.7	3.2	16.1	0.0	12.9
東部	67	20.9	13.4	10.4	4.5	11.9	31.3	26.9	38.8	19.4	11.9	16.4	3.0	4.5
北部	38	23.7	28.9	10.5	2.6	15.8	36.8	13.2	21.1	13.2	18.4	13.2	0.0	7.9

【子育て・介護の有無別】

子育て・介護の有無別にみると、『子育てをしている』で「子育てで支援が必要なとき」「地域の情報がほしいとき」「話し相手が欲しいとき」、『家族の介護・介助をしている』で「介護や介助の支援が必要なとき」「留守にするとき」の割合が高くなっています。

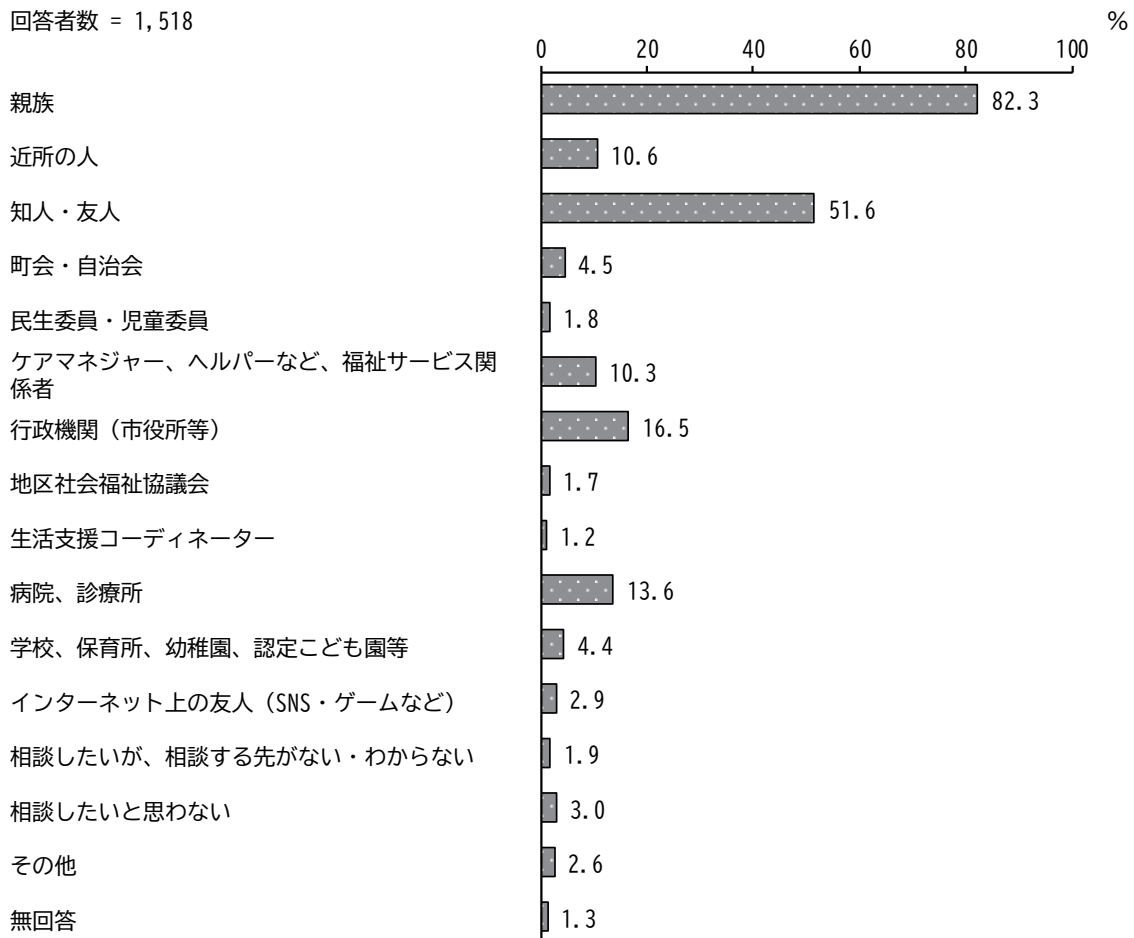
単位：％

区分	回答者数(件)	地域の行事のとき	子育てで支援が必要なとき	介護や介助の支援が必要なとき	外出する際に手助けが必要なとき	生活の手助けが必要なとき(こみ出し・草取り・買い物など)	地域の情報がほしいとき	病気・けがをしたとき	災害や犯罪被害にあったとき	留守にするとき	話し相手が欲しいとき	町会・自治会や行政などへの連絡や手続きのとき	その他	無回答
全体	248	17.3	17.7	10.9	6.9	13.3	28.6	25.0	33.9	15.7	12.1	15.7	2.8	6.0
子育てをしている	49	18.4	67.3	4.1	8.2	10.2	42.9	16.3	22.4	14.3	22.4	16.3	0.0	4.1
家族の介護・介助をしている	35	17.1	8.6	17.1	8.6	8.6	28.6	25.7	40.0	31.4	8.6	17.1	2.9	8.6
していない	161	16.8	6.2	11.2	5.0	14.3	25.5	27.3	36.0	13.7	9.9	14.3	3.7	5.6

問 12 困った時や生活の問題を解決したい時、誰に相談しますか。
(あてはまるものすべてに○)

「親族」の割合が 82.3%と最も高く、次いで「知人・友人」の割合が 51.6%、「行政機関（市役所等）」の割合が 16.5%となっています。

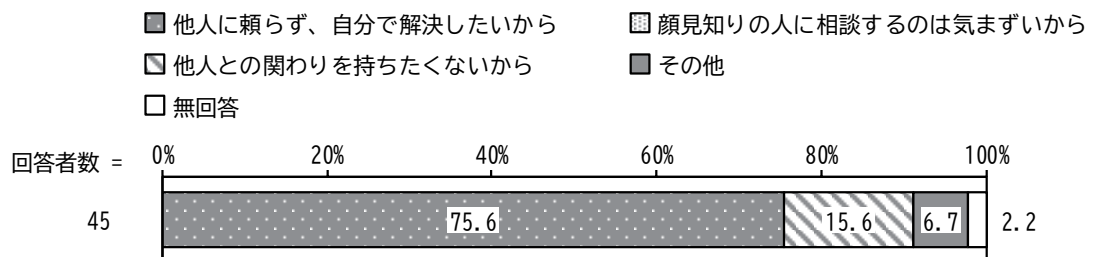
回答者数 = 1,518



(問 12 で「相談したいと思わない」とお答えの方に伺います)

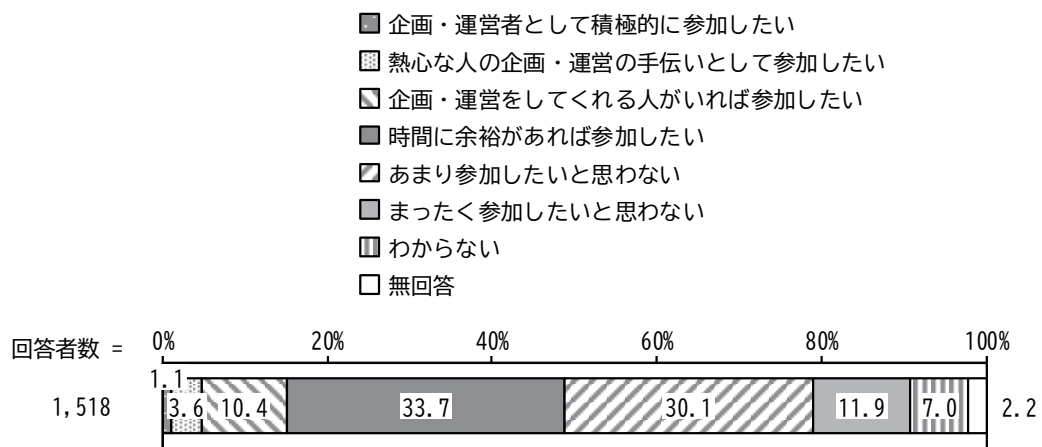
問 12-1 相談したいと思わない理由は何ですか。(○は1つ)

「他人に頼らず、自分で解決したいから」の割合が 75.6%、「他人との関わりを持ちたくないから」の割合が 15.6%となっています。



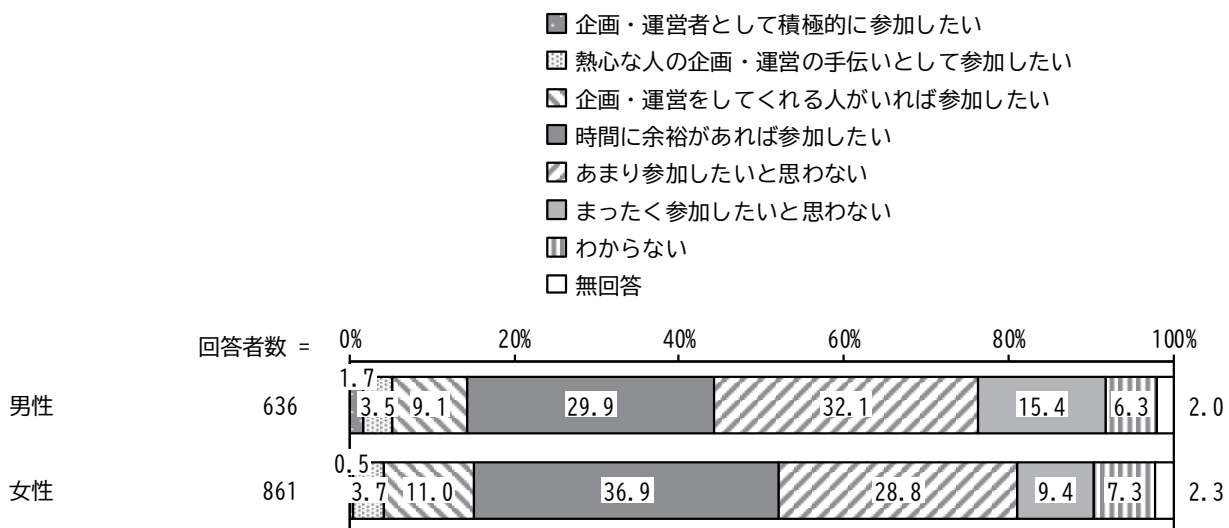
問 13 隣近所での活動へどのような形で参加したいですか。(○は1つだけ)

「時間に余裕があれば参加したい」の割合が 33.7%と最も高く、次いで「あまり参加したいと思わない」の割合が 30.1%、「まったく参加したいと思わない」の割合が 11.9%となっています。



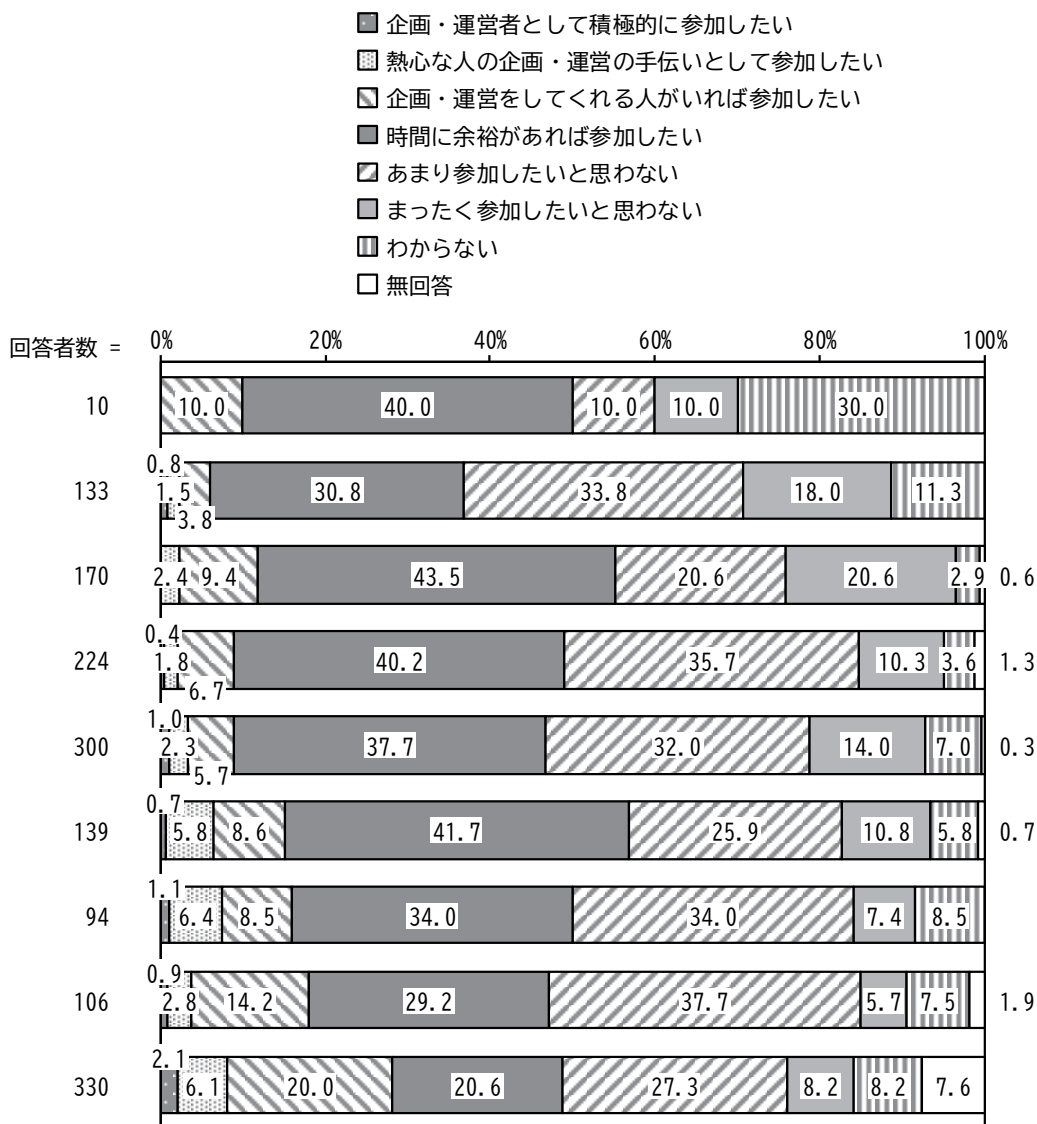
【性別】

性別にみると、男性で「まったく参加したいと思わない」の割合が高く、女性で「時間に余裕があれば参加したい」の割合が高くなっています。



【年齢別】

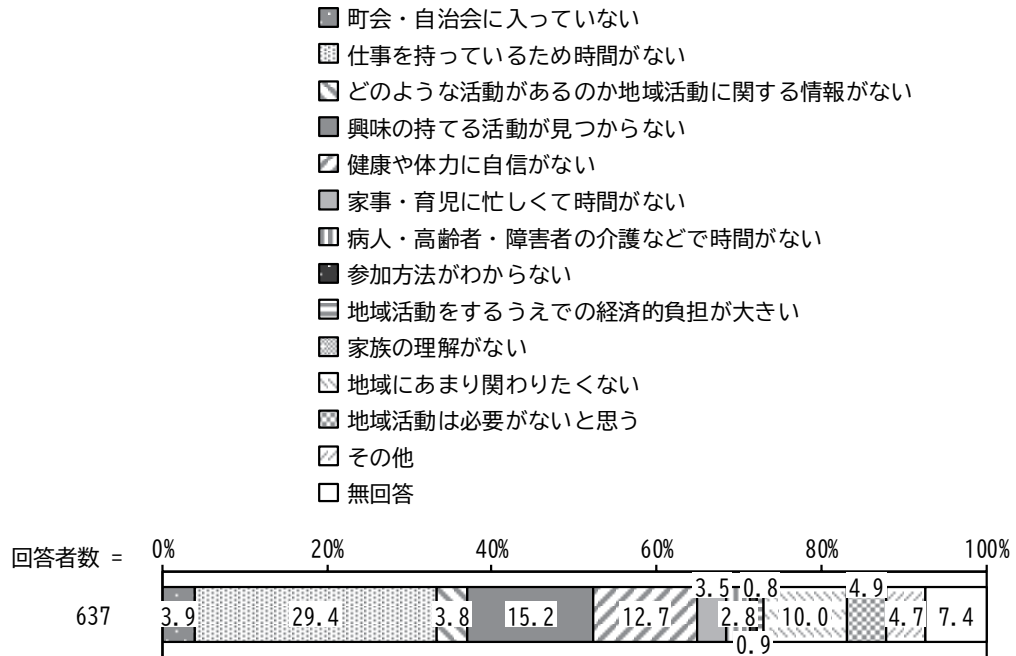
年齢別にみると、75歳以上で「企画・運営をしてくれる人がいれば参加したい」、30～39歳、60～64歳で「時間に余裕があれば参加したい」、40～49歳、70～74歳で「あまり参加したいと思わない」、20～29歳、30～39歳で「まったく参加したいと思わない」の割合が高くなっています。



(問 13 で「あまり参加したいと思わない」「まったく参加したいと思わない」のいずれかにお答えの方に伺います)

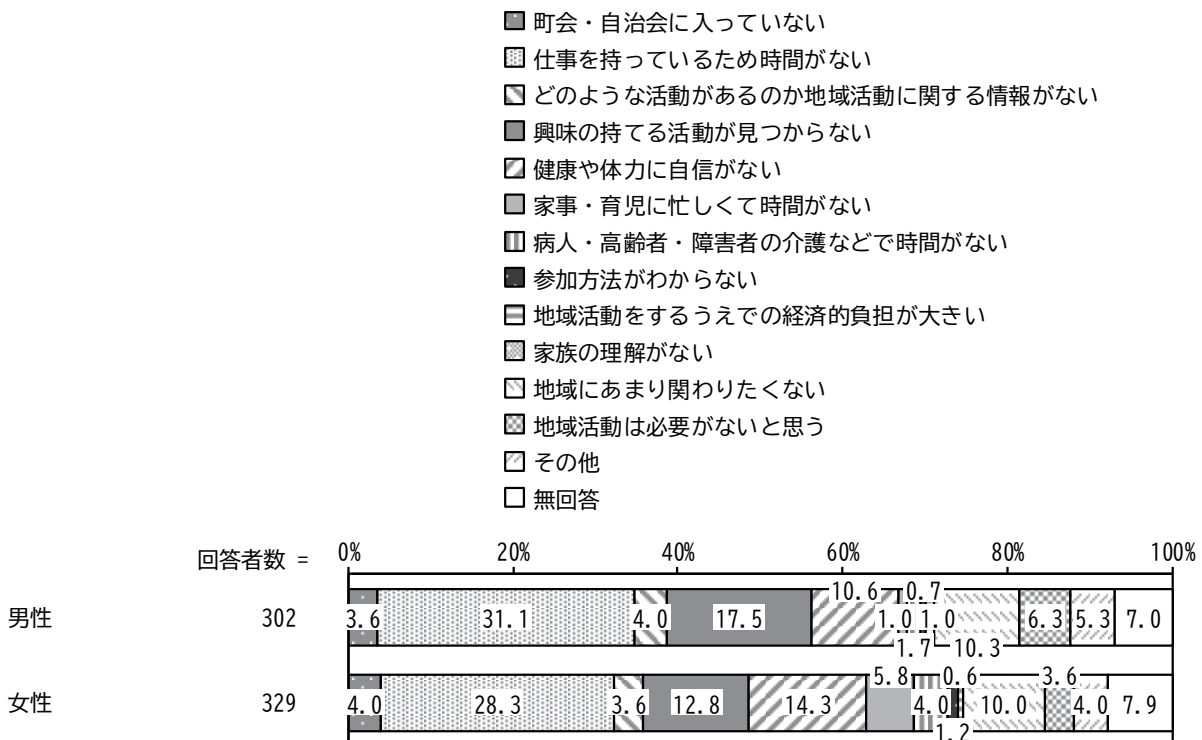
問 13-1 参加したいと思わない理由は何ですか。(○は1つだけ)

「仕事を持っているため時間がない」の割合が 29.4%と最も高く、次いで「興味の持てる活動が見つからない」の割合が 15.2%、「健康や体力に自信がない」の割合が 12.7%となっています。



【性別】

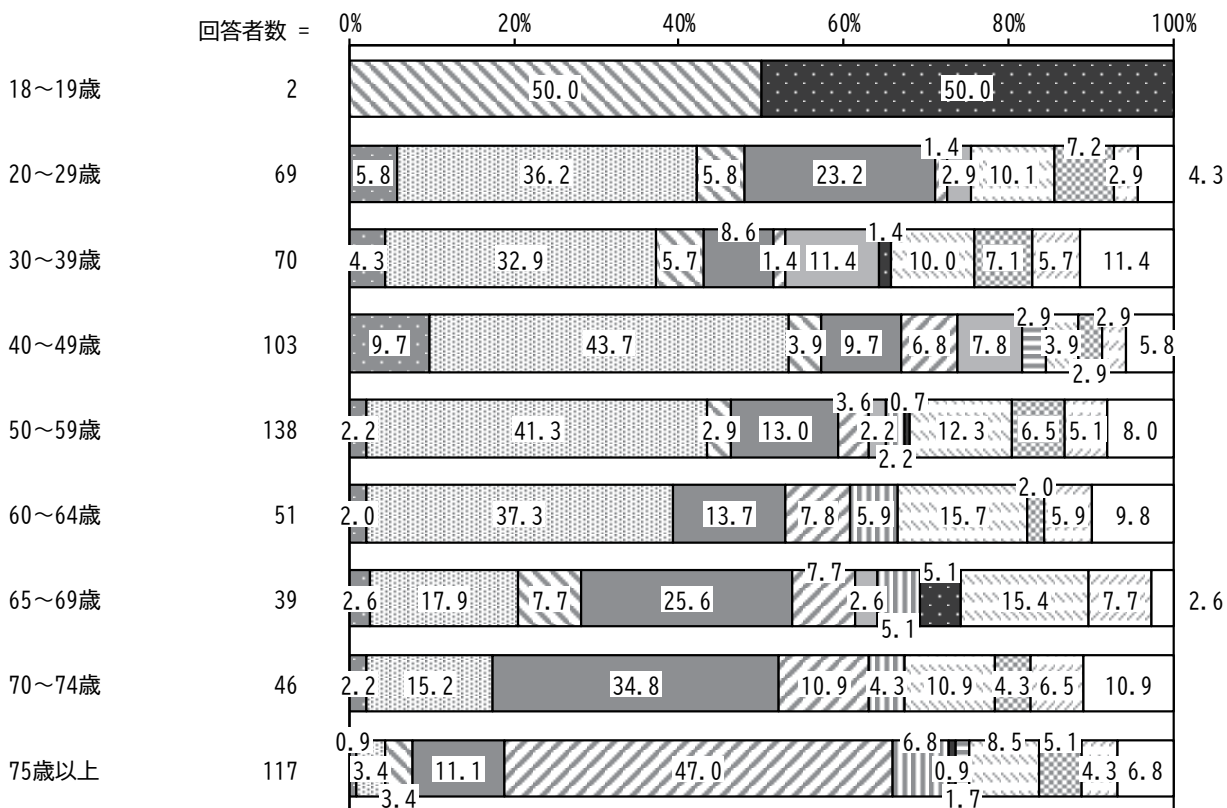
性別にみると、大きな差はみられません。



【年齢別】

年齢別にみると、75歳以上から40～49歳まで年齢が下がるほど「仕事を持っているため時間がない」の割合が高く、30～39歳から70～74歳まで年齢が上がるほど「興味の持てる活動が見つからない」の割合が高くなっています。また、75歳以上で「健康や体力に自信がない」の割合が高くなっています。

- 町会・自治会に入っていない
- ▨ 仕事を持っているため時間がない
- ▩ どのような活動があるのか地域活動に関する情報がない
- 興味の持てる活動が見つからない
- ▨ 健康や体力に自信がない
- 家事・育児に忙しくて時間がない
- ▩ 病人・高齢者・障害者の介護などで時間がない
- 参加方法がわからない
- ▨ 地域活動をするうえでの経済的負担が大きい
- ▩ 家族の理解がない
- ▨ 地域にあまり関わりたくない
- ▩ 地域活動は必要がないと思う
- その他
- 無回答

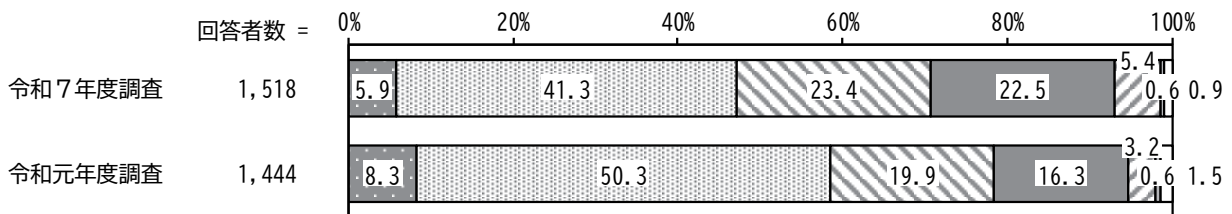


問 14 あなたにとって、隣近所の人との理想の付き合い方はどれですか。(○は1つだけ)

「なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える関係」の割合が 41.3%と最も高く、次いで「立ち入った助け合いや相談事はしないが、世間話をする関係」の割合が 23.4%、「世間話などはしないが、挨拶をする程度の関係」の割合が 22.5%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「世間話などはしないが、挨拶をする程度の関係」の割合が増加しています。一方、「なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える関係」の割合が減少しています。

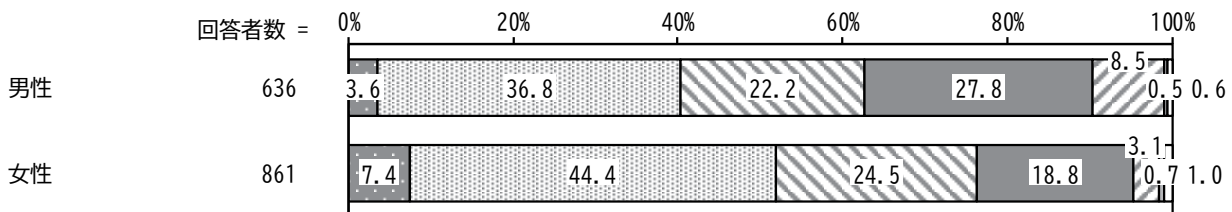
- 何かで困ったときには、なんでも相談し助け合える関係
- なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える関係
- 立ち入った助け合いや相談事はしないが、世間話をする関係
- 世間話などはしないが、挨拶をする程度の関係
- 交流は特に必要ない
- その他
- 無回答



【性別】

性別にみると、男性で「世間話などはしないが、挨拶をする程度の関係」「交流は特に必要ない」の割合が高く、女性で「なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える関係」の割合が高くなっています。

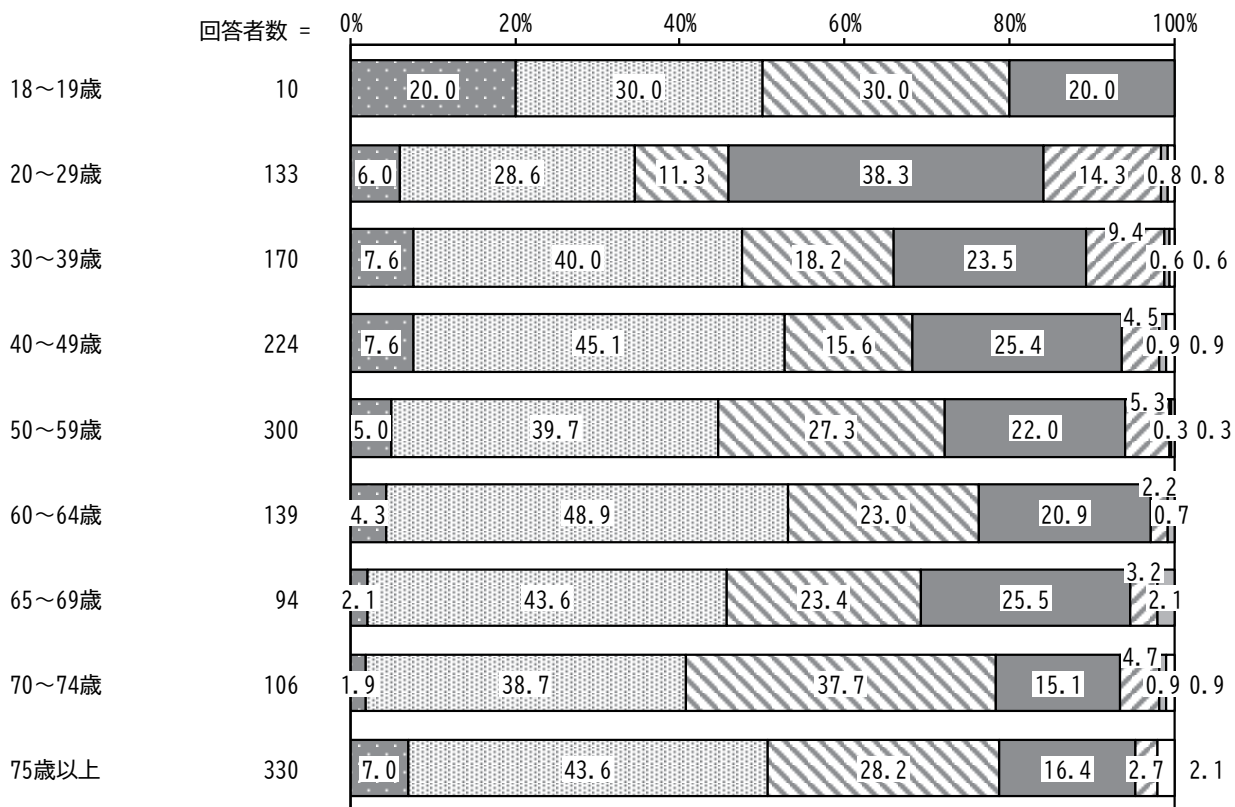
- 何かで困ったときには、なんでも相談し助け合える関係
- なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える関係
- 立ち入った助け合いや相談事はしないが、世間話をする関係
- 世間話などはしないが、挨拶をする程度の関係
- 交流は特に必要ない
- その他
- 無回答



【年齢別】

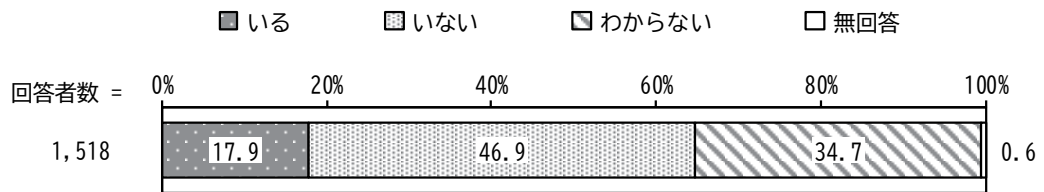
年齢別にみると、18～19歳で「何かで困ったときには、なんでも相談し助け合える関係」、70～74歳で「立ち込んだ助け合いや相談事はしないが、世間話をする関係」、20～29歳で「世間話などはしないが、挨拶をする程度の関係」の割合が高くなっています。

- 何かで困ったときには、なんでも相談し助け合える関係
- ▨ なんでも相談し助け合えるとまではいかないが、内容によっては困ったときに相談し、助け合える関係
- ▧ 立ち込んだ助け合いや相談事はしないが、世間話をする関係
- 世間話などはしないが、挨拶をする程度の関係
- ▨ 交流は特に必要ない
- その他
- 無回答



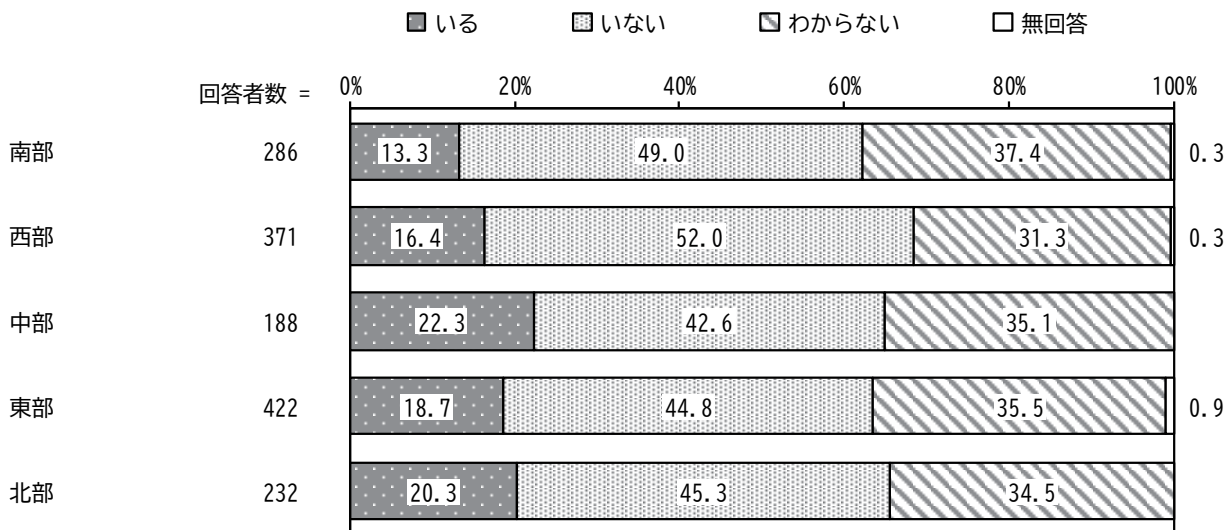
問 15 あなたの隣近所には、「ちょっと心配だな…」と気にかかる人はいますか。(○は1つだけ)

「いる」の割合が17.9%、「いない」の割合が46.9%となっています。



【地区別】

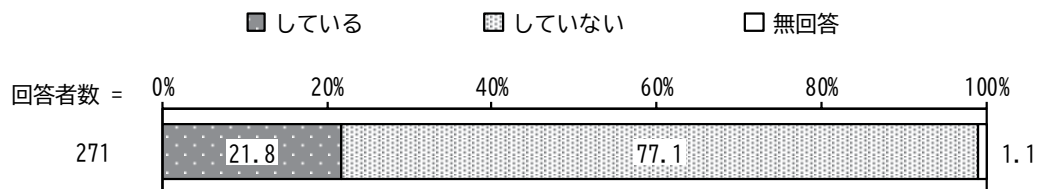
地区別にみると、西部で「いない」の割合が高くなっています。



(問 15で「いる」とお答えの方に伺います)

問 15-1 あなたは、気にかかる人に手助けをしていますか。(○は1つだけ)

「している」の割合が21.8%、「していない」の割合が77.1%となっています。

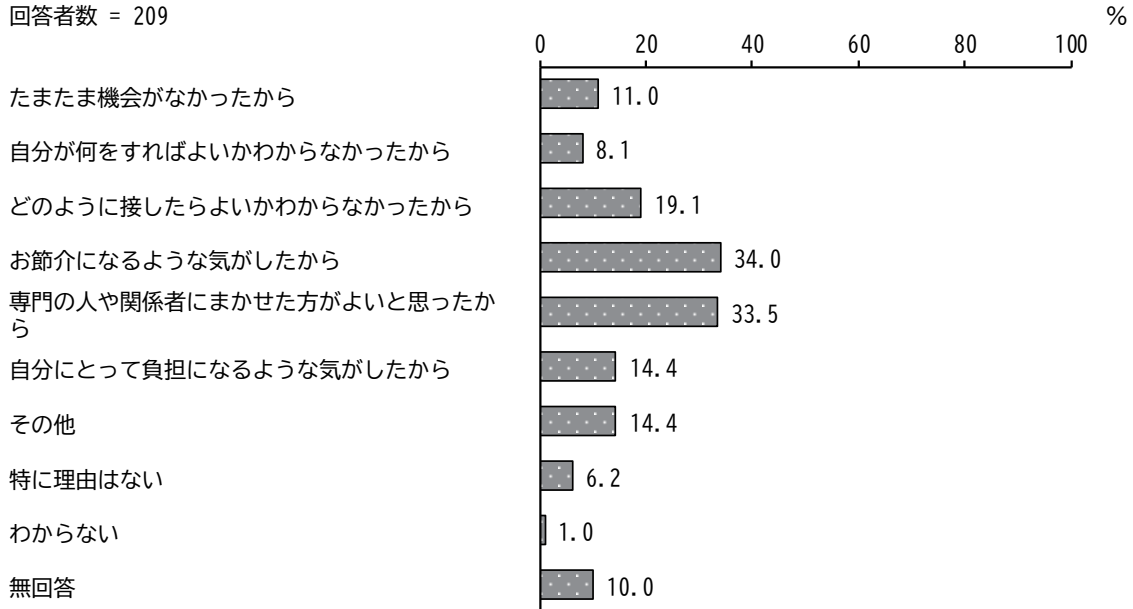


(問15-1で「していない」とお答えの方に伺います)

問15-3 その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「お節介になるような気がしたから」の割合が34.0%と最も高く、次いで「専門の人や関係者にまかせた方がよいと思ったから」の割合が33.5%、「どのように接したらよいかわからなかったから」の割合が19.1%となっています。

回答者数 = 209



【年齢別】

年齢別にみると、70～74歳で「お節介になるような気がしたから」、40～49歳で「専門の人や関係者にまかせた方がよいと思ったから」、20～29歳で「特に理由はない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	たまたま機会がなかったから	自分が何をすればよいかわからなかったから	どのように接したらよいかわからなかったから	お節介になるような気がしたから	専門の人や関係者にまかせた方がよいと思ったから	自分にとって負担になるような気がしたから	その他	特に理由はない	わからない	無回答
全体	209	11.0	8.1	19.1	34.0	33.5	14.4	14.4	6.2	1.0	10.0
18～19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～29歳	12	8.3	8.3	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	0.0	8.3
30～39歳	18	5.6	11.1	16.7	38.9	27.8	16.7	33.3	0.0	0.0	11.1
40～49歳	30	16.7	6.7	16.7	40.0	46.7	3.3	3.3	6.7	0.0	6.7
50～59歳	43	16.3	11.6	20.9	32.6	30.2	20.9	14.0	11.6	0.0	2.3
60～64歳	30	6.7	6.7	26.7	33.3	43.3	20.0	16.7	6.7	3.3	6.7
65～69歳	10	20.0	0.0	20.0	10.0	30.0	10.0	0.0	0.0	0.0	20.0
70～74歳	24	0.0	4.2	12.5	45.8	37.5	12.5	12.5	4.2	0.0	12.5
75歳以上	41	9.8	9.8	19.5	34.1	26.8	12.2	17.1	2.4	2.4	19.5

【地区別】

地区別にみると、西部で「自分が何をすればよいかわからなかったから」「どのように接したらよいかわからなかったから」「自分にとって負担になるような気がしたから」、北部で「お節介になるような気がしたから」、西部、中部で「専門の人や関係者にまかせた方がよいと思ったから」、中部で「特に理由はない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	たまたま機会がなかったから	自分が何をすればよいかわからなかったから	どのように接したらよいかわからなかったから	お節介になるような気がしたから	専門の人や関係者にまかせた方がよいと思ったから	自分にとって負担になるような気がしたから	その他	特に理由はない	わからない	無回答
全体	209	11.0	8.1	19.1	34.0	33.5	14.4	14.4	6.2	1.0	10.0
南部	30	3.3	0.0	20.0	36.7	33.3	10.0	16.7	6.7	3.3	10.0
西部	49	8.2	18.4	24.5	32.7	40.8	24.5	6.1	8.2	2.0	6.1
中部	31	12.9	6.5	9.7	22.6	38.7	9.7	16.1	12.9	0.0	3.2
東部	60	13.3	10.0	23.3	36.7	30.0	11.7	16.7	3.3	0.0	15.0
北部	37	13.5	0.0	13.5	40.5	27.0	10.8	18.9	2.7	0.0	13.5

【子育て・介護の有無別】

子育て・介護の有無別にみると、『家族の介護・介助をしている』で「自分が何をすればよいかわからなかったから」「どのように接したらよいかわからなかったから」、『子育てをしている』で「専門の人や関係者にまかせた方がよいと思ったから」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	たまたま機会がなかったから	自分が何をすればよいかわからなかったから	どのように接したらよいかわからなかったから	お節介になるような気がしたから	専門の人や関係者にまかせた方がよいと思ったから	自分にとって負担になるような気がしたから	その他	特に理由はない	わからない	無回答
全体	209	11.0	8.1	19.1	34.0	33.5	14.4	14.4	6.2	1.0	10.0
子育てをしている	34	5.9	8.8	11.8	29.4	44.1	5.9	20.6	8.8	0.0	8.8
家族の介護・介助をしている	37	5.4	13.5	29.7	37.8	37.8	8.1	21.6	5.4	0.0	10.8
していない	140	13.6	7.1	18.6	34.3	30.0	18.6	11.4	5.7	1.4	10.0

【地域での安心感別】

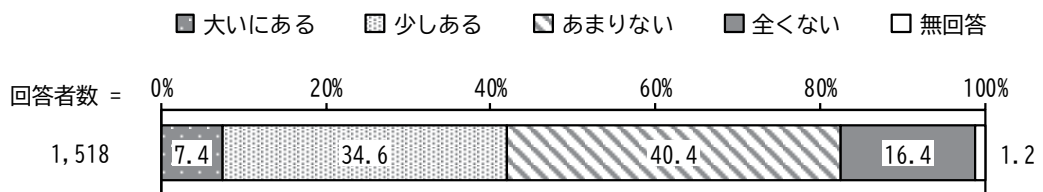
地域での安心感別にみると、『感じていない』で「どのように接したらよいかわからなかったから」「お節介になるような気がしたから」「自分にとって負担になるような気がしたから」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	たまたま機会がなかったから	自分が何をすればよいかからなかったから	どのように接したらよいかわからなかったから	お節介になるような気がしたから	専門の人や関係者にまかせた方がよいと思ったから	自分にとって負担になるような気がしたから	その他	特に理由はない	わからない	無回答
全体	209	11.0	8.1	19.1	34.0	33.5	14.4	14.4	6.2	1.0	10.0
感じている	43	7.0	4.7	16.3	32.6	27.9	9.3	0.0	11.6	2.3	11.6
どちらかといえば感じている	115	12.2	9.6	21.7	35.7	34.8	15.7	15.7	4.3	0.0	9.6
あまり感じていない	41	12.2	7.3	12.2	29.3	36.6	14.6	22.0	4.9	2.4	9.8
感じていない	10	10.0	10.0	30.0	40.0	30.0	20.0	30.0	10.0	0.0	10.0

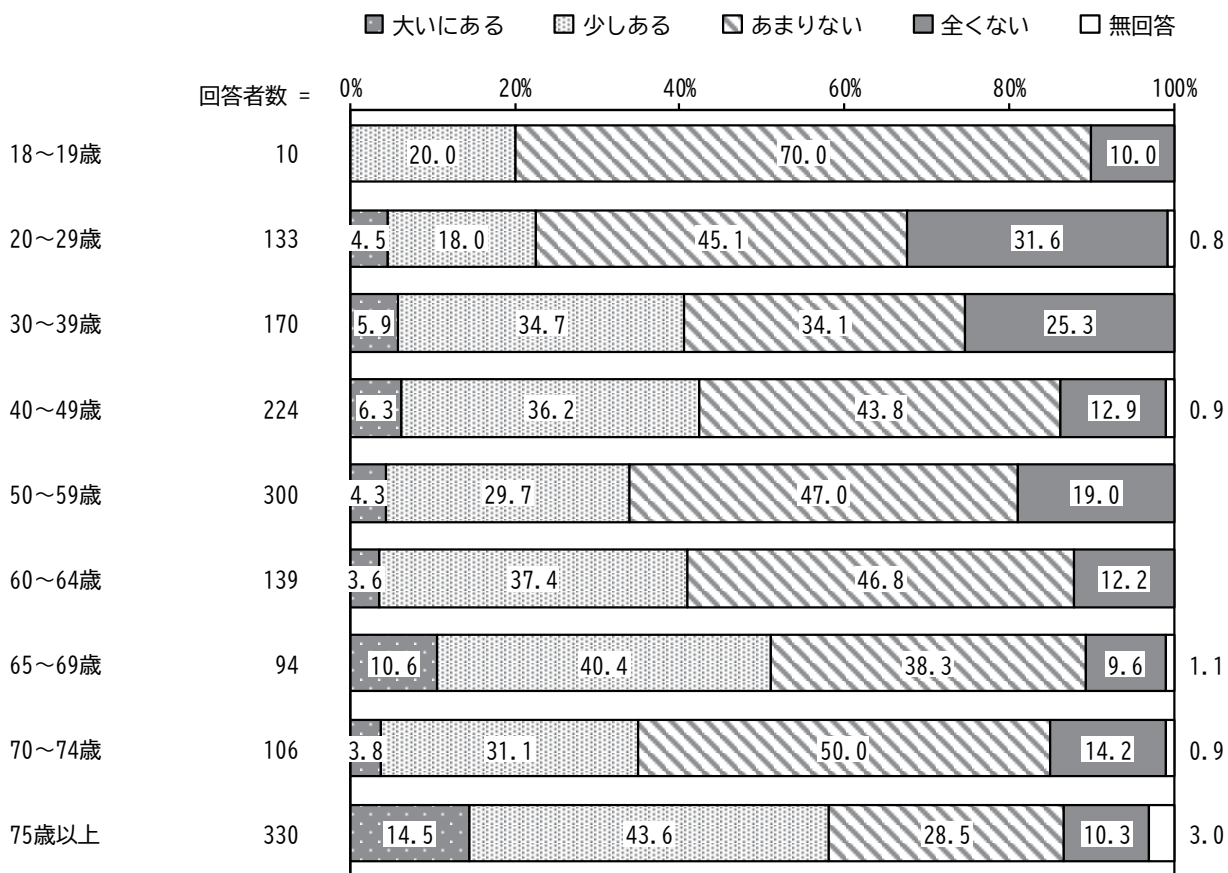
問16 あなたは、現在生活している中で、地域の人との関わりにより支えられていると感じることがありますか。(○は1つだけ)

「大いにある」「少しある」を合わせた“ある”の割合が42.0%、「あまりない」「全くない」を合わせた“ない”の割合が56.8%となっています。



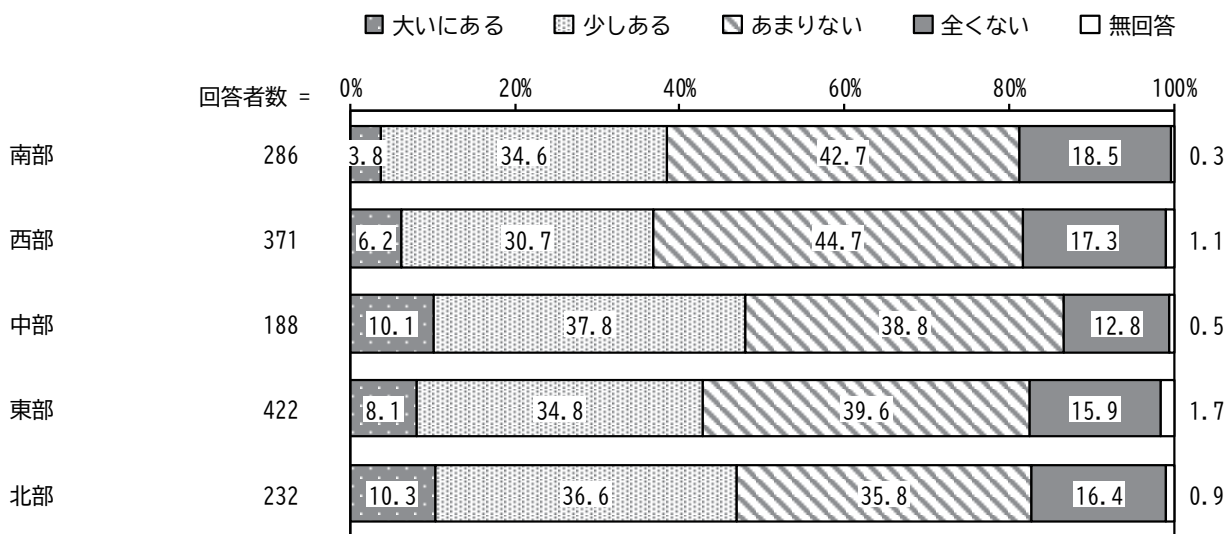
【年齢別】

年齢別にみると、75歳以上で“ある”、18～19歳で“ない”の割合が高くなっています。



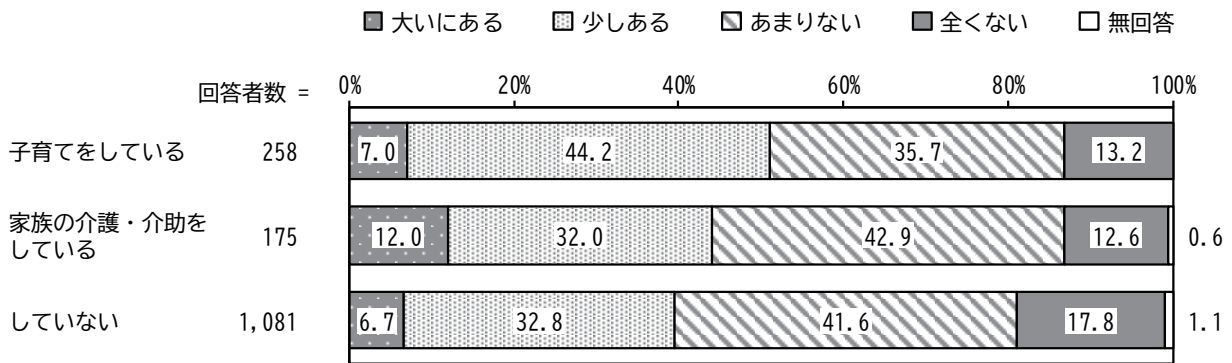
【地区別】

地区別にみると、中部で“ある”、西部で“ない”の割合が高くなっています。



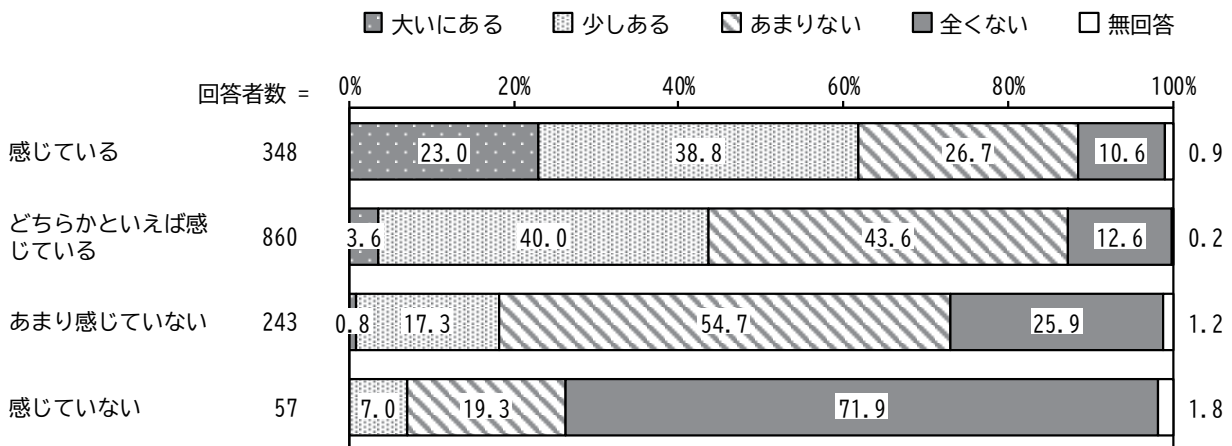
【子育て・介護の有無別】

子育て・介護の有無別にみると、『子育てをしている』で“ある”の割合が高くなっています。



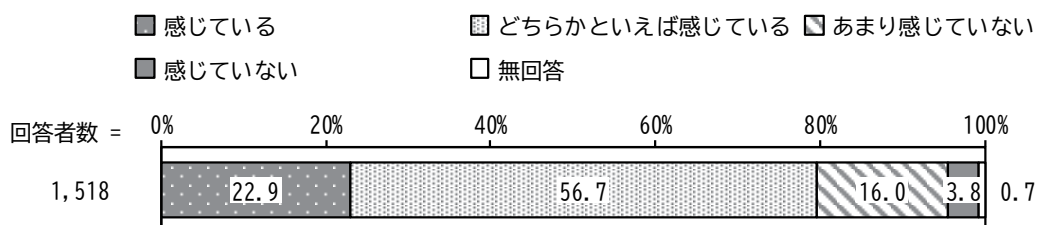
【地域での安心感別】

地域での安心感別にみると、『感じている』で“ある”、『感じていない』で“ない”の割合が高くなっています。



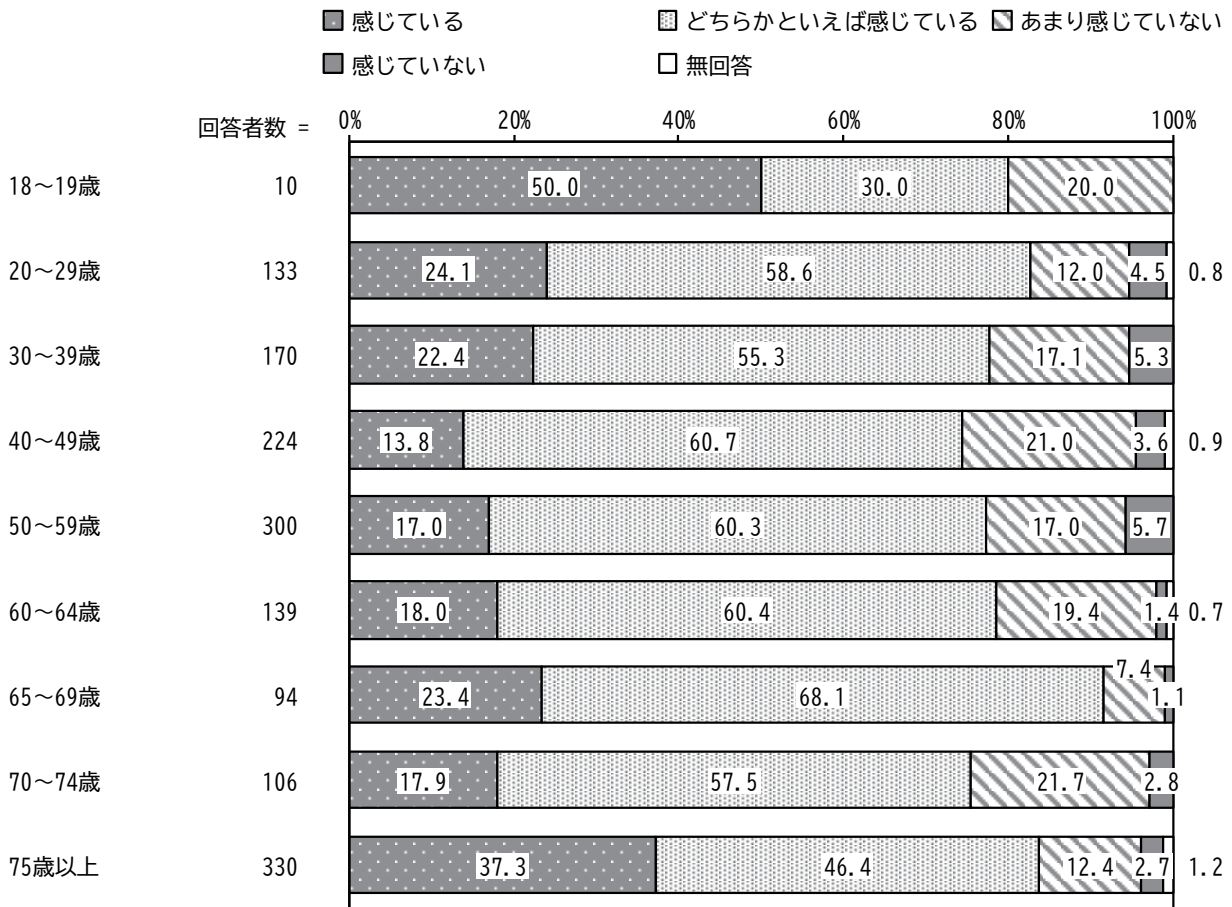
問 17 あなたは、地域の中で安心して生活できていると感じますか。(○は1つだけ)

「感じている」「どちらかといえば感じている」を合わせた“感じている”の割合が79.6%、「あまり感じていない」「感じていない」を合わせた“感じていない”の割合が19.8%となっています。



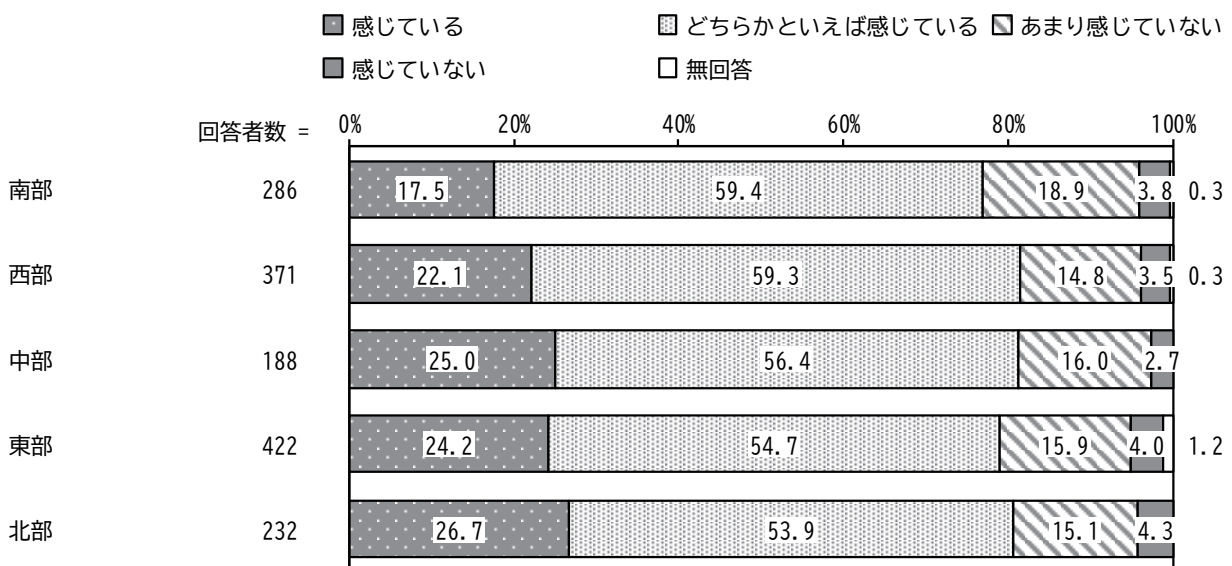
【年齢別】

年齢別にみると、65～69歳で“感じている”の割合が高くなっています。



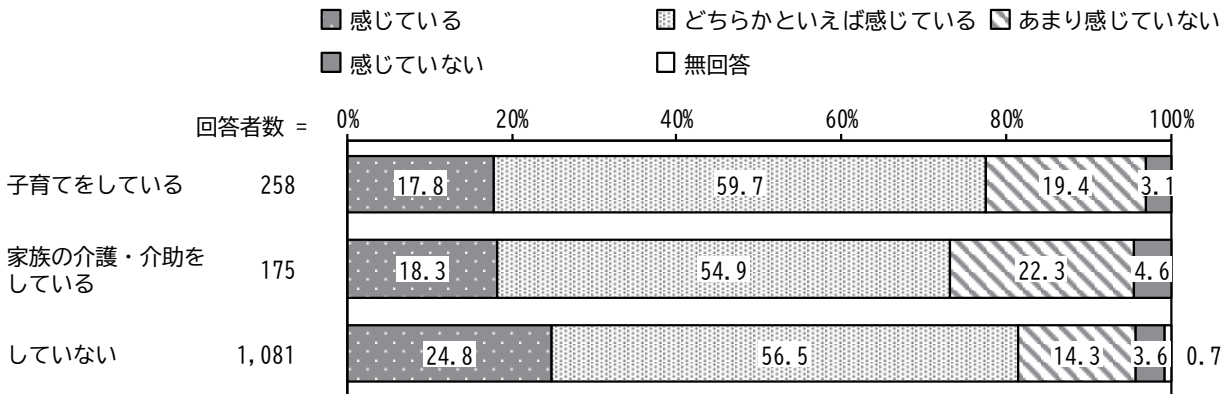
【地区別】

地区別にみると、南部で「感じている」の割合が低くなっています。



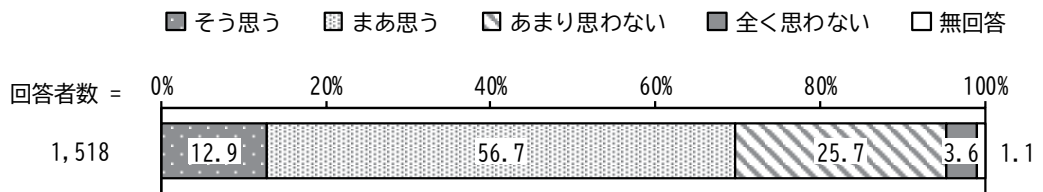
【子育て・介護の有無別】

子育て・介護の有無別にみると、『家族の介護・介助をしている』で“感じていない”の割合が高くなっています。



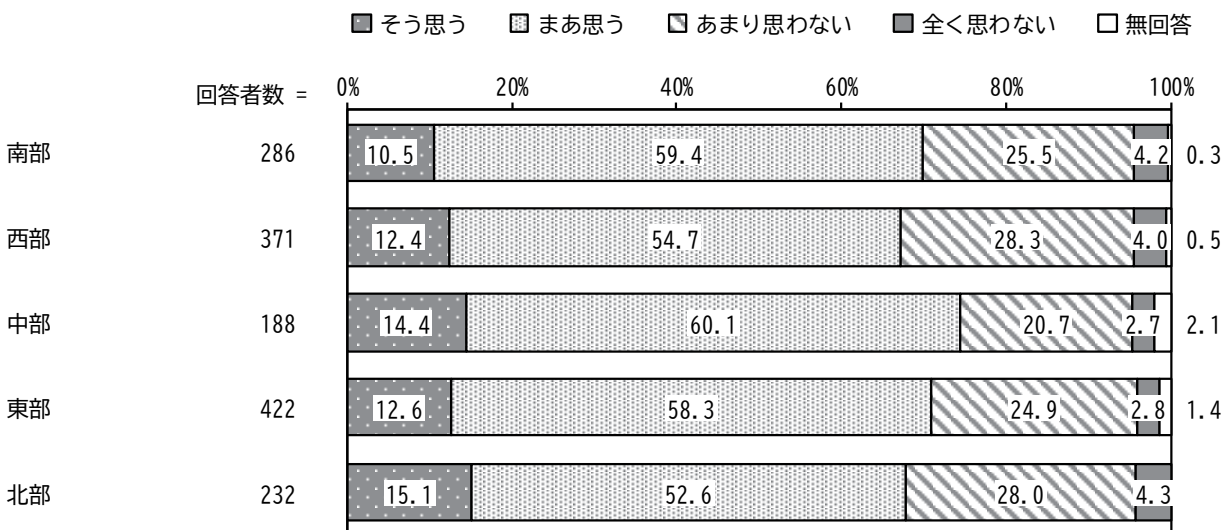
問18 お住まいの地域は、多様な生活状況や特性を持つ方々にとって、安心して生活できる環境だと思いますか。(○は1つだけ)

「そう思う」「まあ思う」を合わせた“思う”の割合が69.6%、「あまり思わない」「全く思わない」を合わせた“思わない”の割合が29.3%となっています。



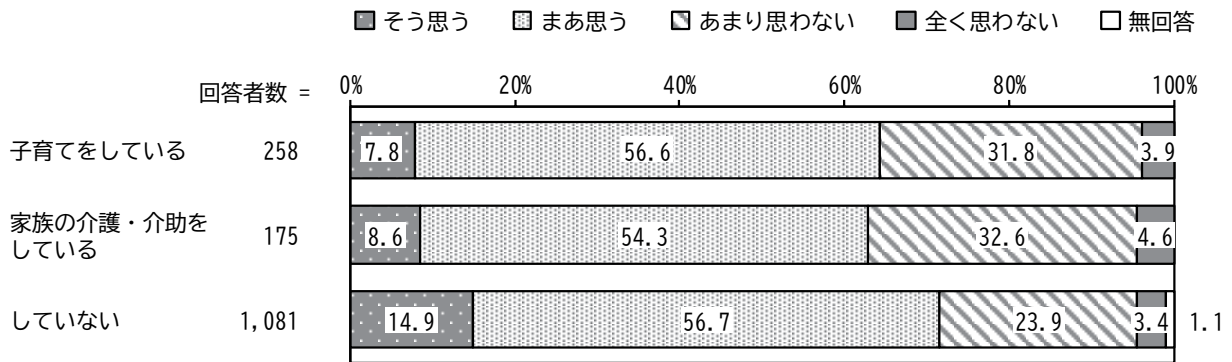
【地区別】

地区別にみると、中部で“思う”の割合が高くなっています。



【子育て・介護の有無別】

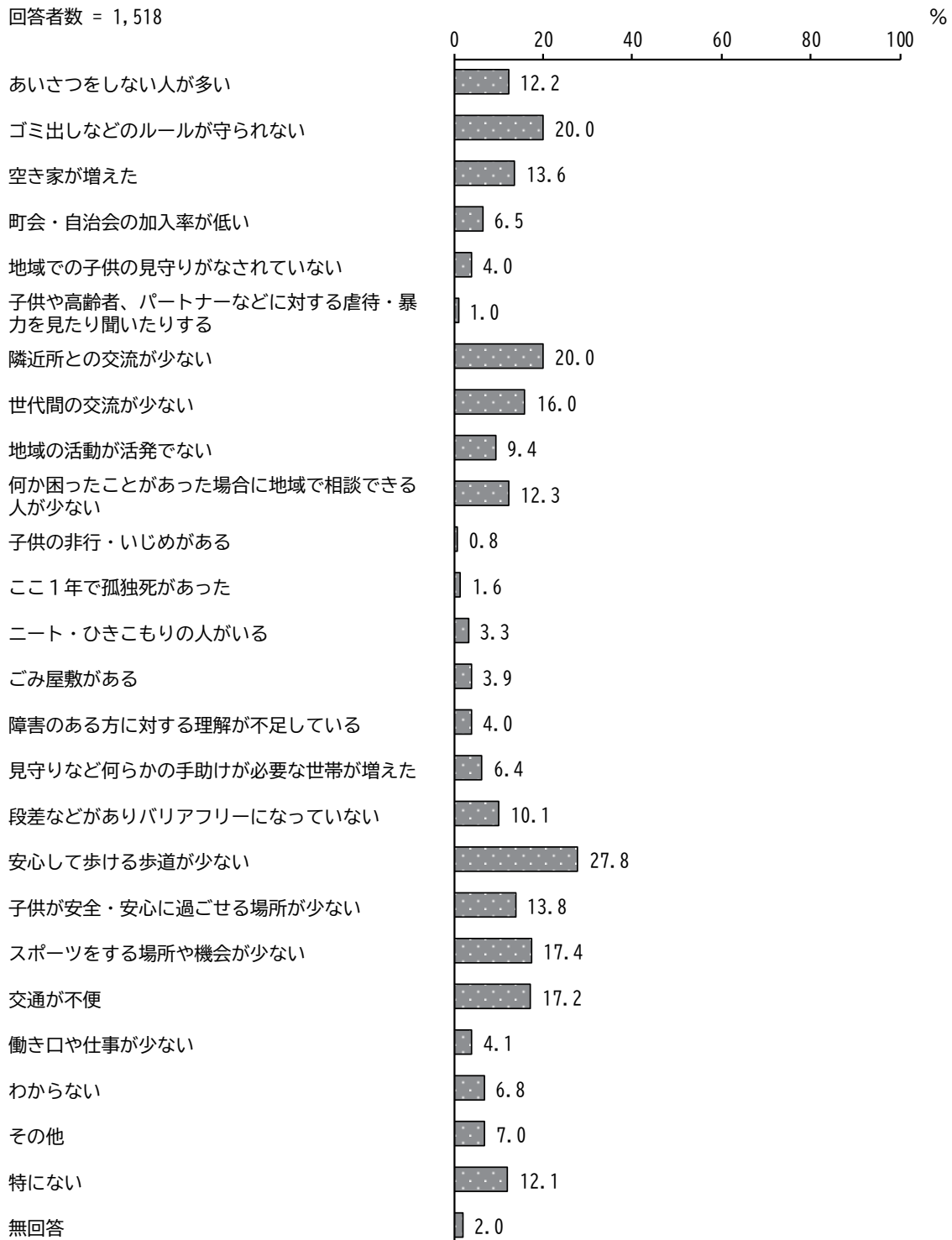
子育て・介護の有無別にみると、『子育てをしている』、『家族の介護・介助をしている』で“思わない”の割合が高くなっています。



問 19 現在、あなたの住んでいる地域の中での問題点・不足していると思うものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「安心して歩ける歩道が少ない」の割合が 27.8%と最も高く、次いで「ゴミ出しなどのルールが守られない」、「隣近所との交流が少ない」の割合が 20.0%となっています。

回答者数 = 1,518



【年齢別】

年齢別にみると、18～19歳から70～74歳まで年齢が上がるほど「空き家が増えた」の割合が高い傾向にあり、65～69歳から30～39歳まで年齢が下がるほど「安心して歩ける歩道が少ない」の割合が高い傾向にあります。また、30～39歳、40～49歳で「子供が安全・安心に過ごせる場所が少ない」、40～49歳で「スポーツをする場所や機会が少ない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	あいさつをしない人が多い	ゴミ出しなどのルールが守られない	空き家が増えた	町会・自治会の加入率が低い	地域での子供の見守りがなされていない	子供や高齢者、パートナーなどに対する虐待・暴力を見たり聞いたりする	隣近所との交流が少ない	世代間の交流が少ない	地域の活動が活発でない	何か困ったことがあった場合に地域で相談できる人が少ない	子供の非行・いじめがある	ここ1年で孤独死があった	ニート・ひきこもりの人がいる
全体	1,518	12.2	20.0	13.6	6.5	4.0	1.0	20.0	16.0	9.4	12.3	0.8	1.6	3.3
18～19歳	10	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～29歳	133	8.3	12.8	6.8	3.0	4.5	0.8	13.5	11.3	6.8	8.3	2.3	3.0	3.8
30～39歳	170	8.2	22.4	7.6	4.7	8.2	1.2	16.5	12.4	4.7	8.8	1.8	1.2	1.2
40～49歳	224	10.7	23.2	10.7	4.5	5.4	1.3	17.0	11.6	8.9	9.8	2.2	0.4	2.7
50～59歳	300	14.3	20.7	11.3	4.3	3.0	1.0	15.0	14.7	8.7	12.7	0.3	1.0	3.7
60～64歳	139	14.4	23.7	15.1	11.5	5.0	0.7	26.6	21.6	16.5	17.3	0.0	2.2	3.6
65～69歳	94	8.5	21.3	14.9	9.6	4.3	2.1	17.0	16.0	8.5	10.6	0.0	0.0	3.2
70～74歳	106	16.0	21.7	24.5	5.7	0.9	0.9	23.6	13.2	7.5	17.0	0.0	1.9	4.7
75歳以上	330	14.5	16.4	19.1	9.1	2.1	0.6	28.5	23.0	12.1	14.2	0.0	2.7	3.9

区分	ごみ屋敷がある	障害のある方に対する理解が不足している	見守りなど何らかの助けが必要な世帯が増えた	段差などがありバリアフリーになっていない	安心して歩ける歩道が少ない	子供が安全・安心に過ごせる場所が少ない	スポーツをする場所や機会が少ない	交通が不便	働き口や仕事が少ない	わからない	その他	特にない	無回答
全体	3.9	4.0	6.4	10.1	27.8	13.8	17.4	17.2	4.1	6.8	7.0	12.1	2.0
18～19歳	0.0	0.0	10.0	0.0	20.0	0.0	20.0	10.0	0.0	20.0	10.0	40.0	0.0
20～29歳	1.5	4.5	1.5	8.3	23.3	9.0	12.0	15.0	4.5	15.0	9.8	16.5	0.8
30～39歳	5.3	2.9	3.5	12.9	41.8	26.5	21.8	19.4	4.1	5.9	9.4	10.6	1.2
40～49歳	4.9	5.4	4.9	8.0	34.8	27.2	29.5	16.5	5.8	8.5	12.9	5.8	0.0
50～59歳	4.0	4.7	6.0	12.3	25.7	11.0	17.7	19.7	5.7	7.0	8.7	10.7	1.0
60～64歳	5.8	4.3	7.9	9.4	25.2	7.2	15.8	15.8	6.5	2.9	4.3	14.4	1.4
65～69歳	1.1	4.3	9.6	8.5	24.5	13.8	17.0	7.4	1.1	7.4	8.5	10.6	2.1
70～74歳	4.7	1.9	13.2	13.2	25.5	11.3	17.9	14.2	2.8	4.7	3.8	13.2	1.9
75歳以上	3.0	3.0	7.0	9.1	22.7	7.3	9.4	20.3	1.8	4.5	1.2	14.8	4.8

【地区別】

地区別にみると、北部で「空き家が増えた」「地域の活動が活発でない」「交通が不便」、西部で「安心して歩ける歩道が少ない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	あいさつをしない人が多い	ゴミ出しなどのルールが守られない	空き家が増えた	町会・自治会の加入率が低い	地域での子供の見守りがなされていない	子供や高齢者、パートナーなどに対する虐待・暴力を見たり聞いたりする	隣近所との交流が少ない	世代間の交流が少ない	地域の活動が活発でない	何か困ったことがあった場合に地域で相談できる人が少ない	子供の非行・いじめがある	ここ1年で孤独死があった	ニート・ひきこもりの人がいる
全体	1,518	12.2	20.0	13.6	6.5	4.0	1.0	20.0	16.0	9.4	12.3	0.8	1.6	3.3
南部	286	13.3	23.4	7.3	5.2	3.8	1.0	19.9	14.7	6.3	11.2	1.0	1.4	3.5
西部	371	12.1	19.4	9.7	4.0	5.1	1.1	20.2	13.7	10.0	11.9	0.3	1.3	1.9
中部	188	13.8	21.8	19.1	5.9	4.3	1.6	22.3	12.8	5.3	12.2	0.5	1.1	5.3
東部	422	11.8	21.6	12.3	7.3	3.6	0.9	20.4	18.5	10.0	13.0	0.5	1.7	3.8
北部	232	10.8	12.5	25.0	10.3	2.6	0.0	17.7	19.4	15.1	13.4	2.2	3.0	3.0

区分	ごみ屋敷がある	障害のある方に対する理解が不足している	見守りなど何らかの手助けが必要な世帯が増えた	段差などがありバリアフリーになっていない	安心して歩ける歩道が少ない	子供が安全・安心に過ごせる場所が少ない	スポーツをする場所や機会が少ない	交通が不便	働き口や仕事が少ない	わからない	その他	特になし	無回答
全体	3.9	4.0	6.4	10.1	27.8	13.8	17.4	17.2	4.1	6.8	7.0	12.1	2.0
南部	8.4	3.5	4.2	9.8	22.4	17.5	21.0	12.6	2.8	7.7	7.3	13.6	2.1
西部	1.6	5.1	4.0	12.4	34.8	14.8	18.6	12.7	5.4	7.3	9.2	10.5	1.3
中部	3.2	3.7	8.0	9.0	25.5	11.2	15.4	23.9	6.9	5.9	6.4	12.2	2.7
東部	2.4	3.6	8.3	9.7	29.4	12.8	18.0	14.0	2.6	6.4	5.7	13.3	1.9
北部	5.2	3.0	7.8	8.6	22.8	12.1	12.1	31.0	3.9	6.5	6.5	9.9	1.3

【子育て・介護の有無別】

子育て・介護の有無別にみると、『家族の介護・介助をしている』で「あいさつをしない人が多い」「空き家が増えた」「障害のある方に対する理解が不足している」「見守りなど何らかの手助けが必要な世帯が増えた」「交通が不便」、『子育てをしている』で「安心して歩ける歩道が少ない」「子供が安全・安心に過ごせる場所が少ない」「スポーツをする場所や機会が少ない」の割合が高くなっています。

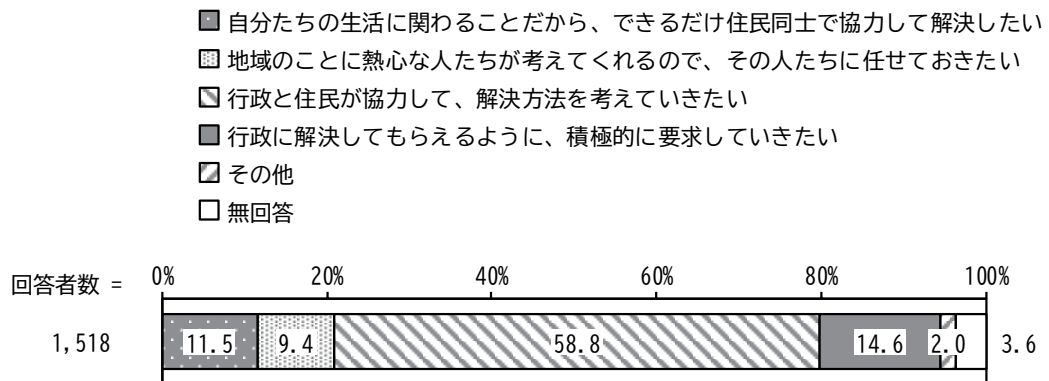
単位：％

区分	回答者数(件)	あいさつをしない人が多い	ゴミ出しなどのルールが守られない	空き家が増えた	町会・自治会の加入率が低い	地域での子供の見守りがなされていない	子供や高齢者、パートナーなどに対する虐待・暴力を見たり聞いたりする	隣近所との交流が少ない	世代間の交流が少ない	地域の活動が活発でない	何か困ったことがあった場合に地域で相談できる人が少ない	子供の非行・いじめがある	ここ1年で孤独死があった	ニート・ひきこもりの人がいる
全体	1,518	12.2	20.0	13.6	6.5	4.0	1.0	20.0	16.0	9.4	12.3	0.8	1.6	3.3
子育てをしている	258	11.6	21.3	11.2	3.9	8.9	1.2	16.3	13.6	6.6	8.1	2.3	0.4	1.9
家族の介護・介助をしている	175	18.3	21.7	18.9	10.9	6.9	1.1	19.4	16.6	10.3	11.4	0.0	2.3	4.0
していない	1,081	11.9	19.4	13.4	6.6	2.7	0.8	21.4	16.9	10.2	13.4	0.6	1.7	3.3

区分	ごみ屋敷がある	障害のある方に対する理解が不足している	見守りなど何らかの手助けが必要な世帯が増えた	段差などがありバリアフリーになっていない	安心して歩ける歩道が少ない	子供が安全・安心に過ごせる場所が少ない	スポーツをする場所や機会が少ない	交通が不便	働き口や仕事が少ない	わからない	その他	特になし	無回答
全体	3.9	4.0	6.4	10.1	27.8	13.8	17.4	17.2	4.1	6.8	7.0	12.1	2.0
子育てをしている	6.6	3.9	5.0	8.1	46.5	38.0	34.1	20.5	4.3	3.5	11.6	8.1	0.8
家族の介護・介助をしている	5.7	9.7	13.7	13.1	26.9	12.6	15.4	26.3	4.6	2.9	6.3	8.6	4.0
していない	3.0	3.1	5.8	10.2	23.7	9.2	14.3	15.3	3.9	8.1	6.3	13.4	1.5

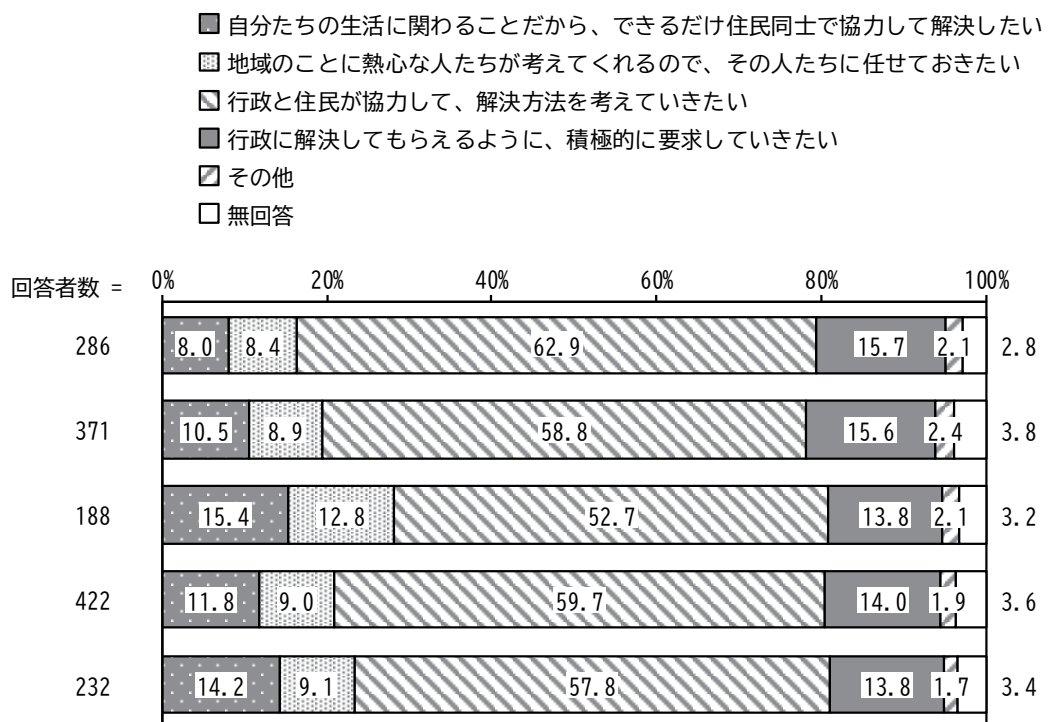
問 20 今後、地域の中で起こる問題に対して、どのような方法で解決するのが良いと思いますか。(〇は1つだけ)

「行政と住民が協力して、解決方法を考えていきたい」の割合が 58.8%と最も高く、次いで「行政に解決してもらえるように、積極的に要求していきたい」の割合が 14.6%、「自分たちの生活に関わることだから、できるだけ住民同士で協力して解決したい」の割合が 11.5%となっています。



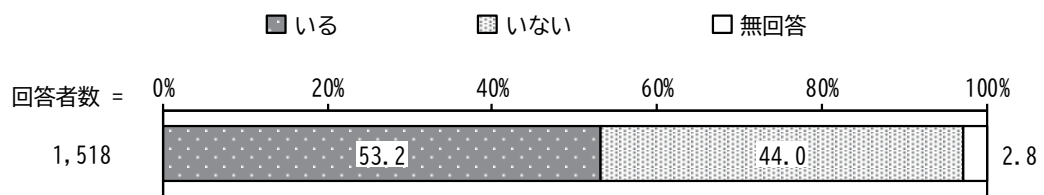
【地区別】

地区別にみると、中部で「行政と住民が協力して、解決方法を考えていきたい」の割合が低くなっています。



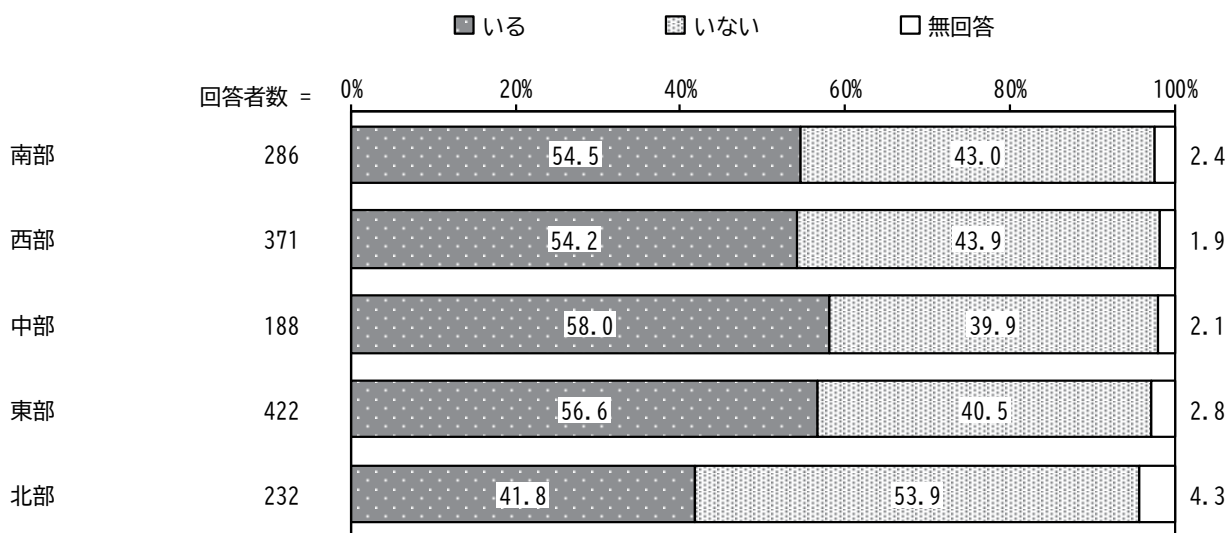
問 21 あなたの住んでいる地域には、多様な生活状況や特性を持つ方々がいると思いますか。(○は1つだけ)

「いる」の割合が53.2%、「いない」の割合が44.0%となっています。



【地区別】

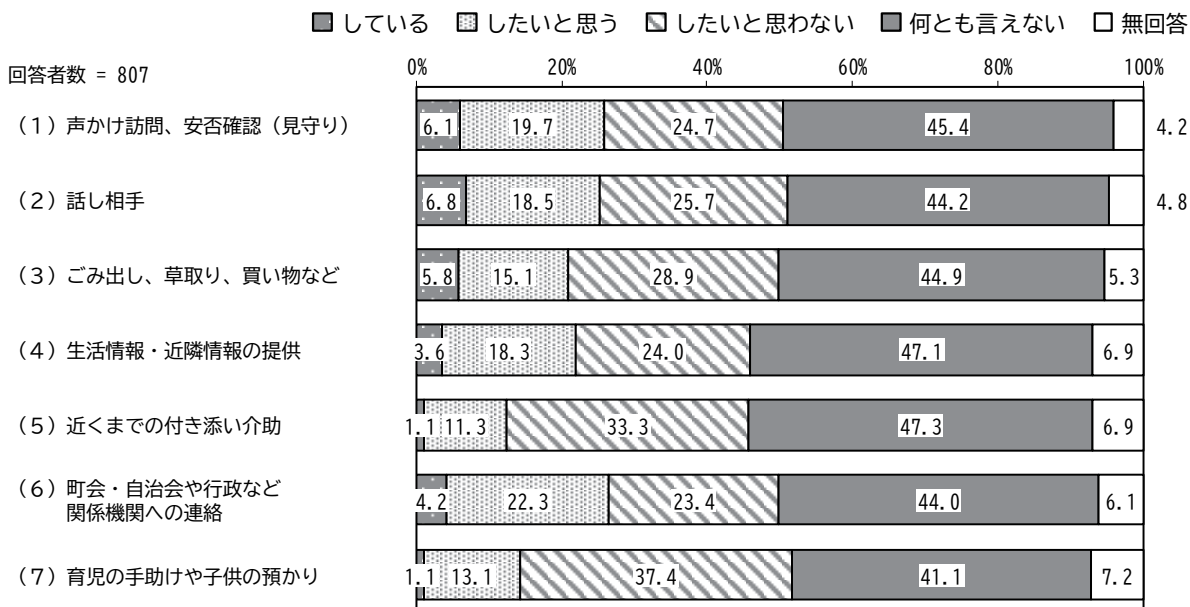
地区別にみると、北部で「いる」の割合が低くなっています。



(問 21 で「いる」とお答えの方に伺います)

問 21-1 地域で手助けを必要としている方に対して、あなたがしているまたはしたいと思う手助けや支援についてお聞きします。((1) ~ (7) それぞれあてはまるものに○)

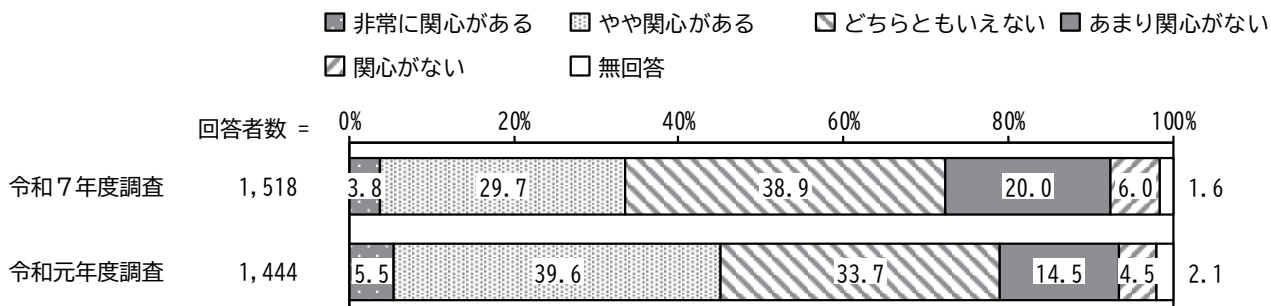
『(2) 話し相手』で「している」、『(6) 町会・自治会や行政など関係機関への連絡』で「したいと思う」、『(7) 育児の手助けや子供の預かり』で「したいと思わない」、『(5) 近くまでの付き添い介助』で「何とも言えない」の割合が高くなっています。



問 22 あなたは、地域での支えあいや助け合いに関心をおもちですか。(○は1つだけ)

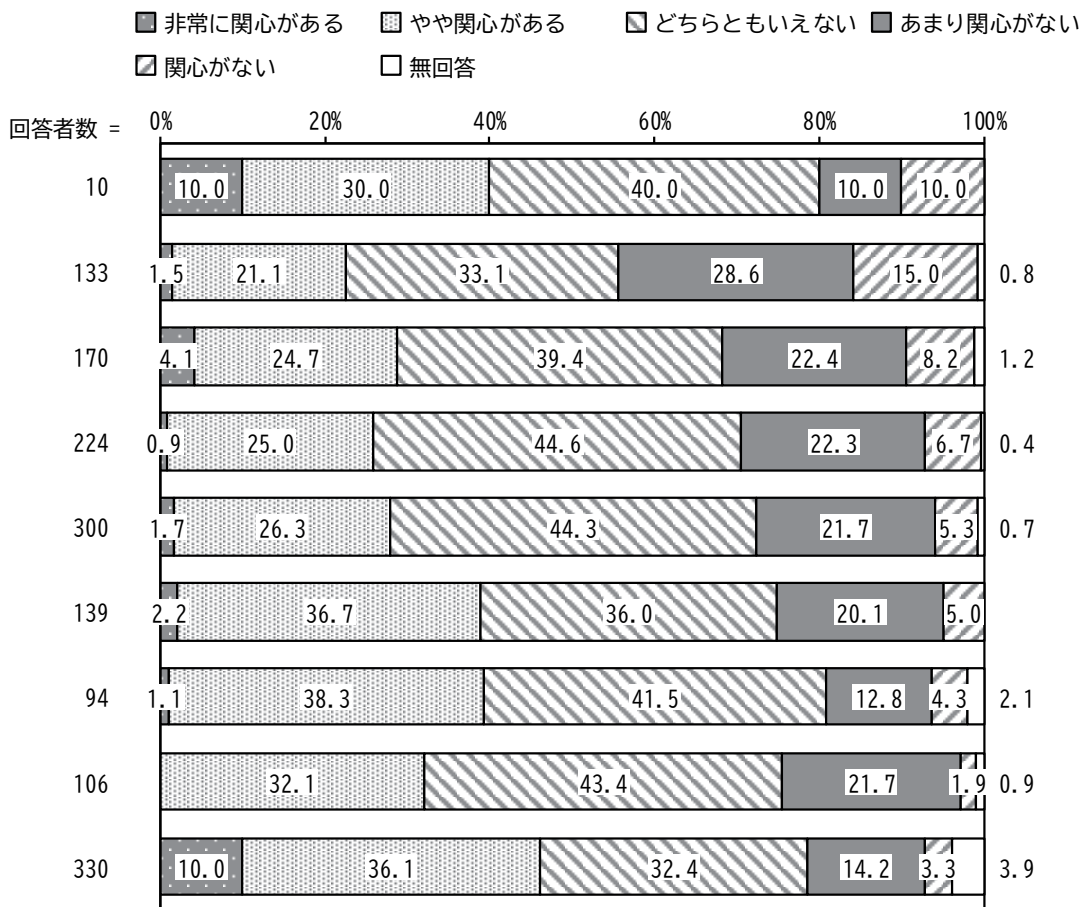
「非常に関心がある」「やや関心がある」を合わせた“関心がある”の割合が 33.5%、「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた“関心がない”の割合が 26.0%となっています。

令和元年度調査と比較すると、“関心がある”の割合が減少しています。



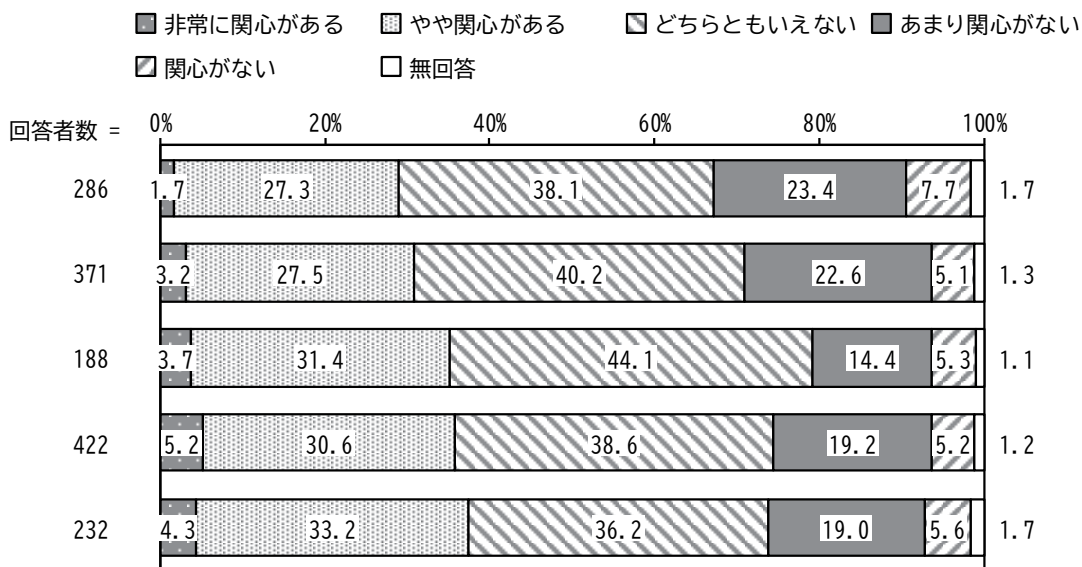
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど“関心がない”の割合が高い傾向にあります。また、75歳以上で「非常に興味がある」の割合が高くなっています。



【地区別】

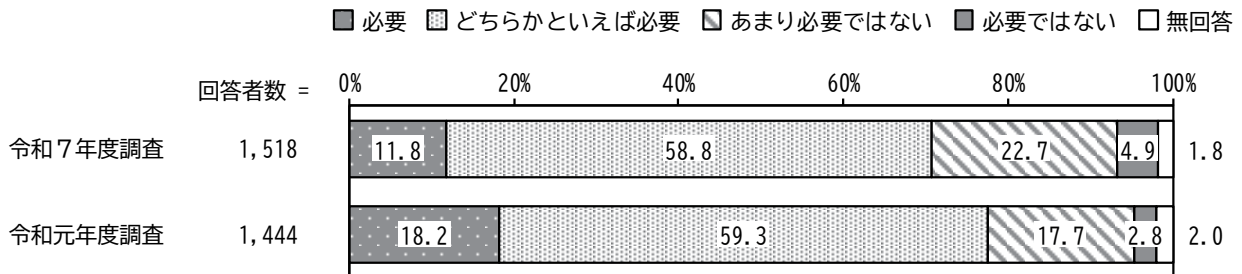
地区別にみると、南部で“関心がない”の割合が高くなっています。



問 23 身近な地域での助け合い活動が必要だと思いますか。(○は1つだけ)

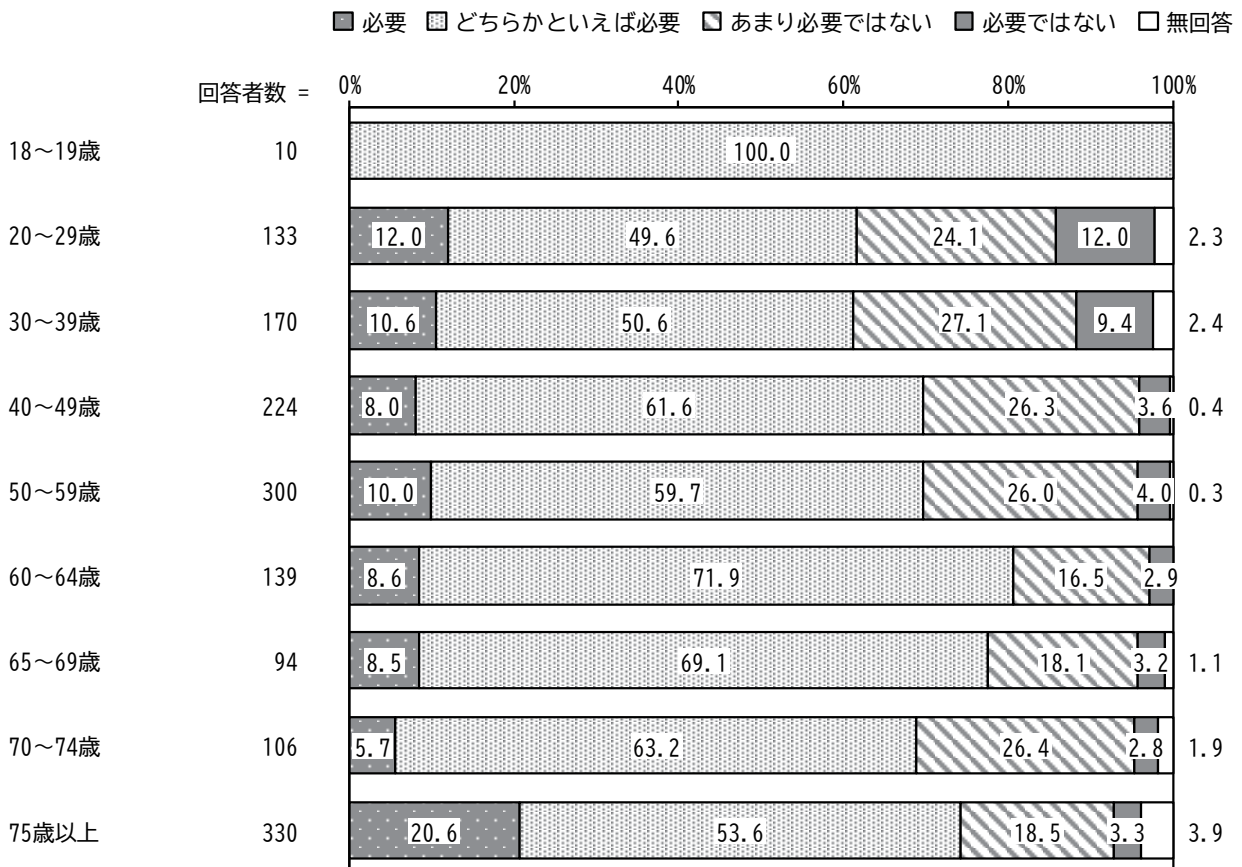
「必要」「どちらかといえば必要」を合わせた“必要”の割合が70.6%、「あまり必要ではない」「必要ではない」を合わせた“必要ではない”の割合が27.6%となっています。

令和元年度調査と比較すると、“必要ではない”の割合が増加しています。



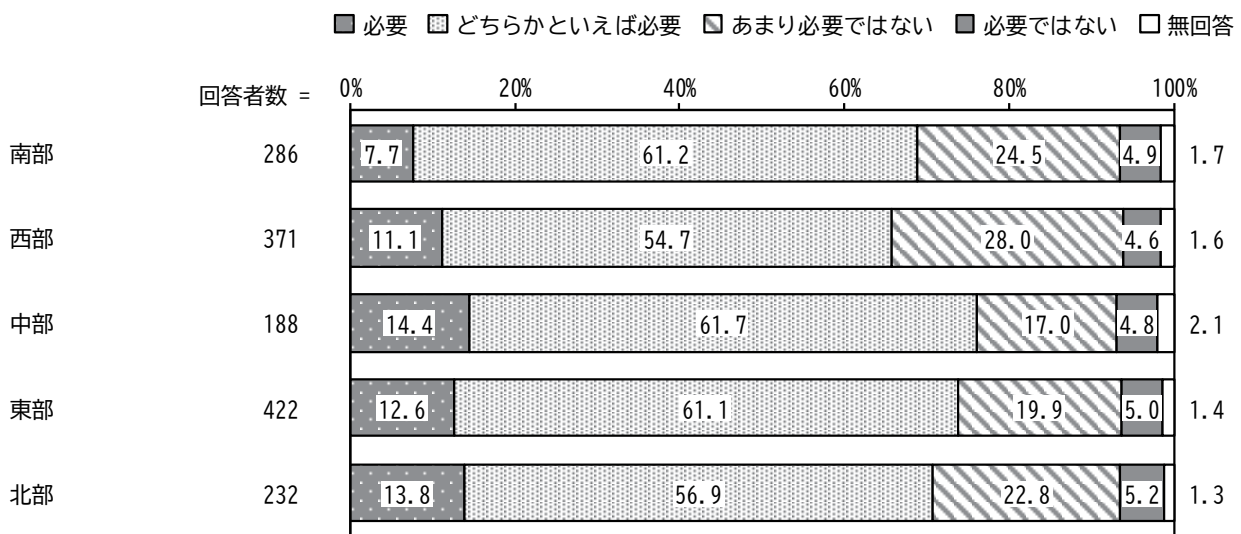
【年齢別】

年齢別にみると、20～29歳、30～39歳で“必要ではない”の割合が高くなっています。



【地区別】

地区別にみると、中部で“必要”、西部で“必要ではない”の割合が高くなっています。

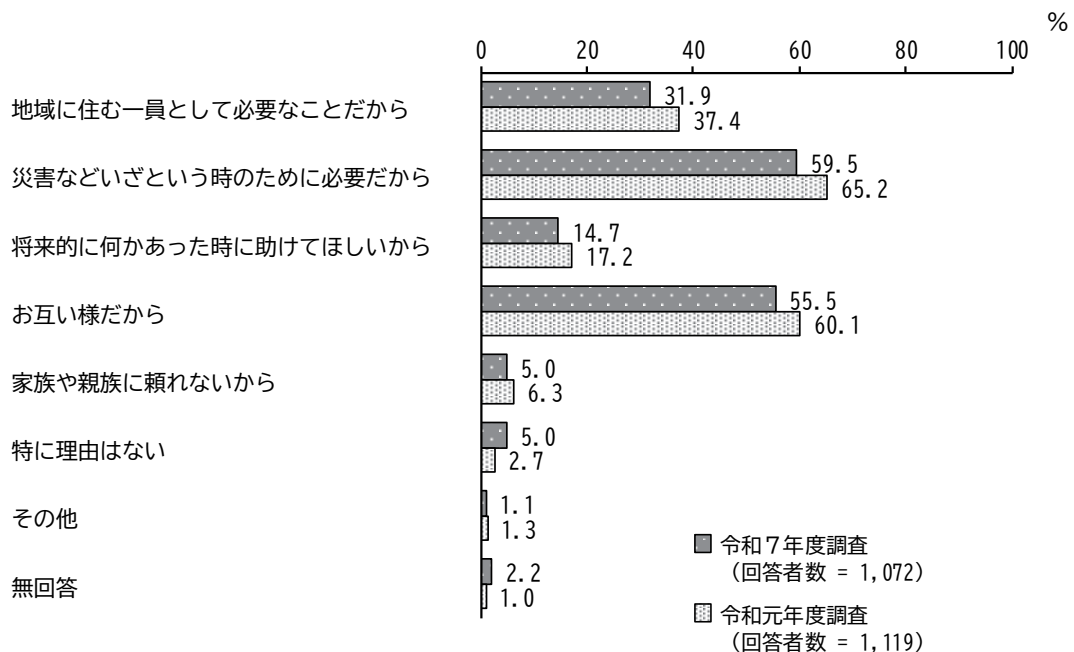


(問 23 で「必要」「どちらかといえば必要」のいずれかにお答えの方に伺います)

問 23-1 それはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

「災害などいざという時のために必要だから」の割合が 59.5%と最も高く、次いで「お互い様だから」の割合が 55.5%、「地域に住む一員として必要なことだから」の割合が 31.9%となっています。

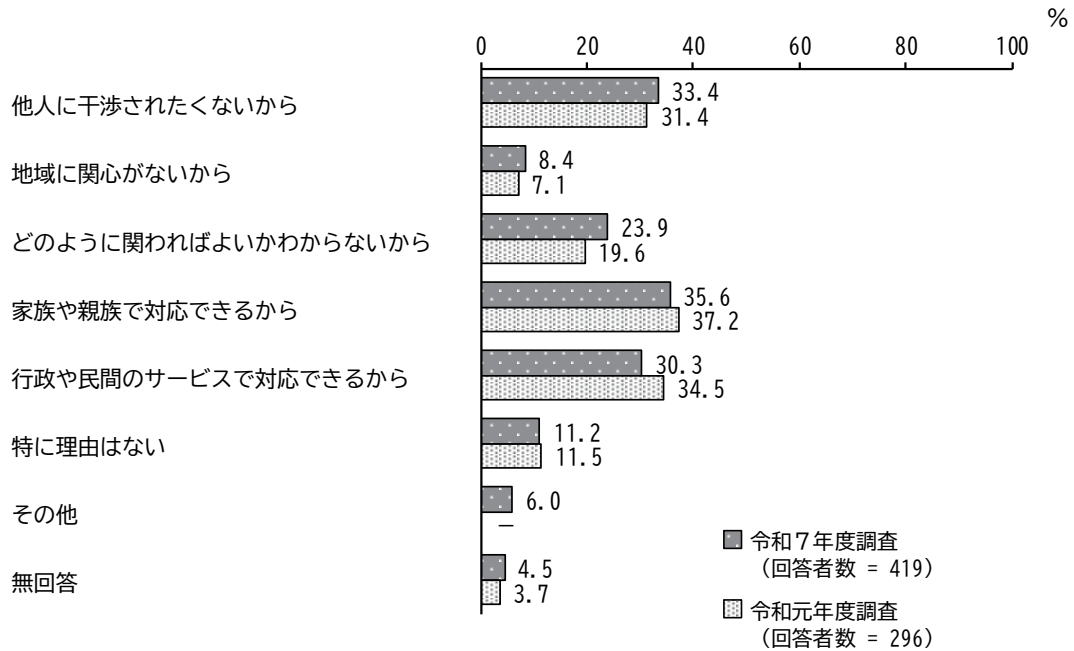
令和元年度調査と比較すると、「地域に住む一員として必要なことだから」「災害などいざという時のために必要だから」の割合が減少しています。



(問 23 で「あまり必要ではない」「必要ではない」のいずれかにお答えの方に伺います)

問 23-2 それはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

「家族や親族で対応できるから」の割合が 35.6%と最も高く、次いで「他人に干渉されたくないから」の割合が 33.4%、「行政や民間のサービスで対応できるから」の割合が 30.3%となっています。
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



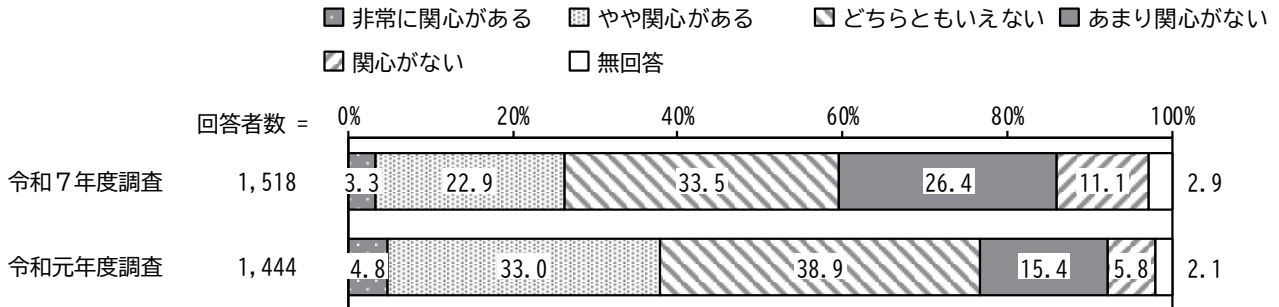
※令和元年度調査では、「その他」がありませんでした。

(4) 地域での活動

問 24 あなたは、ボランティアや市民活動にどの程度関心がありますか。(○は1つだけ)

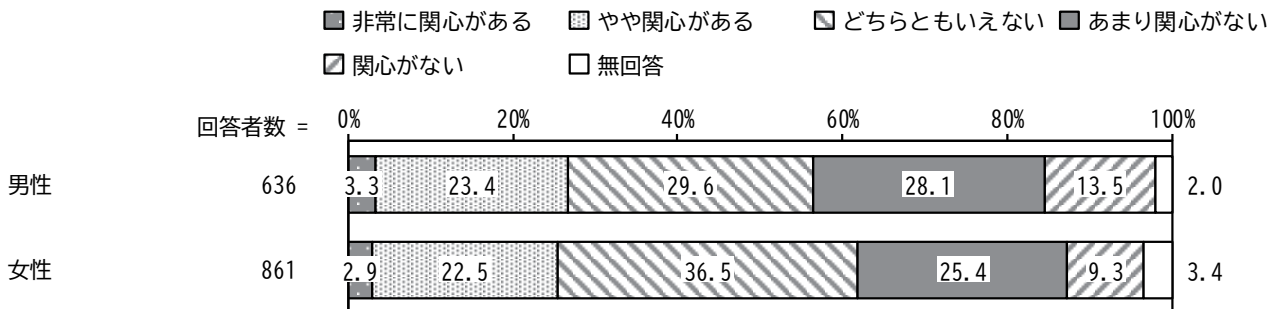
「非常に関心がある」「やや関心がある」を合わせた“関心がある”の割合が 26.2%、「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた“関心がない”の割合が 37.5%となっています。

令和元年度調査と比較すると、“関心がない”の割合が増加しています。



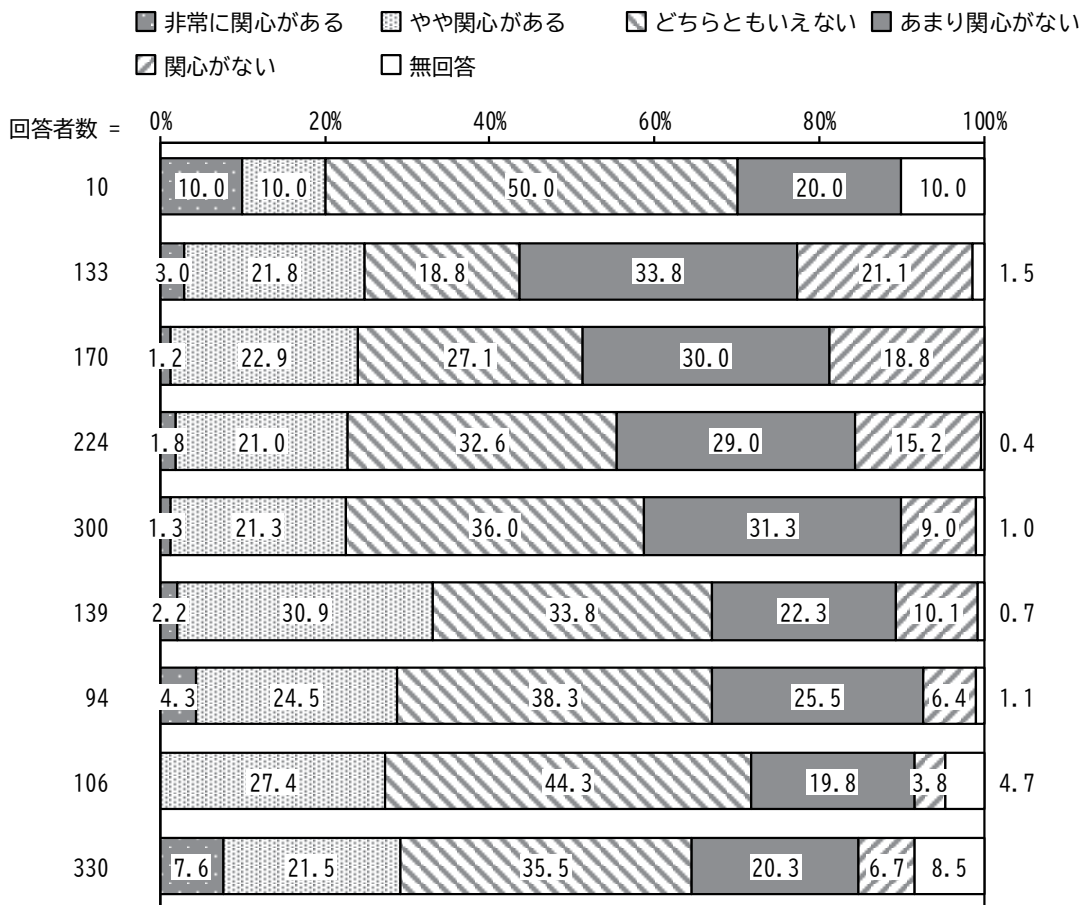
【性別】

性別にみると、男性で“関心がない”の割合が高くなっています。



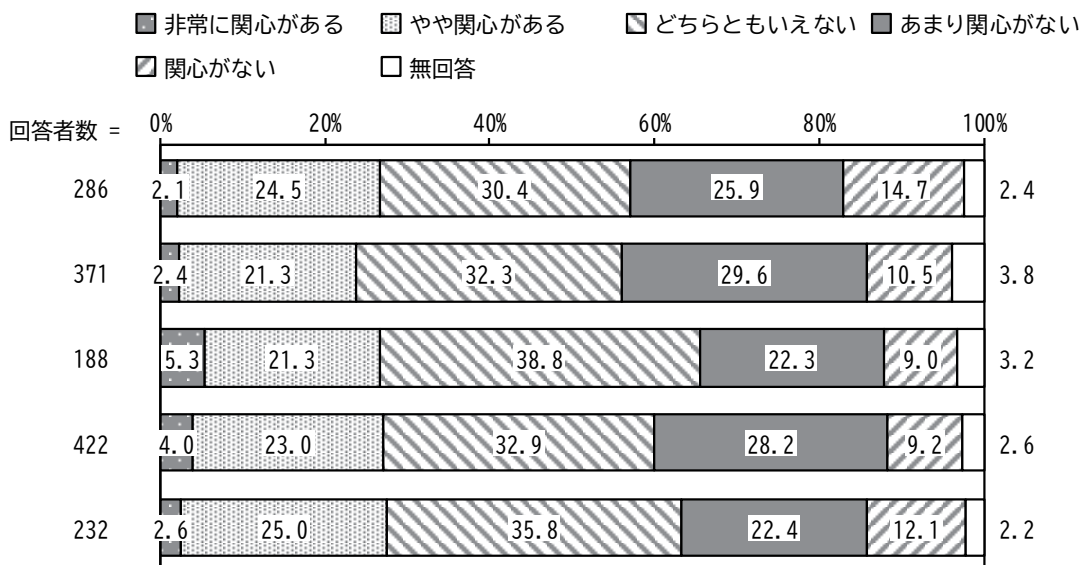
【年齢別】

年齢別にみると、70～74歳から20～29歳まで年齢が下がるほど“関心がない”の割合が高くなっています。



【地区別】

地区別にみると、中部で“関心がない”の割合が低くなっています。

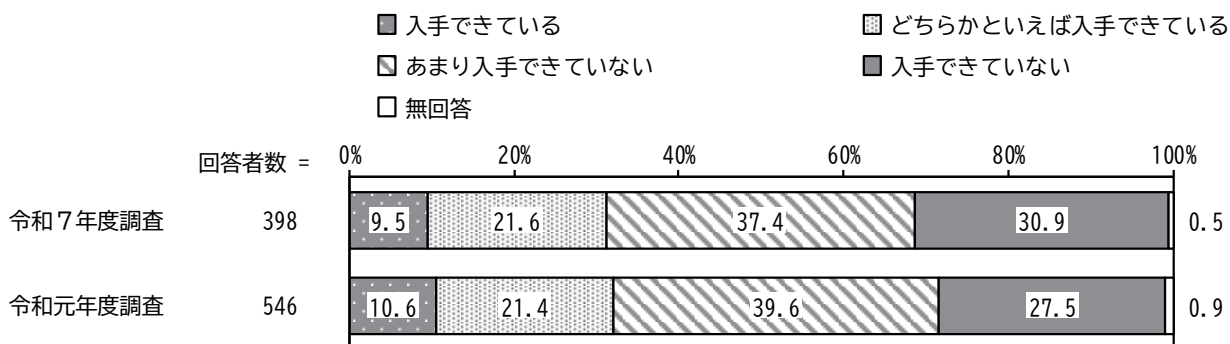


(問 24 で「非常に興味がある」「やや興味がある」のいずれかにお答えの方に伺います)

問 24-1 あなたは、ボランティアや市民活動の情報を入手できていますか。
(○は1つだけ)

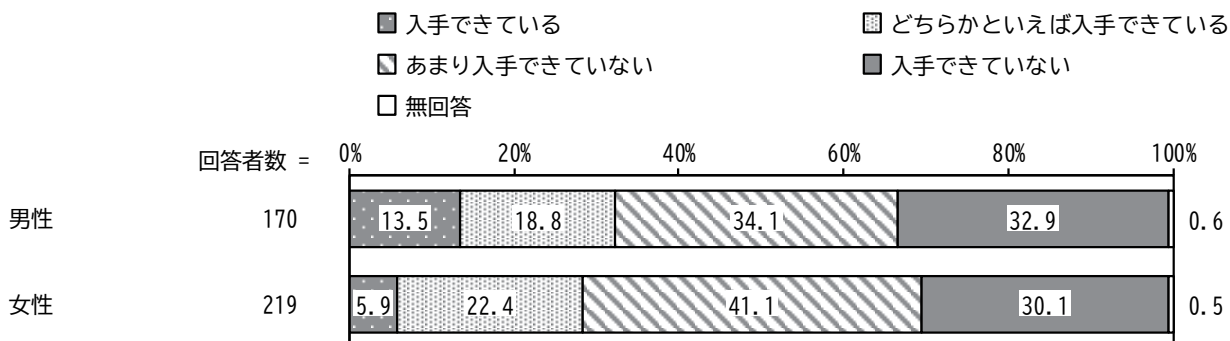
「入手できている」「どちらかといえば入手できている」を合わせた“入手できている”の割合が31.1%、「あまり入手できていない」「入手できていない」を合わせた“入手できていない”の割合が68.3%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



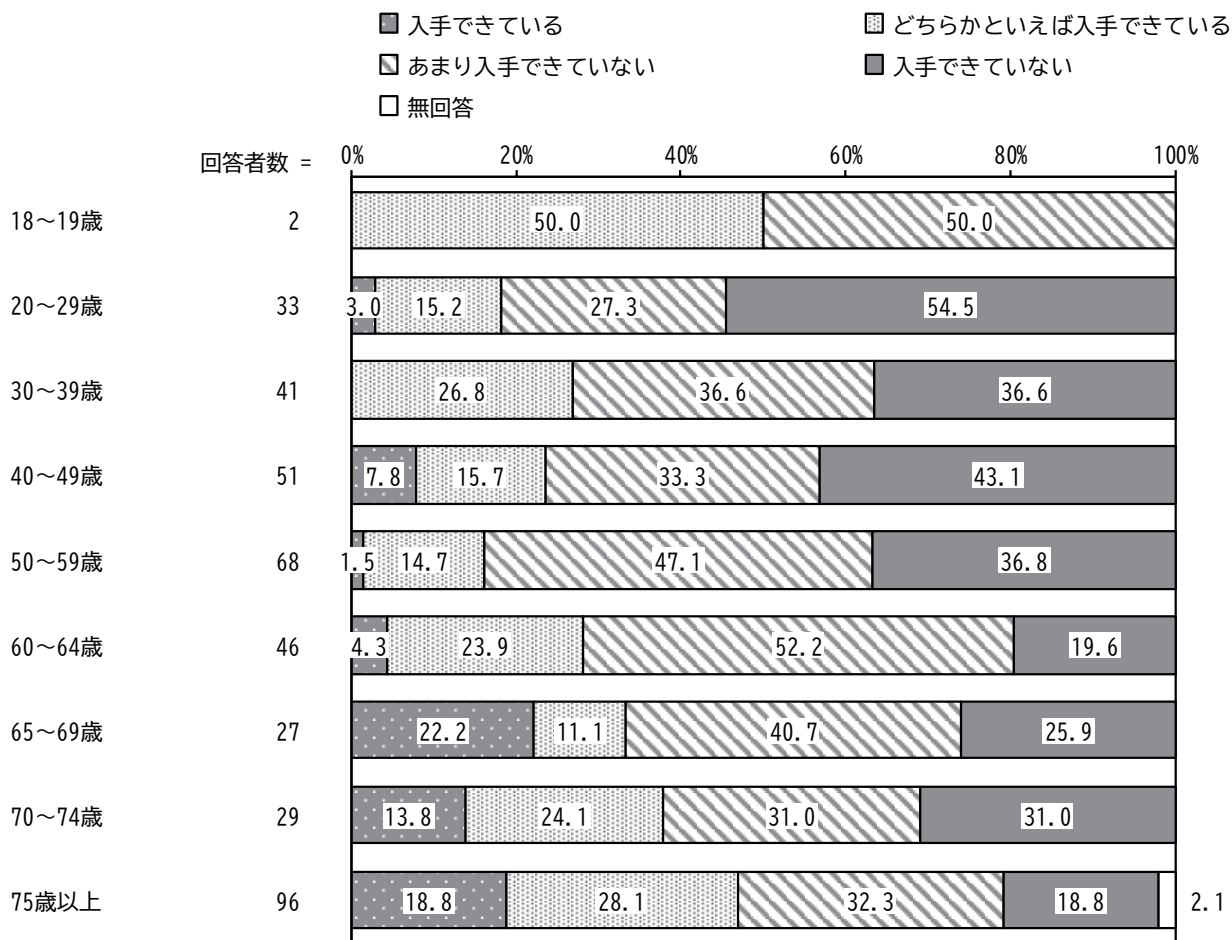
【性別】

性別にみると、男性で「入手できている」の割合が高く、女性で「あまり入手できていない」の割合が高くなっています。



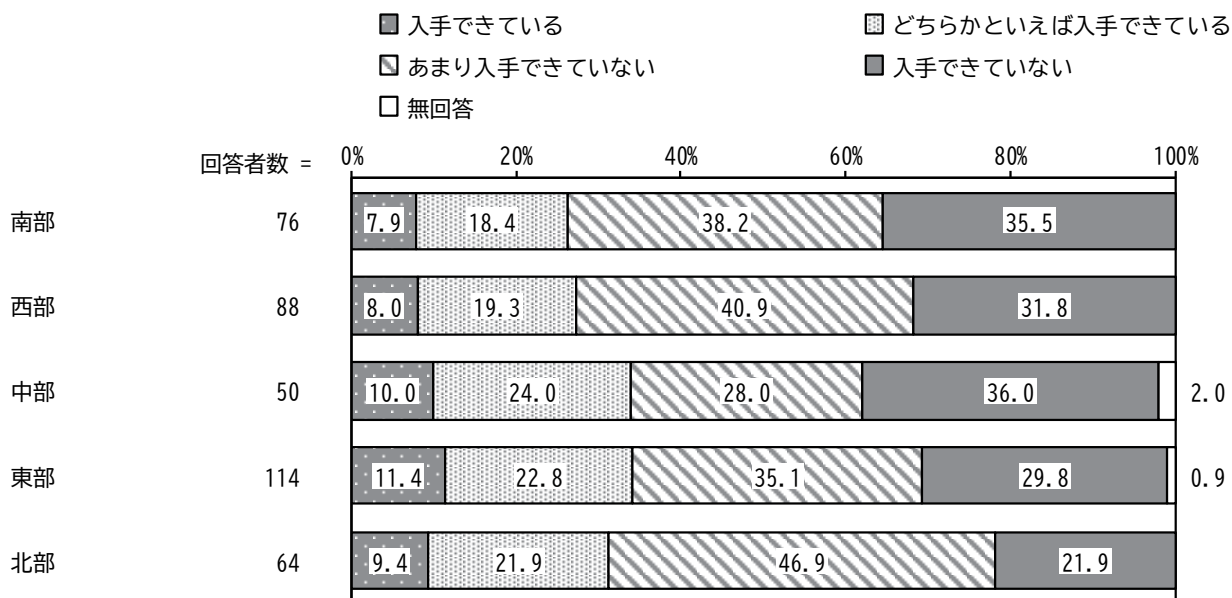
【年齢別】

年齢別にみると、50～59歳から75歳以上まで年齢が上がるほど“入手できている”の割合が高くなっています。また、60～64歳で「あまり入手できていない」、20～29歳で「入手できていない」の割合が高くなっています。



【地区別】

地区別にみると、南部、西部で“入手できていない”の割合が高くなっています。

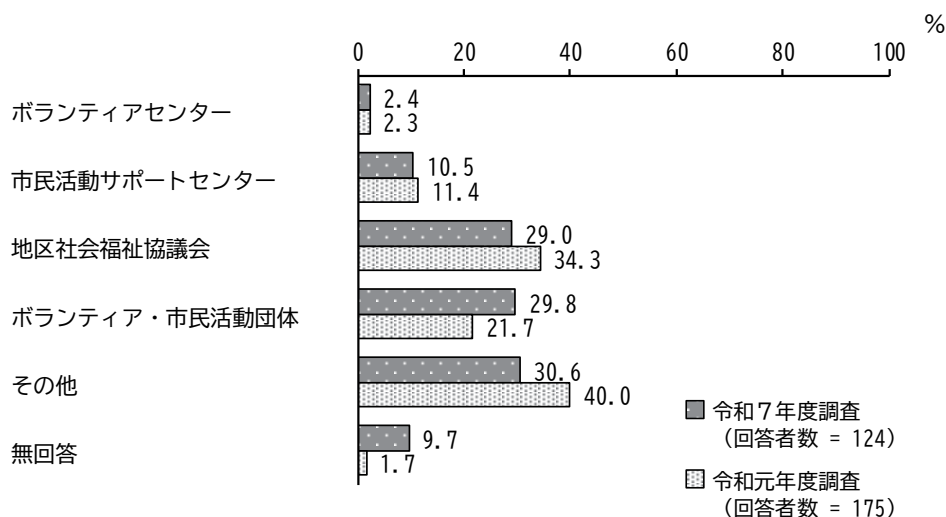


(問 24-1 で「入手できている」「どちらかといえば入手できている」のいずれかにお答えの方に伺います)

問 24-2 あなたは、ボランティアや市民活動の情報をどこで入手していますか。
(あてはまるものすべてに○)

「ボランティア・市民活動団体」の割合が 29.8%と最も高く、次いで「地区社会福祉協議会」の割合が 29.0%、「市民活動サポートセンター」の割合が 10.5%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「ボランティア・市民活動団体」の割合が増加しています。一方、「地区社会福祉協議会」の割合が減少しています。



【年齢別】

年齢別にみると、50～59歳から75歳以上まで年齢が上がるほど「地区社会福祉協議会」の割合が高く、50～59歳から20～29歳まで年齢が下がるほど「市民活動サポートセンター」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	ボランティアセンター	市民活動サポートセンター	地区社会福祉協議会	ボランティア・市民活動団体	その他	無回答
全体	124	2.4	10.5	29.0	29.8	30.6	9.7
18～19歳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
20～29歳	6	16.7	33.3	0.0	33.3	16.7	0.0
30～39歳	11	9.1	18.2	0.0	36.4	36.4	0.0
40～49歳	12	0.0	16.7	25.0	41.7	50.0	0.0
50～59歳	11	0.0	0.0	9.1	18.2	72.7	0.0
60～64歳	13	0.0	15.4	15.4	30.8	30.8	15.4
65～69歳	9	0.0	0.0	22.2	44.4	44.4	0.0
70～74歳	11	0.0	9.1	36.4	27.3	27.3	9.1
75歳以上	45	2.2	4.4	48.9	28.9	13.3	17.8

【地区別】

地区別にみると、南部で「ボランティア・市民活動団体」の割合が高くなっています。

単位：％

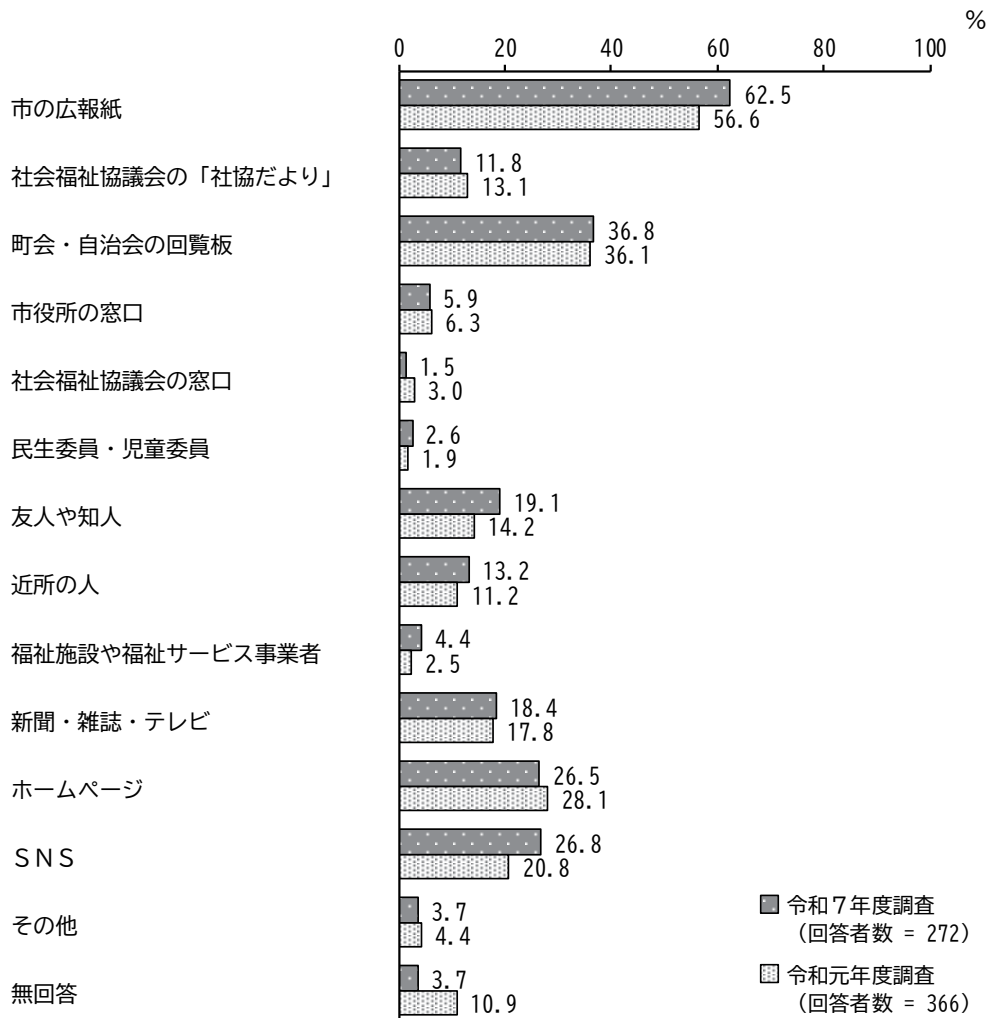
区分	回答者数 (件)	ボ ラ ン テ ィ ア セ ン タ ー	市 民 活 動 サ ポ ー ト セ ン タ ー	会 地 区 社 会 福 祉 協 議	ボ ラ ン テ ィ ア ・ 市 民 活 動 団 体	そ の 他	無 回 答
全 体	124	2.4	10.5	29.0	29.8	30.6	9.7
南部	20	5.0	15.0	15.0	50.0	20.0	0.0
西部	24	4.2	8.3	29.2	20.8	41.7	8.3
中部	17	5.9	11.8	29.4	35.3	23.5	11.8
東部	39	0.0	5.1	30.8	23.1	33.3	17.9
北部	20	0.0	10.0	30.0	35.0	35.0	5.0

(問 24-1 で「あまり入手できていない」「入手できていない」のいずれかにお答えの方に伺います)

問 24-3 あなたは、ボランティアや市民活動の情報を誰(どこ)からなら入手しやすいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「市の広報紙」の割合が 62.5%と最も高く、次いで「町会・自治会の回覧板」の割合が 36.8%、「SNS」の割合が 26.8%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「市の広報紙」「SNS」の割合が増加しています。



【性別】

性別にみると、男性で「新聞・雑誌・テレビ」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	市の広報紙	社会福祉協議会の「社協だより」	町会・自治会の回覧板	市役所の窓口	社会福祉協議会の窓口	民生委員・児童委員	友人や知人	近所の人	福祉施設や福祉サービス事業者	新聞・雑誌・テレビ	ホームページ	SNS	その他	無回答
全体	272	62.5	11.8	36.8	5.9	1.5	2.6	19.1	13.2	4.4	18.4	26.5	26.8	3.7	3.7
男性	114	64.0	13.2	39.5	5.3	0.9	0.9	18.4	14.0	5.3	21.1	28.1	27.2	3.5	1.8
女性	156	60.9	10.9	34.6	6.4	1.9	3.8	19.9	12.2	3.8	16.0	25.6	26.9	3.8	5.1

【年齢別】

年齢別にみると、20～29歳から65～69歳まで年齢が上がるほど「市の広報紙」の割合が高くなっています。また、75歳以上で「友人や知人」、40～49歳、50～59歳で「ホームページ」、20～29歳で「SNS」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	市の広報紙	社会福祉協議会の「社協だより」	町会・自治会の回覧板	市役所の窓口	社会福祉協議会の窓口	民生委員・児童委員	友人や知人	近所の人	福祉施設や福祉サービス事業者	新聞・雑誌・テレビ	ホームページ	SNS	その他	無回答
全体	272	62.5	11.8	36.8	5.9	1.5	2.6	19.1	13.2	4.4	18.4	26.5	26.8	3.7	3.7
18～19歳	1	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
20～29歳	27	33.3	0.0	18.5	3.7	0.0	0.0	25.9	11.1	3.7	25.9	22.2	55.6	0.0	0.0
30～39歳	30	43.3	10.0	46.7	10.0	3.3	3.3	26.7	13.3	3.3	13.3	30.0	36.7	3.3	3.3
40～49歳	39	48.7	5.1	23.1	5.1	0.0	2.6	10.3	12.8	2.6	15.4	41.0	46.2	10.3	0.0
50～59歳	57	59.6	12.3	24.6	7.0	0.0	0.0	17.5	7.0	3.5	21.1	38.6	31.6	1.8	1.8
60～64歳	33	78.8	6.1	48.5	3.0	0.0	3.0	12.1	15.2	3.0	24.2	27.3	12.1	9.1	0.0
65～69歳	18	94.4	27.8	55.6	5.6	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	16.7	38.9	16.7	0.0	0.0
70～74歳	18	72.2	16.7	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0	11.1	5.6	5.6	16.7	0.0	5.6	11.1
75歳以上	49	77.6	20.4	44.9	2.0	6.1	8.2	30.6	20.4	10.2	18.4	0.0	6.1	0.0	12.2

【地区別】

地区別にみると、中部で「市の広報紙」「近所の人」、北部で「町会・自治会の回覧板」、東部で「市役所の窓口」「新聞・雑誌・テレビ」「ホームページ」、西部で「福祉施設や福祉サービス事業者」、南部で「SNS」の割合が高くなっています。

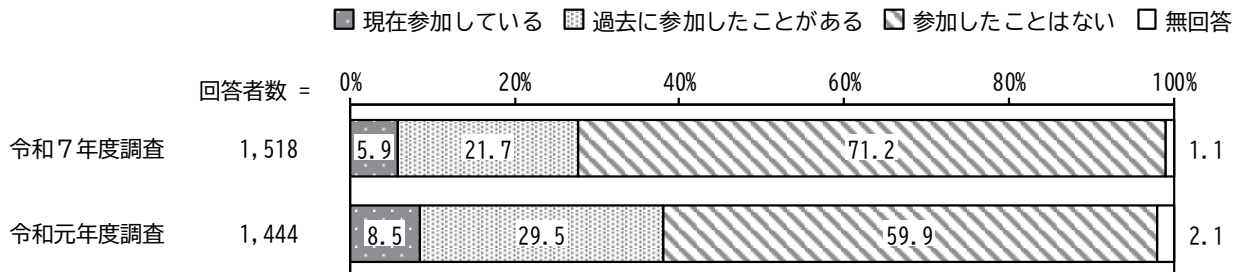
単位：％

区分	回答者数(件)	市の広報紙	社会福祉協議会の「社協だより」	町会・自治会の回覧板	市役所の窓口	社会福祉協議会の窓口	民生委員・児童委員	友人や知人	近所の人	福祉施設や福祉サービス事業者	新聞・雑誌・テレビ	ホームページ	SNS	その他	無回答
全体	272	62.5	11.8	36.8	5.9	1.5	2.6	19.1	13.2	4.4	18.4	26.5	26.8	3.7	3.7
南部	56	62.5	10.7	23.2	3.6	1.8	1.8	21.4	12.5	0.0	17.9	28.6	33.9	3.6	0.0
西部	64	56.3	7.8	40.6	4.7	4.7	3.1	18.8	14.1	9.4	14.1	23.4	26.6	1.6	7.8
中部	32	71.9	15.6	40.6	6.3	0.0	3.1	18.8	18.8	3.1	21.9	31.3	21.9	0.0	0.0
東部	74	63.5	14.9	32.4	12.2	0.0	4.1	21.6	13.5	5.4	24.3	33.8	31.1	6.8	2.7
北部	44	61.4	11.4	54.5	0.0	0.0	0.0	13.6	9.1	2.3	13.6	13.6	15.9	2.3	6.8

問 25 あなたは、ボランティア、市民活動をしていますか。または、したことがありますか。(○は1つだけ)

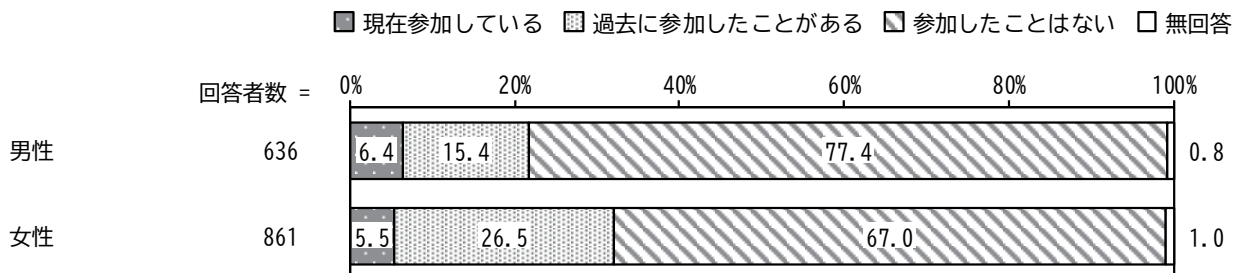
「現在参加している」の割合が5.9%、「過去に参加したことがある」の割合が21.7%、「参加したことはない」の割合が71.2%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「参加したことはない」の割合が増加しています。一方、「過去に参加したことがある」の割合が減少しています。



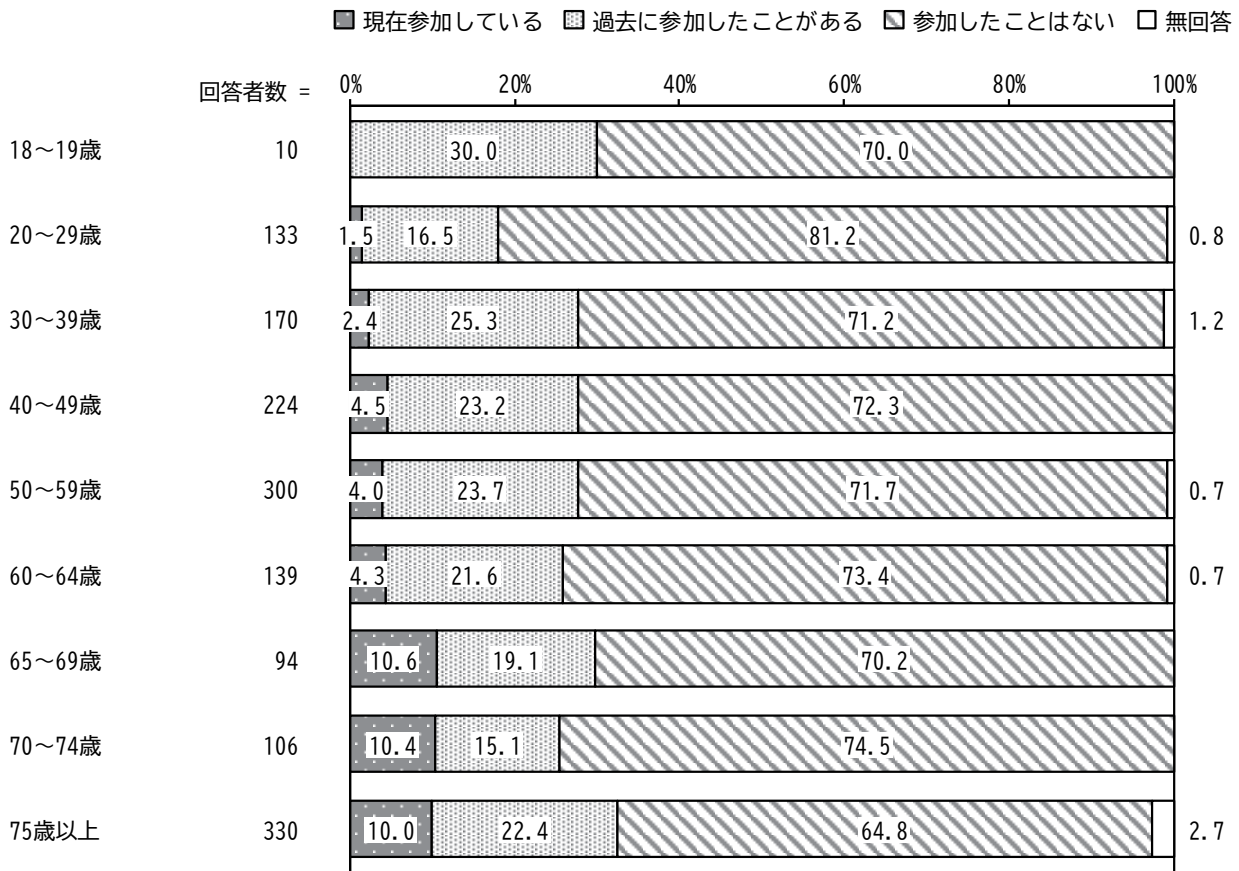
【性別】

性別にみると、男性で「参加したことはない」の割合が高く、女性で「過去に参加したことがある」の割合が高くなっています。



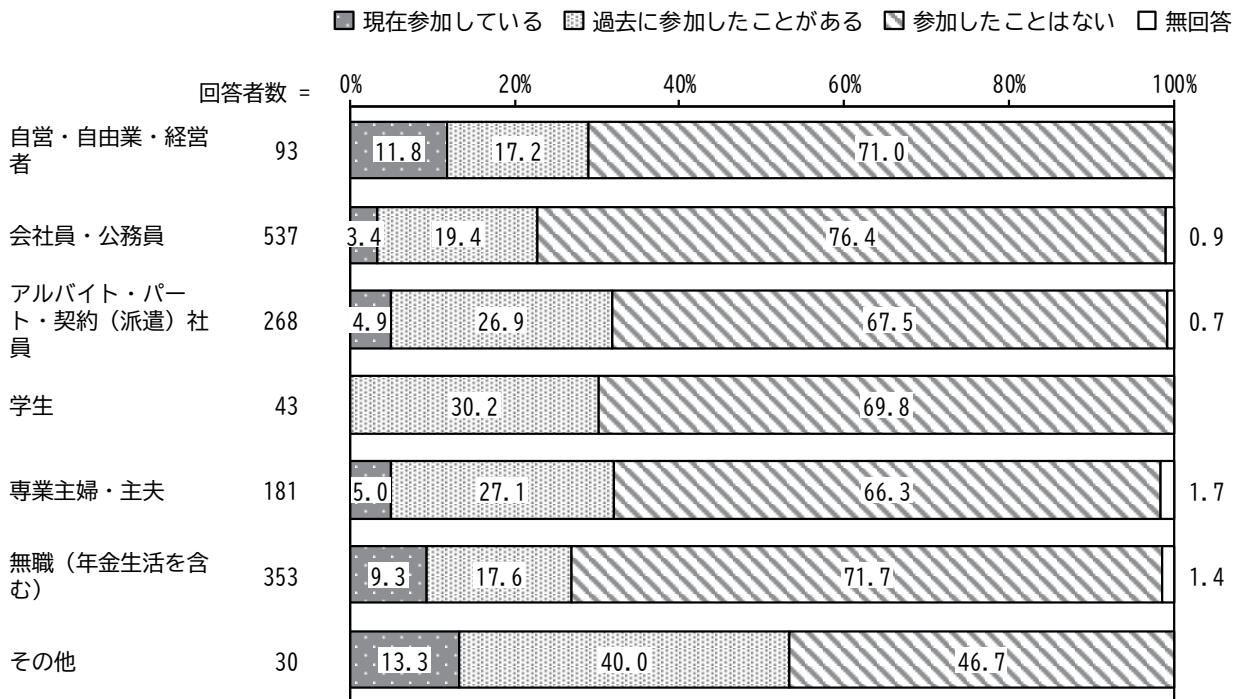
【年齢別】

年齢別にみると、65歳以上で「現在参加している」の割合が高くなっています。また、70～74歳から30～39歳まで年齢が下がるほど「過去に参加したことがある」の割合が高い傾向にあります。また、20～29歳で「参加したことはない」の割合が高くなっています。



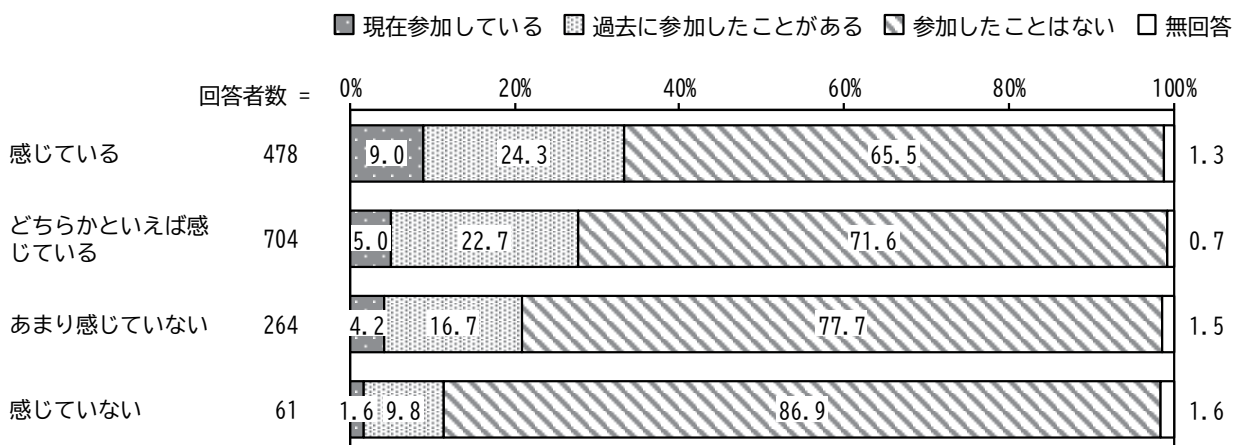
【職業別】

職業別にみると、『自営・自由業・経営者』で「現在参加している」、『学生』で「過去に参加したことがある」、「過去に参加したことがある」、『会社員・公務員』で「参加したことはない」の割合が高くなっています。



【生きがいの感じ方別】

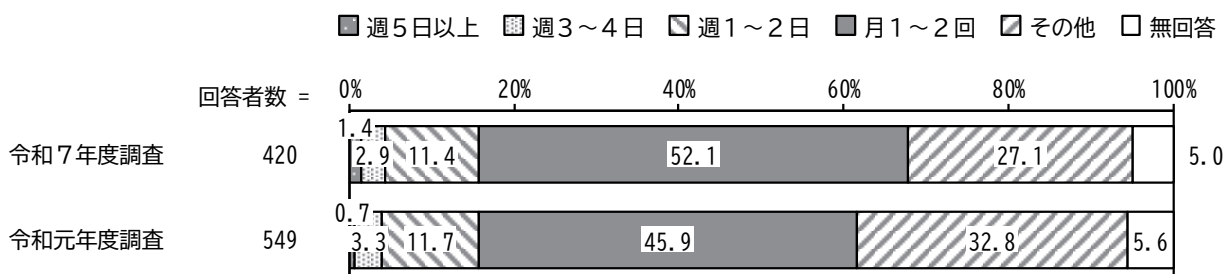
生きがいの感じ方別にみると、生きがいを感じていない人ほど「参加したことはない」の割合が高く、「過去に参加したことがある」の割合が低くなっています。



(問 25 で「現在参加している」「過去に参加したことがある」のいずれかにお答えの方に伺います)

問 25-1 どれぐらいの頻度で参加していますか。(または、参加していましたか。)
(○は1つだけ)

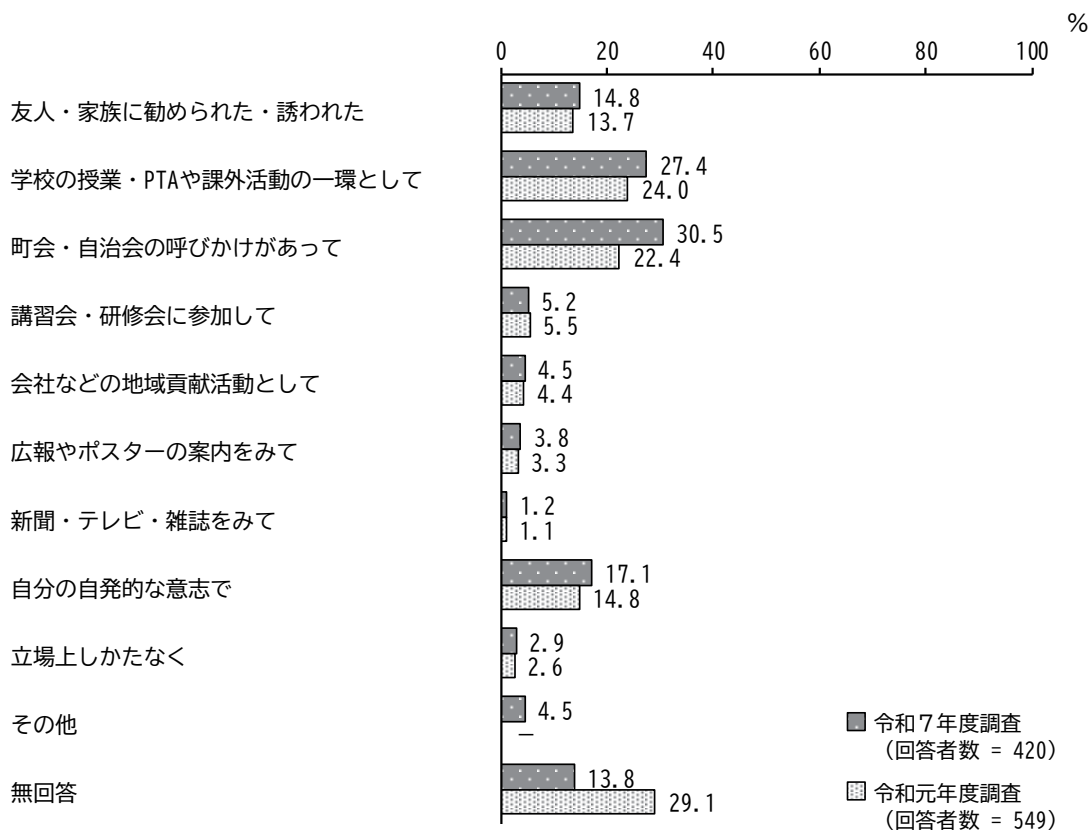
「月1～2回」の割合が52.1%と最も高く、次いで「週1～2日」の割合が11.4%となっています。
令和元年度調査と比較すると、「月1～2回」の割合が増加しています。



(問 25 で「現在参加している」「過去に参加したことがある」のいずれかにお答えの方に伺います)

問 25-2 ボランティアや市民活動に参加した「きっかけ」は何ですか。(○は2つまで)

「町会・自治会の呼びかけがあって」の割合が30.5%と最も高く、次いで「学校の授業・PTAや課外活動の一環として」の割合が27.4%、「自分の自発的な意志で」の割合が17.1%となっています。
令和元年度調査と比較すると、「町会・自治会の呼びかけがあって」の割合が増加しています。



※令和元年度調査では、「その他」がありませんでした。

【性別】

性別にみると、男性で「町会・自治会の呼びかけがあって」「会社などの地域貢献活動として」の割合が高く、女性で「学校の授業・PTA や課外活動の一環として」の割合が高くなっています。

単位：％

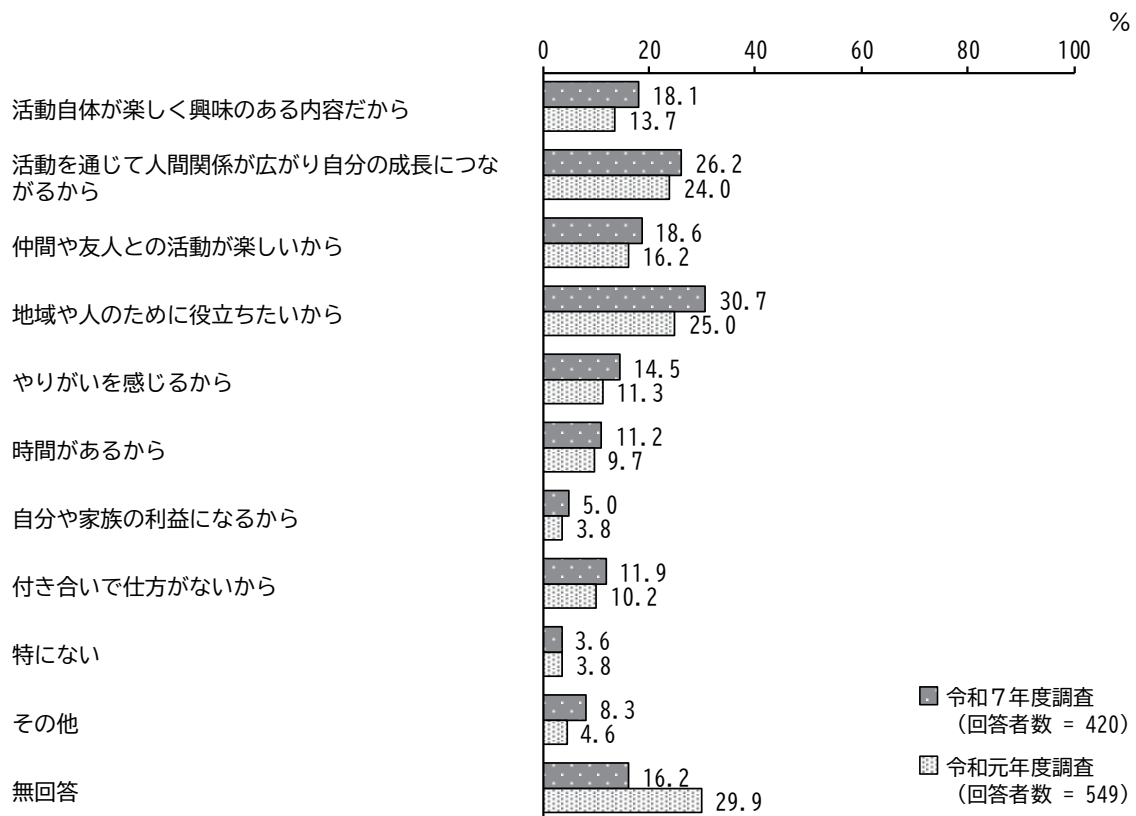
区分	回答者数(件)	友人・家族に勧められた・誘われた	学校の授業・PTAや課外活動の一環として	町会・自治会の呼びかけがあって	講習会・研修会に参加して	会社などの地域貢献活動として	広報やポスターの案内をみて	新聞・テレビ・雑誌をみて	自分の自発的な意志で	立場上しかたなく	その他	無回答
全体	420	14.8	27.4	30.5	5.2	4.5	3.8	1.2	17.1	2.9	4.5	13.8
男性	139	13.7	16.5	41.7	3.6	7.9	5.0	0.7	16.5	5.0	2.2	12.2
女性	275	14.9	33.5	24.7	5.8	2.5	3.3	1.5	17.5	1.8	5.5	14.9

(問 25 で「現在参加している」「過去に参加したことがある」のいずれかにお答えの方に伺います)

問 25-3 ボランティアや市民活動に現在参加しているまたは過去に参加していた理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「地域や人のために役立ちたいから」の割合が 30.7%と最も高く、次いで「活動を通じて人間関係が広がり自分の成長につながるから」の割合が 26.2%、「仲間や友人との活動が楽しいから」の割合が 18.6%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「地域や人のために役立ちたいから」の割合が増加しています。



【性別】

性別にみると、男性で「地域や人のために役立ちたいから」「やりがいを感じるから」の割合が高くなっています。

単位：％

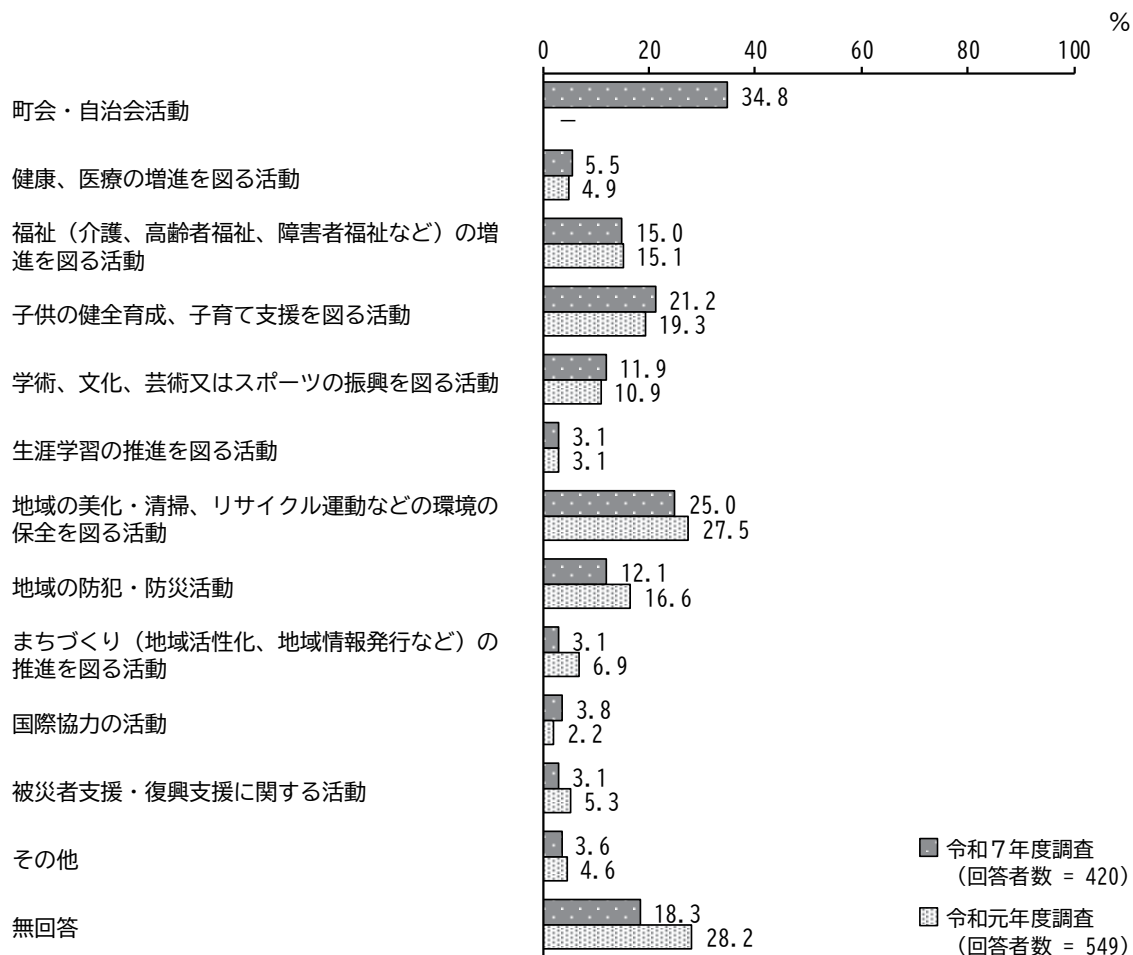
区分	回答者数(件)	活動自体が楽しく興味のある内容だから	活動を通じて人間関係が広がり自分の成長につながるから	仲間や友人との活動が楽しいから	地域や人のために役立ちたいから	やりがいを感じるから	時間があるから	自分や家族の利益になるから	付き合いで仕方がないから	特にない	その他	無回答
全体	420	18.1	26.2	18.6	30.7	14.5	11.2	5.0	11.9	3.6	8.3	16.2
男性	139	15.8	23.0	15.1	41.7	19.4	12.2	3.6	15.1	1.4	7.9	10.8
女性	275	19.3	27.6	20.0	25.5	12.0	10.9	5.8	10.5	4.7	8.4	18.5

(問 25 で「現在参加している」「過去に参加したことがある」のいずれかにお答えの方に伺います)

問 25-4 参加している(参加した)ボランティアや市民活動は、どのような内容のものですか。(あてはまるものすべてに○)

「町会・自治会活動」の割合が 34.8%と最も高く、次いで「地域の美化・清掃、リサイクル運動などの環境の保全を図る活動」の割合が 25.0%、「子供の健全育成、子育て支援を図る活動」の割合が 21.2%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※令和元年度調査では、「町会・自治会活動」がありませんでした。

【性別】

性別にみると、男性で「町会・自治会活動」の割合が高く、女性で「福祉（介護、高齢者福祉、障害者福祉など）の増進を図る活動」「子供の健全育成、子育て支援を図る活動」の割合が高くなっています。

単位：％

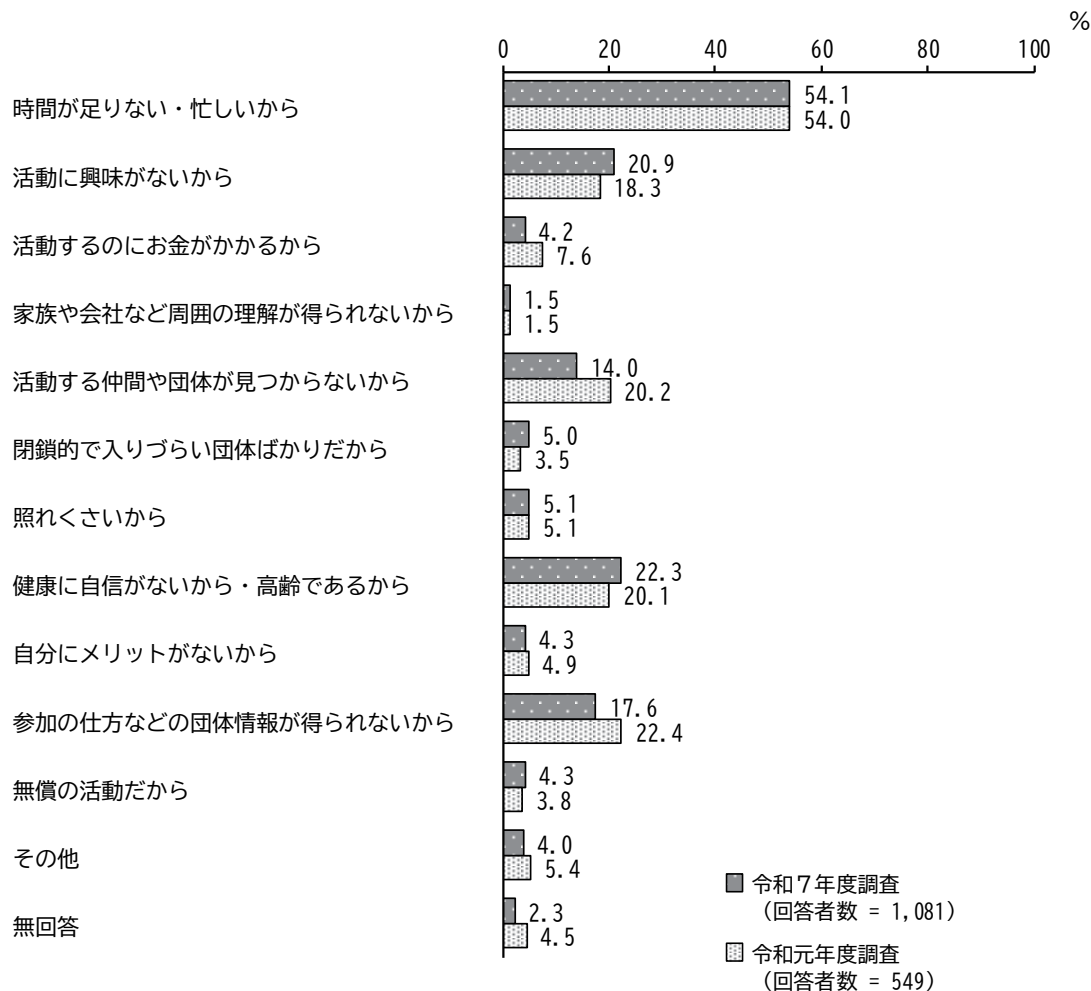
区分	回答者数（件）	町会・自治会活動	健康、医療の増進を図る活動	福祉（介護、高齢者福祉、障害者福祉など）の増進を図る活動	子供の健全育成、子育て支援を図る活動	学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動	生涯学習の推進を図る活動	地域の美化・清掃、リサイクル運動などの環境の保全を図る活動	地域の防犯・防災活動	まちづくり（地域活性化、地域情報発行など）の推進を図る活動	国際協力の活動	被災者支援・復興支援に関する活動	その他	無回答
全体	420	34.8	5.5	15.0	21.2	11.9	3.1	25.0	12.1	3.1	3.8	3.1	3.6	18.3
男性	139	43.9	4.3	9.4	12.9	15.1	2.2	27.3	13.7	5.0	2.2	4.3	4.3	12.2
女性	275	30.2	6.2	17.5	25.8	10.5	3.3	24.0	10.9	2.2	4.7	2.5	3.3	20.7

(問 25 で「参加したことはない」とお答えの方に伺います)

問 25-5 ボランティアや市民活動に参加したことがない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「時間が足りない・忙しいから」の割合が 54.1%と最も高く、次いで「健康に自信がないから・高齢であるから」の割合が 22.3%、「活動に興味がないから」の割合が 20.9%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「活動する仲間や団体が見つからないから」の割合が減少しています。



【性別】

性別にみると、男性で「活動に興味がないから」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	時間が足りない・忙しいから	活動に興味がないから	活動するのにお金がかかるから	家族や会社など周囲の理解が得られないから	活動する仲間や団体が見つからないから	閉鎖的で入りづらい団体ばかりだから	照れくさいから	健康に自信がないから・高齢であるから	自分にメリットがないから	参加の仕方などの団体情報が得られないから	無償の活動だから	その他	無回答
全体	1,081	54.1	20.9	4.2	1.5	14.0	5.0	5.1	22.3	4.3	17.6	4.3	4.0	2.3
男性	492	52.6	25.0	4.5	1.0	15.2	5.7	7.3	23.0	6.1	15.2	4.3	5.1	1.8
女性	577	55.5	17.7	3.8	1.9	13.0	4.3	2.9	21.8	2.6	19.4	4.5	3.1	2.8

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「健康に自信がないから・高齢であるから」の割合が高く、18～19歳から70～74歳まで年齢が上がるほど「活動する仲間や団体が見つからないから」の割合が高い傾向にあります。また、30～39歳、40～49歳、60～64歳で「時間が足りない・忙しいから」、20～29歳で「活動に興味がないから」の割合が高くなっています。

単位：％

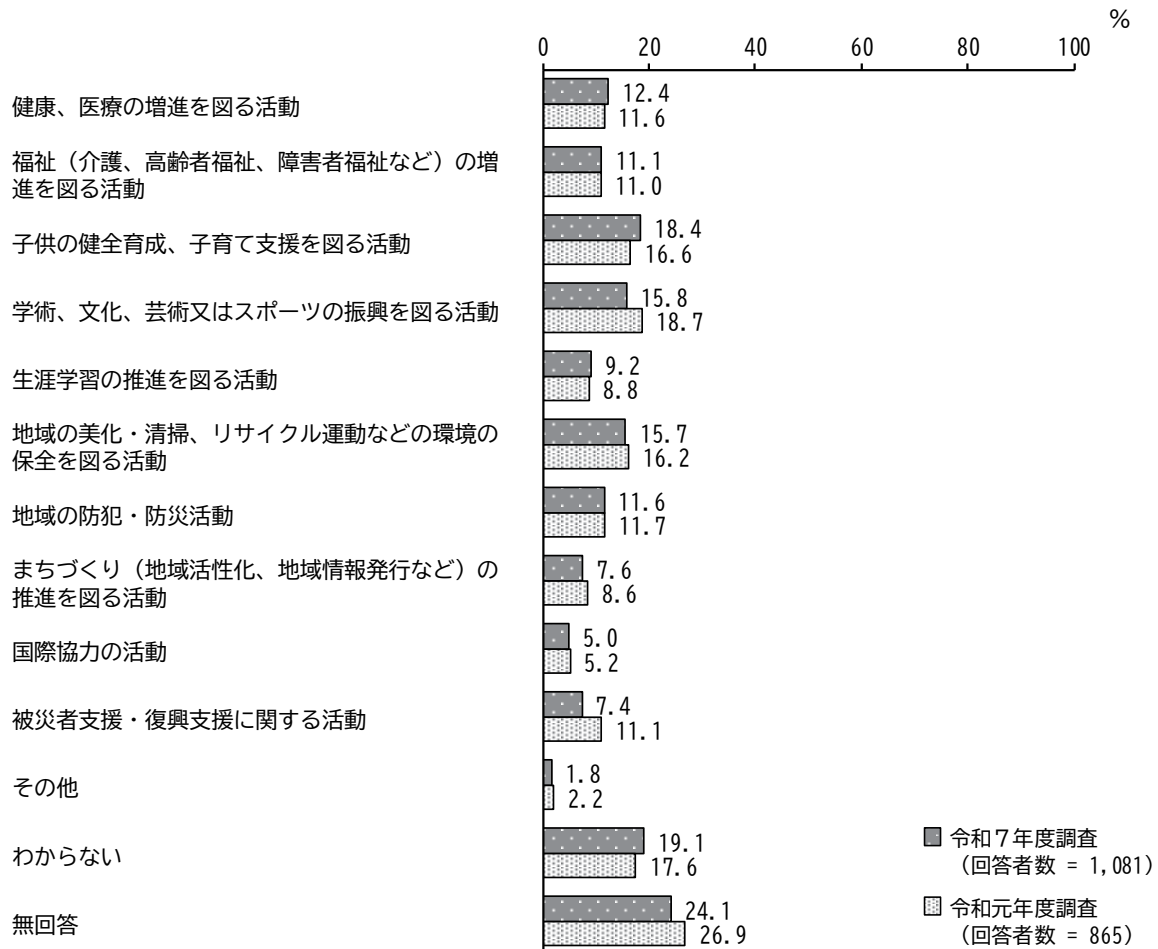
区分	回答者数 (件)	時間が足りない・忙しいから	活動に興味がないから	活動するのにお金がかかるから	家族や会社など周囲の理解が得られないから	活動する仲間や団体が見つからないから	閉鎖的で入りづらい団体ばかりだから	照れくさいから	健康に自信がないから・高齢であるから	自分にメリットがないから	参加の仕方などの団体情報が得られないから	無償の活動だから	その他	無回答
全体	1,081	54.1	20.9	4.2	1.5	14.0	5.0	5.1	22.3	4.3	17.6	4.3	4.0	2.3
18～19歳	7	42.9	42.9	14.3	14.3	0.0	0.0	28.6	0.0	14.3	28.6	0.0	0.0	0.0
20～29歳	108	65.7	35.2	3.7	0.9	7.4	6.5	6.5	1.9	6.5	13.0	4.6	4.6	0.9
30～39歳	121	75.2	28.1	5.8	0.8	9.9	3.3	5.8	2.5	11.6	14.0	6.6	2.5	0.8
40～49歳	162	72.8	21.0	5.6	3.1	12.3	8.0	6.8	5.6	3.7	20.4	8.6	1.9	1.2
50～59歳	215	63.7	23.3	5.6	1.4	14.4	7.0	7.9	7.4	4.2	23.3	6.0	2.3	0.5
60～64歳	102	72.5	10.8	3.9	2.0	17.6	2.9	2.9	14.7	3.9	18.6	2.0	6.9	3.9
65～69歳	66	51.5	21.2	0.0	0.0	16.7	6.1	0.0	24.2	1.5	18.2	4.5	6.1	0.0
70～74歳	79	32.9	16.5	2.5	2.5	17.7	2.5	2.5	54.4	0.0	22.8	1.3	6.3	2.5
75歳以上	214	12.6	13.6	2.3	0.5	17.3	2.8	2.8	63.6	1.4	11.2	0.5	5.1	6.5

(問 25 で「参加したことはない」とお答えの方に伺います)

問 25-6 ボランティアや市民活動に参加するとしたら、どのような内容の活動に参加したいですか。(あてはまるものすべてに○)

「子供の健全育成、子育て支援を図る活動」の割合が 18.4%と最も高く、次いで「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」の割合が 15.8%、「地域の美化・清掃、リサイクル運動などの環境の保全を図る活動」の割合が 15.7%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別】

性別にみると、男性で「地域の防犯・防災活動」「まちづくり（地域活性化、地域情報発行など）の推進を図る活動」の割合が高く、女性で「子供の健全育成、子育て支援を図る活動」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	健康、医療の増進を図る活動	福祉（介護、高齢者福祉、障害者福祉など）の増進を図る活動	子供の健全育成、子育て支援を図る活動	学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動	生涯学習の推進を図る活動	地域の美化・清掃、リサイクル運動などの環境の保全を図る活動	地域の防犯・防災活動	まちづくり（地域活性化、地域情報発行など）の推進を図る活動	国際協力の活動	被災者支援・復興支援に関する活動	その他	わからない	無回答
全体	1,081	12.4	11.1	18.4	15.8	9.2	15.7	11.6	7.6	5.0	7.4	1.8	19.1	24.1
男性	492	12.2	8.9	15.9	18.5	11.0	16.3	14.8	11.2	5.3	8.7	1.6	18.3	21.5
女性	577	12.8	12.8	21.0	13.7	7.8	15.6	8.8	4.7	4.9	6.2	1.9	19.6	25.8

【年齢別】

年齢別にみると、75歳以上から30～39歳まで年齢が下がるほど「子供の健全育成、子育て支援を図る活動」の割合が高く、75歳以上から50～59歳まで年齢が下がるほど「生涯学習の推進を図る活動」「被災者支援・復興支援に関する活動」の割合が高い傾向にあります。

単位：％

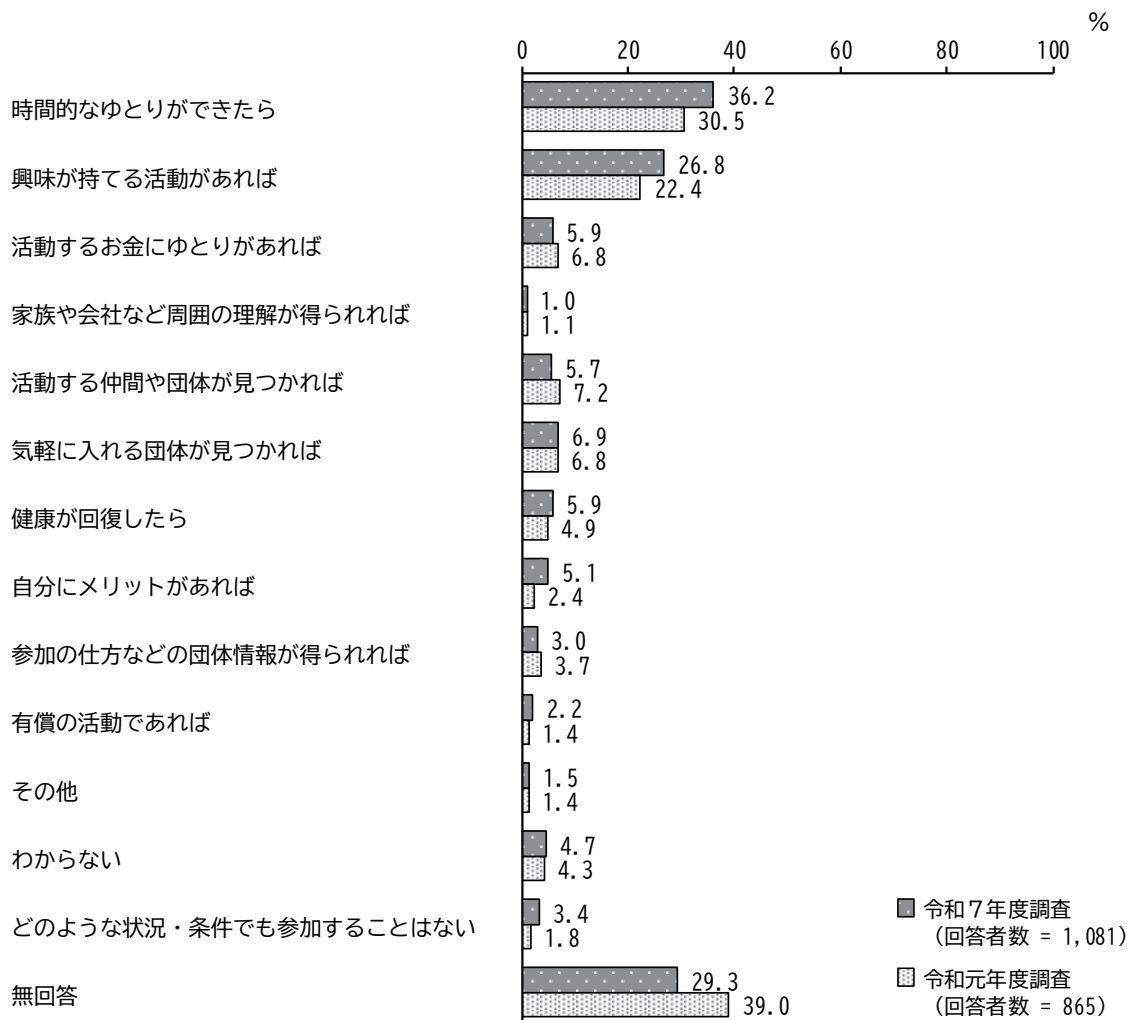
区分	回答者数（件）	健康、医療の増進を図る活動	福祉（介護、高齢者福祉、障害者福祉など）の増進を図る活動	子供の健全育成、子育て支援を図る活動	学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動	生涯学習の推進を図る活動	地域の美化・清掃、リサイクル運動などの環境の保全を図る活動	地域の防犯・防災活動	まちづくり（地域活性化、地域情報発行など）の推進を図る活動	国際協力の活動	被災者支援・復興支援に関する活動	その他	わからない	無回答
全体	1,081	12.4	11.1	18.4	15.8	9.2	15.7	11.6	7.6	5.0	7.4	1.8	19.1	24.1
18～19歳	7	0.0	0.0	42.9	14.3	14.3	28.6	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	28.6	14.3
20～29歳	108	3.7	3.7	17.6	23.1	3.7	14.8	13.0	4.6	5.6	7.4	0.9	19.4	25.0
30～39歳	121	6.6	4.1	40.5	15.7	5.0	18.2	14.9	9.9	9.1	6.6	2.5	20.7	9.9
40～49歳	162	14.8	14.8	33.3	23.5	11.7	16.0	13.6	12.3	7.4	10.5	2.5	13.6	13.6
50～59歳	215	14.0	17.2	18.1	14.4	14.0	16.3	11.6	8.8	5.6	10.7	0.5	18.6	22.8
60～64歳	102	11.8	14.7	11.8	20.6	12.7	11.8	12.7	7.8	3.9	9.8	2.9	12.7	27.5
65～69歳	66	12.1	7.6	10.6	13.6	10.6	18.2	9.1	4.5	4.5	4.5	3.0	18.2	28.8
70～74歳	79	20.3	13.9	7.6	10.1	8.9	17.7	7.6	5.1	3.8	6.3	0.0	19.0	35.4
75歳以上	214	15.0	8.9	4.7	8.9	5.6	14.5	8.9	5.1	0.9	2.3	2.3	25.2	33.2

(問 25 で「参加したことはない」とお答えの方に伺います)

問 25-7 どのような状況・条件になればボランティアや市民活動に参加したいと思いますか。(〇は2つまで)

「時間的なゆとりができれば」の割合が 36.2%と最も高く、次いで「興味が持てる活動があれば」の割合が 26.8%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「時間的なゆとりができれば」の割合が増加しています。



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	時間的なゆとりが できたら	興味を持てる活動 があれば	活動するお金にゆ とりがあれば	家族や会社など周 囲の理解が得られ れば	活動する仲間や団 体が見つかれば	気軽に入れる団体 が見つかれば	健康が回復したら
全 体	1,081	36.2	26.8	5.9	1.0	5.7	6.9	5.9
男性	492	36.2	25.2	6.9	1.0	6.1	6.1	6.1
女性	577	36.7	28.2	5.0	1.0	5.5	7.5	5.9

区分	自分にメリットが あれば	参加の仕方などの 団体情報が得られ れば	有償の活動であれ ば	その他	わからない	どのような状況・条 件でも参加するこ とはない	無回答
全 体	5.1	3.0	2.2	1.5	4.7	3.4	29.3
男性	6.5	3.0	2.0	1.4	4.5	4.1	28.3
女性	4.0	2.9	2.4	1.6	5.0	2.9	29.6

【年齢別】

年齢別にみると、75歳以上から30～39歳まで年齢が下がるほど「時間的なゆとりができたなら」の割合が高く、75歳以上から40～49歳まで年齢が下がるほど「興味が持てる活動があれば」の割合が高い傾向にあります。

単位：％

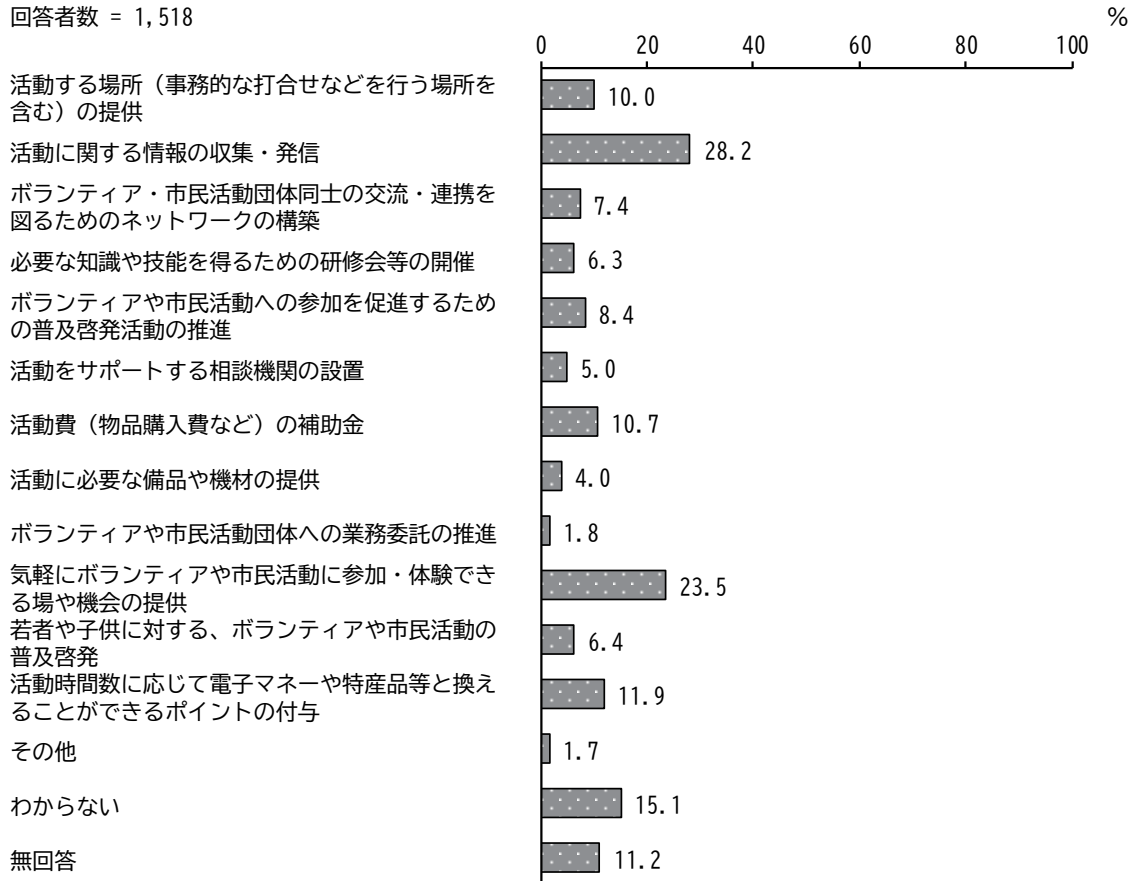
区分	回答者数 (件)	時間的なゆとりが できたなら	興味が持てる活動 があれば	活動するお金にゆ とりがあれば	家族や会社など周 囲の理解が得られ れば	活動する仲間や団 体が見つかれば	気軽に入れる団体 が見つかれば	健康が回復したら
全 体	1,081	36.2	26.8	5.9	1.0	5.7	6.9	5.9
18～19歳	7	28.6	28.6	28.6	0.0	0.0	14.3	0.0
20～29歳	108	39.8	24.1	7.4	0.0	2.8	1.9	1.9
30～39歳	121	52.9	32.2	9.9	0.8	3.3	6.6	0.8
40～49歳	162	50.0	32.7	7.4	1.9	5.6	7.4	2.5
50～59歳	215	48.4	29.3	7.4	2.3	5.6	8.4	3.7
60～64歳	102	43.1	30.4	6.9	1.0	6.9	5.9	6.9
65～69歳	66	27.3	24.2	1.5	1.5	7.6	9.1	3.0
70～74歳	79	19.0	24.1	1.3	0.0	7.6	3.8	8.9
75歳以上	214	8.9	18.2	1.9	0.0	7.5	8.4	15.4

区分	自分にメリッ トがあれば	参加の仕方などの 団体情報が得られ れば	有償の活動であ れば	その他	わからない	どのような状況・条 件でも参加するこ とはない	無回 答
全 体	5.1	3.0	2.2	1.5	4.7	3.4	29.3
18～19歳	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3
20～29歳	15.7	1.9	4.6	0.0	1.9	1.9	31.5
30～39歳	9.9	3.3	5.8	1.7	1.7	3.3	19.0
40～49歳	6.2	4.9	1.9	0.0	4.9	1.9	17.9
50～59歳	3.7	1.4	2.3	1.4	1.4	1.4	28.4
60～64歳	1.0	4.9	1.0	2.0	0.0	2.0	31.4
65～69歳	1.5	6.1	1.5	3.0	6.1	1.5	36.4
70～74歳	1.3	1.3	0.0	0.0	6.3	7.6	41.8
75歳以上	1.9	2.3	0.9	3.3	12.1	7.5	35.5

問 26 今後、ボランティアや市民活動をさらに活性化していくために、市はどのような施策を展開することが望ましいと思いますか。(〇は2つまで)

「活動に関する情報の収集・発信」の割合が 28.2%と最も高く、次いで「気軽にボランティアや市民活動に参加・体験できる場や機会の提供」の割合が 23.5%、「活動時間数に応じて電子マネーや特産品等と換えることができるポイントの付与」の割合が 11.9%となっています。

回答者数 = 1,518



【年齢別】

年齢別にみると、20～29歳から70～74歳まで年齢が上がるほど「必要な知識や技能を得るための研修会等の開催」の割合が高い傾向にあります。また、60～64歳で「活動に関する情報の収集・発信」、20～29歳で「活動時間数に応じて電子マネーや特産品等と換えることができるポイントの付与」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	活動する場所（事務的な打合せなどを行う場所を含む）の提供	活動に関する情報の収集・発信	ボランティア・市民活動団体同士の交流・連携を図るためのネットワークの構築	必要な知識や技能を得るための研修会等の開催	ボランティアや市民活動への参加を促進するための普及啓発活動の推進	活動をサポートする相談機関の設置	活動費（物品購入費など）の補助金
全体	1,518	10.0	28.2	7.4	6.3	8.4	5.0	10.7
18～19歳	10	0.0	40.0	20.0	10.0	10.0	0.0	0.0
20～29歳	133	8.3	23.3	6.0	1.5	5.3	2.3	11.3
30～39歳	170	8.2	22.9	10.0	5.3	6.5	3.5	17.6
40～49歳	224	13.4	30.4	7.6	5.4	9.4	3.6	14.3
50～59歳	300	13.0	33.0	10.7	4.3	8.3	6.7	10.7
60～64歳	139	8.6	38.8	8.6	7.2	12.2	8.6	12.2
65～69歳	94	8.5	36.2	9.6	8.5	7.4	5.3	6.4
70～74歳	106	5.7	28.3	0.9	14.2	6.6	5.7	7.5
75歳以上	330	9.7	20.0	4.2	7.6	8.8	4.8	6.4

区分	活動に必要な備品や機材の提供	ボランティアや市民活動団体への業務委託の推進	気軽にボランティアや市民活動に参加・体験できる場や機会の提供	若者や子供に対する、ボランティアや市民活動の普及啓発	活動時間数に応じて電子マネーや特産品等と換えることができるポイントの付与	その他	わからない	無回答
全体	4.0	1.8	23.5	6.4	11.9	1.7	15.1	11.2
18～19歳	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	20.0	10.0
20～29歳	5.3	2.3	20.3	12.0	27.8	4.5	15.0	2.3
30～39歳	6.5	1.2	18.2	8.2	18.2	2.4	15.9	7.1
40～49歳	5.4	3.6	29.5	8.5	18.8	2.7	8.0	4.0
50～59歳	4.7	1.7	22.7	7.0	13.3	1.0	12.7	7.3
60～64歳	5.8	2.2	28.1	5.0	7.2	0.7	7.2	10.8
65～69歳	2.1	1.1	25.5	5.3	7.4	2.1	17.0	10.6
70～74歳	0.9	3.8	23.6	6.6	1.9	0.0	19.8	17.9
75歳以上	1.5	0.3	22.4	2.4	3.0	1.2	22.4	22.7

【地区別】

地区別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

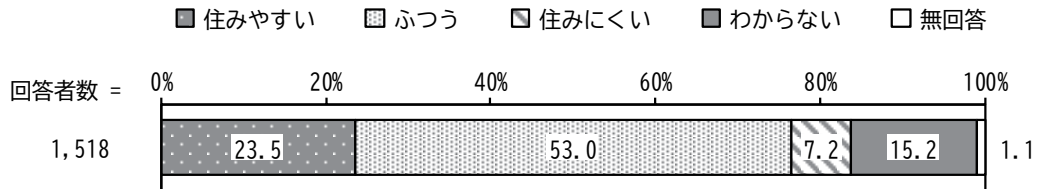
区分	回答者数(件)	活動する場所(事務的な打合せなどを行う場所を含む)の提供	活動に関する情報の収集・発信	ボランティア・市民活動団体同士の交流・連携を図るためのネットワークの構築	必要な知識や技能を得るための研修会等の開催	ボランティアや市民活動への参加を促進するための普及啓発活動の推進	活動をサポートする相談機関の設置	活動費(物品購入費など)の補助金
全体	1,518	10.0	28.2	7.4	6.3	8.4	5.0	10.7
南部	286	11.9	26.6	9.1	8.0	9.4	4.5	10.5
西部	371	8.1	32.3	5.7	4.6	10.8	5.4	12.4
中部	188	11.2	29.3	4.3	6.4	6.4	3.7	10.1
東部	422	12.1	27.5	9.7	5.9	7.1	5.9	10.4
北部	232	6.9	24.6	6.9	7.8	6.9	4.7	9.5

区分	活動に必要な備品や機材の提供	ボランティアや市民活動団体への業務委託の推進	気軽にボランティアや市民活動に参加・体験できる場や機会の提供	若者や子供に対する、ボランティアや市民活動の普及啓発	活動時間数に応じて電子マネーや特産品等と換えることができるポイントの付与	その他	わからない	無回答
全体	4.0	1.8	23.5	6.4	11.9	1.7	15.1	11.2
南部	3.5	1.0	23.1	6.6	12.9	2.1	14.7	9.8
西部	4.6	1.6	24.0	7.3	14.0	1.3	12.1	10.0
中部	3.7	1.6	23.9	5.9	11.7	2.1	16.5	12.2
東部	4.3	3.1	22.3	6.4	10.0	1.4	15.4	10.4
北部	3.0	0.9	25.0	5.2	12.1	2.2	16.4	15.5

(5) その他

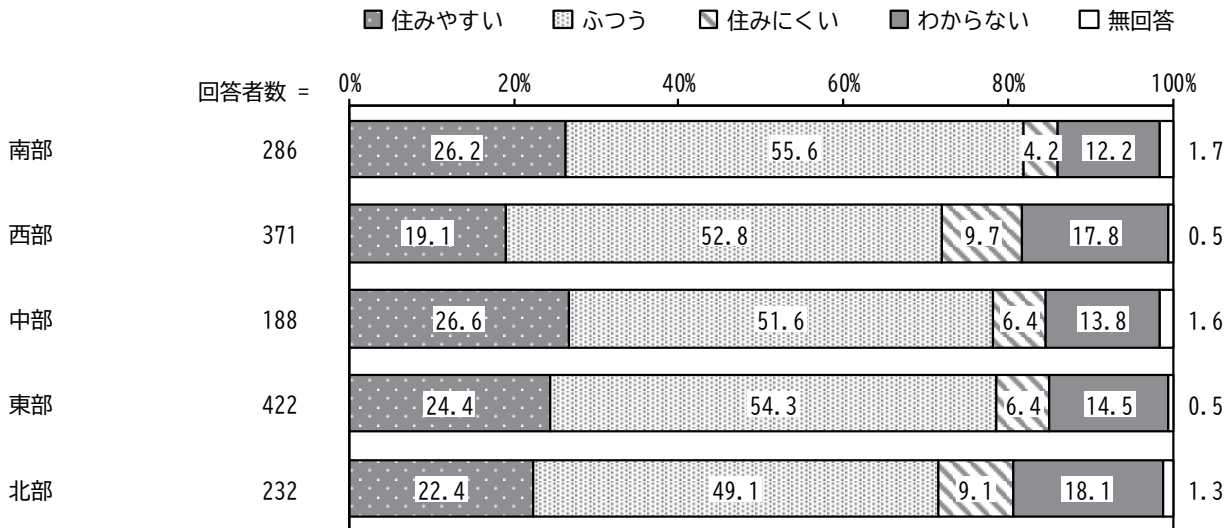
問 27 船橋市は、多様な生活状況や特性を持つ方々にとって住みやすいまちだと思いますか。(○は1つ)

「住みやすい」の割合が 23.5%、「ふつう」の割合が 53.0%、「住みにくい」の割合が 7.2%となっています。



【地区別】

地区別にみると、大きな差はみられません。

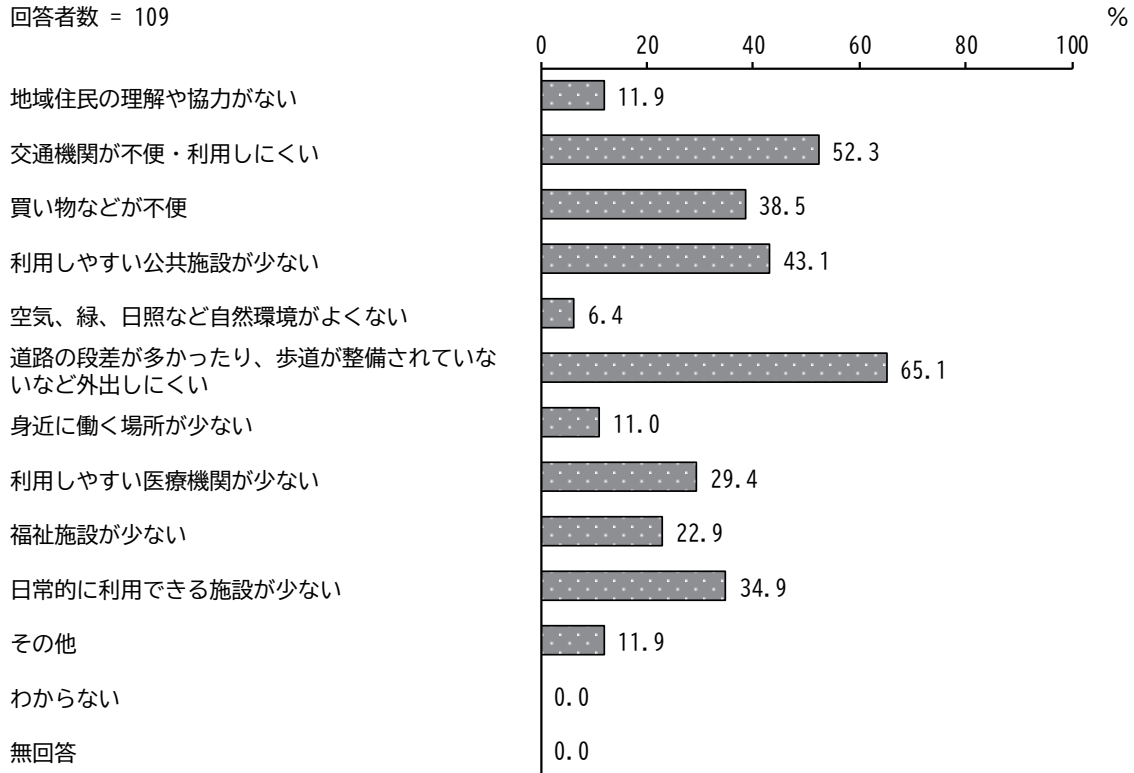


(問 27 で「住みにくい」とお答えの方に伺います)

問 27-1 住みにくいと思う理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「道路の段差が多かったり、歩道が整備されていないなど外出しにくい」の割合が 65.1%と最も高く、次いで「交通機関が不便・利用しにくい」の割合が 52.3%、「利用しやすい公共施設が少ない」の割合が 43.1%となっています。

回答者数 = 109



【地区別】

地区別にみると、北部で「交通機関が不便・利用しにくい」「買い物などが不便」「福祉施設が少ない」「日常的に利用できる施設が少ない」、南部で「利用しやすい医療機関が少ない」の割合が高くなっています。

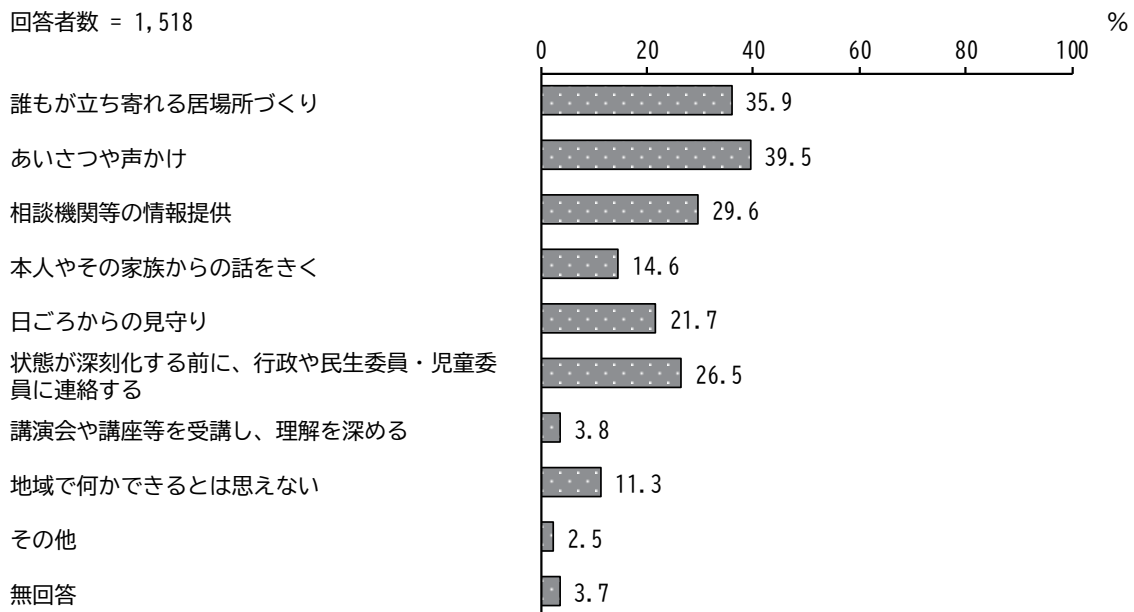
単位：％

区分	回答者数(件)	地域住民の理解や協力が ない	交通機関が不便・利用し にくい	買い物などが不便	利用しやすい公共施設が 少ない	空気、緑、日照など自然 環境がよくない	道路の段差が多かったり、 歩道が整備されていないなど 外出しにくい	身近に働く場所が少ない	利用しやすい医療機関が 少ない	福祉施設が少ない	日常的に利用できる施設が 少ない	その他	わからない	無回答
全体	109	11.9	52.3	38.5	43.1	6.4	65.1	11.0	29.4	22.9	34.9	11.9	0.0	0.0
南部	12	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	75.0	8.3	41.7	25.0	16.7	25.0	0.0	0.0
西部	36	19.4	44.4	38.9	50.0	11.1	66.7	8.3	25.0	16.7	36.1	19.4	0.0	0.0
中部	12	0.0	58.3	33.3	50.0	0.0	75.0	16.7	25.0	25.0	16.7	0.0	0.0	0.0
東部	27	11.1	44.4	29.6	37.0	11.1	66.7	11.1	29.6	22.2	33.3	11.1	0.0	0.0
北部	21	14.3	81.0	57.1	38.1	0.0	52.4	14.3	33.3	33.3	57.1	0.0	0.0	0.0

問 28 社会的孤立やひきこもりが社会問題となっていますが、地域として、これらの問題に対してどのようなことができると思いますか。(○は3つまで)

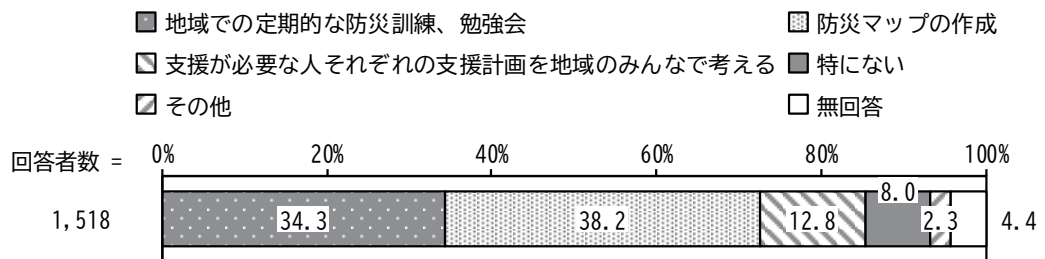
「あいさつや声かけ」の割合が 39.5%と最も高く、次いで「誰もが立ち寄れる居場所づくり」の割合が 35.9%、「相談機関等の情報提供」の割合が 29.6%となっています。

回答者数 = 1,518



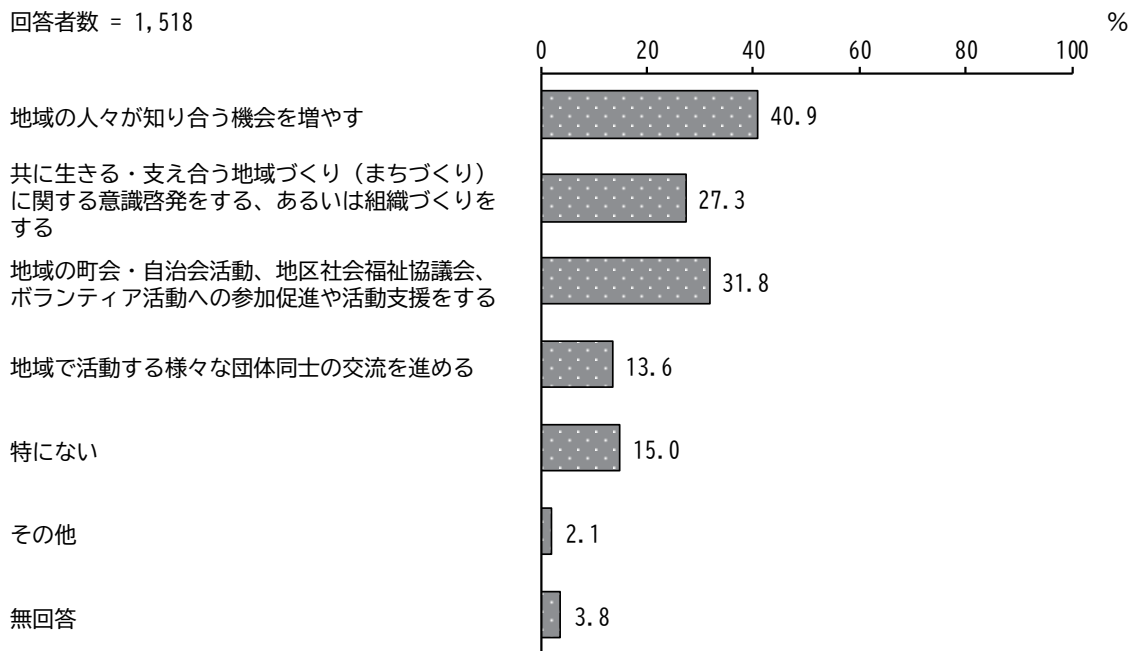
問 29 地震や火災等の災害時に住民同士が協力し合えるために、平常時からどのようなことが必要だと思いますか。最も必要だと思うものをお選びください。(○は1つだけ)

「地域での定期的な防災訓練、勉強会」の割合が 34.3%、「防災マップの作成」の割合が 38.2%、「支援が必要な人それぞれの支援計画を地域のみみんなで考える」の割合が 12.8%となっています。



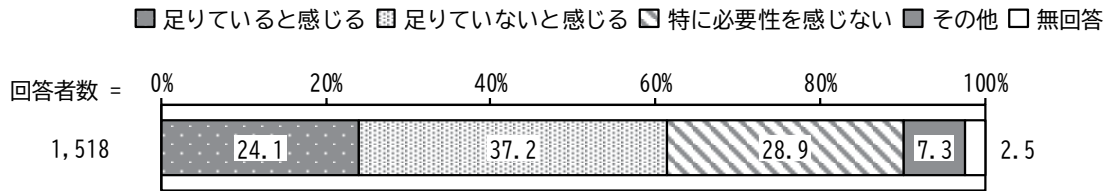
問 30 住民同士が協力して地域づくりを進めるために、行政ではどのような支援を行う必要があると思いますか。(○は2つまで)

「地域の人々が知り合う機会を増やす」の割合が 40.9%と最も高く、次いで「地域の町会・自治会活動、地区社会福祉協議会、ボランティア活動への参加促進や活動支援をする」の割合が 31.8%、「共に生きる・支え合う地域づくり(まちづくり)に関する意識啓発をする、あるいは組織づくりをする」の割合が 27.3%となっています。



問 31 地域住民が集まったり、地域活動を行ったりする場所について、どのように感じますか。(○は1つだけ)

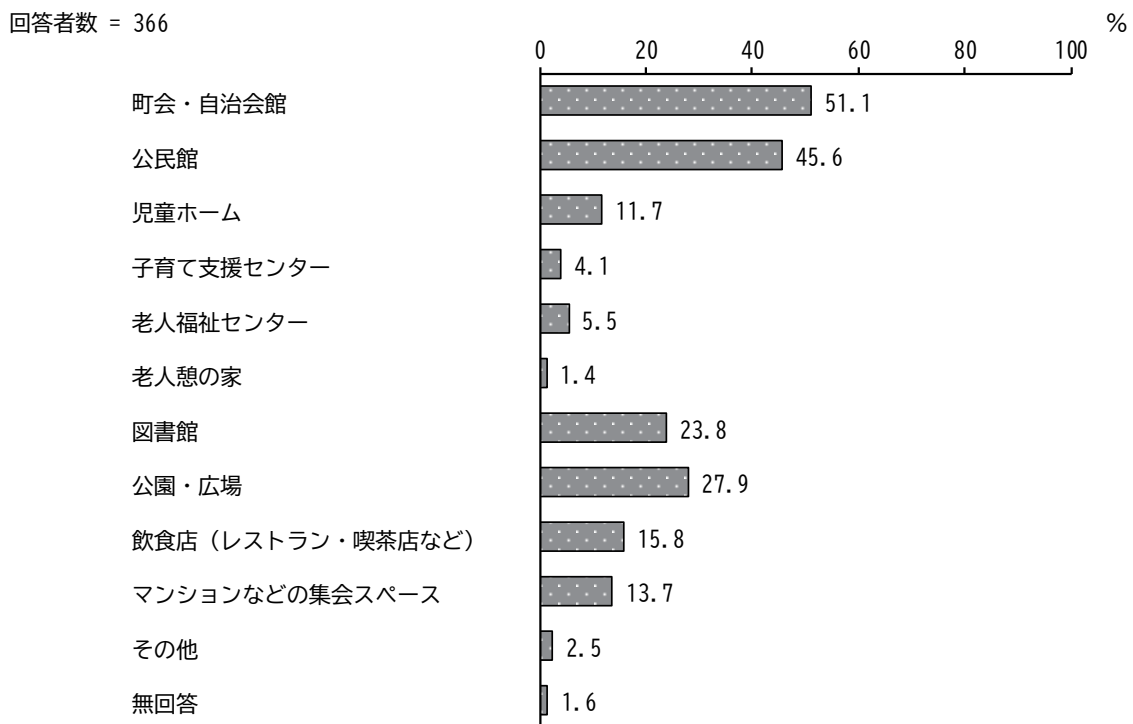
「足りていると感じる」の割合が 24.1%、「足りていないと感じる」の割合が 37.2%、「特に必要性を感じない」の割合が 28.9%となっています。



(問 31 で「足りていると感じる」とお答えの方に伺います)

問 31-1 主にどのような場所を日頃利用していますか。(○はいくつでも)

「町会・自治会館」の割合が 51.1%と最も高く、次いで「公民館」の割合が 45.6%、「公園・広場」の割合が 27.9%となっています。

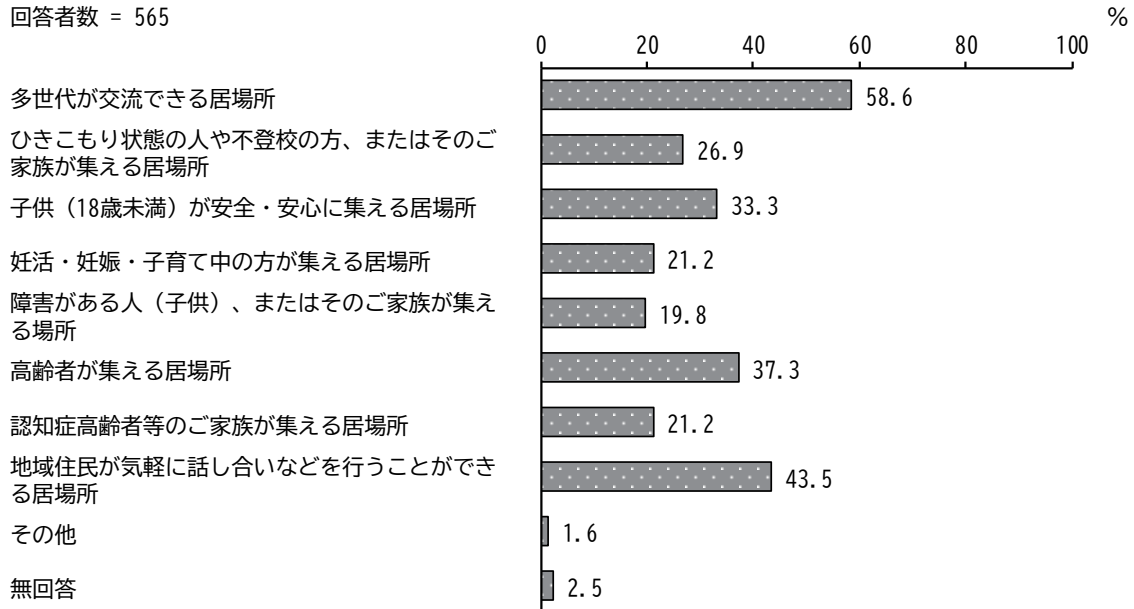


(問 31 で「足りていないと感じる」とお答えの方に伺います)

問 31-2 どのような居場所が足りていないと感じますか。(〇はいくつでも)

「多世代が交流できる居場所」の割合が 58.6%と最も高く、次いで「地域住民が気軽に話し合いなどを行うことができる居場所」の割合が 43.5%、「高齢者が集える居場所」の割合が 37.3%となっています。

回答者数 = 565

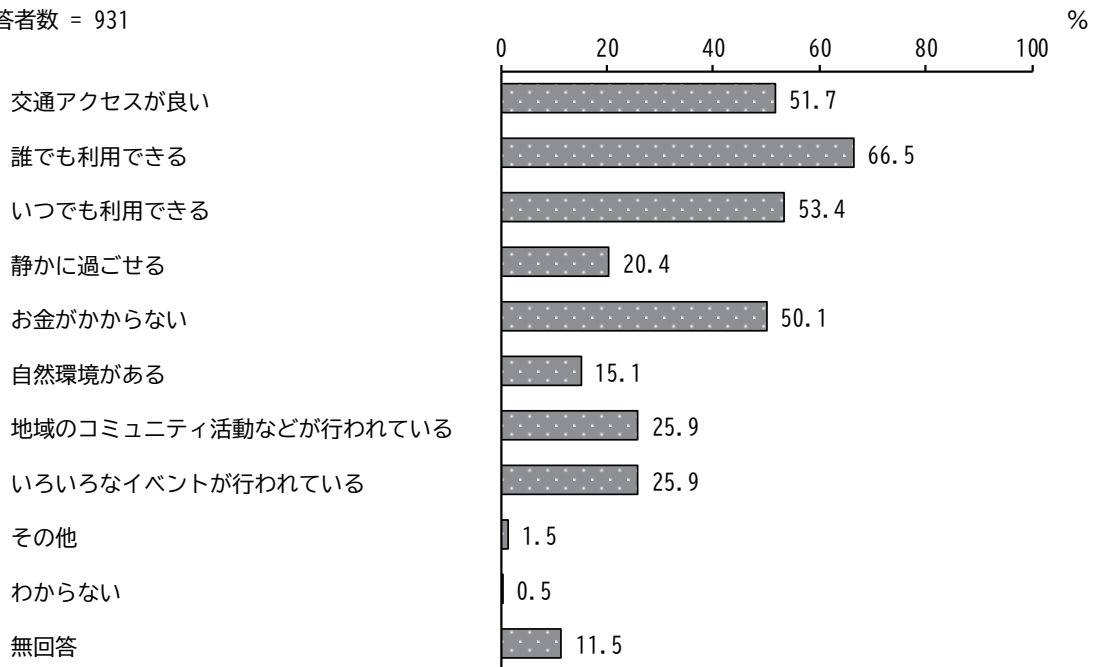


(問 31 で「足りていると感じる」「足りていないと感じる」とお答えの方に伺います)

問 31-3 どのような条件がそろった場所が居場所として魅力的だと感じますか。(〇はいくつでも)

「誰でも利用できる」の割合が 66.5%と最も高く、次いで「いつでも利用できる」の割合が 53.4%、「交通アクセスが良い」の割合が 51.7%となっています。

回答者数 = 931

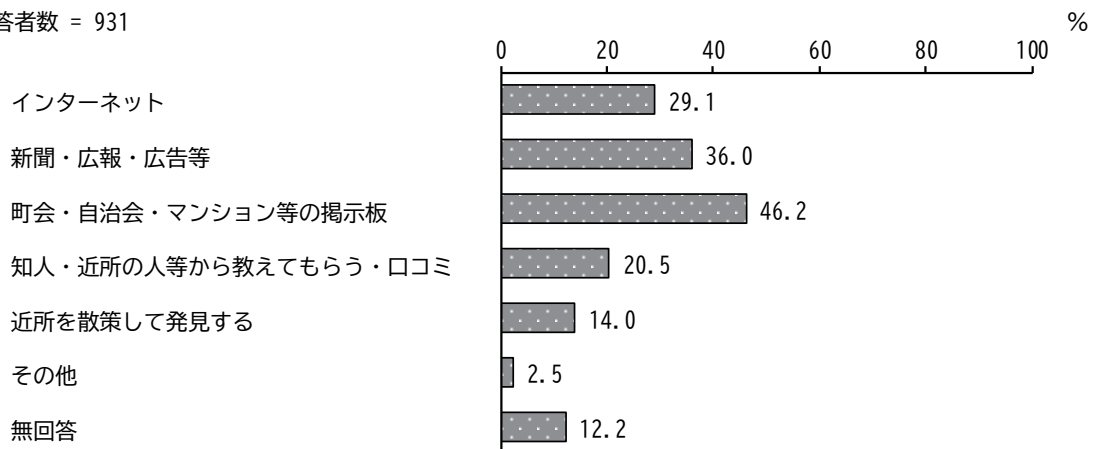


(問 31 で「足りていると感じる」「足りていないと感じる」とお答えの方に伺います)

問 31-4 地域住民が集まったり、地域活動を行ったりする場所について、どこで情報を得ていますか。(〇はいくつでも)

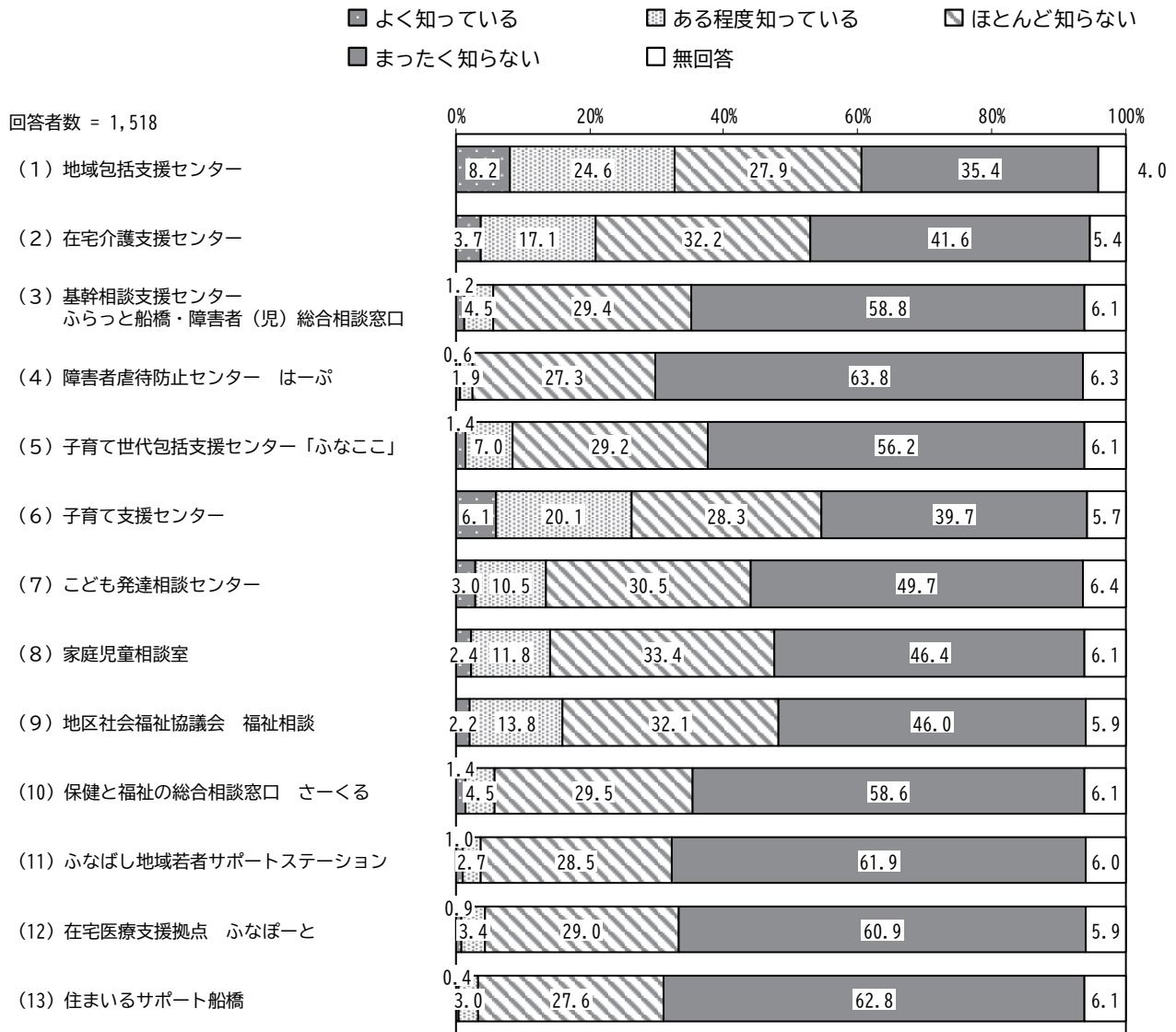
「町会・自治会・マンション等の掲示板」の割合が 46.2%と最も高く、次いで「新聞・広報・広告等」の割合が 36.0%、「インターネット」の割合が 29.1%となっています。

回答者数 = 931



問 32 あなたは、次の相談窓口をどの程度ご存じですか。(それぞれ1つだけ○)

『(1) 地域包括支援センター』で「よく知っている」と「ある程度知っている」を合わせた“知っている”の割合が高くなっています。一方、『(4) 障害者虐待防止センター はーぷ』で「ほとんど知らない」と「まったく知らない」を合わせた“知らない”の割合が高くなっています。

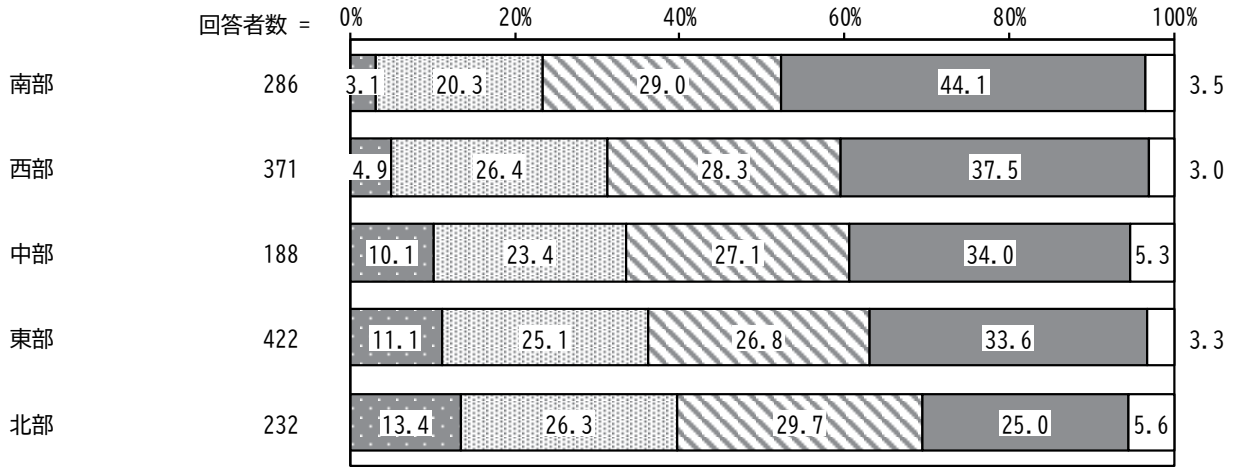


(1) 地域包括支援センター

【地区別】

地区別にみると、北部で“知っている”の割合が高くなっています。

■ よく知っている □ ある程度知っている ▨ ほとんど知らない ■ まったく知らない □ 無回答

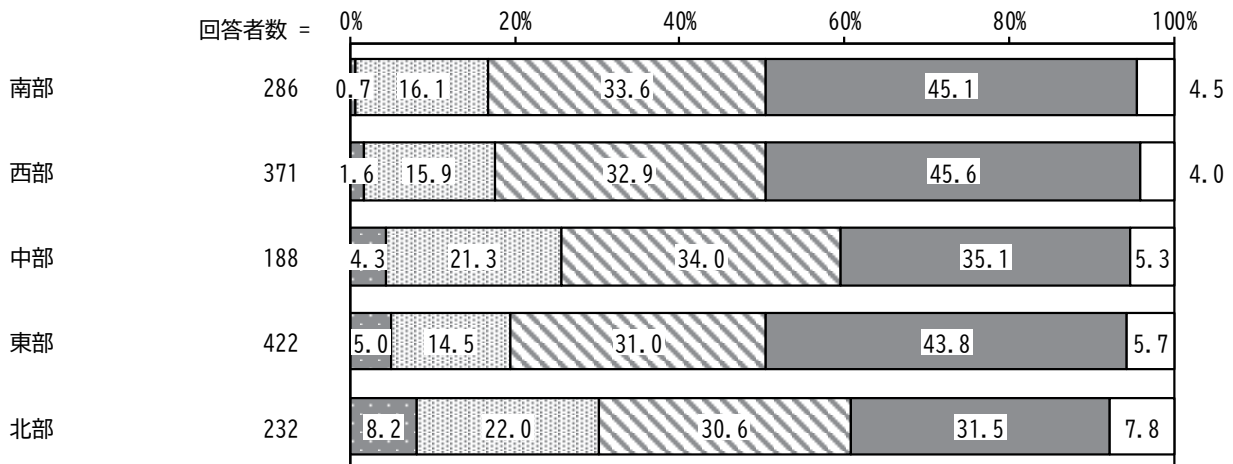


(2) 在宅介護支援センター

【地区別】

地区別にみると、北部で“知っている”の割合が高くなっています。

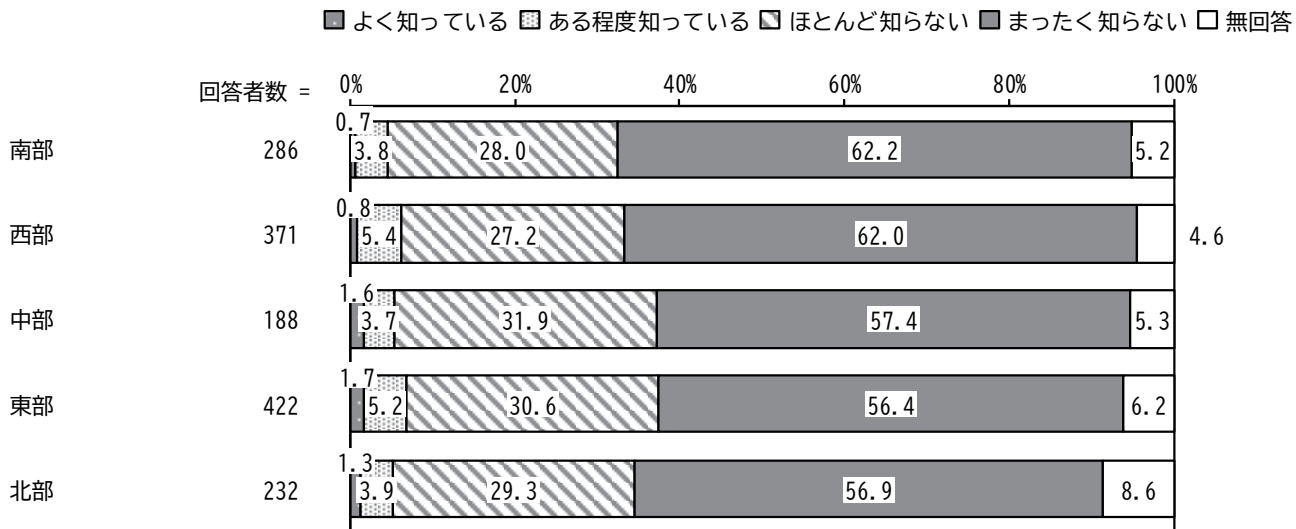
■ よく知っている □ ある程度知っている ▨ ほとんど知らない ■ まったく知らない □ 無回答



(3) 基幹相談支援センター ふらっと船橋・障害者（児）総合相談窓口

【地区別】

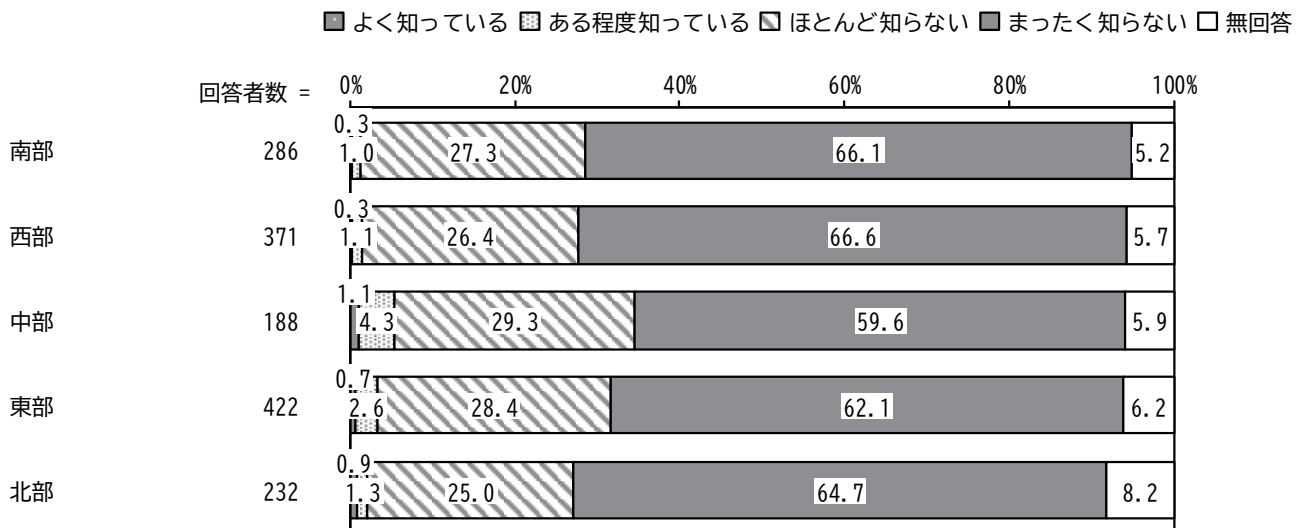
地区別にみると、大きな差はみられません。



(4) 障害者虐待防止センター はーぷ

【地区別】

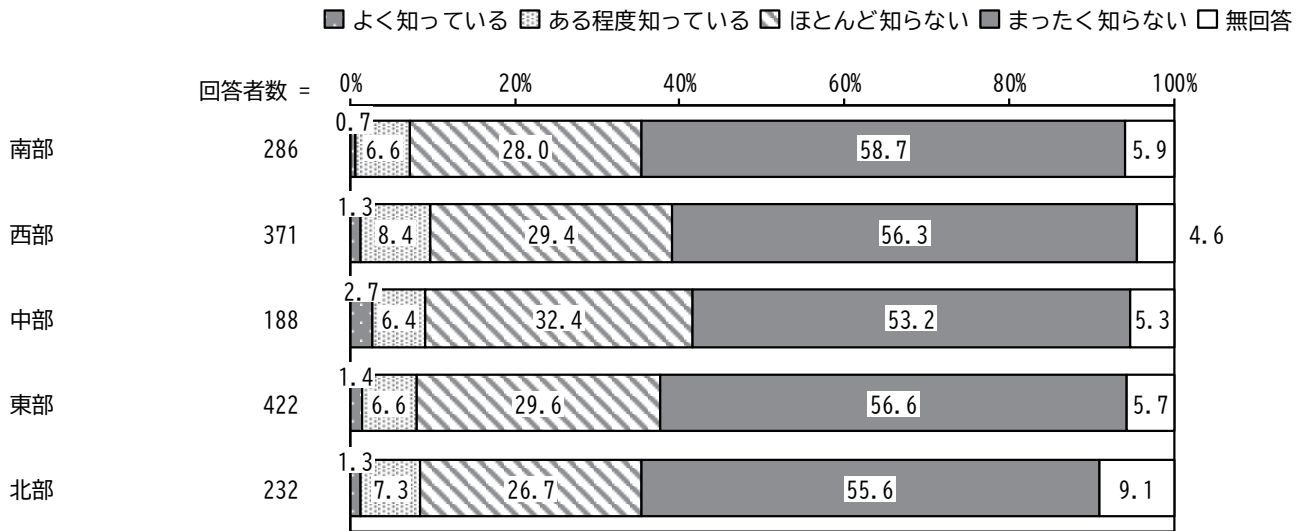
地区別にみると、大きな差はみられません。



(5) 子育て世代包括支援センター「ふなここ」

【地区別】

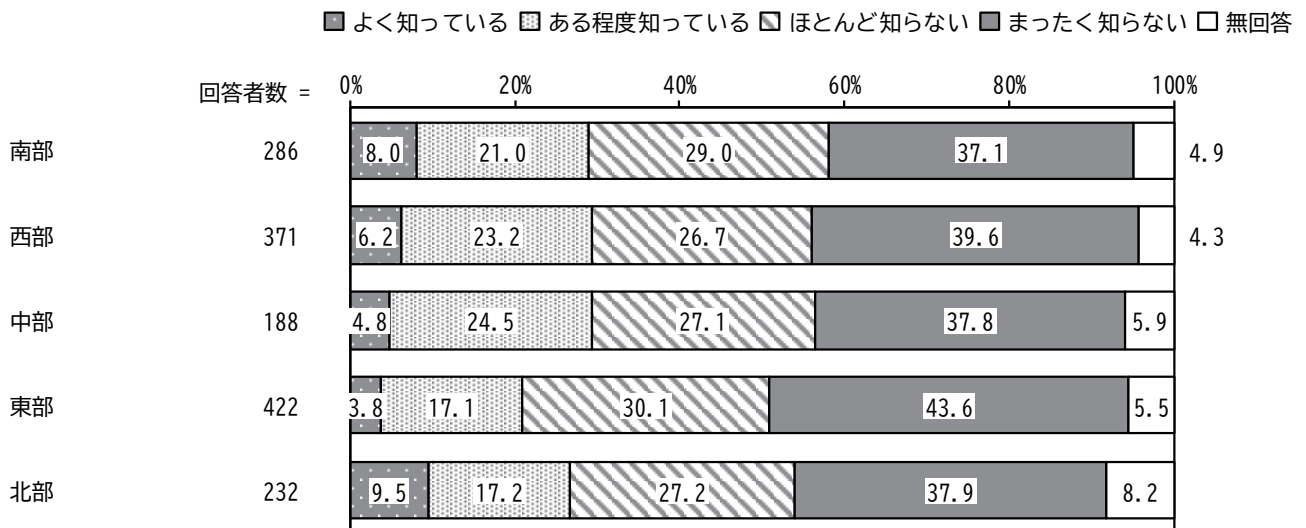
地区別にみると、大きな差はみられません。



(6) 子育て支援センター

【地区別】

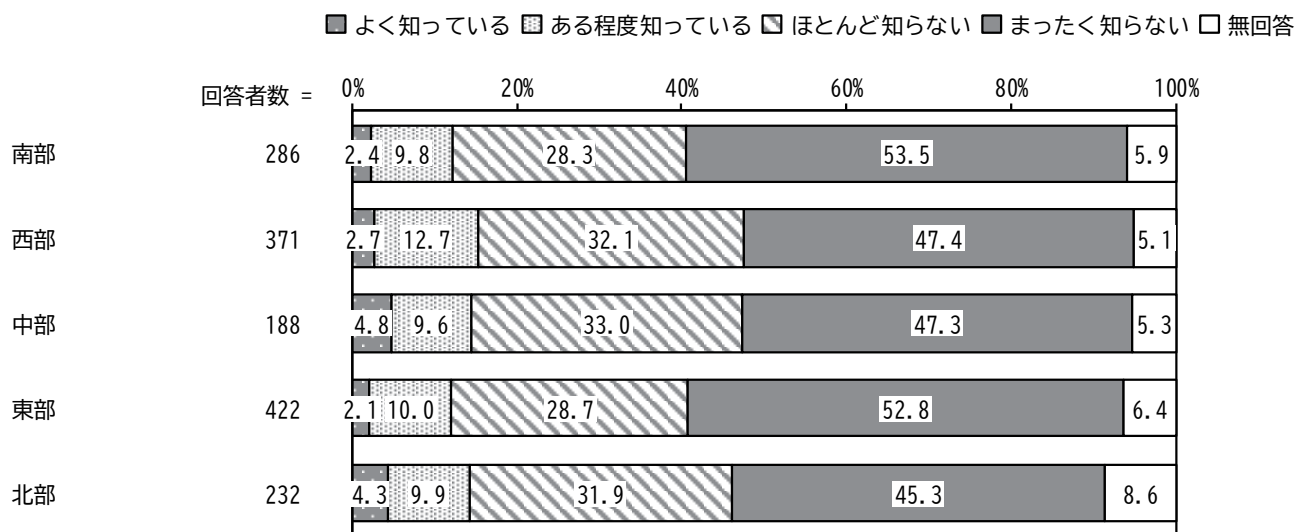
地区別にみると、東部で“知らない”の割合が高くなっています。



(7) こども発達相談センター

【地区別】

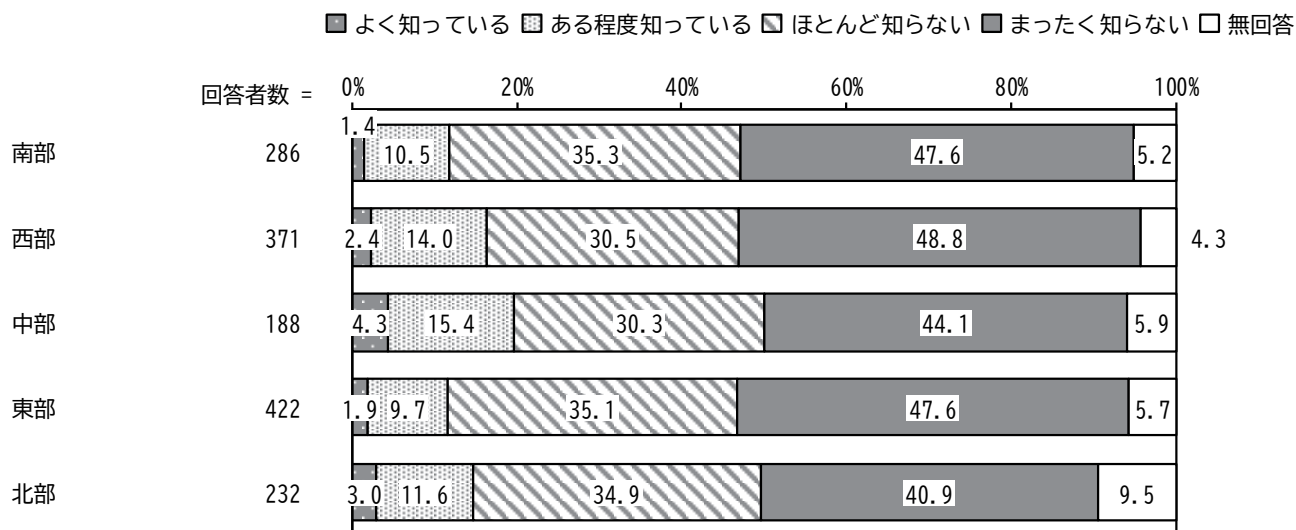
地区別にみると、大きな差はみられません。



(8) 家庭児童相談室

【地区別】

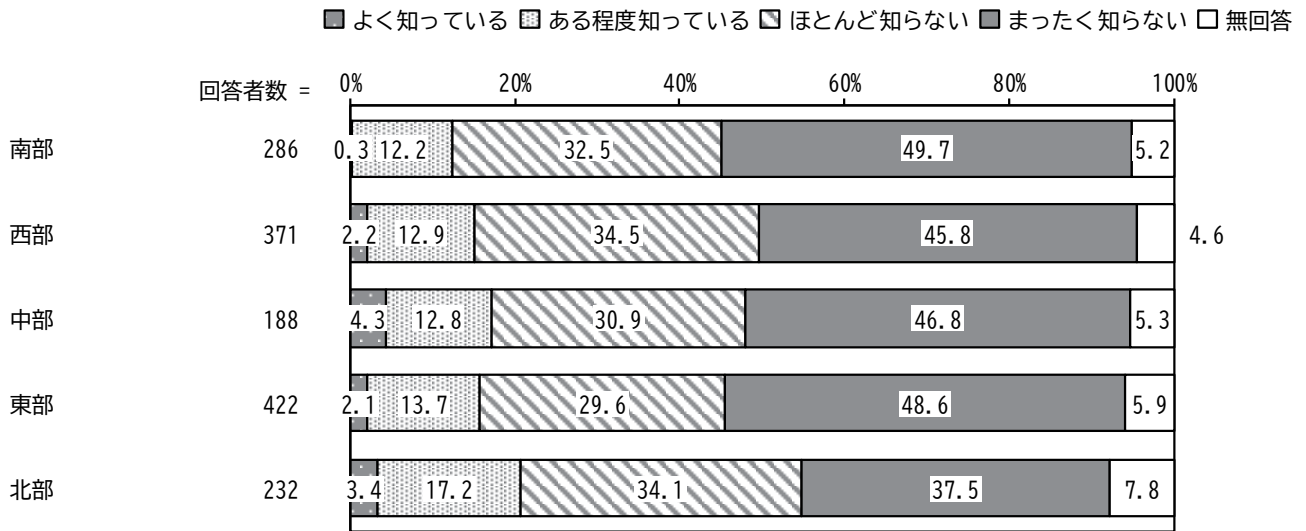
地区別にみると、中部で“知っている”の割合が高くなっています。



(9) 地区社会福祉協議会 福祉相談

【地区別】

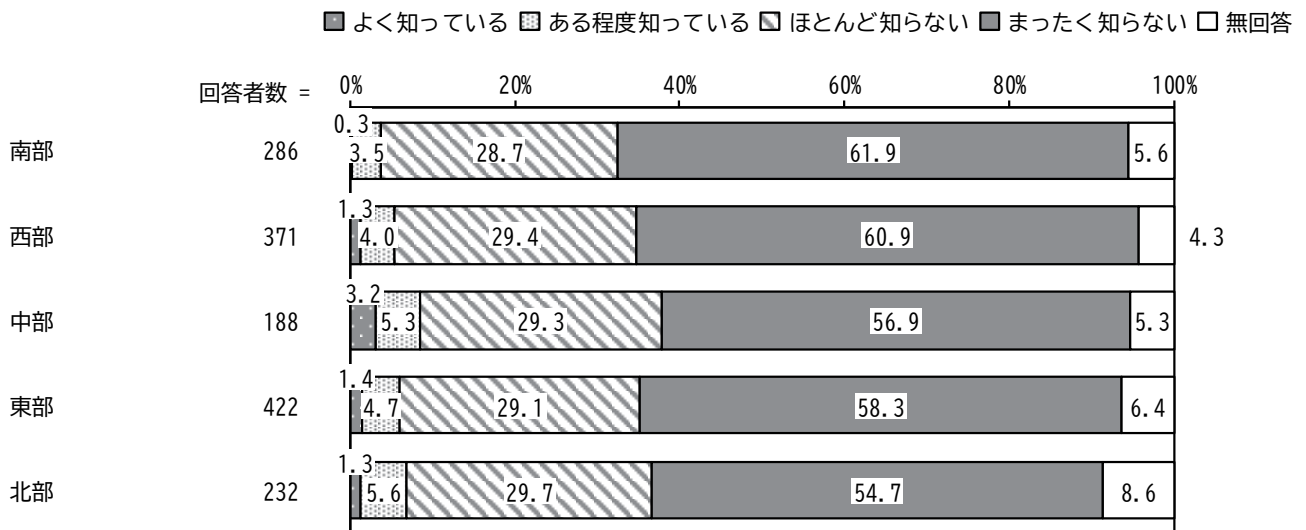
地区別にみると、北部で“知っている”の割合が高くなっています。



(10) 保健と福祉の総合相談窓口 さーくる

【地区別】

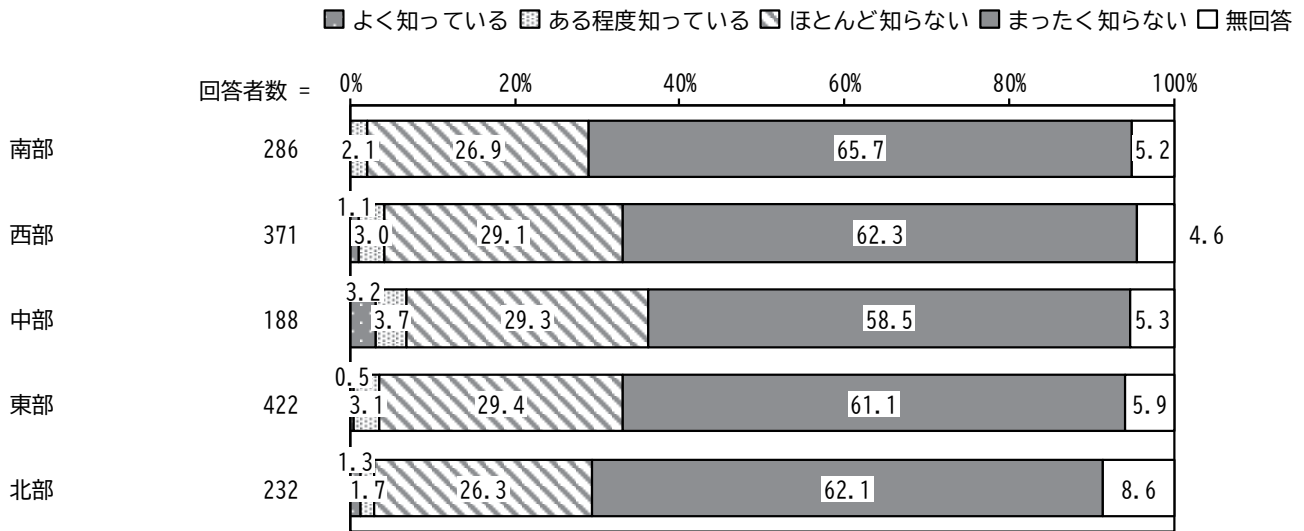
地区別にみると、大きな差はみられません。



(11) ふなばし地域若者サポートステーション

【地区別】

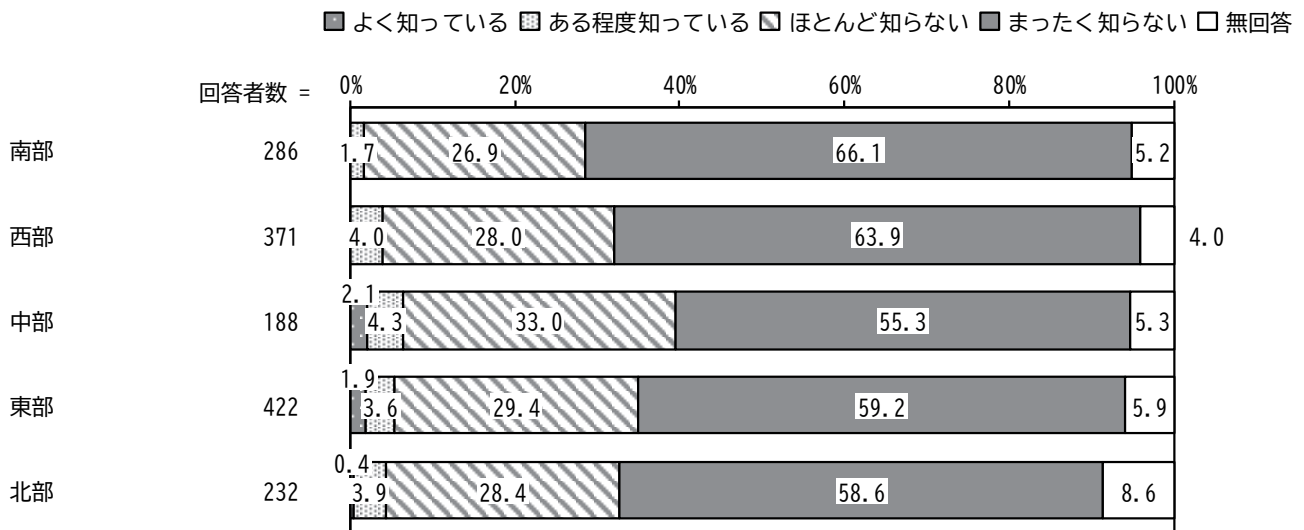
地区別にみると、大きな差はみられません。



(12) 在宅医療支援拠点 ふなぽーと

【地区別】

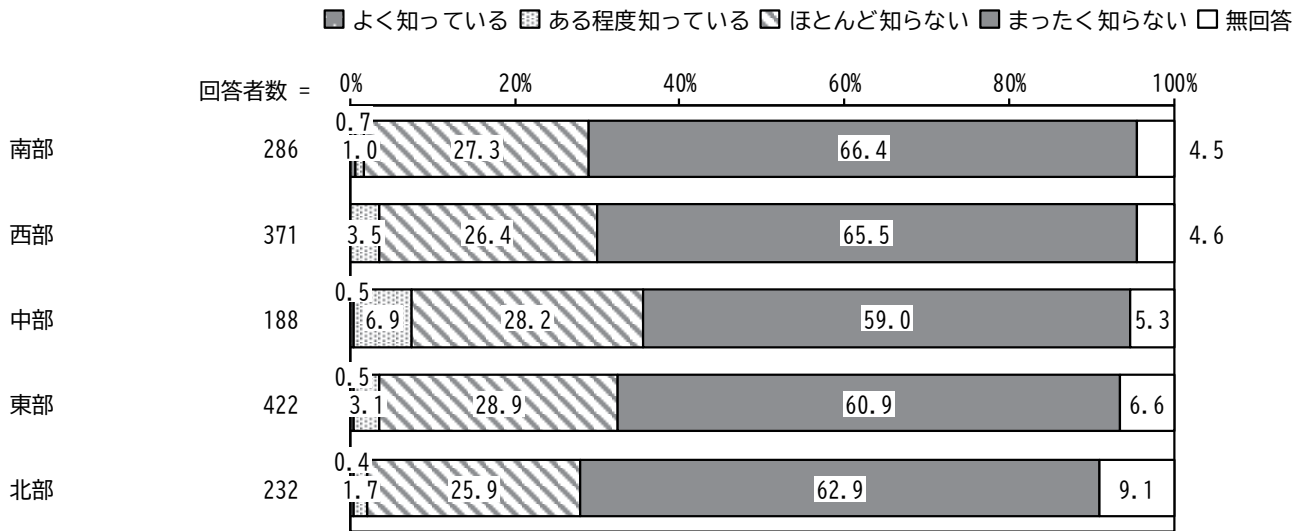
地区別にみると、南部で「まったく知らない」の割合が高くなっています。



(13) 住まいるサポート船橋

【地区別】

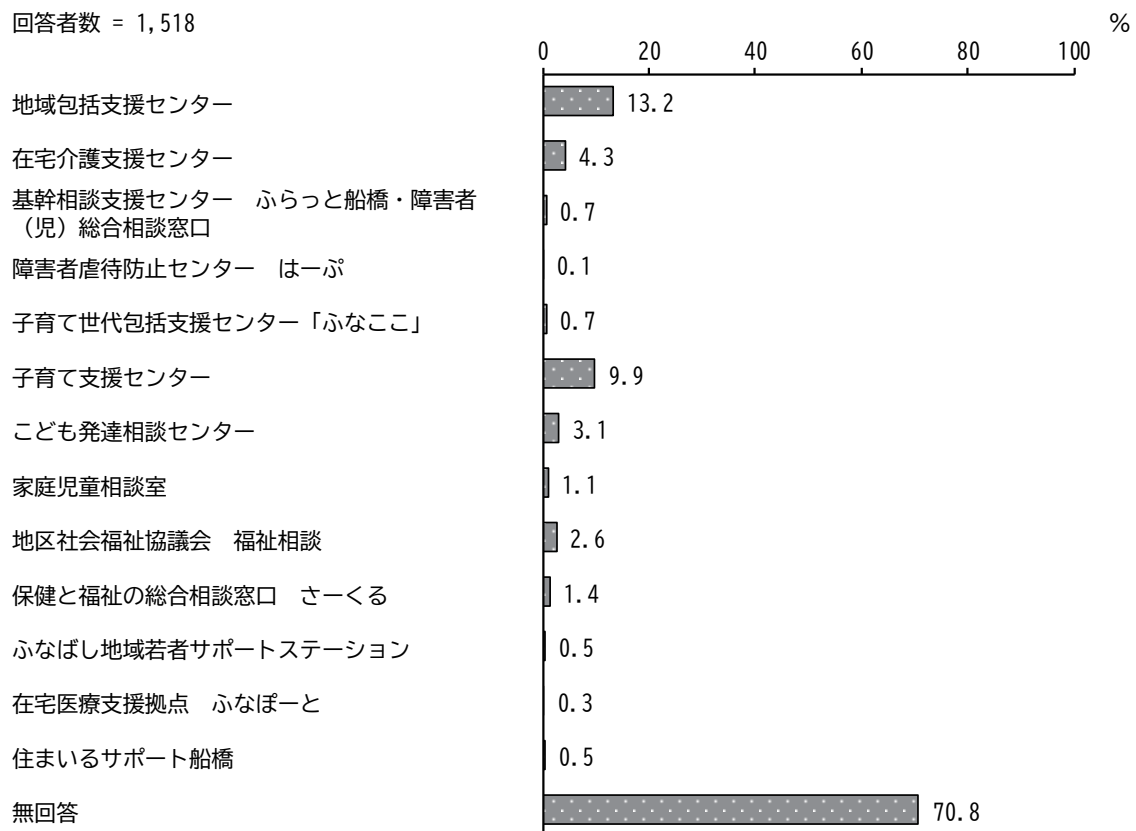
地区別にみると、大きな差はみられません。



問 32—1 あなたは、次の相談窓口を利用したことがありますか。(〇はいくつでも)

「地域包括支援センター」の割合が 13.2%と最も高くなっています。

回答者数 = 1,518

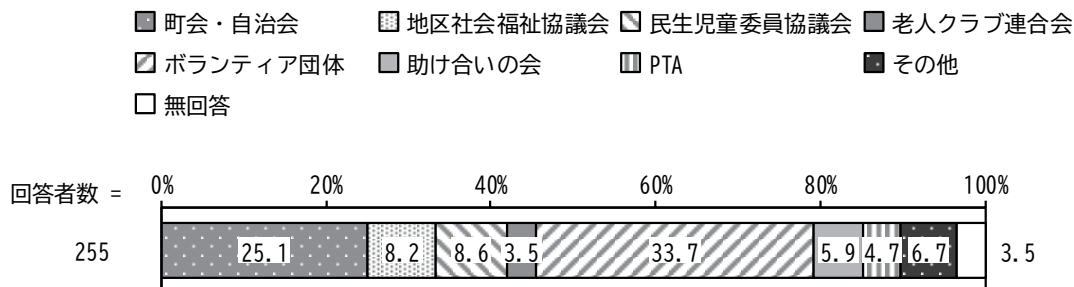


2 団体調査結果

(1) 回答者属性

問1 貴団体の種類別を教えてください。(○は1つだけ)

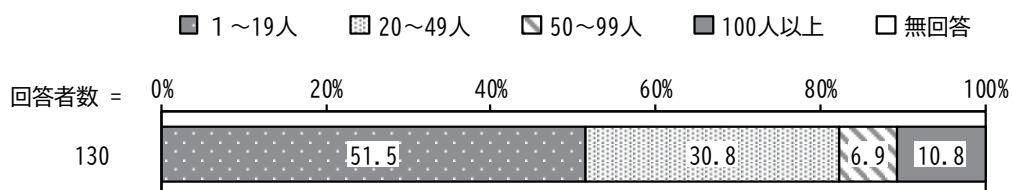
「ボランティア団体」の割合が33.7%と最も高く、次いで「町会・自治会」の割合が25.1%となっています。



(問1 で「ボランティア団体」～「その他」のいずれかにお答えの団体に)

問2 貴団体の活動人数(名簿登録者数)を教えてください。(○は1つだけ)

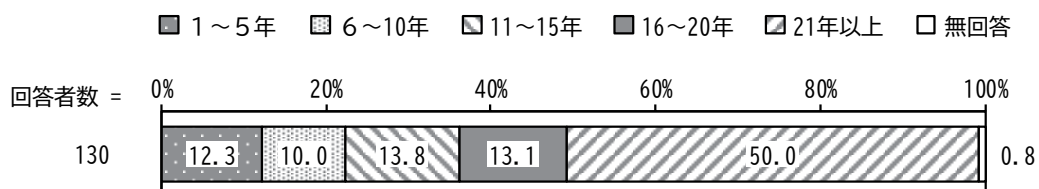
「1～19人」の割合が51.5%と最も高く、次いで「20～49人」の割合が30.8%、「100人以上」の割合が10.8%となっています。



(問1 で「ボランティア団体」～「その他」のいずれかにお答えの団体に)

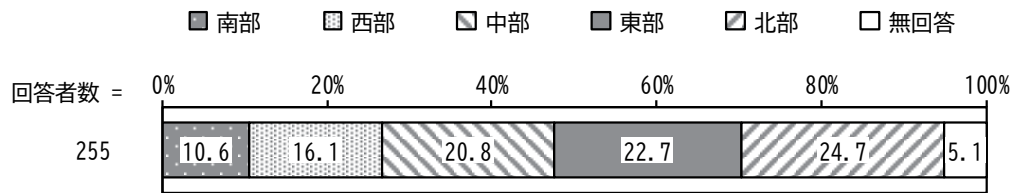
問2-1 貴団体は活動を始めて何年になりますか。(○は1つだけ)

「21年以上」の割合が50.0%と最も高く、次いで「11～15年」の割合が13.8%、「16～20年」の割合が13.1%となっています。



問3 貴団体のある地区を伺います。(○は番号に1つだけ)

「北部」の割合が24.7%と最も高く、次いで「東部」の割合が22.7%、「中部」の割合が20.8%となっています。

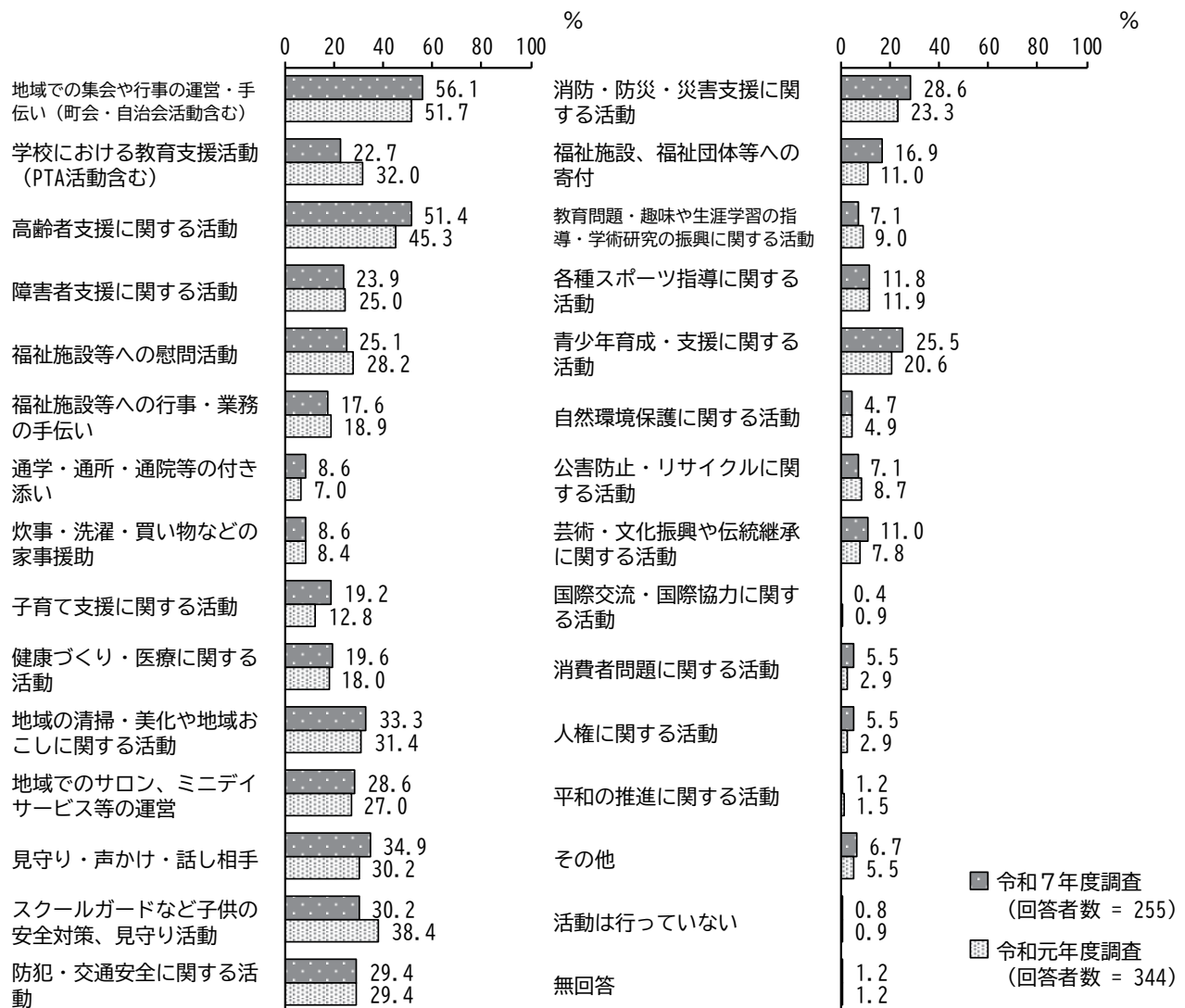


(2) ボランティア活動・市民活動・地域福祉活動等

問4 貴団体は現在、どのような活動をしていますか。(〇はいくつでも)

「地域での集会や行事の運営・手伝い（町会・自治会活動含む）」の割合が56.1%と最も高く、次いで「高齢者支援に関する活動」の割合が51.4%、「見守り・声かけ・話し相手」の割合が34.9%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「高齢者支援に関する活動」「子育て支援に関する活動」「消防・防災・災害支援に関する活動」「福祉施設、福祉団体等への寄付」の割合が増加しています。一方、「学校における教育支援活動（PTA活動含む）」「スクールガードなど子供の安全対策、見守り活動」の割合が減少しています。

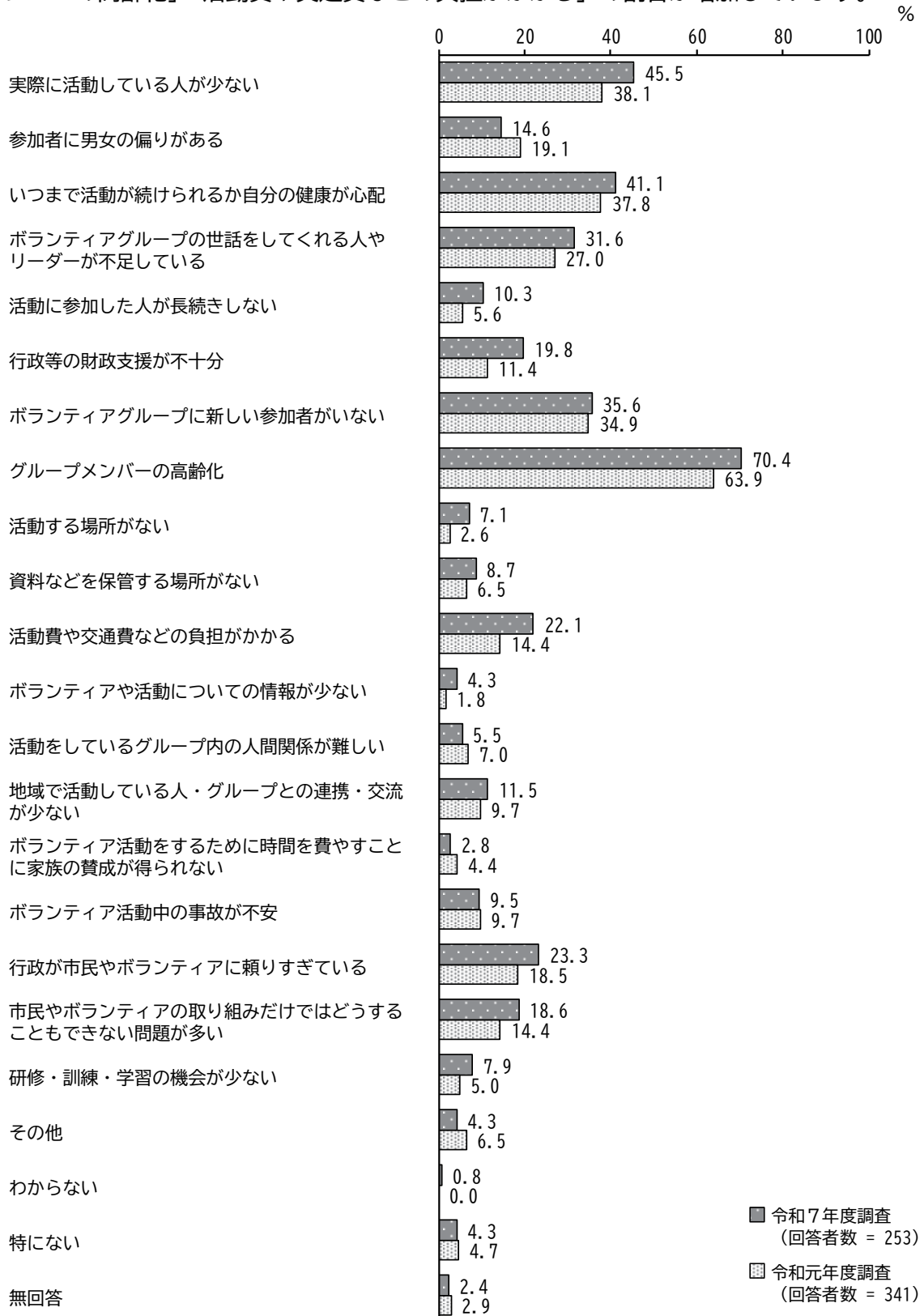


※令和元年度調査では、「人権に関する活動」が「人権・女性に関する活動」となっていました。

問5 貴団体の活動のなかで、日ごろ感じていることや困っていること、悩んでいることはありますか。(〇はいくつでも)

「グループメンバーの高齢化」の割合が70.4%と最も高く、次いで「実際に活動している人が少ない」の割合が45.5%、「いつまで活動が続けられるか自分の健康が心配」の割合が41.1%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「実際に活動している人が少ない」「行政等の財政支援が不十分」「グループメンバーの高齢化」「活動費や交通費などの負担がかかる」の割合が増加しています。

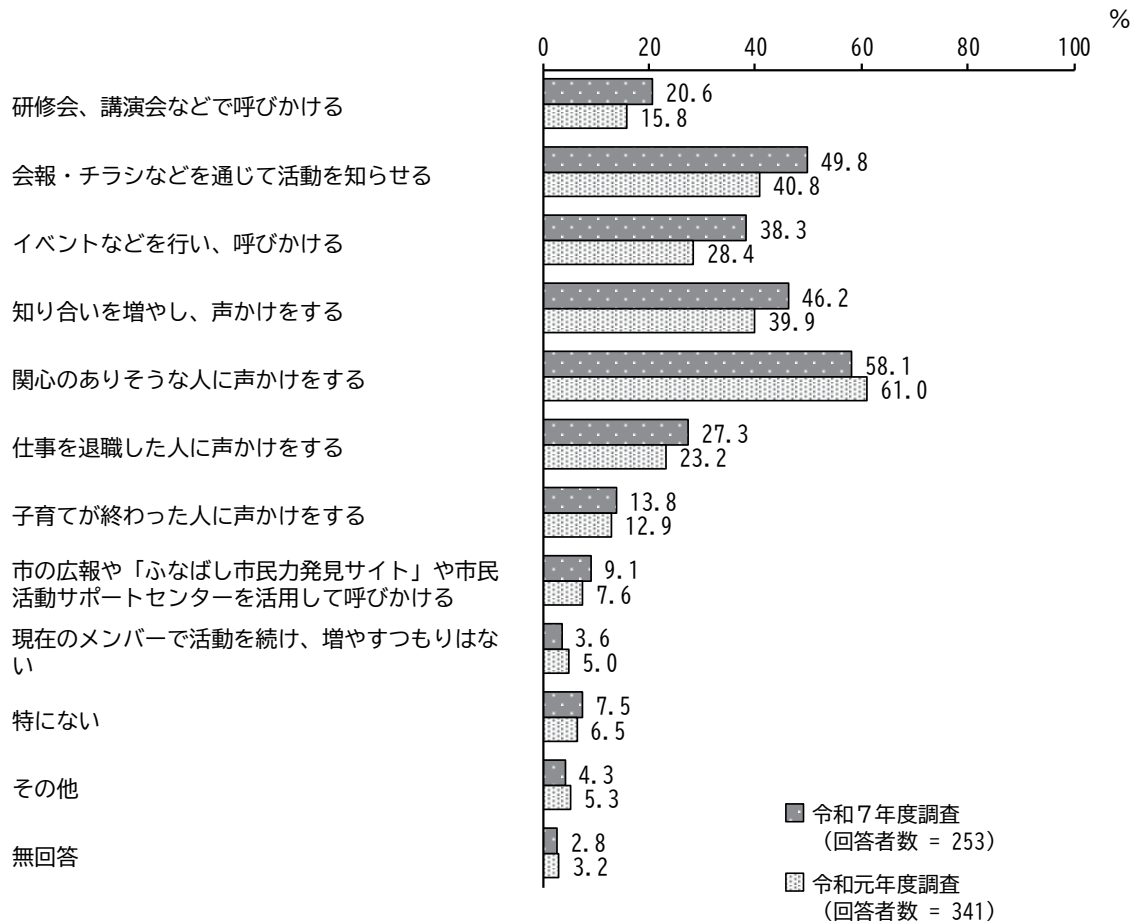


※問5以降については、問4で「活動は行っていない」と回答した団体を回答者数から除いています。

問6 活動の担い手を増やす工夫として、貴団体が現在していることはありますか。
(〇はいくつでも)

「関心のありそうな人に声かけをする」の割合が 58.1%と最も高く、次いで「会報・チラシなどを通じて活動を知らせる」の割合が 49.8%、「知り合いを増やし、声かけをする」の割合が 46.2%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「会報・チラシなどを通じて活動を知らせる」「イベントなどを行い、呼びかける」「知り合いを増やし、声かけをする」の割合が増加しています。



【団体の種類別】

団体の種類別にみると、地区社会福祉協議会で「研修会、講演会などで呼びかける」「会報・チラシなどを通じて活動を知らせる」「イベントなどを行い、呼びかける」、町会・自治会で「知り合いを増やし、声かけをする」、民生児童委員協議会で「関心のありそうな人に声かけをする」「仕事を退職した人に声かけをする」「子育てが終わった人に声かけをする」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	研修会、講演会などで呼びかける	会報・チラシなどを通じて活動を知らせる	イベントなどを行い、呼びかける	知り合いを増やし、声かけをする	関心のありそうな人に声かけをする	仕事を退職した人に声かけをする
全 体	253	20.6	49.8	38.3	46.2	58.1	27.3
町会・自治会	64	18.8	57.8	53.1	60.9	71.9	45.3
地区社会福祉協議会	21	57.1	71.4	71.4	52.4	61.9	28.6
民生児童委員協議会	22	36.4	54.5	31.8	54.5	86.4	63.6
老人クラブ連合会	9	44.4	55.6	66.7	66.7	88.9	22.2
ボランティア団体	86	15.1	43.0	25.6	36.0	46.5	12.8
助け合いの会	14	7.1	35.7	28.6	50.0	57.1	28.6
PTA	12	0.0	50.0	8.3	50.0	50.0	0.0
その他	16	12.5	31.3	31.3	18.8	31.3	12.5

区分	子育てが終わった人に声かけをする	市の広報や「ふなばし市民力発見サイト」や市民活動サポートセンターを活用して呼びかける	現在のメンバーで活動を続け、増やすつもりはない	特にない	その他	無回答
全 体	13.8	9.1	3.6	7.5	4.3	2.8
町会・自治会	12.5	6.3	0.0	4.7	0.0	1.6
地区社会福祉協議会	28.6	4.8	0.0	9.5	9.5	4.8
民生児童委員協議会	59.1	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5
老人クラブ連合会	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1
ボランティア団体	4.7	14.0	8.1	14.0	5.8	2.3
助け合いの会	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0
PTA	8.3	0.0	0.0	8.3	16.7	0.0
その他	6.3	25.0	12.5	0.0	6.3	0.0

【活動人数別】

活動人数別にみると、100人以上から20～49人まで人数が少ないほど「会報・チラシなどを通じて活動を知らせる」「市の広報や「ふなばし市民力発見サイト」や市民活動サポートセンターを活用して呼びかける」の割合が高く、1～19人から50～99人まで人数が多いほど「研修会、講演会などで呼びかける」「知り合いを増やし、声かけをする」「仕事を退職した人に声かけをする」「子育てが終わった人に声かけをする」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	研修会、講演会などで呼びかける	会報・チラシなどを通じて活動を知らせる	イベントなどを行い、呼びかける	知り合いを増やし、声かけをする	関心のありそうな人に声かけをする	仕事を退職した人に声かけをする
全体	128	12.5	41.4	25.0	36.7	46.1	13.3
1～19人	66	12.1	36.4	25.8	33.3	43.9	9.1
20～49人	39	15.4	48.7	25.6	41.0	48.7	20.5
50～99人	9	22.2	44.4	44.4	44.4	44.4	22.2
100人以上	14	0.0	42.9	7.1	35.7	50.0	7.1

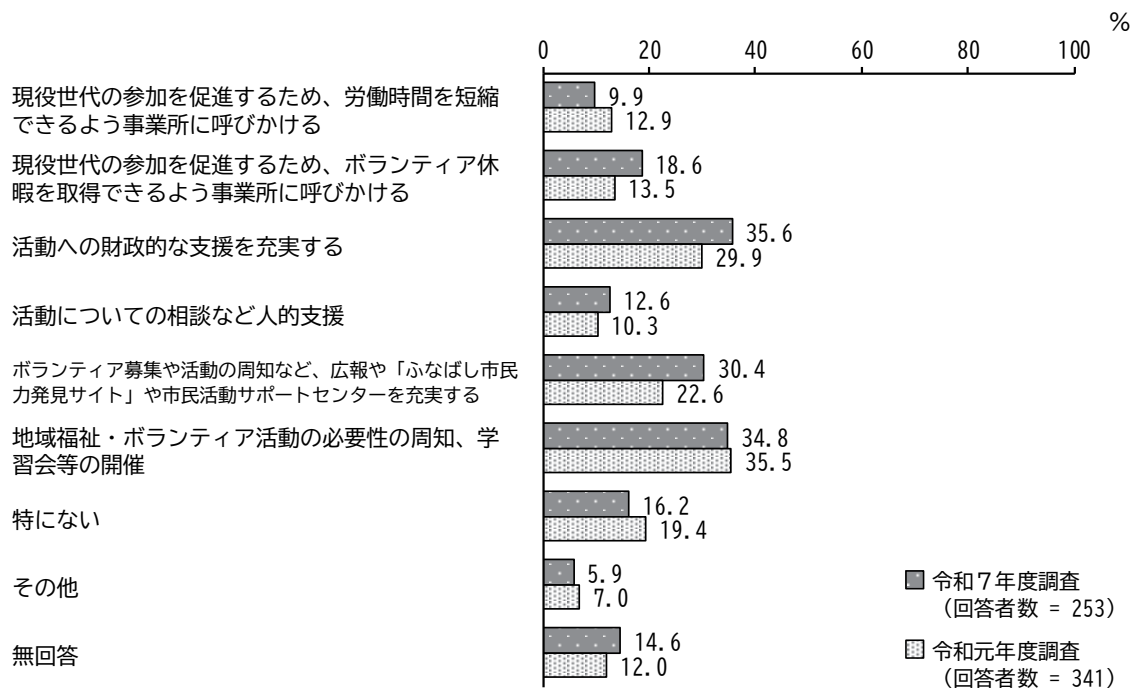
区分	子育てが終わった人に声かけをする	市の広報や「ふなばし市民力発見サイト」や市民活動サポートセンターを活用して呼びかける	現在のメンバーで活動を続け、増やすつもりはない	特になし	その他	無回答
全体	4.7	12.5	7.0	10.2	7.0	1.6
1～19人	1.5	10.6	10.6	12.1	3.0	0.0
20～49人	7.7	20.5	0.0	7.7	7.7	5.1
50～99人	11.1	11.1	11.1	11.1	22.2	0.0
100人以上	7.1	0.0	7.1	7.1	14.3	0.0

※活動人数(問2)は、問1で「ボランティア団体」～「その他」のいずれかを回答した団体のみが回答できる設問であるため、単純集計の回答者数と活動人数別におけるクロス集計の「全体」の値は一致しません。

問8 活動の担い手を増やすために必要な行政の支援はありますか。(〇はいくつでも)

「活動への財政的な支援を充実する」の割合が 35.6%と最も高く、次いで「地域福祉・ボランティア活動の必要性の周知、学習会等の開催」の割合が 34.8%、「ボランティア募集や活動の周知など、広報や「ふなばし市民力発見サイト」や市民活動サポートセンターを充実する」の割合が 30.4%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「現役世代の参加を促進するため、ボランティア休暇を取得できるよう事業所に呼びかける」「活動への財政的な支援を充実する」「ボランティア募集や活動の周知など、広報や「ふなばし市民力発見サイト」や市民活動サポートセンターを充実する」の割合が増加しています。



【団体の種類別】

団体の種類別にみると、民生児童委員協議会で「現役世代の参加を促進するため、労働時間を短縮できるよう事業所に呼びかける」「現役世代の参加を促進するため、ボランティア休暇を取得できるよう事業所に呼びかける」「活動についての相談など人的支援」「地域福祉・ボランティア活動の必要性の周知、学習会等の開催」、町会・自治会で「活動への財政的な支援を充実する」、地区社会福祉協議会、民生児童委員協議会で「ボランティア募集や活動の周知など、広報や「ふなばし市民力発見サイト」や市民活動サポートセンターを充実する」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	現役世代の参加を促進するた め、労働時間を短縮できるよ う事業所に呼びかける	現役世代の参加を促進するた め、ボランティア休暇を取 得できるよう事業所に呼びか ける	活動への財政的な支援を充 実する	活動についての相談など人的 支援
全 体	253	9.9	18.6	35.6	12.6
町会・自治会	64	17.2	26.6	54.7	10.9
地区社会福祉協議会	21	9.5	28.6	42.9	9.5
民生児童委員協議会	22	22.7	40.9	13.6	27.3
老人クラブ連合会	9	11.1	11.1	33.3	33.3
ボランティア団体	86	5.8	10.5	30.2	9.3
助け合いの会	14	0.0	14.3	50.0	14.3
PTA	12	8.3	8.3	16.7	16.7
その他	16	0.0	12.5	18.8	0.0

区分	ボランティア募集や活動の周 知など、広報や「ふなばし市民 力発見サイト」や市民活動サ ポートセンターを充実する	地域福祉・ボランティア活動 の必要性の周知、学習会等の 開催	特 に な い	そ の 他	無 回 答
全 体	30.4	34.8	16.2	5.9	14.6
町会・自治会	28.1	29.7	10.9	3.1	15.6
地区社会福祉協議会	47.6	61.9	4.8	4.8	0.0
民生児童委員協議会	50.0	68.2	4.5	4.5	9.1
老人クラブ連合会	33.3	55.6	11.1	0.0	22.2
ボランティア団体	34.9	24.4	20.9	9.3	18.6
助け合いの会	7.1	50.0	7.1	0.0	14.3
PTA	0.0	8.3	50.0	16.7	0.0
その他	12.5	25.0	31.3	6.3	18.8

【活動人数別】

活動人数別にみると、人数が少ないほど「ボランティア募集や活動の周知など、広報や「ふなばし市民力発見サイト」や市民活動サポートセンターを充実する」の割合が高く、50～99人から1～19人まで人数が少ないほど「現役世代の参加を促進するため、ボランティア休暇を取得できるよう事業所に呼びかける」「活動についての相談など人的支援」の割合が高くなっています。

単位：%

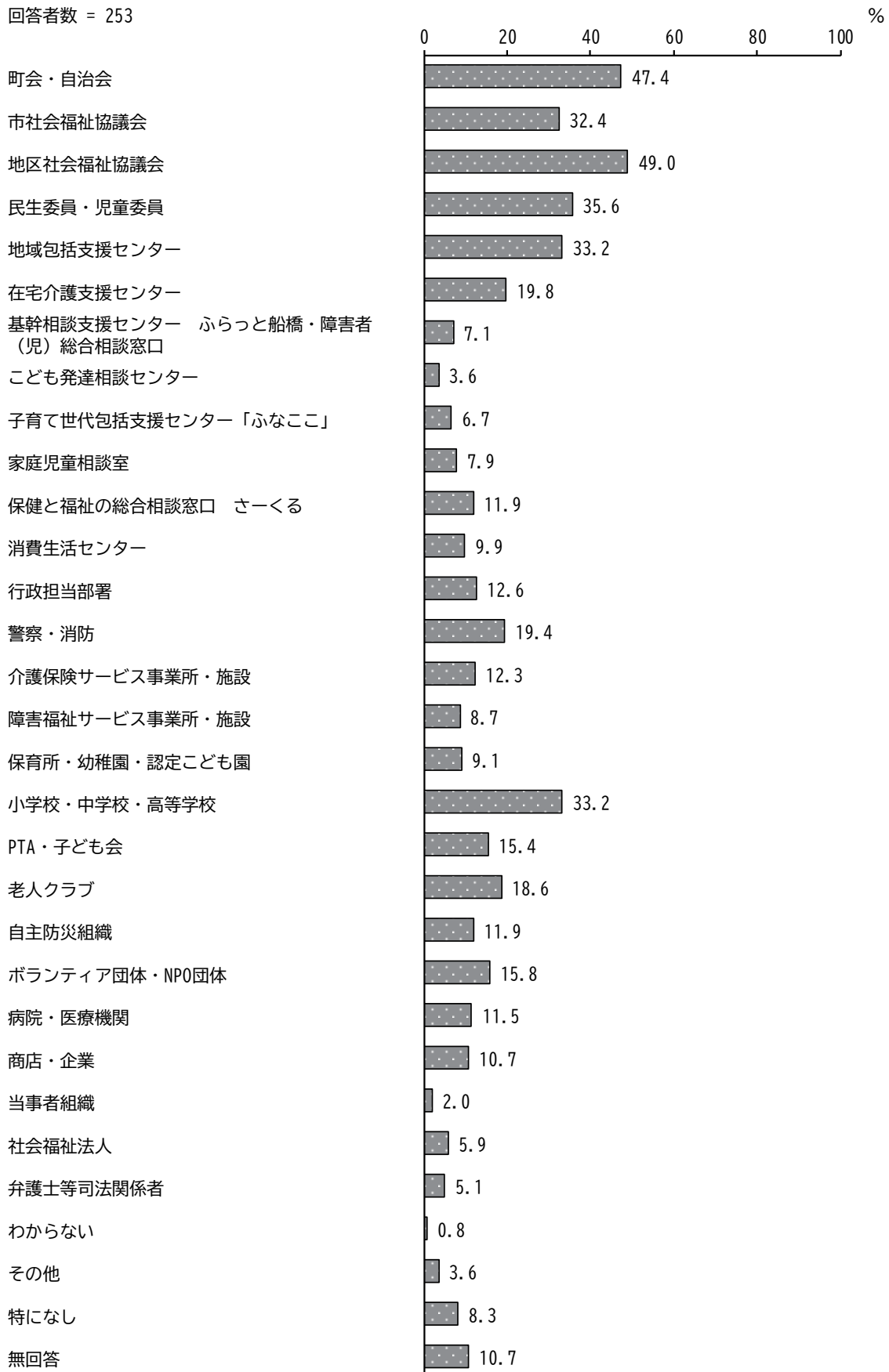
区分	回答者数(件)	現役世代の参加を促進するため、労働時間を短縮できるよう事業所に呼びかける	現役世代の参加を促進するため、ボランティア休暇を取得できるよう事業所に呼びかける	活動への財政的な支援を充実する	活動についての相談など人的支援
全体	128	4.7	10.9	29.7	9.4
1～19人	66	4.5	13.6	31.8	12.1
20～49人	39	2.6	10.3	30.8	5.1
50～99人	9	11.1	0.0	33.3	0.0
100人以上	14	7.1	7.1	14.3	14.3

区分	ボランティア募集や活動の周知など、広報や「ふなばし市民力発見サイト」や市民活動サポートセンターを充実する	地域福祉・ボランティア活動の必要性の周知、学習会等の開催	特になし	その他	無回答
全体	25.8	25.8	23.4	8.6	16.4
1～19人	30.3	27.3	24.2	9.1	18.2
20～49人	28.2	25.6	17.9	7.7	15.4
50～99人	22.2	33.3	0.0	0.0	33.3
100人以上	0.0	14.3	50.0	14.3	0.0

問9 今後、貴団体が活動をする上で連携を深めたい相手を教えてください。
(〇はいくつでも)

「地区社会福祉協議会」の割合が49.0%と最も高く、次いで「町会・自治会」の割合が47.4%、「民生委員・児童委員」の割合が35.6%となっています。

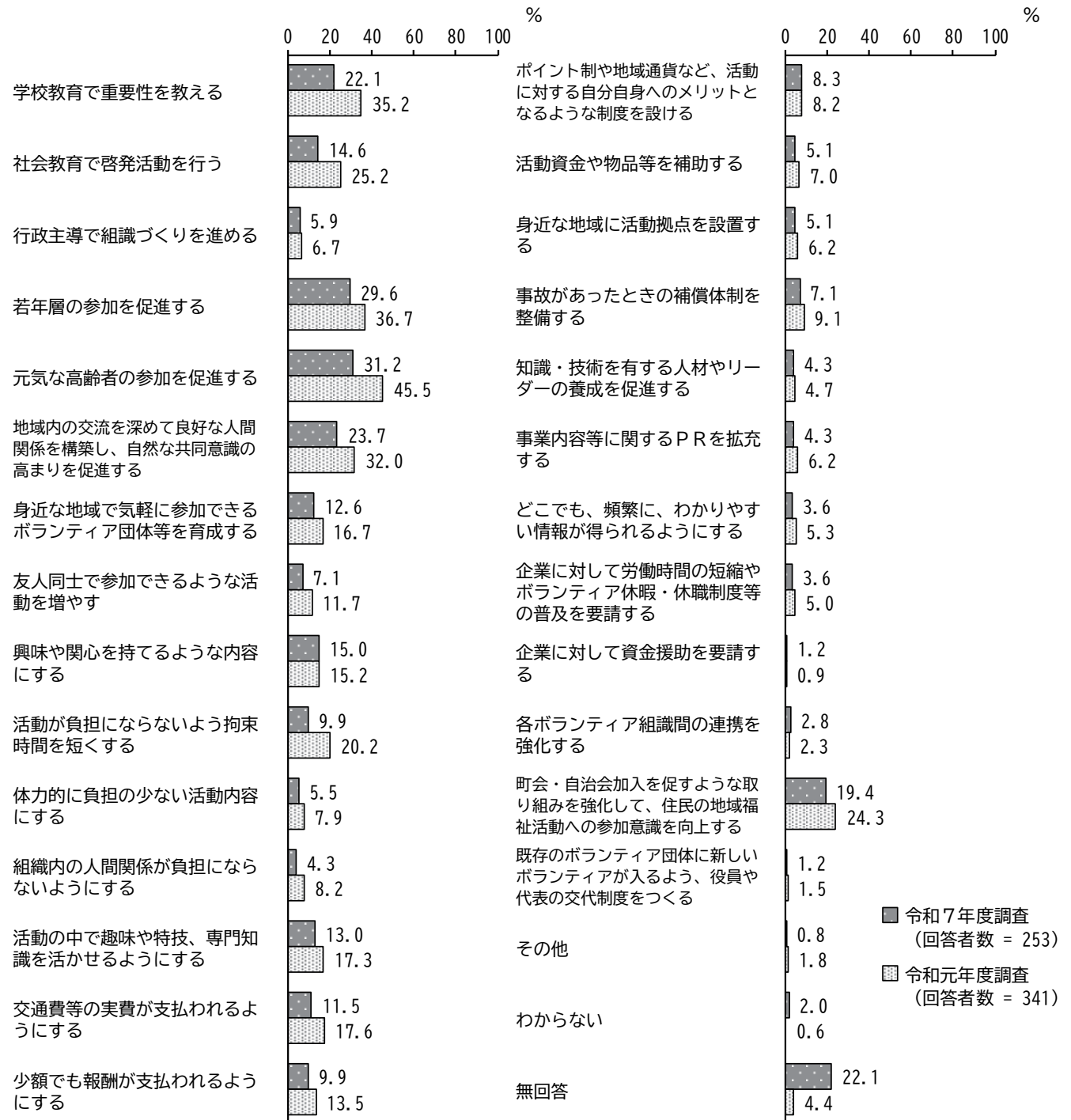
回答者数 = 253



問10 今後、ボランティア活動や市民の自主的な活動等を活性化するためには、活動をするうえで何が必要だと考えますか。(〇は主なもの5つ以内)

「元気な高齢者の参加を促進する」の割合が31.2%と最も高く、次いで「若年層の参加を促進する」の割合が29.6%、「地域内の交流を深めて良好な人間関係を構築し、自然な共同意識の高まりを促進する」の割合が23.7%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「学校教育で重要性を教える」「社会教育で啓発活動を行う」「若年層の参加を促進する」「元気な高齢者の参加を促進する」「地域内の交流を深めて良好な人間関係を構築し、自然な共同意識の高まりを促進する」「活動が負担にならないよう拘束時間を短くする」「交通費等の実費が支払われるようにする」の割合が減少しています。



【団体の種類別】

団体の種類別にみると、町会・自治会で「学校教育で重要性を教える」「若年層の参加を促進する」、民生児童委員協議会で「社会教育で啓発活動を行う」「企業に対して労働時間の短縮やボランティア休暇・休職制度等の普及を要請する」、助け合いの会で「元気な高齢者の参加を促進する」「活動の中で趣味や特技、専門知識を活かせるようにする」、地区社会福祉協議会で「地域内の交流を深めて良好な人間関係を構築し、自然な共同意識の高まりを促進する」、PTAで「興味や関心を持てるような内容にする」「活動が負担にならないよう拘束時間を短くする」「体力的に負担の少ない活動内容にする」「組織内の人間関係が負担にならないようにする」、町会・自治会、民生児童委員協議会で「町会・自治会加入を促すような取り組みを強化して、住民の地域福祉活動への参加意識を向上する」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	学校教育で重要性を教える	社会教育で啓発活動を行う	行政主導で組織づくりを進める	若年層の参加を促進する	元気な高齢者の参加を促進する	地域内の交流を深めて良好な人間関係を構築し、自然な共同意識の高まりを促進する	身近な地域で気軽に参加できるボランティア団体等を育成する
全体	253	22.1	14.6	5.9	29.6	31.2	23.7	12.6
町会・自治会	64	32.8	17.2	10.9	45.3	26.6	37.5	9.4
地区社会福祉協議会	21	28.6	14.3	9.5	28.6	9.5	42.9	14.3
民生児童委員協議会	22	27.3	31.8	4.5	40.9	40.9	36.4	4.5
老人クラブ連合会	9	0.0	0.0	0.0	11.1	22.2	11.1	11.1
ボランティア団体	86	18.6	12.8	3.5	22.1	37.2	11.6	17.4
助け合いの会	14	14.3	14.3	7.1	14.3	42.9	28.6	7.1
PTA	12	25.0	0.0	8.3	33.3	0.0	16.7	8.3
その他	16	12.5	6.3	0.0	25.0	43.8	6.3	12.5

区分	友人同士で参加できるような活動を増やす	興味や関心を持てるような内容にする	活動が負担にならないよう拘束時間を短くする	体力的に負担の少ない活動内容にする	組織内の人間関係が負担にならないようにする	活動の中で趣味や特技、専門知識を活かせるようにする	交通費等の実費が支払われるようにする	少額でも報酬が支払われるようにする
全体	7.1	15.0	9.9	5.5	4.3	13.0	11.5	9.9
町会・自治会	4.7	7.8	17.2	1.6	0.0	6.3	9.4	12.5
地区社会福祉協議会	4.8	9.5	19.0	14.3	4.8	9.5	14.3	14.3
民生児童委員協議会	9.1	13.6	9.1	9.1	9.1	13.6	4.5	13.6
老人クラブ連合会	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ボランティア団体	9.3	17.4	2.3	7.0	5.8	18.6	17.4	9.3
助け合いの会	7.1	14.3	7.1	0.0	0.0	28.6	0.0	7.1
PTA	8.3	50.0	33.3	16.7	16.7	16.7	16.7	0.0
その他	12.5	18.8	6.3	0.0	6.3	12.5	12.5	12.5

【団体の種類別（つづき）】

単位：％

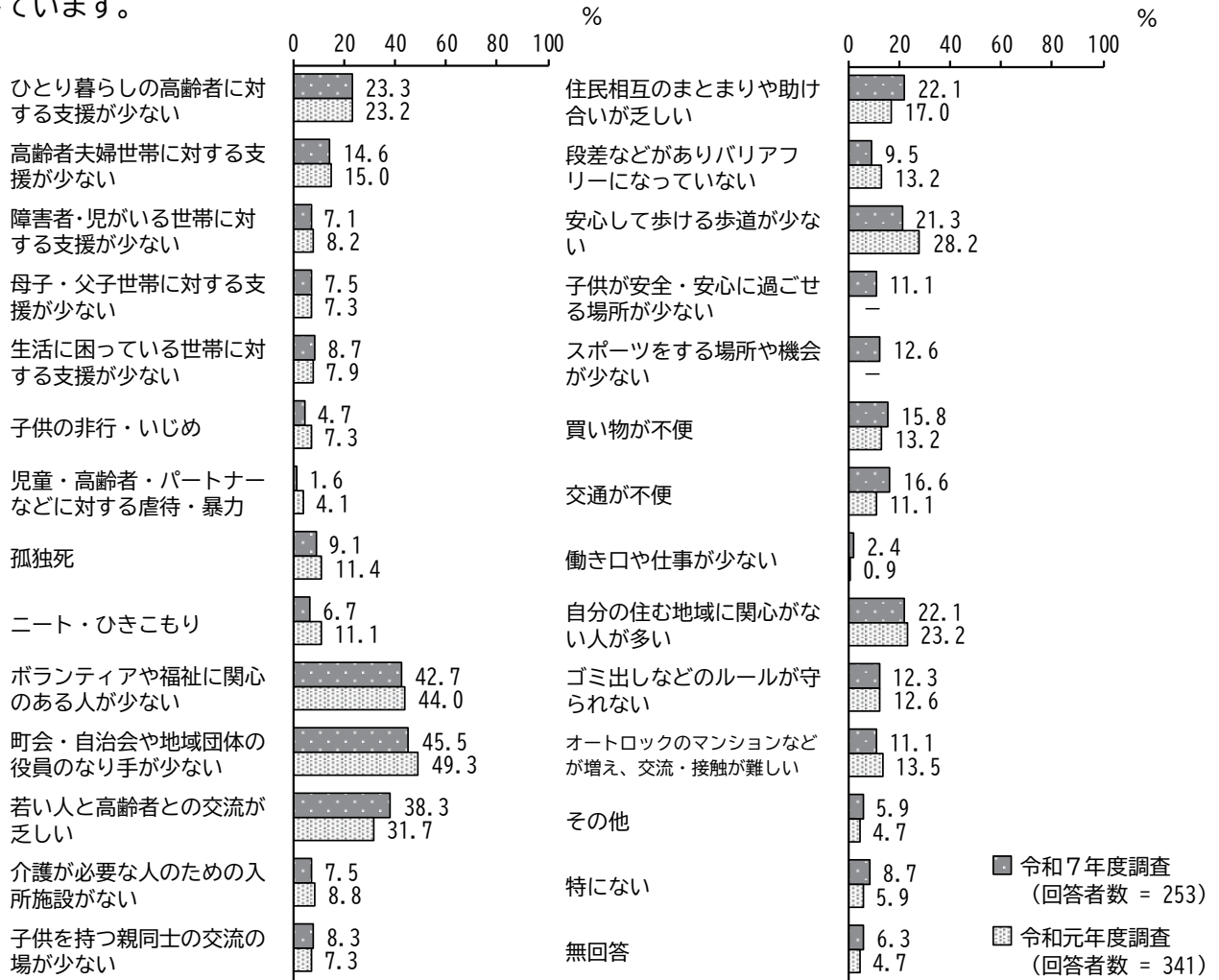
区分	ポイント制や地域通貨など、活動に対する自分自身へのメリットとなるような制度を設ける	活動資金や物品等を補助する	身近な地域に活動拠点を設置する	事故があったときの補償体制を整備する	知識・技術を有する人材やリーダーの養成を促進する	事業内容等に関するPRを拡充する	どこでも、頻繁に、わかりやすい情報が得られるようにする	企業に対して労働時間の短縮やボランティア休暇・休職制度等の普及を要請する
全 体	8.3	5.1	5.1	7.1	4.3	4.3	3.6	3.6
町会・自治会	6.3	3.1	4.7	4.7	4.7	1.6	1.6	1.6
地区社会福祉協議会	9.5	0.0	4.8	4.8	9.5	4.8	4.8	0.0
民生児童委員協議会	9.1	4.5	9.1	0.0	4.5	4.5	0.0	13.6
老人クラブ連合会	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0
ボランティア団体	14.0	8.1	5.8	9.3	4.7	7.0	5.8	3.5
助け合いの会	0.0	7.1	7.1	0.0	7.1	7.1	0.0	7.1
PTA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0
その他	0.0	12.5	0.0	25.0	0.0	6.3	6.3	6.3

区分	企業に対して資金援助を要請する	各ボランティア組織間の連携を強化する	町会・自治会加入を促すような取り組みを強化して、住民の地域福祉活動への参加意識を向上する	既存のボランティア団体に新しいボランティアが入るよう、役員や代表の交代制度をつくる	その他	わからない	無回答
全 体	1.2	2.8	19.4	1.2	0.8	2.0	22.1
町会・自治会	0.0	6.3	34.4	0.0	0.0	3.1	23.4
地区社会福祉協議会	0.0	4.8	28.6	0.0	0.0	0.0	19.0
民生児童委員協議会	4.5	0.0	31.8	0.0	0.0	4.5	18.2
老人クラブ連合会	0.0	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0	77.8
ボランティア団体	2.3	2.3	10.5	2.3	2.3	1.2	15.1
助け合いの会	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	28.6
PTA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
その他	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	6.3	12.5

問 11 貴団体の活動を通して、住んでいる地域で、課題と感じていることはありますか。
(〇はいくつでも)

「町会・自治会や地域団体の役員のなり手が少ない」の割合が 45.5%と最も高く、次いで「ボランティアや福祉に関心のある人が少ない」の割合が 42.7%、「若い人と高齢者との交流が乏しい」の割合が 38.3%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「若い人と高齢者との交流が乏しい」「住民相互のまとめりや助け合いが乏しい」「交通が不便」の割合が増加しています。一方、「安心して歩ける歩道が少ない」の割合が減少しています。



※令和元年度調査では、「子供が安全・安心に過ごせる場所が少ない」、「スポーツをする場所や機会が少ない」がありませんでした。

【団体の種類別】

団体の種類別にみると、助け合いの会で「ひとり暮らしの高齢者に対する支援が少ない」「生活に困っている世帯に対する支援が少ない」「孤独死」「買い物が不便」「交通が不便」、PTAで「子供の非行・いじめ」「安心して歩ける歩道が少ない」「子供が安全・安心に過ごせる場所が少ない」、地区社会福祉協議会、民生児童委員協議会で「ボランティアや福祉に関心のある人が少ない」、町会・自治会で「町会・自治会や地域団体の役員のなり手が少ない」「ゴミ出しなどのルールが守られない」、民生児童委員協議会で「若い人と高齢者との交流が乏しい」「住民相互のまとめりや助け合いが乏しい」、地区社会福祉協議会で「自分の住む地域に関心がない人が多い」、町会・自治会、民生児童委員協議会で「オートロックのマンションなどが増え、交流・接触が難しい」の割合が高くなっています。

区分	回答者数(件)	ひとり暮らしの高齢者に対する支援が少ない	高齢者夫婦世帯に対する支援が少ない	障害者・児がいる世帯に対する支援が少ない	母子・父子世帯に対する支援が少ない	生活に困っている世帯に対する支援が少ない	子供の非行・いじめ	児童・高齢者・パートナーなどに対する虐待・暴力	孤独死	ニート・ひきこもり
全体	253	23.3	14.6	7.1	7.5	8.7	4.7	1.6	9.1	6.7
町会・自治会	64	37.5	23.4	7.8	3.1	4.7	1.6	0.0	6.3	4.7
地区社会福祉協議会	21	23.8	23.8	9.5	4.8	9.5	9.5	9.5	9.5	14.3
民生児童委員協議会	22	18.2	18.2	13.6	4.5	0.0	4.5	4.5	18.2	13.6
老人クラブ連合会	9	55.6	22.2	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	33.3	11.1
ボランティア団体	86	11.6	9.3	4.7	14.0	11.6	7.0	0.0	7.0	4.7
助け合いの会	14	42.9	14.3	7.1	14.3	21.4	0.0	0.0	21.4	7.1
PTA	12	0.0	0.0	16.7	8.3	8.3	16.7	8.3	0.0	8.3
その他	16	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0

区分	ボランティアや福祉に関心のある人が少ない	町会・自治会や地域団体の役員のなり手が少ない	若い人と高齢者との交流が乏しい	介護が必要な人のための入所施設がない	子供を持つ親同士の交流の場が少ない	住民相互のまとまりや助け合いが乏しい	段差などがありバリアフリーになっていない	安心して歩ける歩道が少ない	子供が安全・安心に過ごせる場所が少ない	買い物が不便
全体	42.7	45.5	38.3	7.5	8.3	22.1	9.5	21.3	11.1	15.8
町会・自治会	46.9	70.3	40.6	10.9	10.9	15.6	7.8	21.9	10.9	14.1
地区社会福祉協議会	61.9	38.1	47.6	14.3	14.3	28.6	14.3	19.0	9.5	19.0
民生児童委員協議会	63.6	54.5	50.0	9.1	9.1	45.5	9.1	18.2	18.2	13.6
老人クラブ連合会	44.4	66.7	44.4	22.2	11.1	55.6	11.1	11.1	0.0	33.3
ボランティア団体	33.7	27.9	37.2	3.5	7.0	18.6	12.8	23.3	10.5	12.8
助け合いの会	35.7	50.0	28.6	7.1	0.0	14.3	7.1	7.1	0.0	57.1
PTA	41.7	33.3	33.3	8.3	16.7	8.3	8.3	50.0	41.7	0.0
その他	37.5	31.3	18.8	0.0	0.0	18.8	0.0	12.5	0.0	6.3

区分	交通が不便	働き口や仕事が少ない	自分の住む地域に関心がない人が多い	ゴミ出しなどのルールが守られない	オートロックのマンションなどが増え、交流・接触が難しい	その他	特にな	無回答
全体	16.6	2.4	22.1	12.3	11.1	5.9	8.7	6.3
町会・自治会	17.2	1.6	23.4	23.4	21.9	3.1	1.6	6.3
地区社会福祉協議会	19.0	0.0	38.1	4.8	19.0	4.8	9.5	4.8
民生児童委員協議会	18.2	0.0	22.7	13.6	22.7	4.5	9.1	4.5
老人クラブ連合会	22.2	0.0	22.2	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1
ボランティア団体	14.0	4.7	19.8	8.1	4.7	8.1	11.6	7.0
助け合いの会	50.0	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
PTA	0.0	8.3	25.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0
その他	6.3	0.0	18.8	12.5	0.0	6.3	25.0	18.8

【活動人数別】

活動人数別にみると、人数が多いほど「子供を持つ親同士の交流の場が少ない」「子供が安全・安心に過ごせる場所が少ない」の割合が高く、人数が少ないほど「ひとり暮らしの高齢者に対する支援が少ない」「母子・父子世帯に対する支援が少ない」の割合が高い傾向にあり、1～19人から50～99人まで人数が多いほど「ニート・ひきこもり」「若い人と高齢者との交流が乏しい」「段差などがありバリアフリーになっていない」「交通が不便」の割合が高く、「高齢者夫婦世帯に対する支援が少ない」「生活に困っている世帯に対する支援が少ない」「ボランティアや福祉に関心のある人が少ない」「ゴミ出しなどのルールが守られない」の割合が低くなっています。また、20～49人で「安心して歩ける歩道が少ない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	ひとり暮らしの高齢者に対する支援が少ない	高齢者夫婦世帯に対する支援が少ない	障害者・児がいる世帯に対する支援が少ない	母子・父子世帯に対する支援が少ない	生活に困っている世帯に対する支援が少ない	子供の非行・いじめ	児童・高齢者・パートナーなどに対する虐待・暴力	孤独死	ニート・ひきこもり
全体	128	14.1	7.8	5.5	11.7	10.9	6.3	0.8	7.8	4.7
1～19人	66	16.7	13.6	4.5	13.6	16.7	6.1	0.0	6.1	3.0
20～49人	39	12.8	2.6	5.1	10.3	5.1	0.0	0.0	5.1	5.1
50～99人	9	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0	22.2	0.0	33.3	11.1
100人以上	14	7.1	0.0	14.3	7.1	7.1	14.3	7.1	7.1	7.1

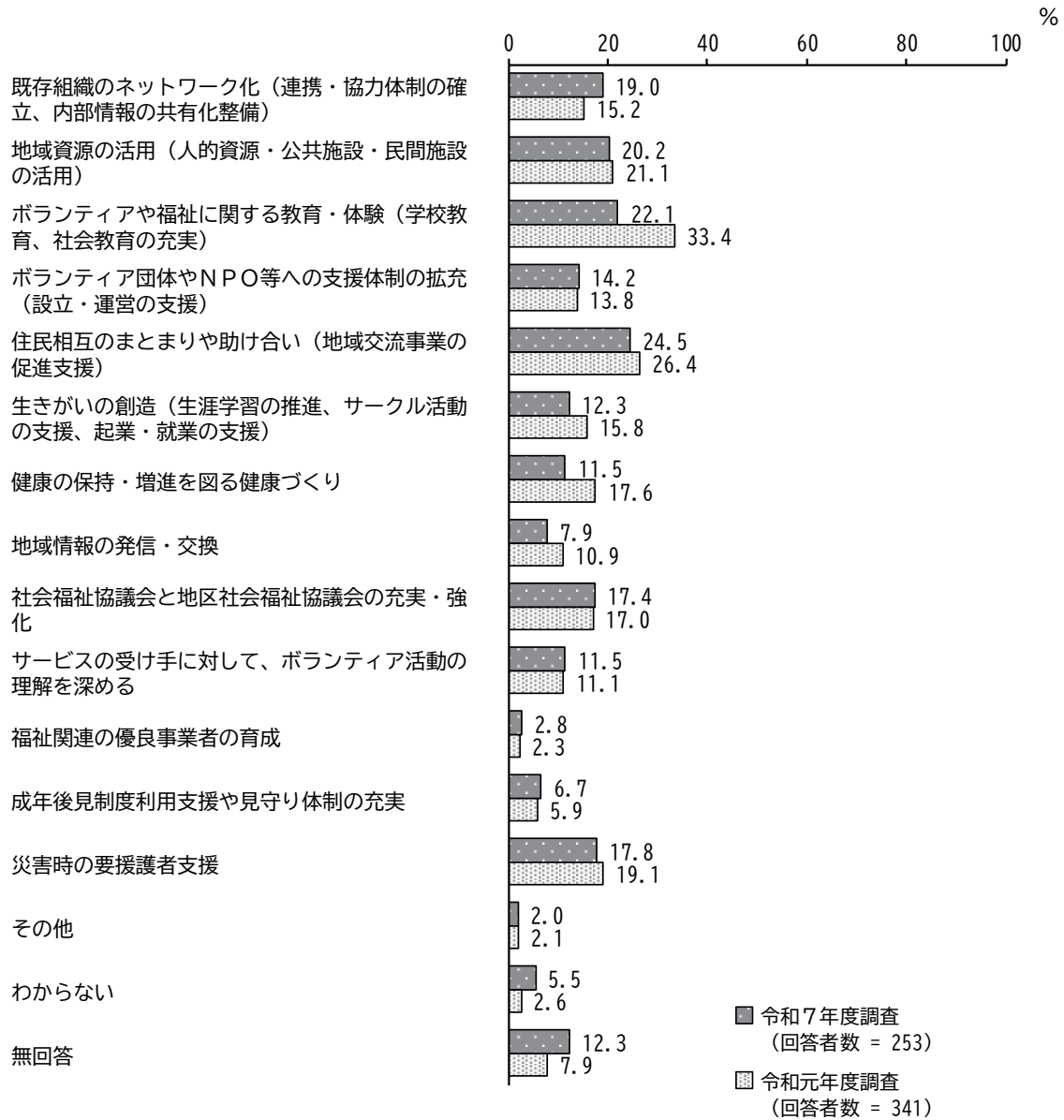
区分	ボランティアや福祉に関心のある人が少ない	町会・自治会や地域団体の役員のなり手が少ない	若い人と高齢者との交流が乏しい	介護が必要な人のための入所施設がない	子供を持つ親同士の交流の場が少ない	住民相互のまとまりや助け合いが乏しい	段差などがありバリアフリーになっていない	安心して歩ける歩道が少ない	子供が安全・安心に過ごせる場所が少ない
全体	35.2	31.3	33.6	3.9	6.3	17.2	10.2	22.7	10.9
1～19人	43.9	37.9	31.8	3.0	4.5	16.7	7.6	13.6	3.0
20～49人	23.1	15.4	33.3	5.1	5.1	20.5	12.8	35.9	12.8
50～99人	22.2	33.3	55.6	0.0	11.1	11.1	22.2	11.1	22.2
100人以上	35.7	42.9	28.6	7.1	14.3	14.3	7.1	35.7	35.7

区分	買い物が不便	交通が不便	働き口や仕事が少ない	自分の住む地域に関心がない人が多い	ゴミ出しなどのルールが守られない	オートロックのマンションなどが増え、交流・接触が難しい	その他	特にない	無回答
全体	15.6	15.6	3.9	19.5	8.6	3.1	7.8	12.5	7.0
1～19人	16.7	13.6	4.5	18.2	12.1	4.5	6.1	16.7	10.6
20～49人	17.9	20.5	2.6	20.5	2.6	2.6	10.3	5.1	2.6
50～99人	11.1	22.2	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1
100人以上	7.1	7.1	7.1	28.6	14.3	0.0	14.3	21.4	0.0

問12 福祉関連の分野で特に行政に力を入れて取り組んでほしい施策は何ですか。
(○は主なもの3つ以内)

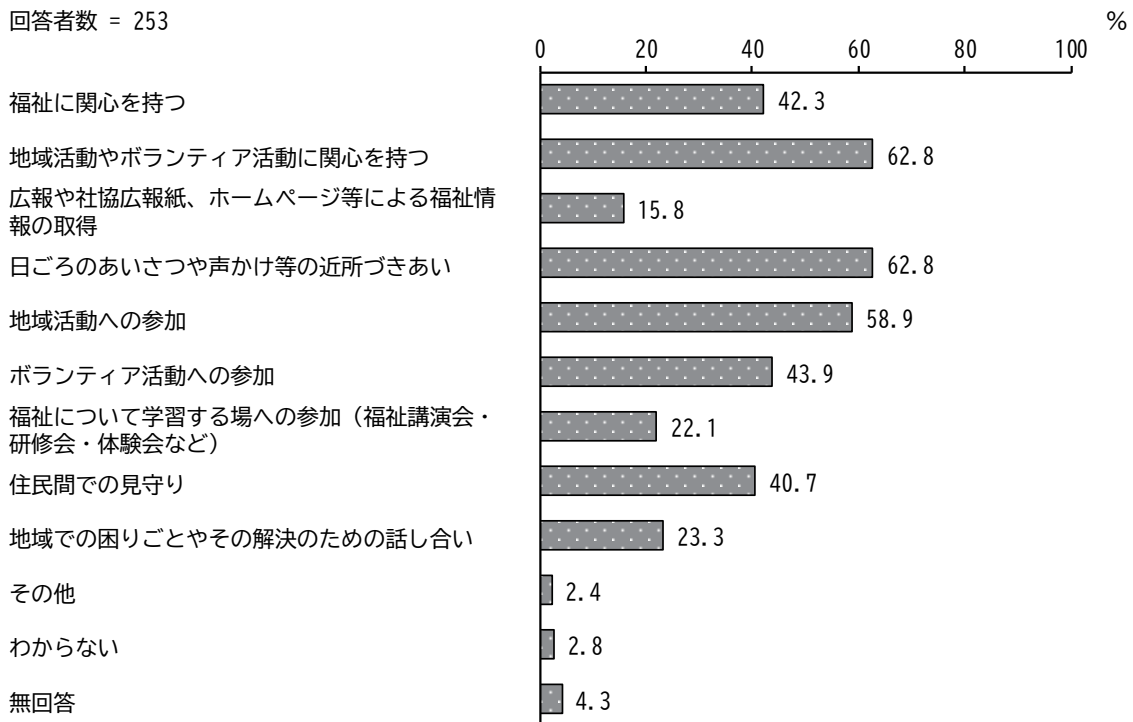
「住民相互のまとまりや助け合い（地域交流事業の促進支援）」の割合が24.5%と最も高く、次いで「ボランティアや福祉に関する教育・体験（学校教育、社会教育の充実）」の割合が22.1%、「地域資源の活用（人的資源・公共施設・民間施設の活用）」の割合が20.2%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「ボランティアや福祉に関する教育・体験（学校教育、社会教育の充実）」「健康の保持・増進を図る健康づくり」の割合が減少しています。



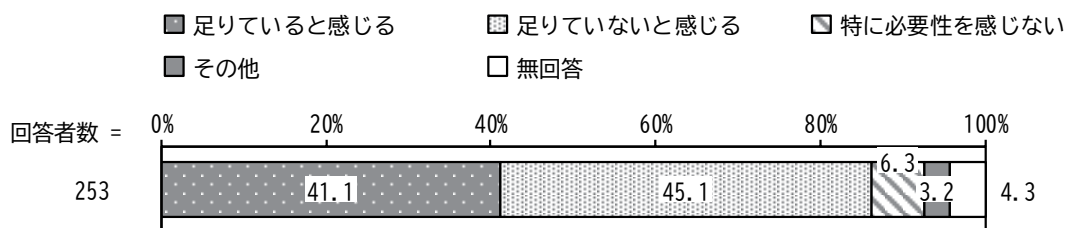
問 13 地域福祉を推進する上で地域住民に求められることはどのようなことと考えますか。
(○はいくつでも)

「地域活動やボランティア活動に関心を持つ」、「日ごろのあいさつや声かけ等の近所づきあい」の割合が 62.8%と最も高く、次いで「地域活動への参加」の割合が 58.9%となっています。



問 14 地域住民が集まったり、地域活動を行ったりする場所について、どのように感じますか。(○は1つだけ)

「足りていると感じる」の割合が 41.1%、「足りていないと感じる」の割合が 45.1%、「特に必要性を感じない」の割合が 6.3%となっています。

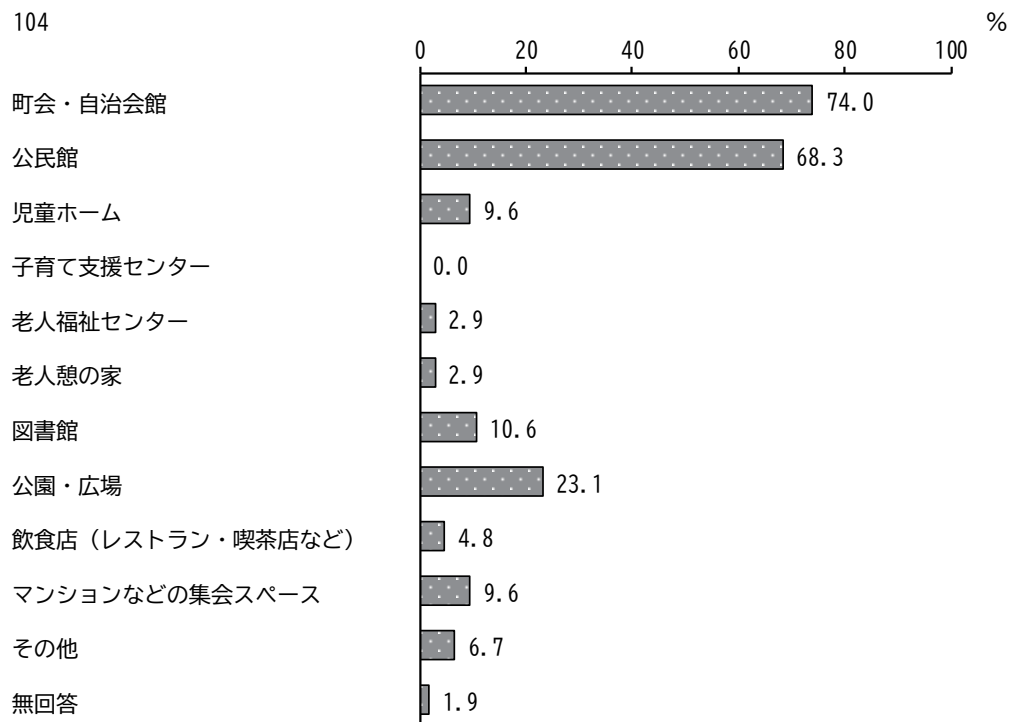


(問 14 で「足りていると感じる」とお答えの方に伺います)

問 14-1 主にどのような場所を日頃利用していますか。(〇はいくつでも)

「町会・自治会館」の割合が 74.0%と最も高く、次いで「公民館」の割合が 68.3%、「公園・広場」の割合が 23.1%となっています。

回答者数 = 104

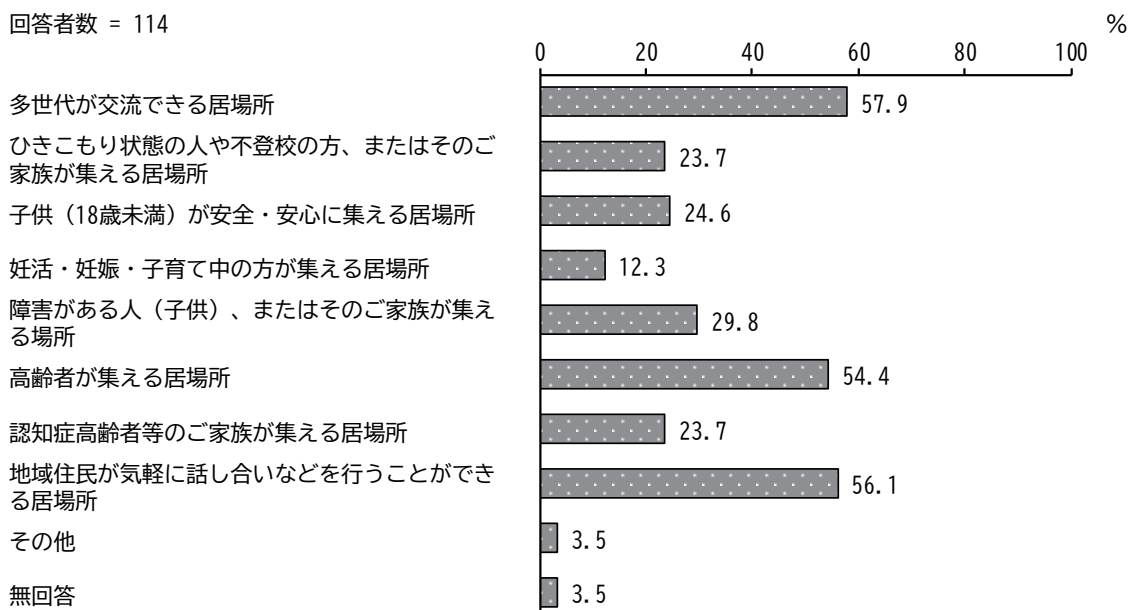


(問 14 で「足りていないと感じる」とお答えの方に伺います)

問 14-2 どのような居場所が足りていないと感じますか。(〇はいくつでも)

「多世代が交流できる居場所」の割合が 57.9%と最も高く、次いで「地域住民が気軽に話し合いなどを行うことができる居場所」の割合が 56.1%、「高齢者が集える居場所」の割合が 54.4%となっています。

回答者数 = 114

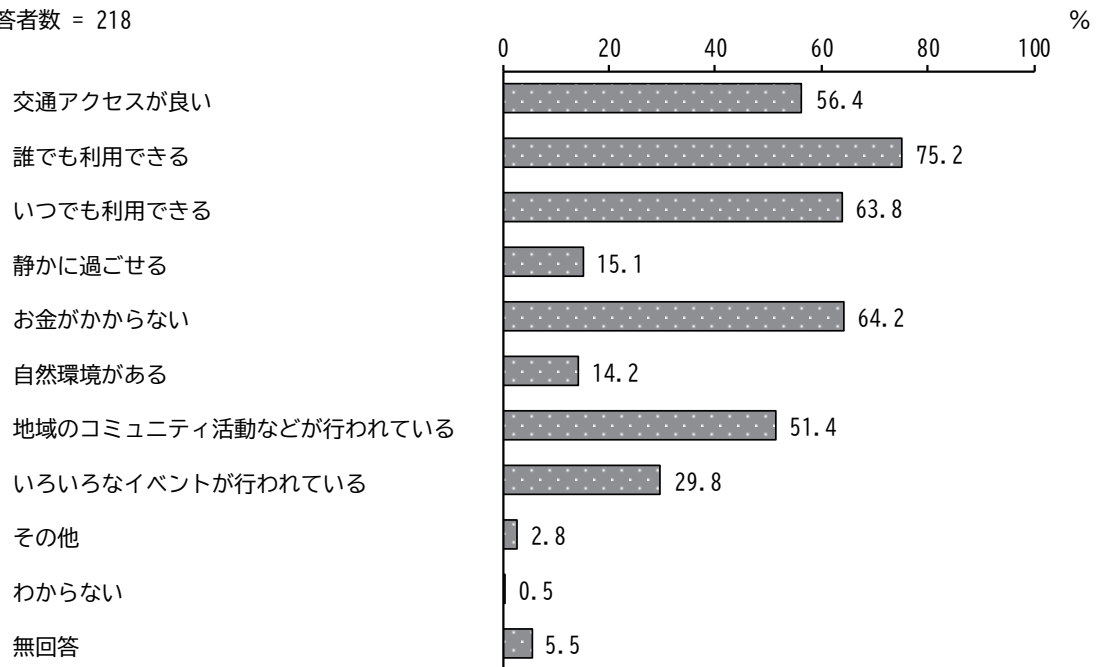


(問 14 で「足りていると感じる」「足りていないと感じる」とお答えの方に伺います)

問 14-3 どのような条件がそろった場所が居場所として魅力的だと感じますか。(〇はいくつでも)

「誰でも利用できる」の割合が 75.2%と最も高く、次いで「お金がかからない」の割合が 64.2%、「いつでも利用できる」の割合が 63.8%となっています。

回答者数 = 218

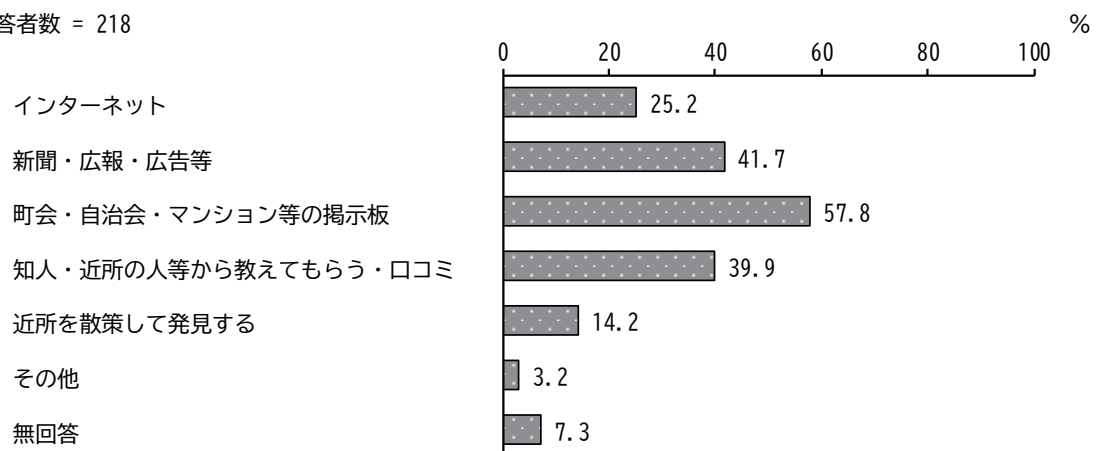


(問 14 で「足りていると感じる」「足りていないと感じる」とお答えの方に伺います)

問 14-4 地域住民が集まったり、地域活動を行ったりする場所について、どこで情報を得ていますか。(〇はいくつでも)

「町会・自治会・マンション等の掲示板」の割合が 57.8%と最も高く、次いで「新聞・広報・広告等」の割合が 41.7%、「知人・近所の人等から教えてもらう・口コミ」の割合が 39.9%となっています。

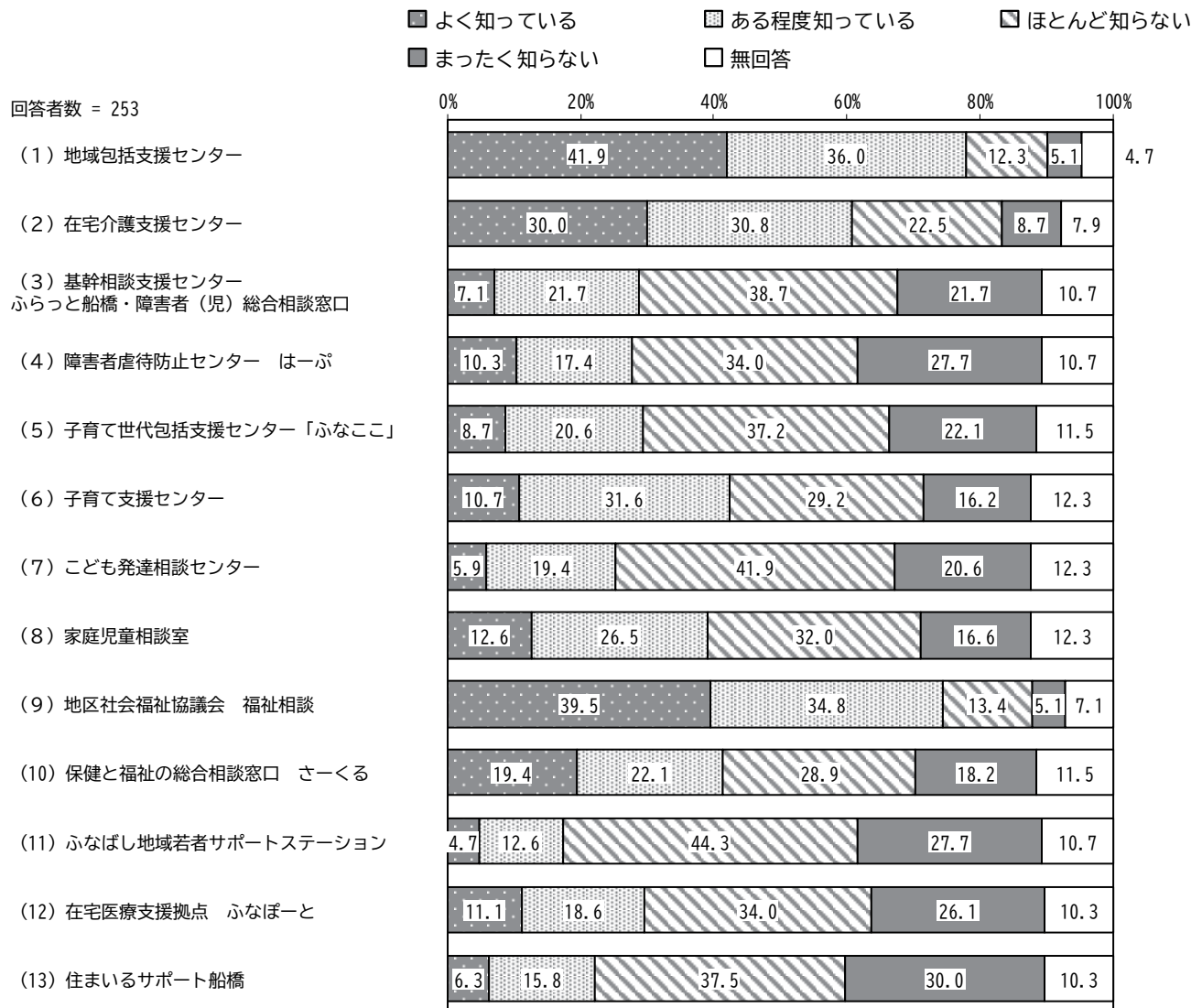
回答者数 = 218



(3) その他

問 15 貴団体は、次の相談窓口をどの程度ご存じですか。(それぞれ1つだけ○)

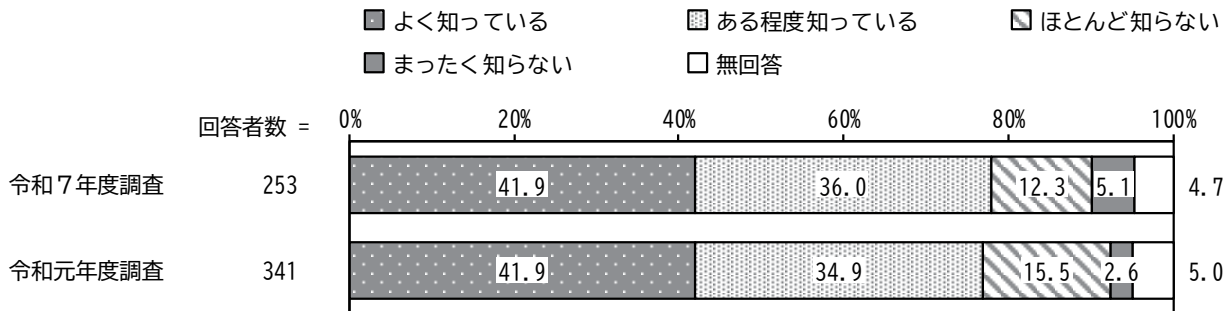
『(1) 地域包括支援センター』『(9) 地区社会福祉協議会 福祉相談』で「よく知っている」と「ある程度知っている」を合わせた“知っている”の割合が高くなっています。一方、『(11) ふなばし地域若者サポートステーション』で「ほとんど知らない」と「まったく知らない」を合わせた“知らない”の割合が高くなっています。



(1) 地域包括支援センター

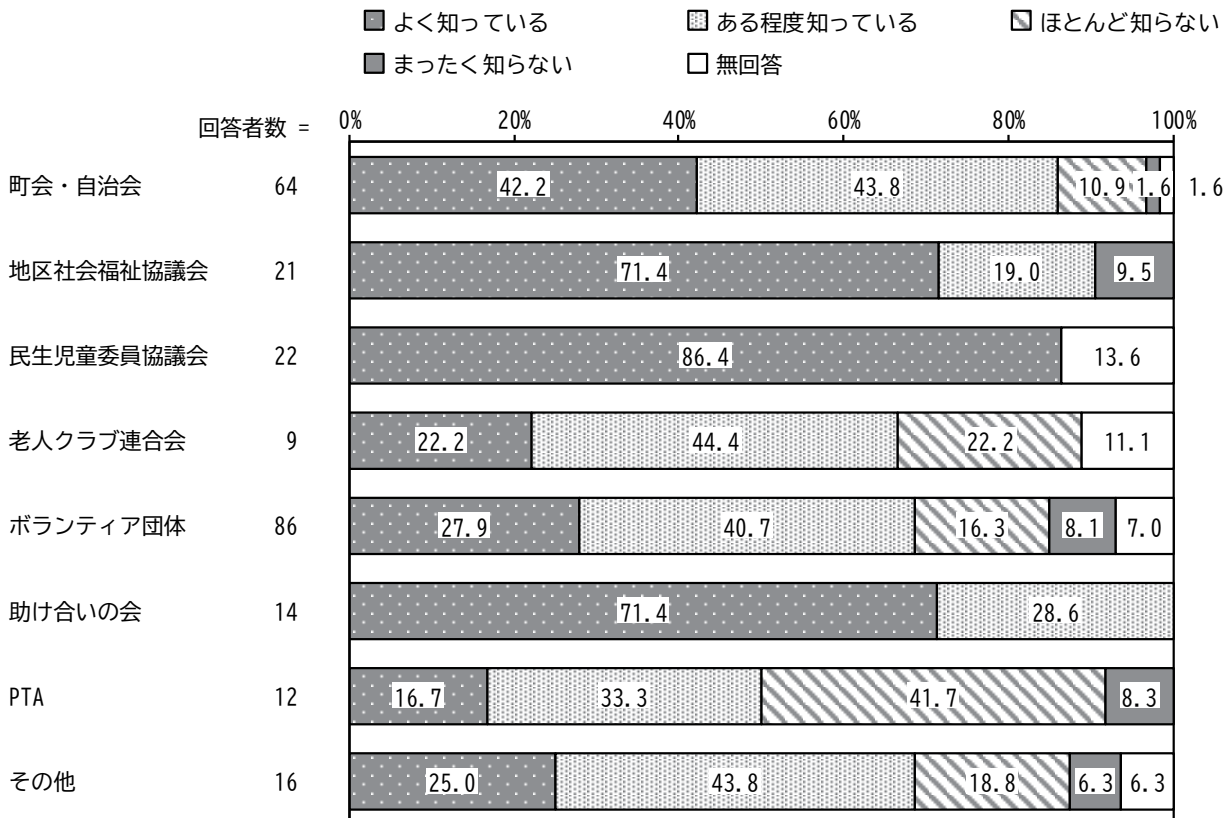
【経年比較】

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【団体の種類別】

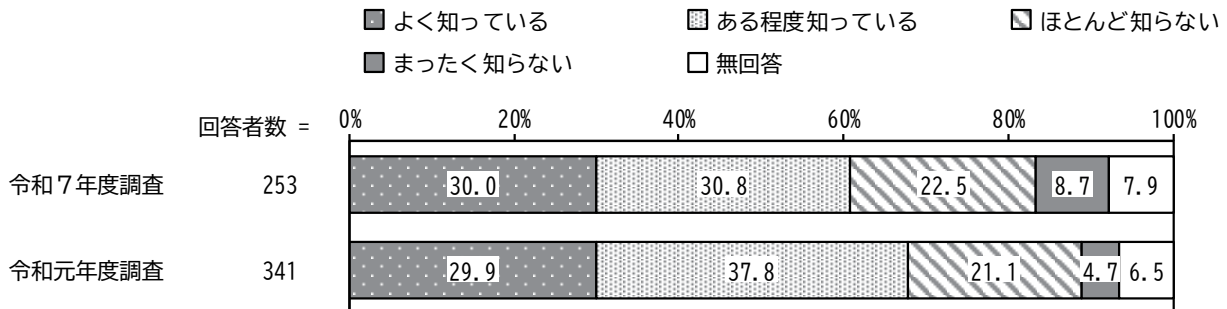
団体の種類別にみると、民生児童委員協議会で「よく知っている」の割合が、PTAで“知らない”の割合が高くなっています。



(2) 在宅介護支援センター

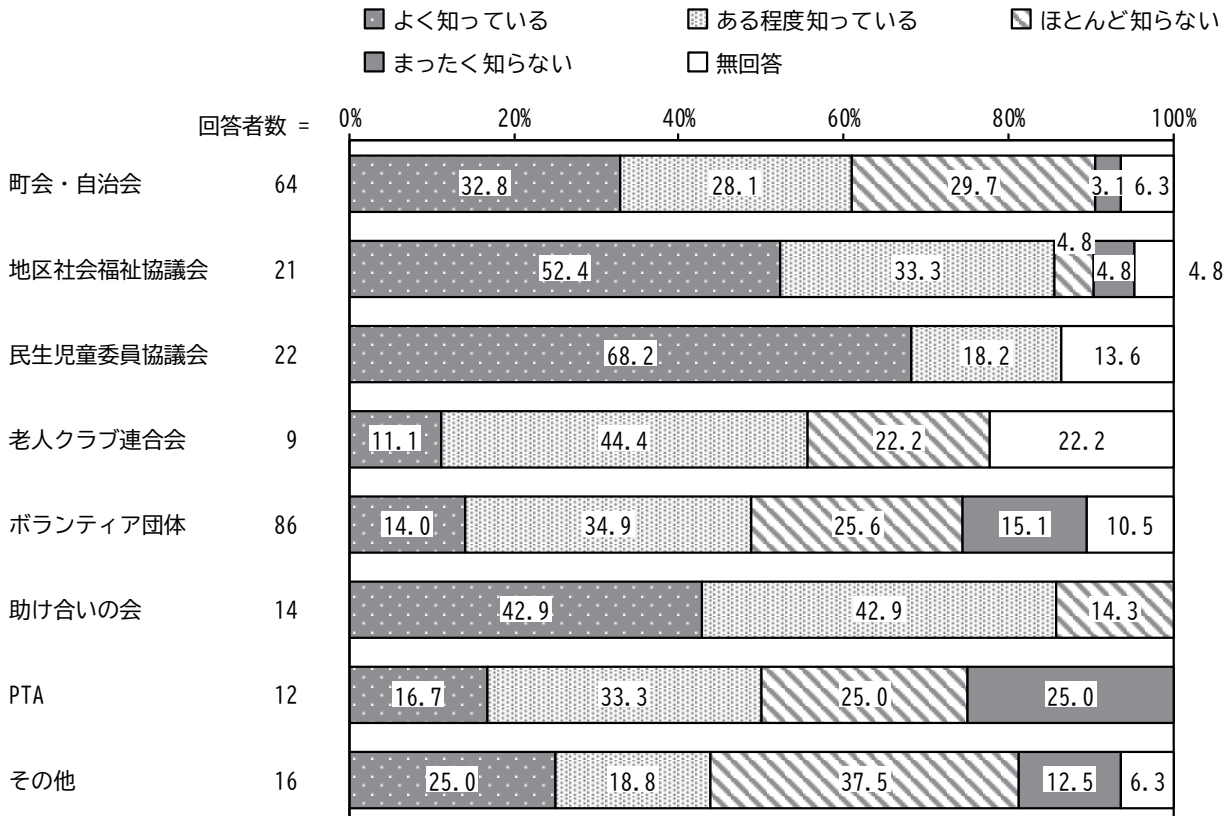
【経年比較】

令和元年度調査と比較すると、“知っている”の割合が減少しています。



【団体の種類別】

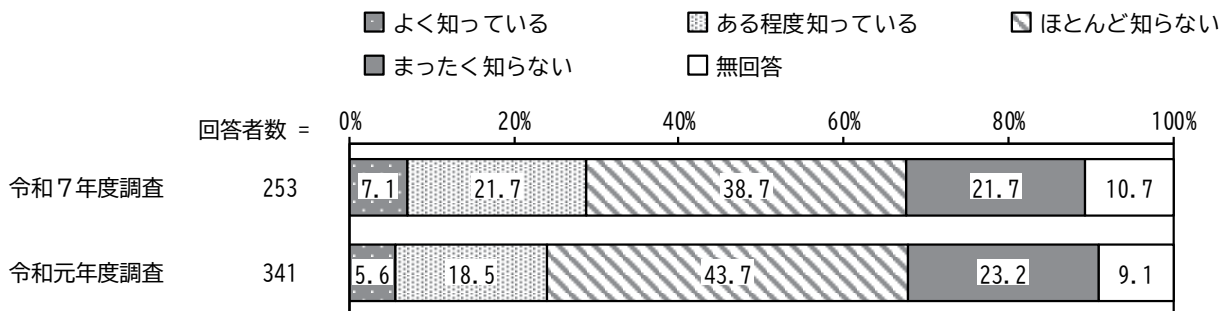
団体の種類別にみると、地区社会福祉協議会、民生児童委員協議会、助け合いの会で“知っている”、PTAで“知らない”の割合が高くなっています。



(3) 基幹相談支援センター ふらっと船橋・障害者（児）総合相談窓口

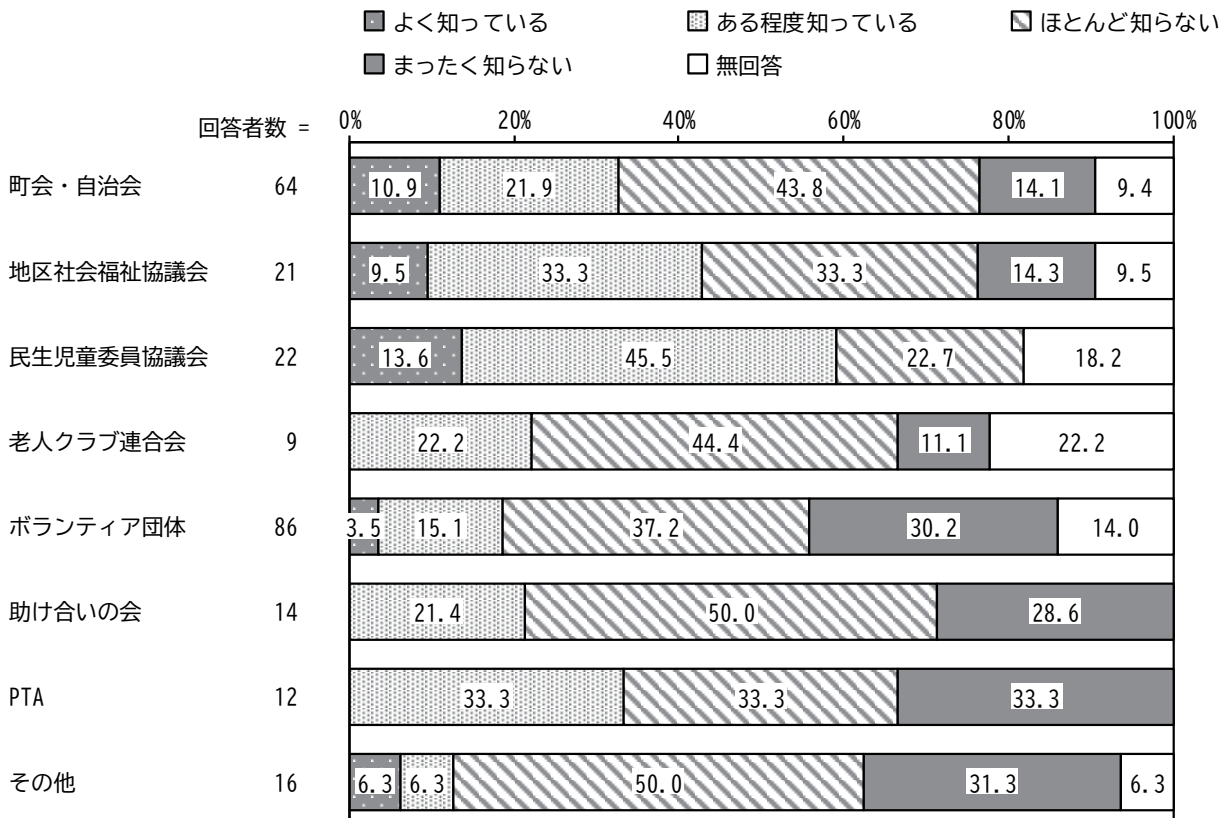
【経年比較】

令和元年度調査と比較すると、“知らない”の割合が減少しています。



【団体の種類別】

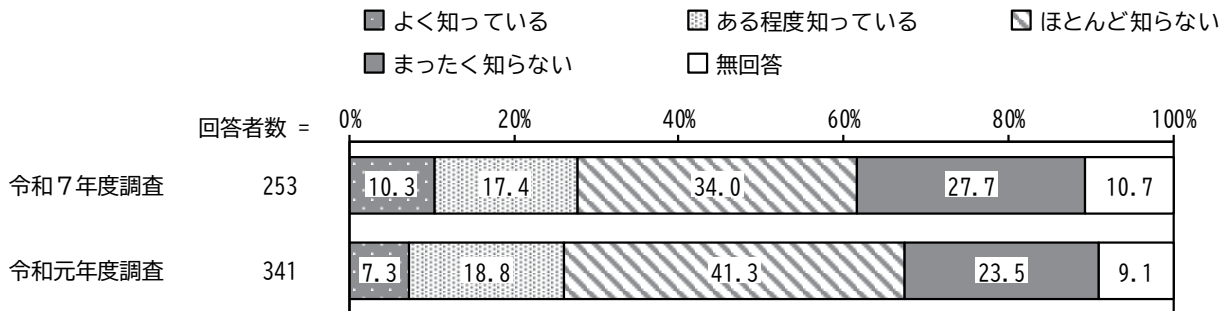
団体の種類別にみると、民生児童委員協議会で“知っている”、助け合いの会で“知らない”の割合が高くなっています。



(4) 障害者虐待防止センター はーぷ

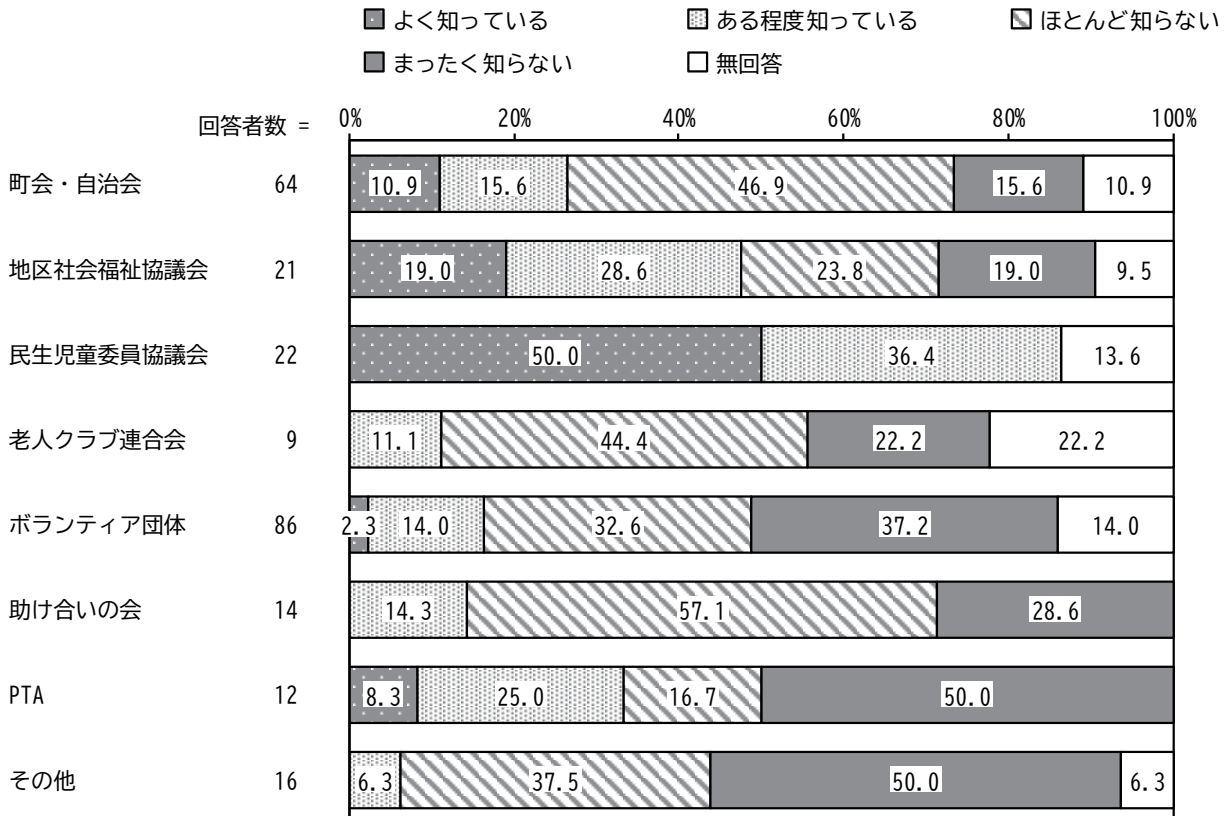
【経年比較】

令和元年度調査と比較すると、「ほとんど知らない」の割合が減少しています。



【団体の種類別】

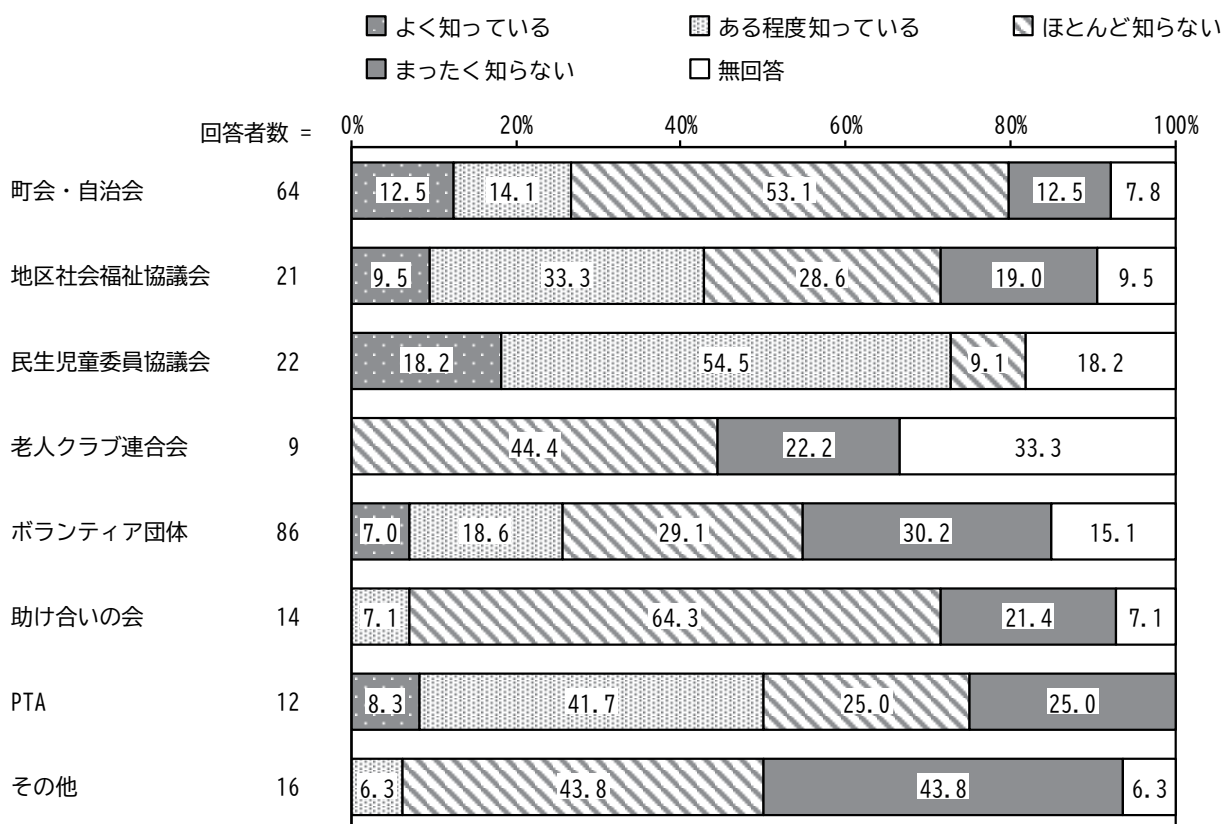
団体の種類別にみると、民生児童委員協議会で“知っている”、助け合いの会で“知らない”の割合が高くなっています。



(5) 子育て世代包括支援センター「ふなここ」

【団体の種類別】

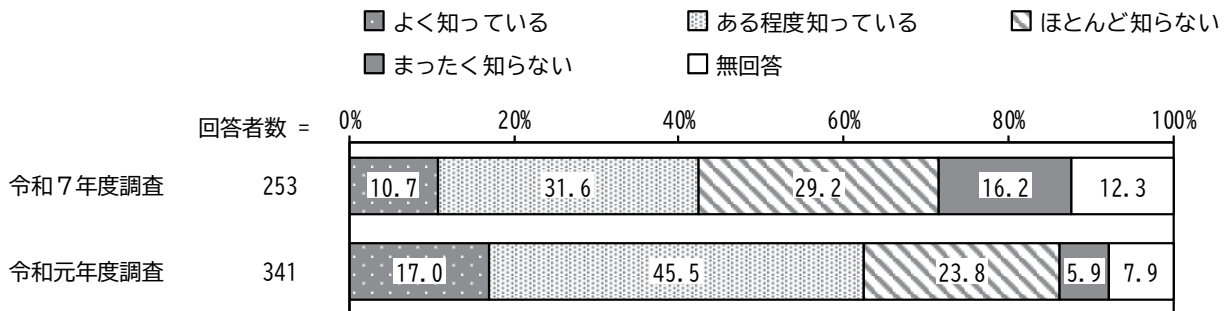
団体の種類別にみると、民生児童委員協議会で「ある程度知っている」、助け合いの会で「ほとんど知らない」の割合が高くなっています。



(6) 子育て支援センター

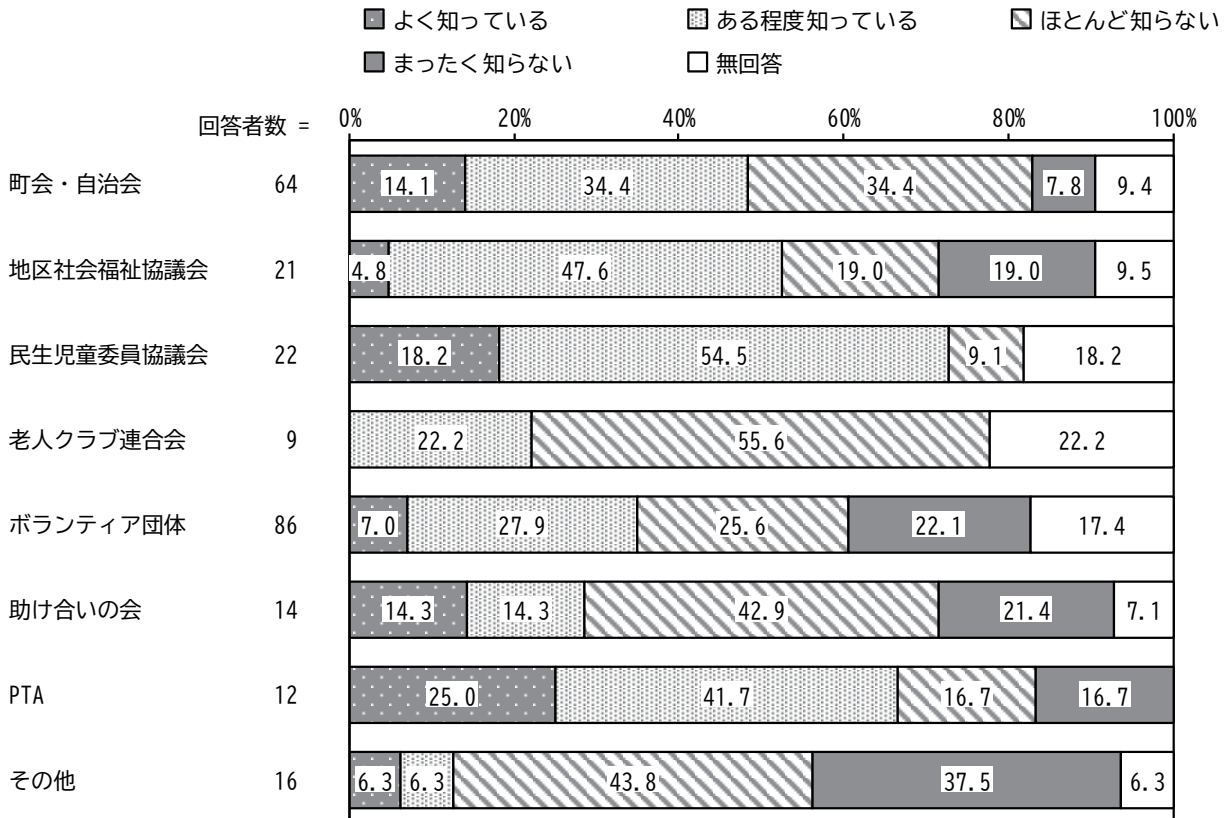
【経年比較】

令和元年度調査と比較すると、“知っている”の割合が減少しています。



【団体の種類別】

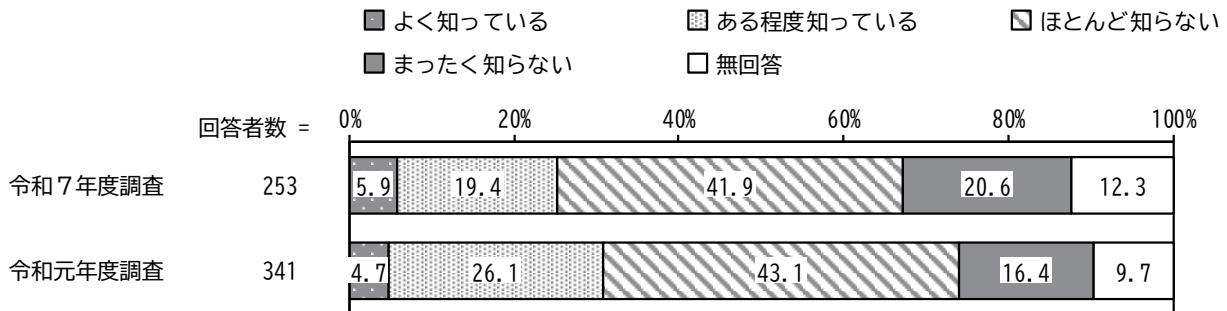
団体の種類別にみると、民生児童委員協議会で“知っている”、助け合いの会で“知らない”の割合が高くなっています。



(7) こども発達相談センター

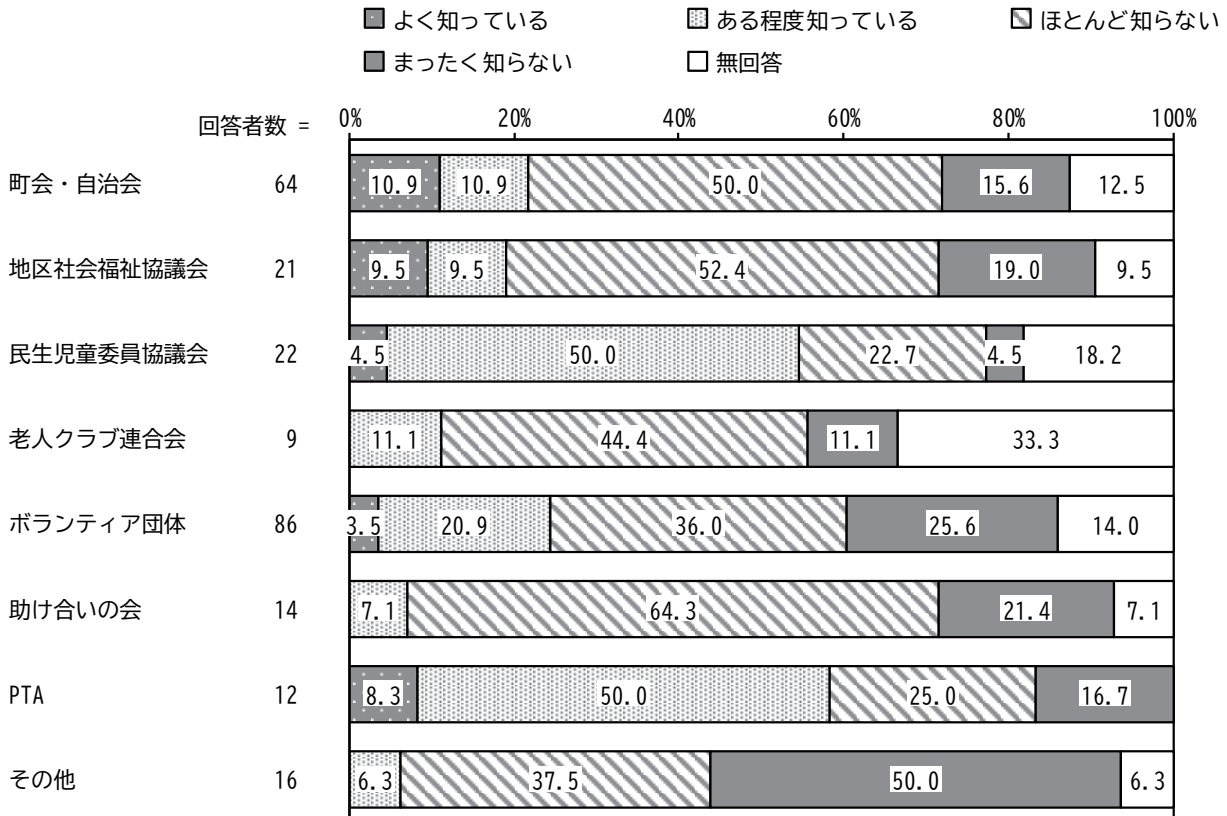
【経年比較】

令和元年度調査と比較すると、“知っている”の割合が減少しています。



【団体の種類別】

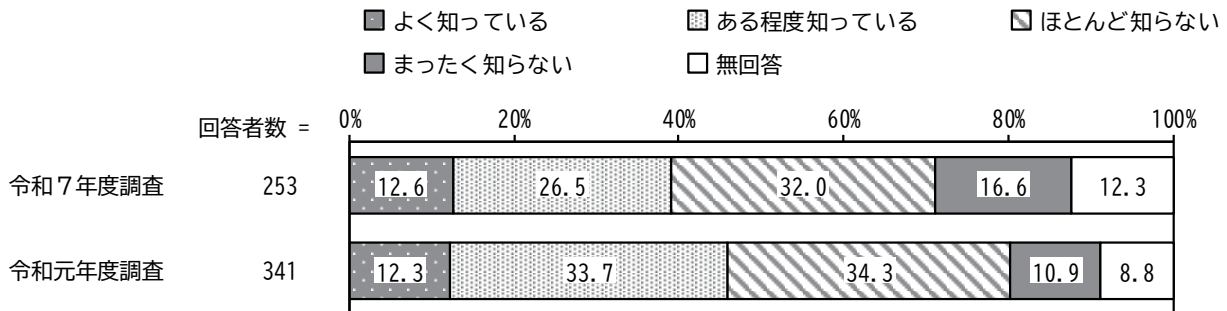
団体の種類別にみると、PTAで“知っている”、助け合いの会で“知らない”の割合が高くなっています。



(8) 家庭児童相談室

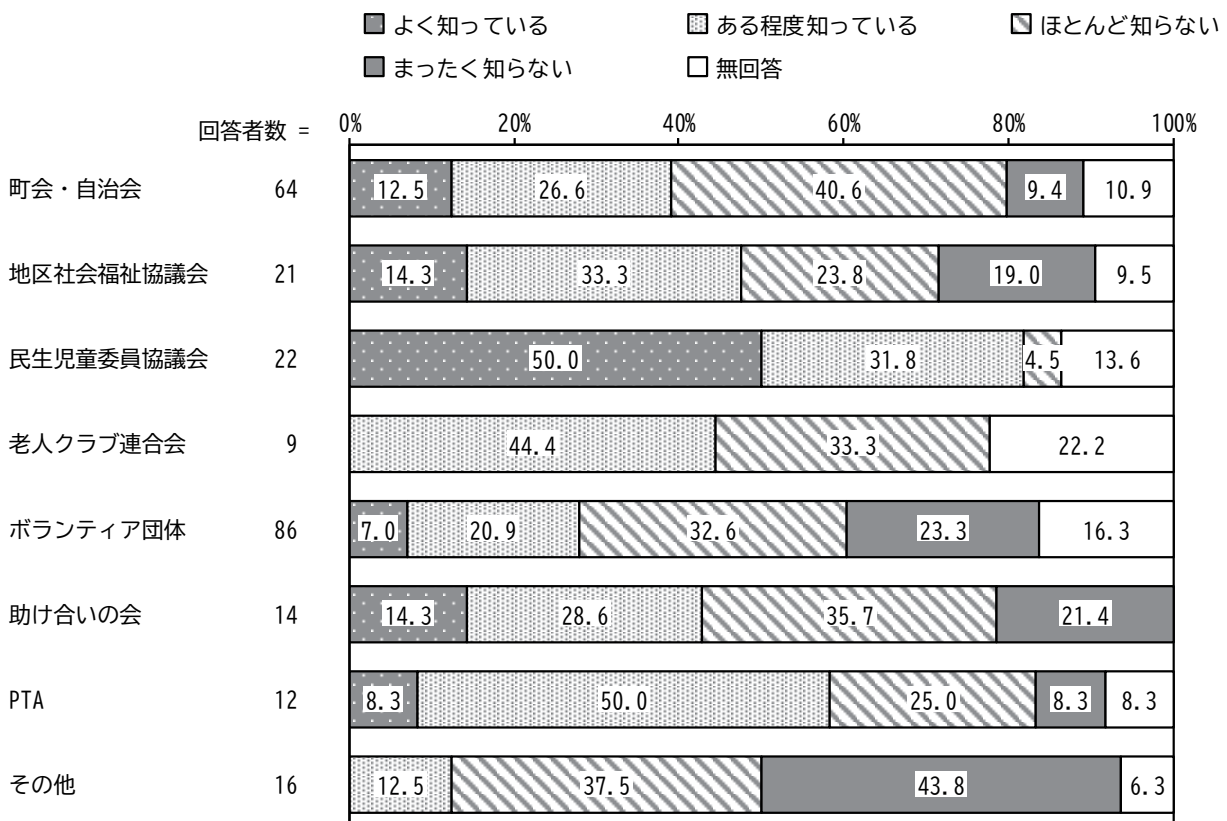
【経年比較】

令和元年度調査と比較すると、“知っている”の割合が減少しています。



【団体の種類別】

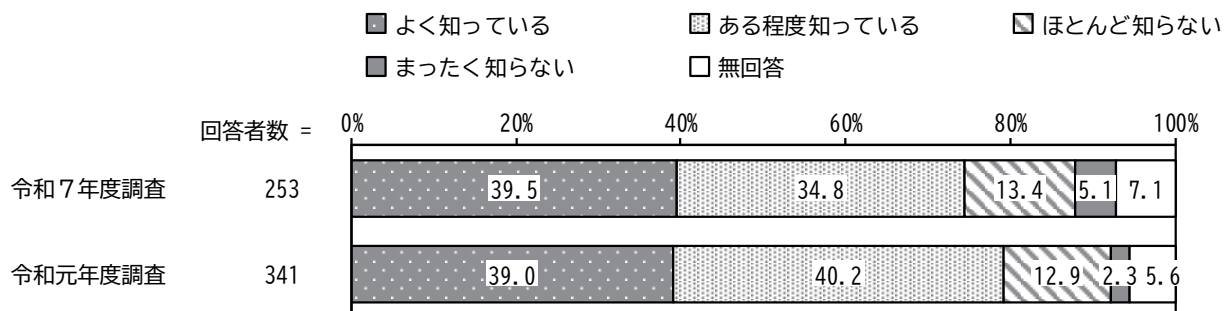
団体の種類別にみると、民生児童委員協議会で“知っている”の割合が高くなっています。



(9) 地区社会福祉協議会 福祉相談

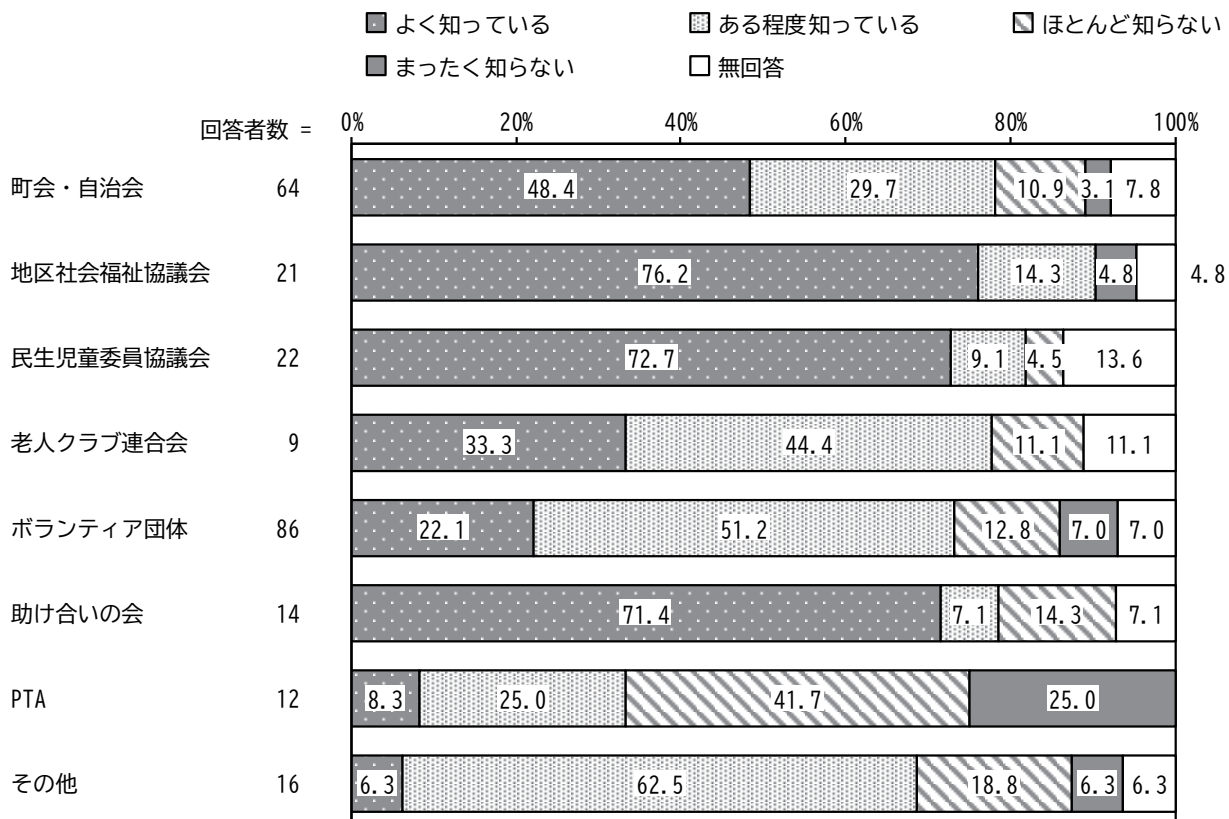
【経年比較】

令和元年度調査と比較すると、「ある程度知っている」の割合が減少しています。



【団体の種類別】

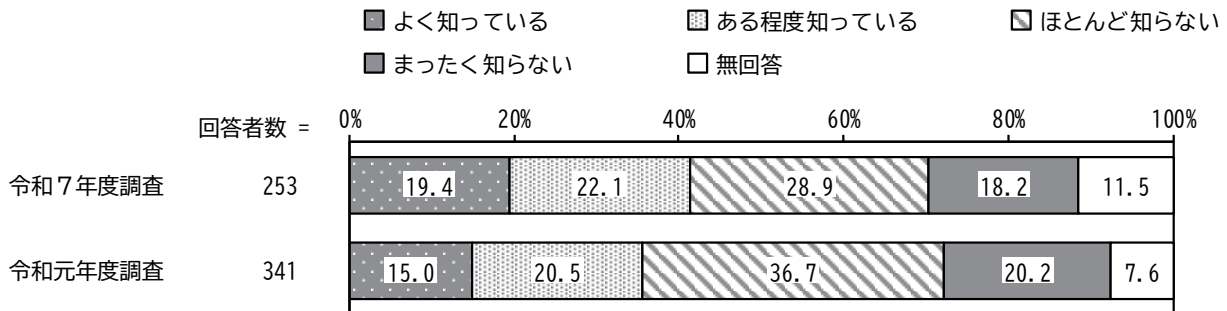
団体の種類別にみると、地区社会福祉協議会で“知っている”、PTAで“知らない”の割合が高くなっています。



(10) 保健と福祉の総合相談窓口 さーくる

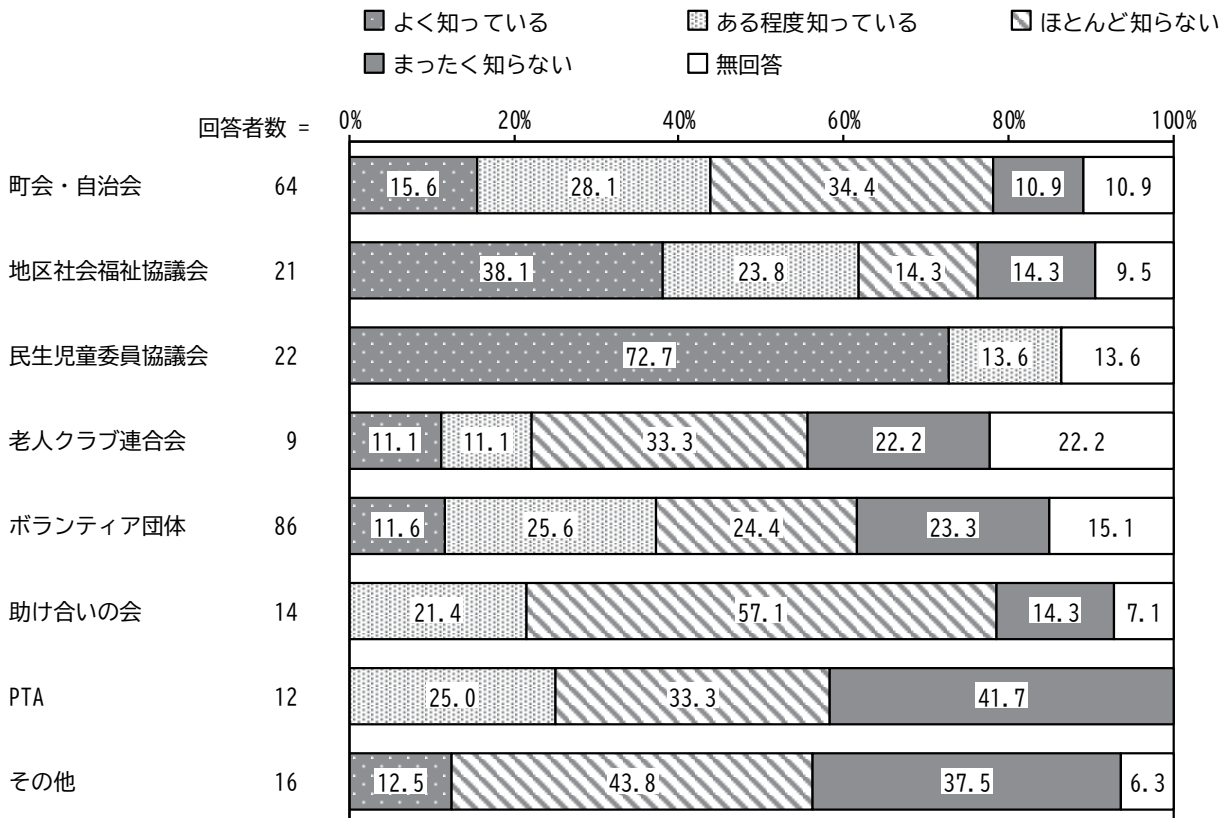
【経年比較】

令和元年度調査と比較すると、“知らない”の割合が減少しています。



【団体の種類別】

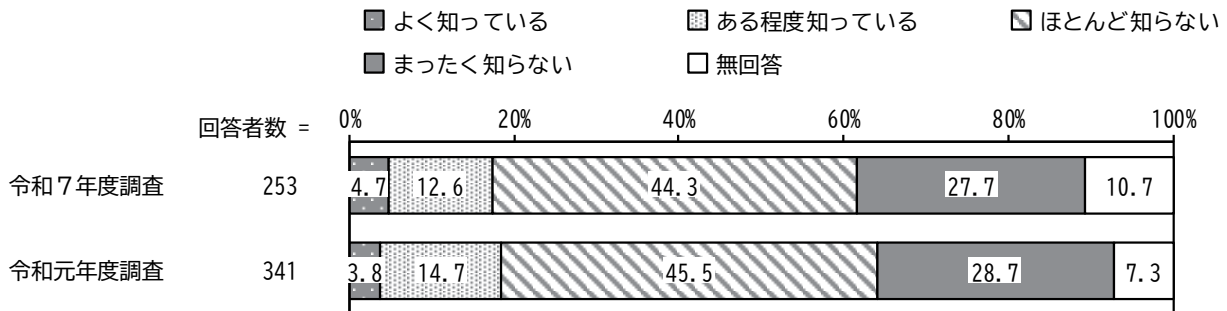
団体の種類別にみると、民生児童委員協議会で“知っている”、PTAで“知らない”の割合が高くなっています。



(11) ふなばし地域若者サポートステーション

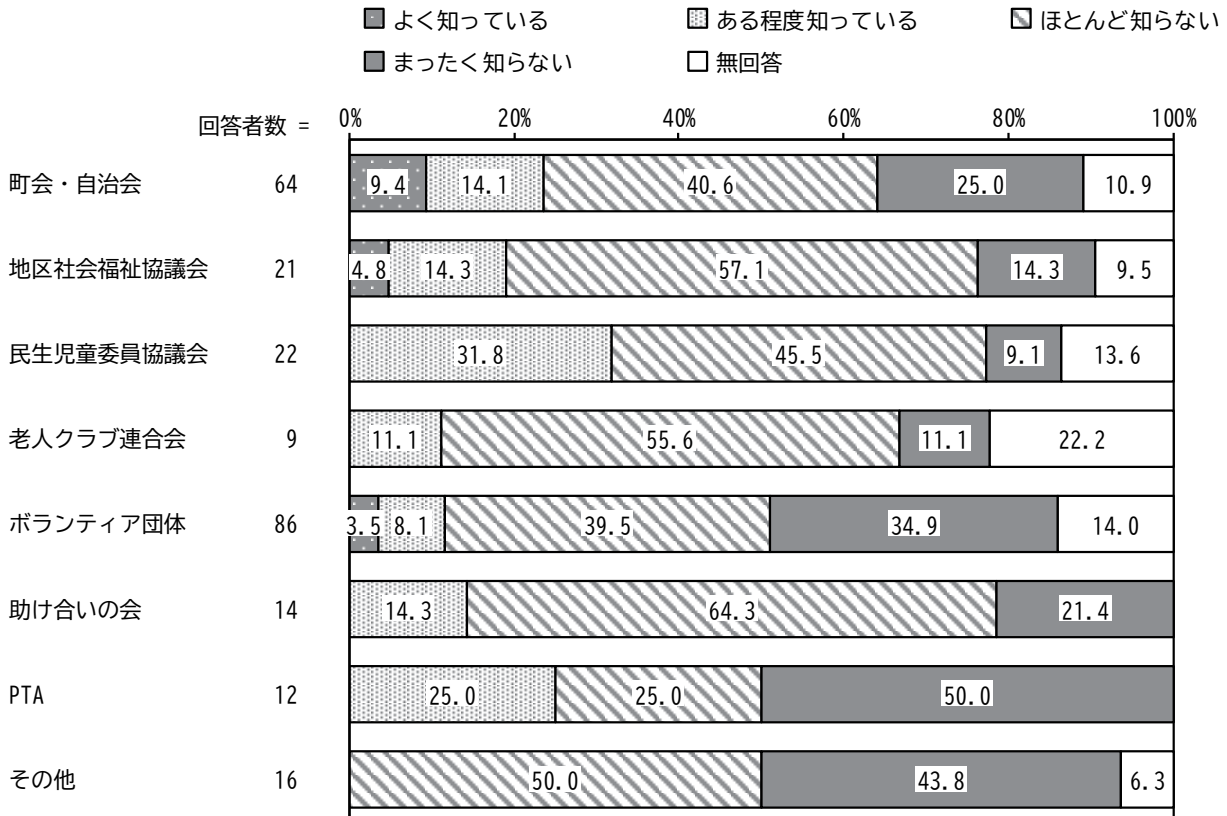
【経年比較】

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【団体の種類別】

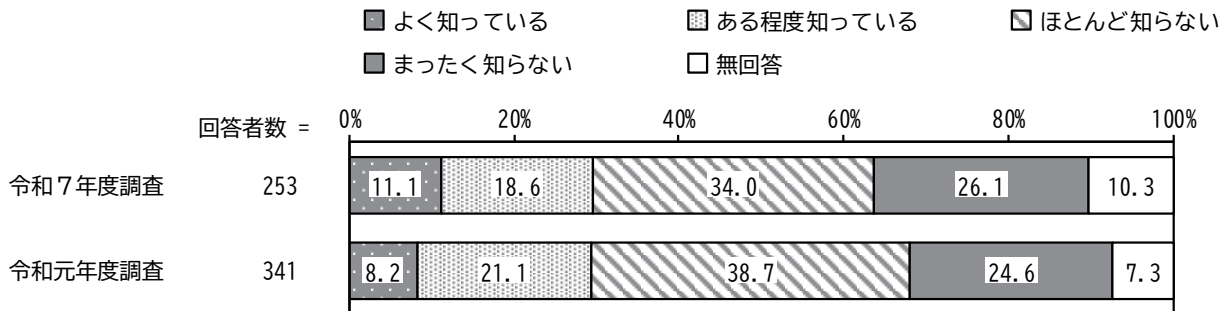
団体の種類別にみると、民生児童委員協議会で“知っている”、助け合いの会で“知らない”の割合が高くなっています。



(12) 在宅医療支援拠点 ふなぽーと

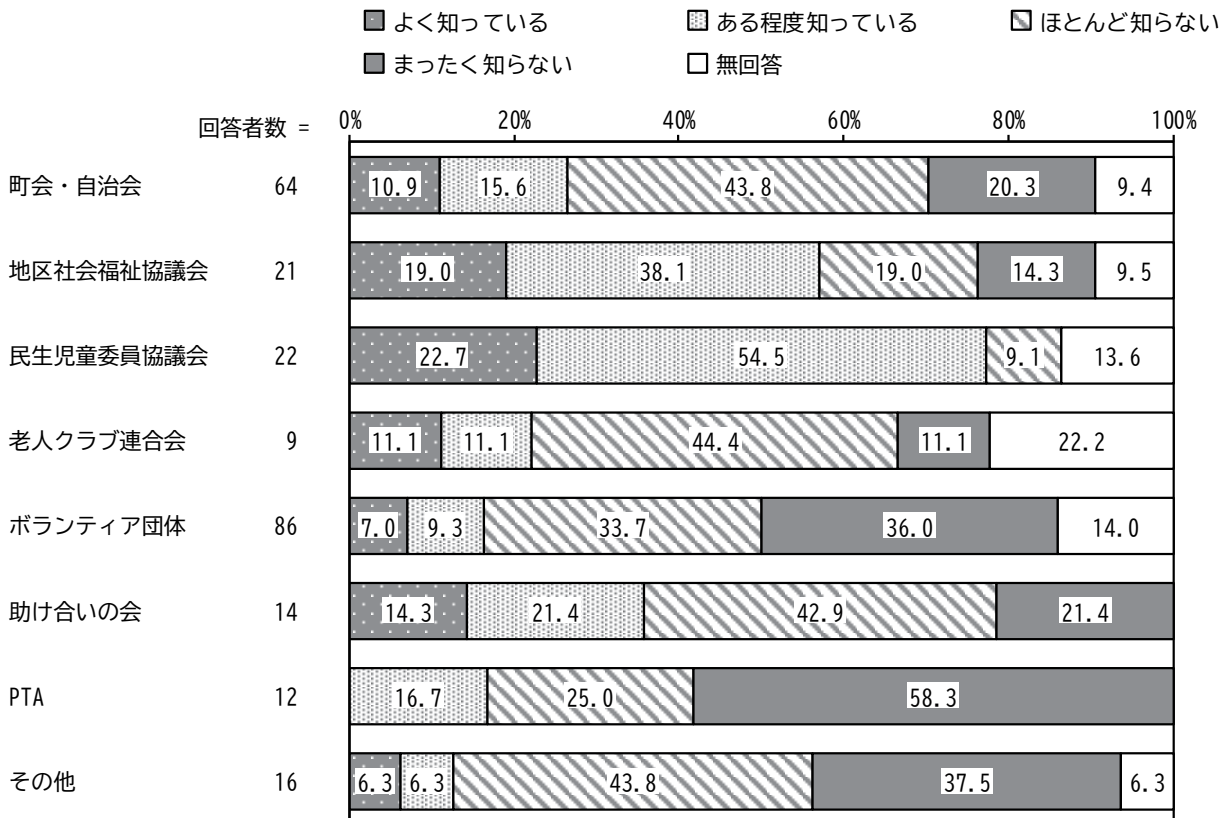
【経年比較】

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【団体の種類別】

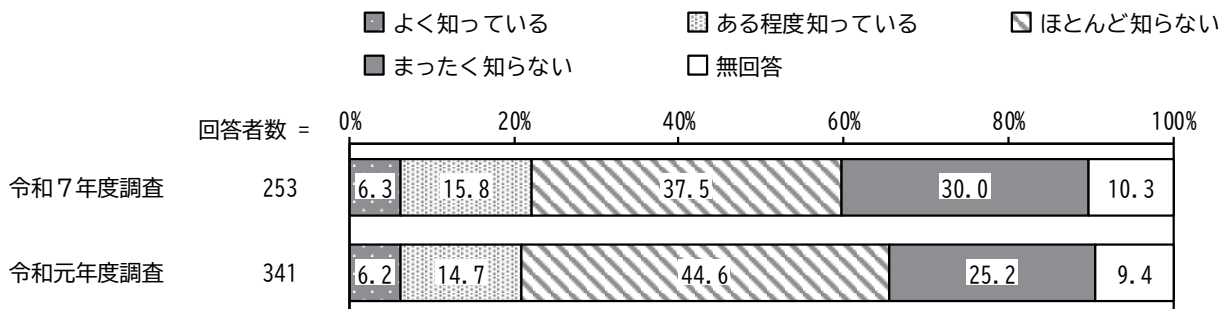
団体の種類別にみると、民生児童委員協議会で“知っている”、PTAで“知らない”の割合が高くなっています。



(13) 住まいるサポート船橋

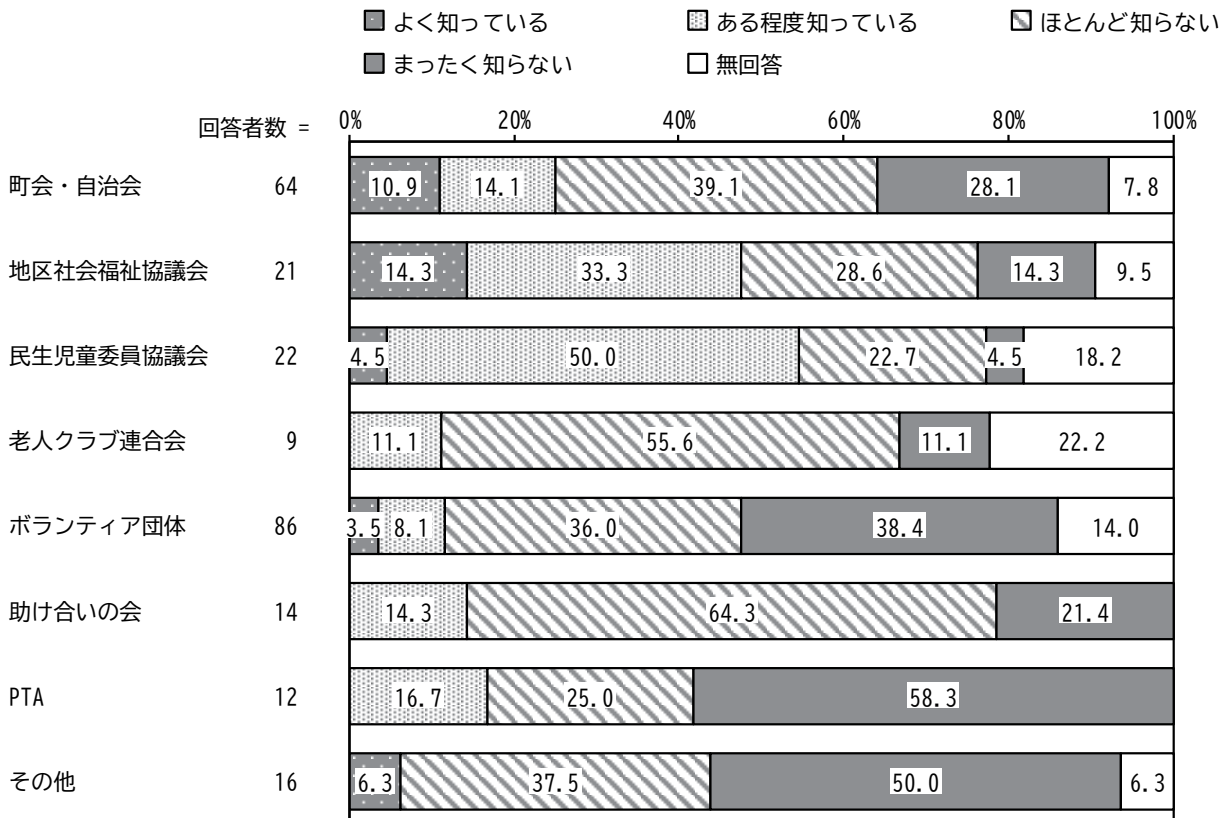
【経年比較】

令和元年度調査と比較すると、「ほとんど知らない」の割合が減少しています。



【団体の種類別】

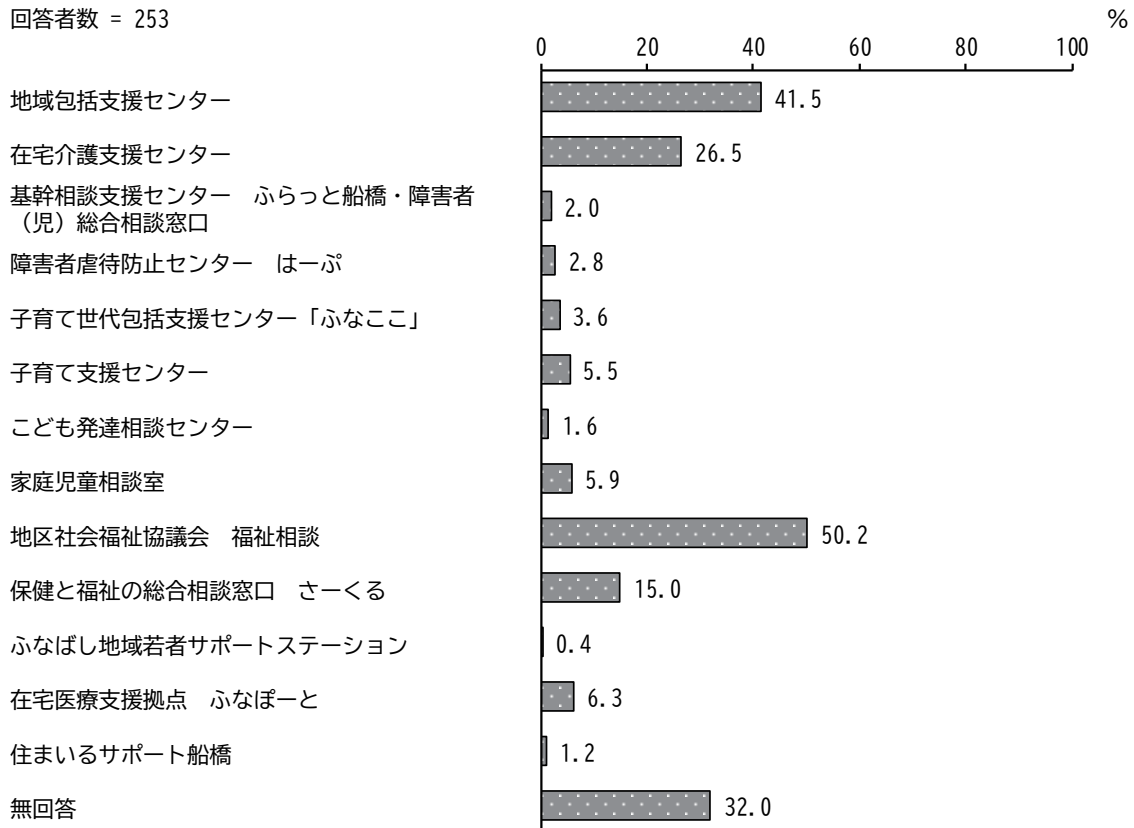
団体の種類別にみると、民生児童委員協議会で“知っている”、助け合いの会、PTAで“知らない”の割合が高くなっています。



問 15—1 貴団体は、次の相談窓口と連携したことがありますか。(〇はいくつでも)

「地区社会福祉協議会 福祉相談」の割合が 50.2%と最も高く、次いで「地域包括支援センター」の割合が 41.5%、「在宅介護支援センター」の割合が 26.5%となっています。

回答者数 = 253

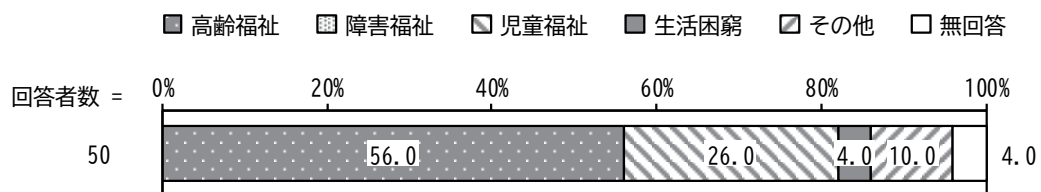


3 相談支援機関調査結果

(1) 回答者属性

通常業務で関わる主な福祉分野（○は1つだけ）

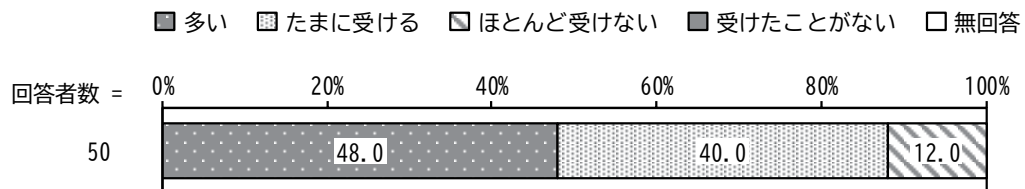
「高齢福祉」の割合が56.0%と最も高く、次いで「児童福祉」の割合が26.0%となっています。



(2) 複雑な課題等を持つ個人・世帯への対応

問1 相談者の抱える課題が複雑であったり、解決が困難であったりする相談を受けることが多いですか。(○は1つだけ)

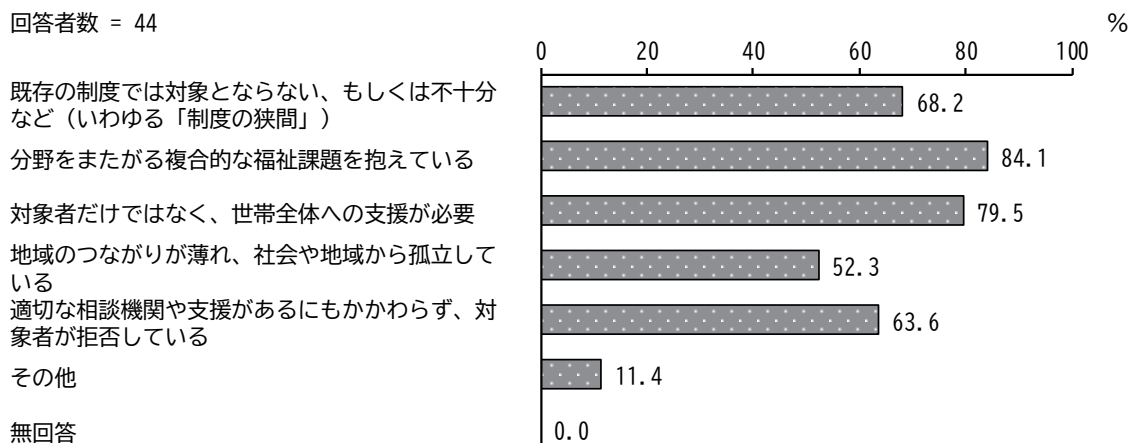
「多い」の割合が48.0%と最も高く、次いで「たまに受ける」の割合が40.0%、「ほとんど受けない」の割合が12.0%となっています。



問1—1 問1で「多い」「たまに受ける」とお答えの方におうかがいします。どのような背景や課題が多いですか。(○はいくつでも)

「分野をまたがる複合的な福祉課題を抱えている」の割合が84.1%と最も高く、次いで「対象者だけではなく、世帯全体への支援が必要」の割合が79.5%、「既存の制度では対象とならない、もしくは不十分など(いわゆる「制度の狭間」)」の割合が68.2%となっています。

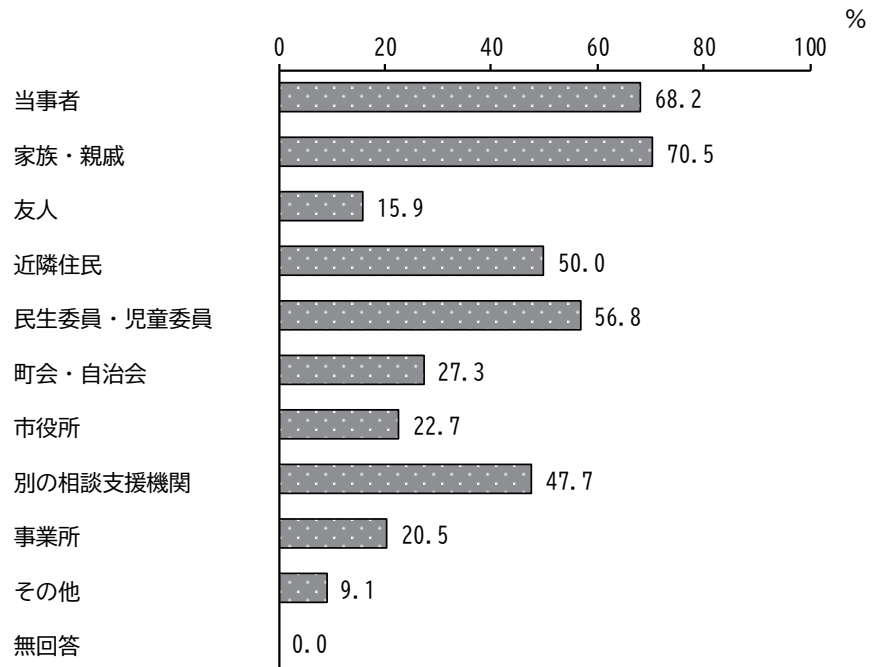
回答者数 = 44



問1-2 問1で「多い」「たまに受ける」とお答えの方におうかがいします。誰から相談を受けることが多いですか。(〇はいくつでも)

「家族・親戚」の割合が70.5%と最も高く、次いで「当事者」の割合が68.2%、「民生委員・児童委員」の割合が56.8%となっています。

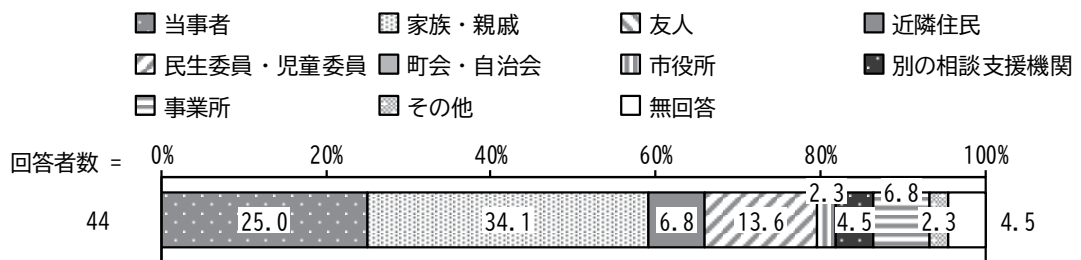
回答者数 = 44



問1-2-1 問1-2でご回答いただいた相談者で、特に多いと感じる3つを問1-2の番号でお書きください。(多い順に1から記載してください)

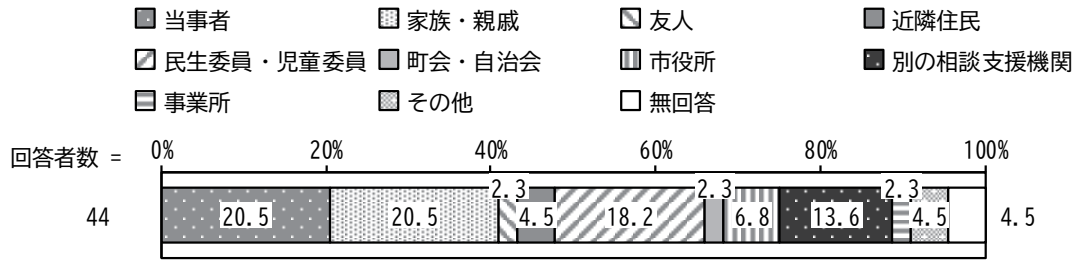
1つ目

「家族・親戚」の割合が34.1%と最も高く、次いで「当事者」の割合が25.0%、「民生委員・児童委員」の割合が13.6%となっています。



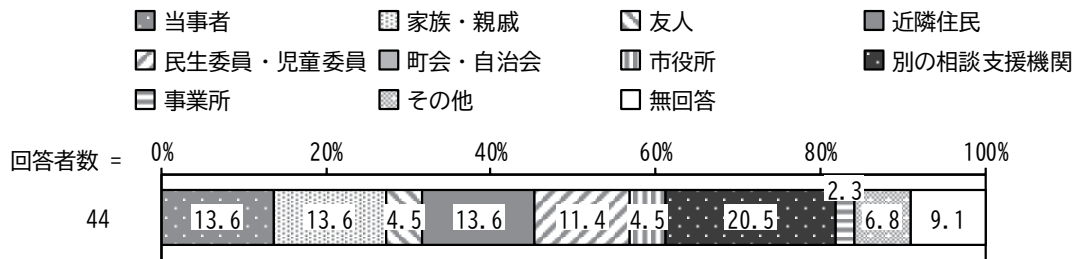
2つ目

「当事者」、「家族・親戚」の割合が20.5%と最も高く、次いで「民生委員・児童委員」の割合が18.2%となっています。



3つ目

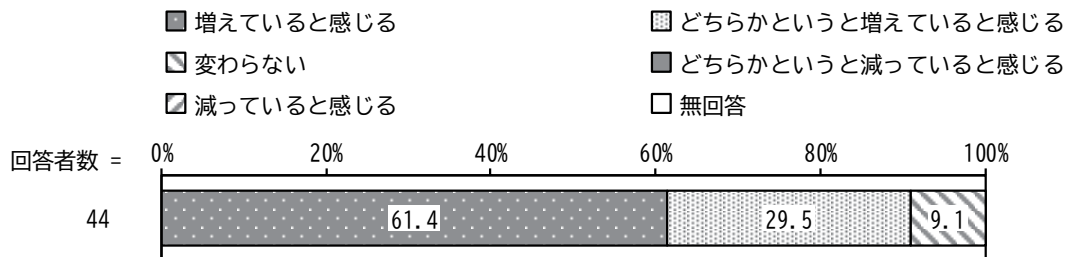
「別の相談支援機関」の割合が20.5%と最も高く、次いで「当事者」、「家族・親戚」、「近隣住民」の割合が13.6%となっています。



問1—3 問1で「多い」「たまに受ける」とお答えの方におうかがいします。

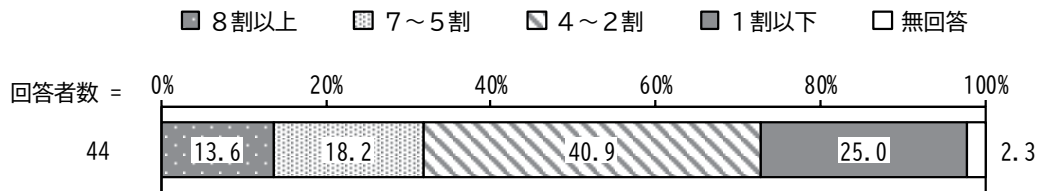
近年の傾向として、相談者の抱える課題が複雑であったり、解決が困難であったりする相談を受ける機会が増えていると感じますか。減っていると感じますか。(体感で結構です)(○はひとつだけ)

「増えていると感じる」「どちらかという増えていると感じる」を合わせた“増えている”の割合が90.9%、「変わらない」の割合が9.1%となっています。



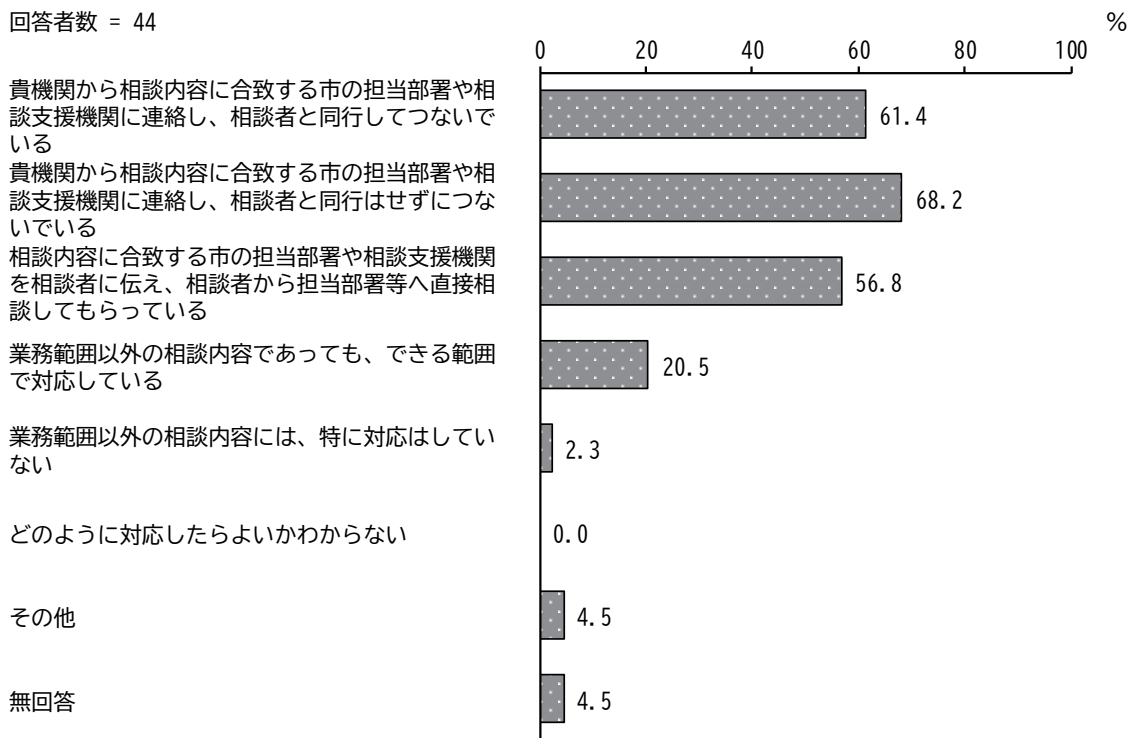
問1—4 問1で「多い」「たまに受ける」とお答えの方におうかがいします。
直近1年間で貴機関が受ける相談全体の中で、課題が複雑であったり、解決が困難であったりして、他の機関につなぐまたは連携して解決している相談はどのくらいの割合ですか。(体感で結構です)(〇はひとつだけ)

「4～2割」の割合が40.9%と最も高く、次いで「1割以下」の割合が25.0%、「7～5割」の割合が18.2%となっています。



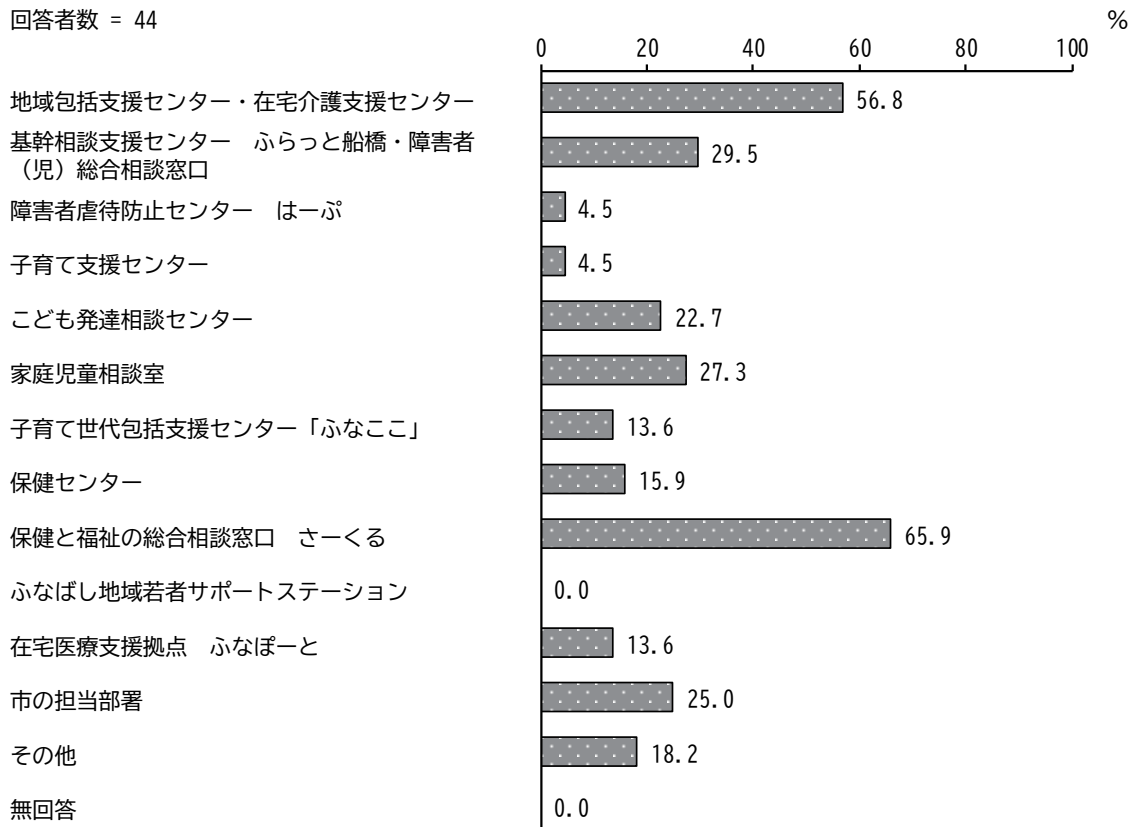
問1—5 問1で「多い」「たまに受ける」とお答えの方におうかがいします。
受けた相談が通常関わる業務範囲以外の内容である場合、どのように対応していますか。(〇はいくつでも。「その他」にも自由にお書きください)

「貴機関から相談内容に合致する市の担当部署や相談支援機関に連絡し、相談者と同行はせずにつないでいる」の割合が68.2%と最も高く、次いで「貴機関から相談内容に合致する市の担当部署や相談支援機関に連絡し、相談者と同行してつないでいる」の割合が61.4%、「相談内容に合致する市の担当部署や相談支援機関を相談者に伝え、相談者から担当部署等へ直接相談してもらっている」の割合が56.8%となっています。



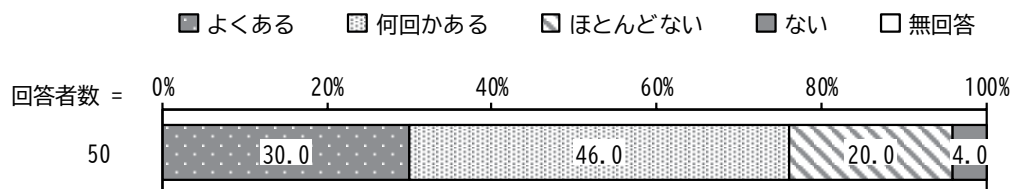
問1—6 問1で「多い」「たまに受ける」とお答えの方におうかがいします。
つなぐまたは連携する機会が多い市の担当部署や相談支援機関はどこですか。
(○はいくつでも)

「保健と福祉の総合相談窓口 さーくる」の割合が 65.9%と最も高く、次いで「地域包括支援センター・在宅介護支援センター」の割合が 56.8%、「基幹相談支援センター ふらっと船橋・障害者（児）総合相談窓口」の割合が 29.5%となっています。



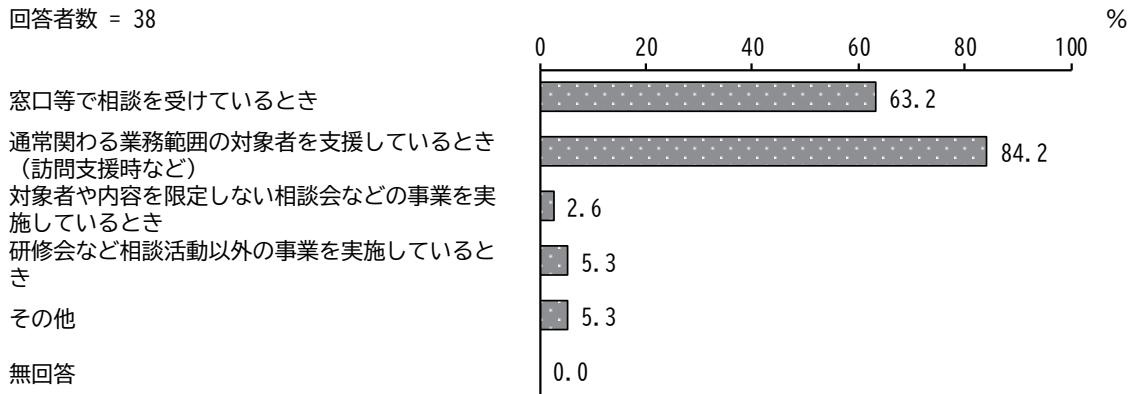
問2 普段の業務の中で、通常関わる業務範囲以外の福祉課題を抱えた個人や世帯に気付いたり、発見したことがありますか。(○は1つだけ)

「何回かある」の割合が 46.0%と最も高く、次いで「よくある」の割合が 30.0%、「ほとんどない」の割合が 20.0%となっています。



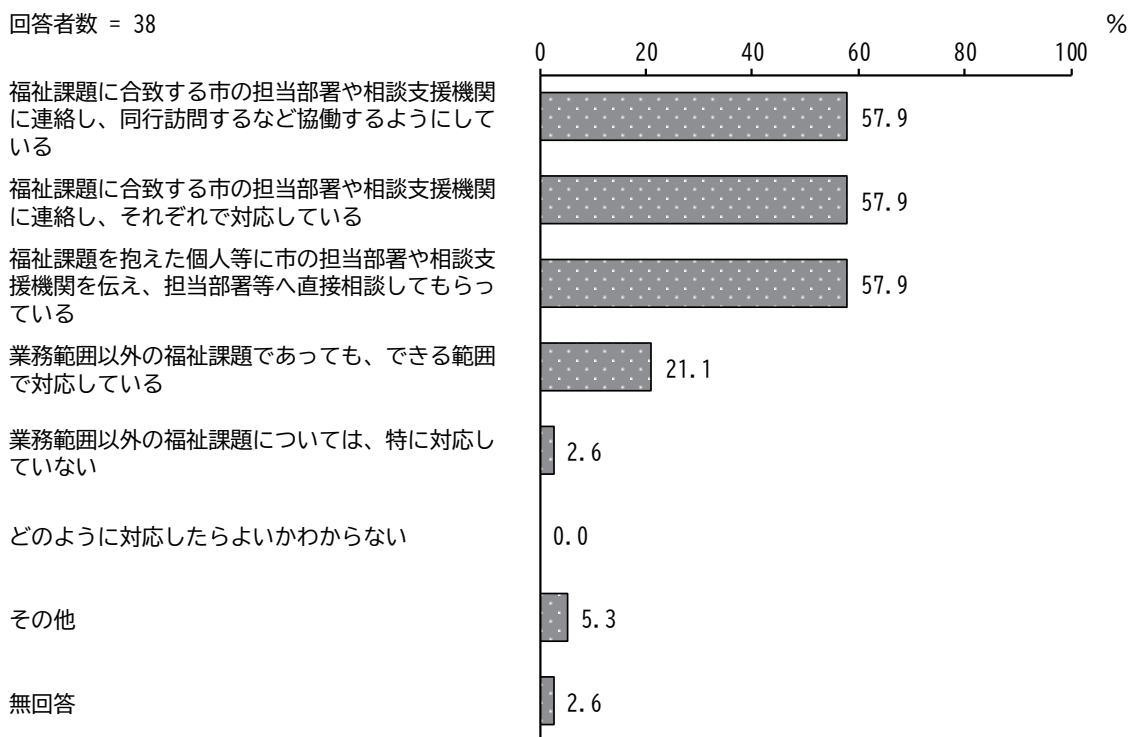
問2-1 問2で「よくある」「何回かある」とお答えの方におうかがいします。
 それはどのような場面ですか。
 (〇はいくつでも。「その他」にも自由にお書きください)

「通常関わる業務範囲の対象者を支援しているとき(訪問支援時など)」の割合が84.2%と最も高く、
 次いで「窓口等で相談を受けているとき」の割合が63.2%となっています。



問2-2 問2で「よくある」「何回かある」とお答えの方におうかがいします。
 個人や世帯が抱える福祉課題の中で、通常関わる業務範囲以外の内容が含まれている
 場合、どのように対応していますか。
 (〇はいくつでも。「その他」にも自由にお書きください)

「福祉課題に合致する市の担当部署や相談支援機関に連絡し、同行訪問するなど協働するようにしている」、「福祉課題に合致する市の担当部署や相談支援機関に連絡し、それぞれで対応している」、「福祉課題を抱えた個人等に市の担当部署や相談支援機関を伝え、担当部署等へ直接相談してもらっている」の割合が57.9%と最も高くなっています。



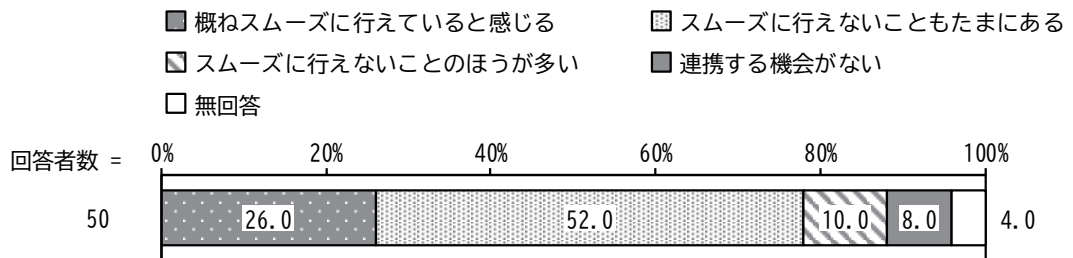
(3) 相談機関等との連携

問3 相談者への支援にあたって、通常関わる業務範囲以外の市の担当部署や相談機関・施設と連携する必要があるときに、連絡や連携はスムーズに行われていると感じますか。

(○は1つだけ)

※重層的支援体制整備事業における「多機関協働事業」につなぐケースは除きます

「スムーズに行えないこともたまにある」の割合が 52.0%と最も高く、次いで「概ねスムーズに行えていると感じる」の割合が 26.0%、「スムーズに行えないことのほうが多い」の割合が 10.0%となっています。

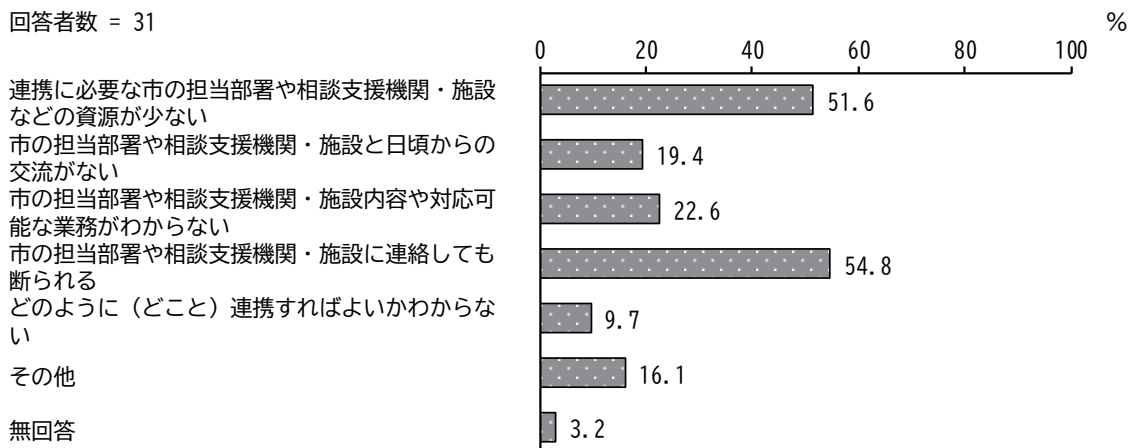


問3-1 問3で「スムーズに行えないこともたまにある」「スムーズに行えないことのほうが多い」とお答えの方におうかがいします。

その理由としてあてはまるのは何ですか。(○はいくつでも)

「市の担当部署や相談支援機関・施設に連絡しても断られる」の割合が 54.8%と最も高く、次いで「連携に必要な市の担当部署や相談支援機関・施設などの資源が少ない」の割合が 51.6%、「市の担当部署や相談支援機関・施設内容や対応可能な業務がわからない」の割合が 22.6%となっています。

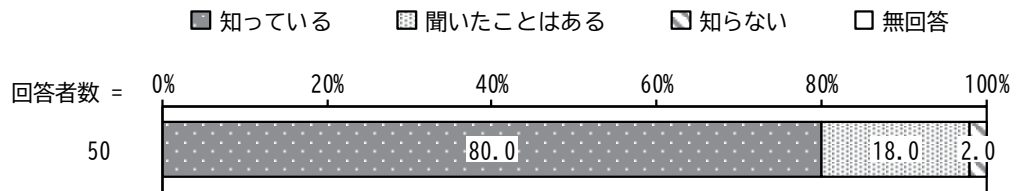
回答者数 = 31



(4) 重層的支援体制整備事業

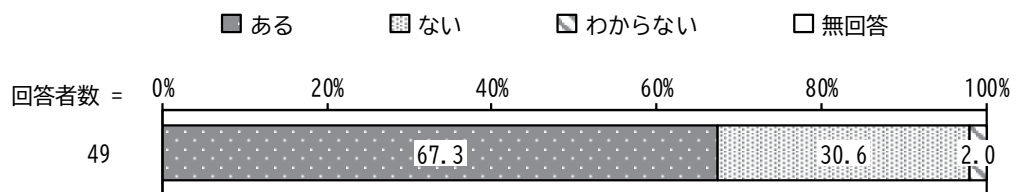
問4 市が重層的支援体制整備事業を実施していることを知っていますか。(○は1つだけ)

「知っている」の割合が80.0%、「聞いたことはある」の割合が18.0%、「知らない」の割合が2.0%となっています。



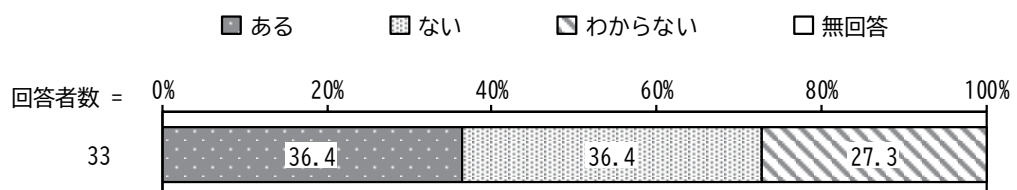
問4-1 問4で「知っている」「聞いたことはある」とお答えの方におうかがいします。対応が困難なケースについて、貴機関からさーくるに相談したことはありますか。(○は1つだけ)

「ある」の割合が67.3%、「ない」の割合が30.6%となっています。



問4-2 問4-1で「ある」とお答えの方におうかがいします。さーくるに相談し、その後多機関協働事業につながったケースはありますか。

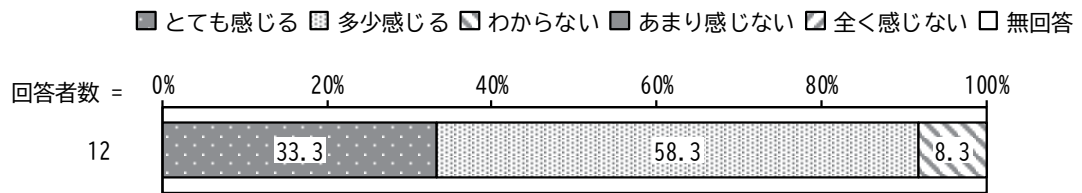
「ある」、「ない」の割合が36.4%となっています。



問4-2-1 問4-2で「ある」とお答えの方におうかがいします。

多機関協働事業につないだことにより、支援が効果的になったと感じますか。
(○は1つだけ)

「とても感じる」「多少感じる」を合わせた“感じる”の割合が91.6%となっています。

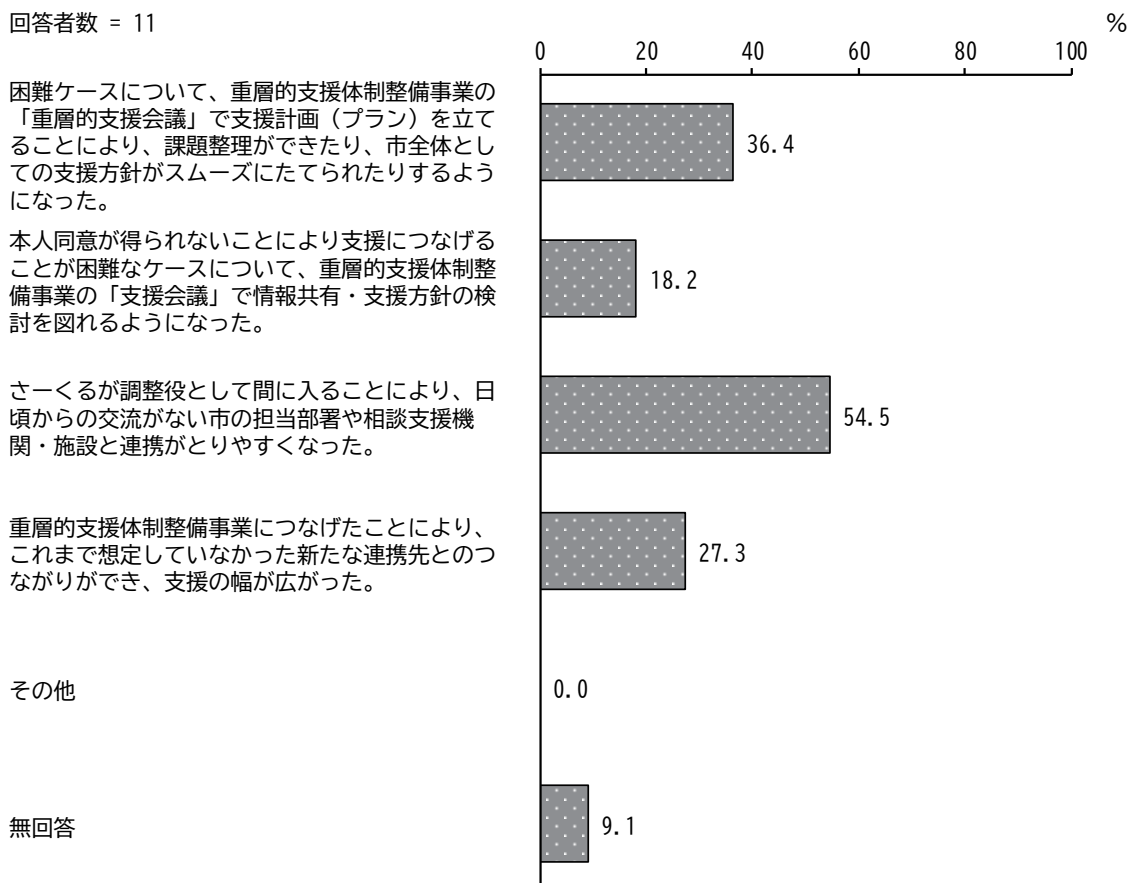


問4-2-2 問4-2-1で「とても感じる」「多少感じる」とお答えの方におうかがいします。

その理由としてあてはまるのは何ですか。(○はいくつでも)

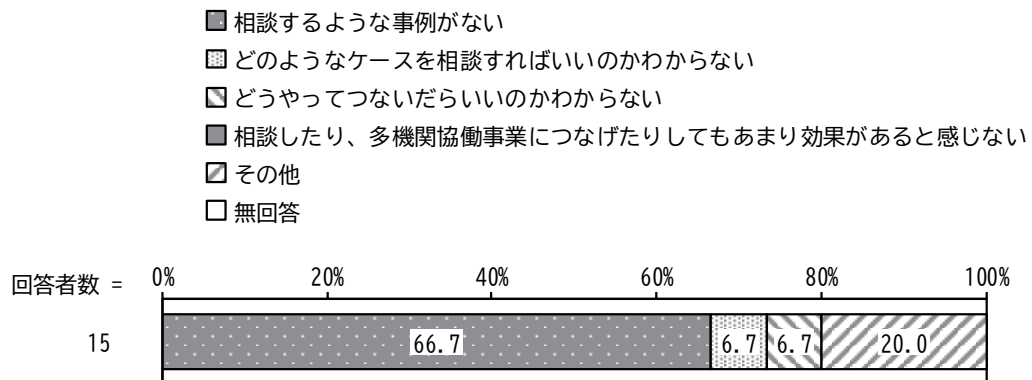
「さーくるが調整役として間に入ることにより、日頃からの交流がない市の担当部署や相談支援機関・施設と連携がとりやすくなった。」の割合が54.5%と最も高く、次いで「困難ケースについて、重層的支援体制整備事業の「重層的支援会議」で支援計画（プラン）を立てることにより、課題整理ができたり、市全体としての支援方針がスムーズにたてられたりするようになった。」の割合が36.4%、「重層的支援体制整備事業につなげたことにより、これまで想定していなかった新たな連携先とのつながりができ、支援の幅が広がった。」の割合が27.3%となっています。

回答者数 = 11



問4-3 問4-1で「ない」とお答えの方におうかがいします。
その理由として最もあてはまるのは何ですか。(○は1つだけ)

「相談するような事例がない」の割合が66.7%と最も高くなっています。

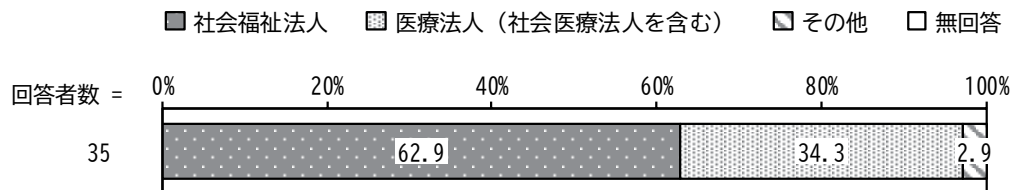


4 法人調査結果

(1) 回答者属性

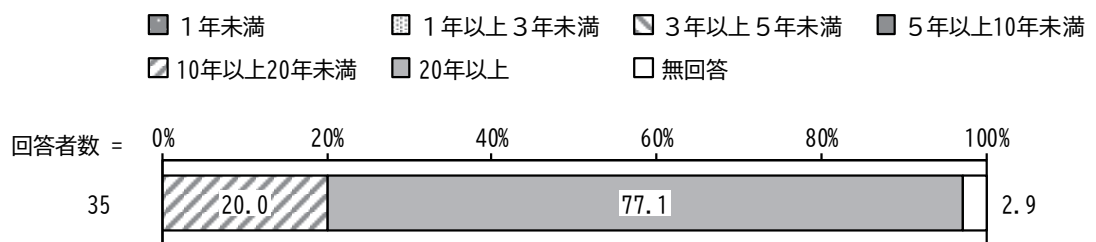
問1 貴法人の種類を教えてください。(○は1つだけ)

「社会福祉法人」の割合が62.9%、「医療法人（社会医療法人を含む）」の割合が34.3%となっています。



問2 貴法人が当市内で事業を行われるようになって、何年になりますか。(○は1つだけ)

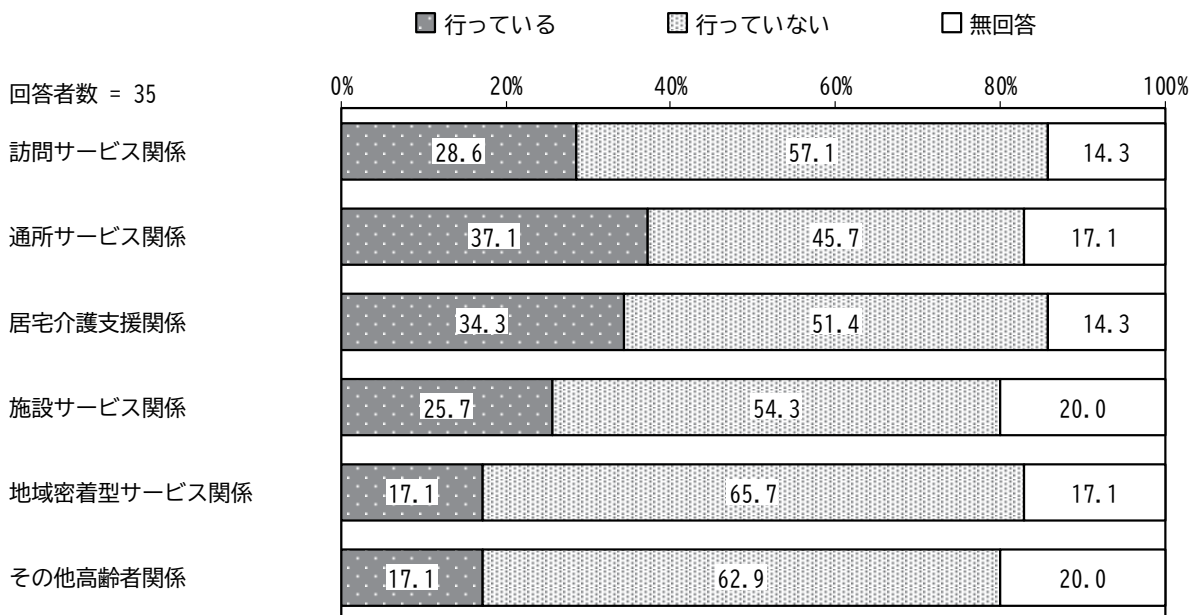
「20年以上」の割合が77.1%と最も高く、次いで「10年以上20年未満」の割合が20.0%となっています。



問3 貴法人は、福祉分野において、市内でどの業務を行っていますか。
(それぞれの項目についてどちらかに○)

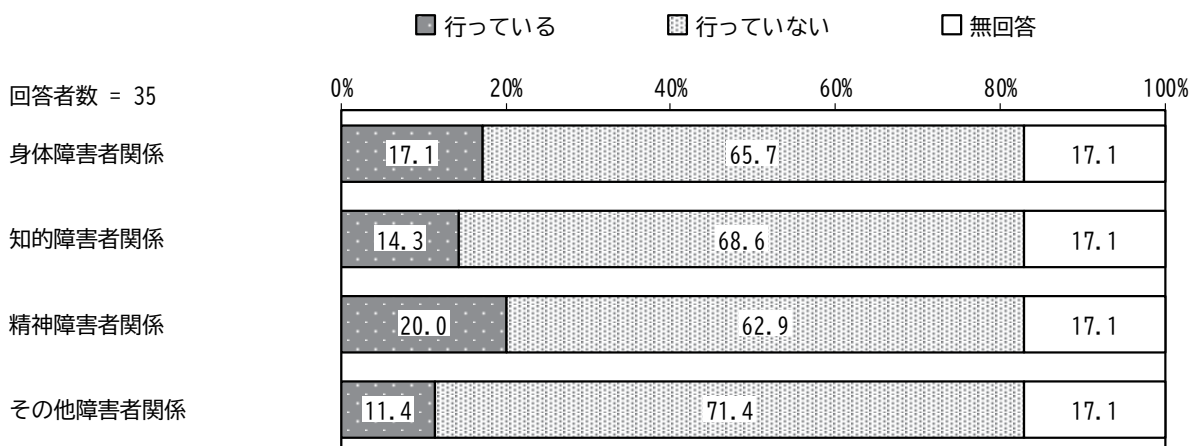
高齢者関係

『通所サービス関係』で「行っている」が、『地域密着型サービス関係』で「行っていない」が高くなっています。



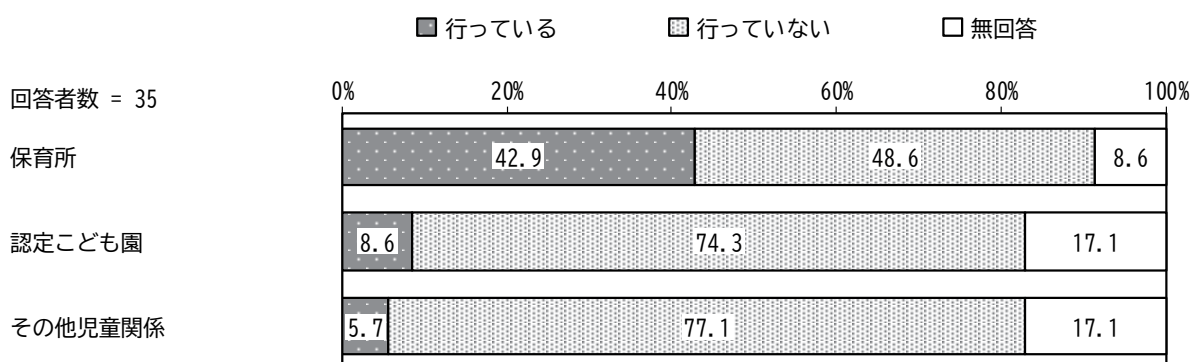
身体障害者関係

『精神障害者関係』で「行っている」が、『その他障害者関係』で「行っていない」が高くなっています。



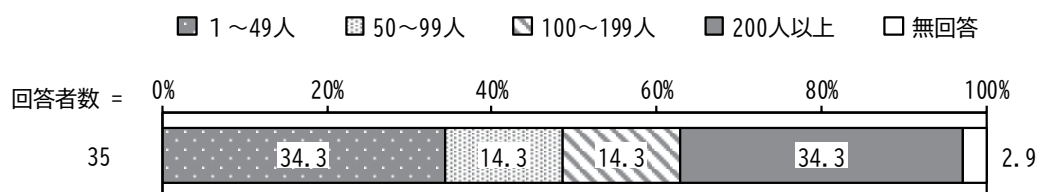
保育所

『保育所』で「行っている」が、『その他児童関係』で「行っていない」が高くなっています。



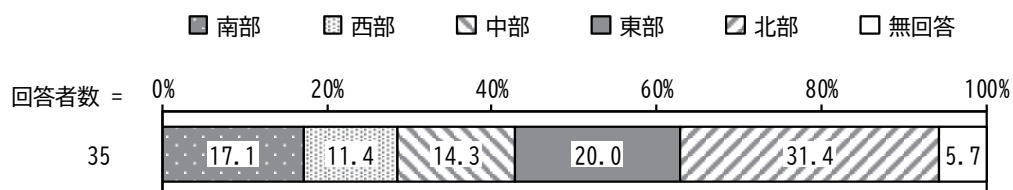
問4 貴法人の職員数を教えてください（当市内での職員数でお答えください）。
（○は1つだけ）

「1～49人」、「200人以上」の割合が34.3%と最も高くなっています。



問5 貴法人の主たる事務所が所在する地区を伺います。（○は番号に1つだけ）

「北部」の割合が31.4%と最も高く、次いで「東部」の割合が20.0%、「南部」の割合が17.1%となっています。

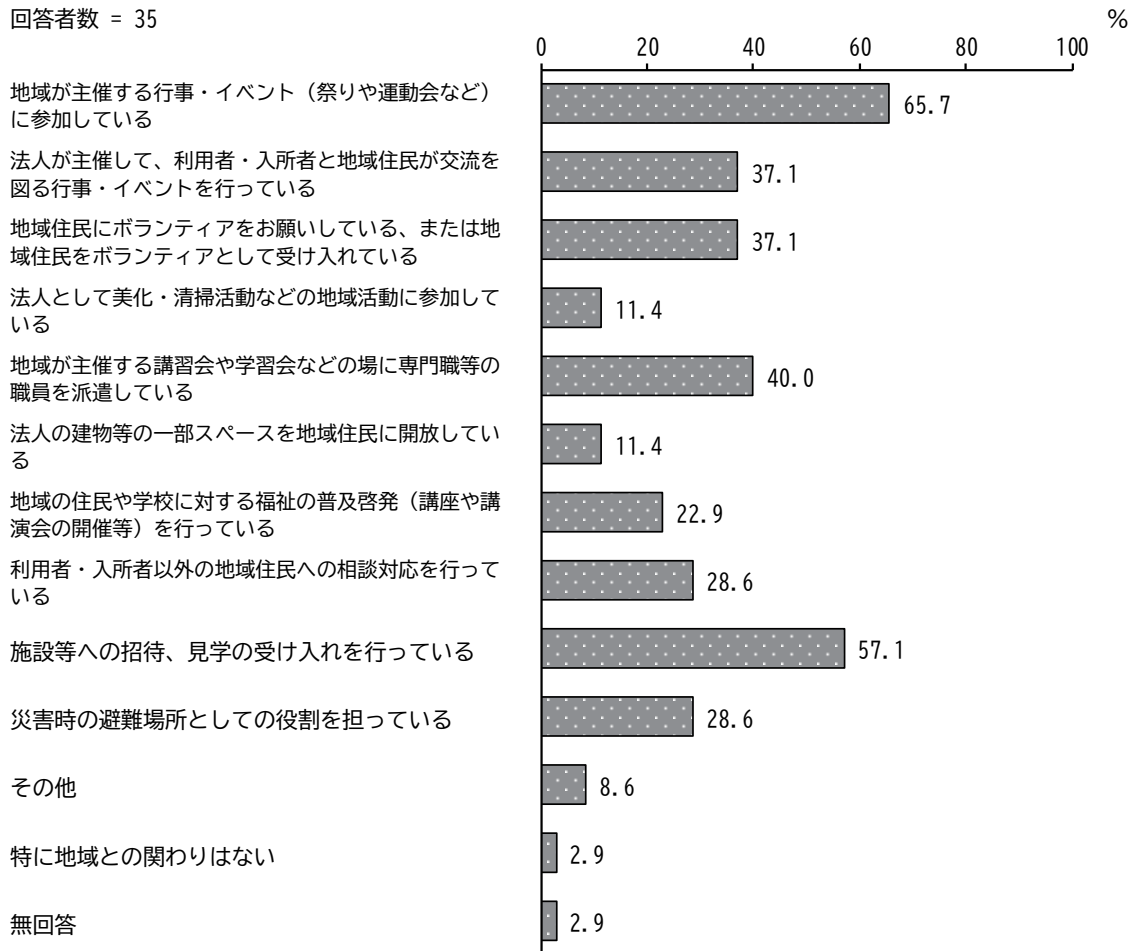


(2) 当市における貴法人と地域との関わり（地域活動など）

問6 貴法人と地域との関わり方について教えてください。（あてはまるものすべてに○）

「地域が主催する行事・イベント（祭りや運動会など）に参加している」の割合が 65.7%と最も高く、次いで「施設等への招待、見学の受け入れを行っている」の割合が 57.1%、「地域が主催する講習会や学習会などの場に専門職等の職員を派遣している」の割合が 40.0%となっています。

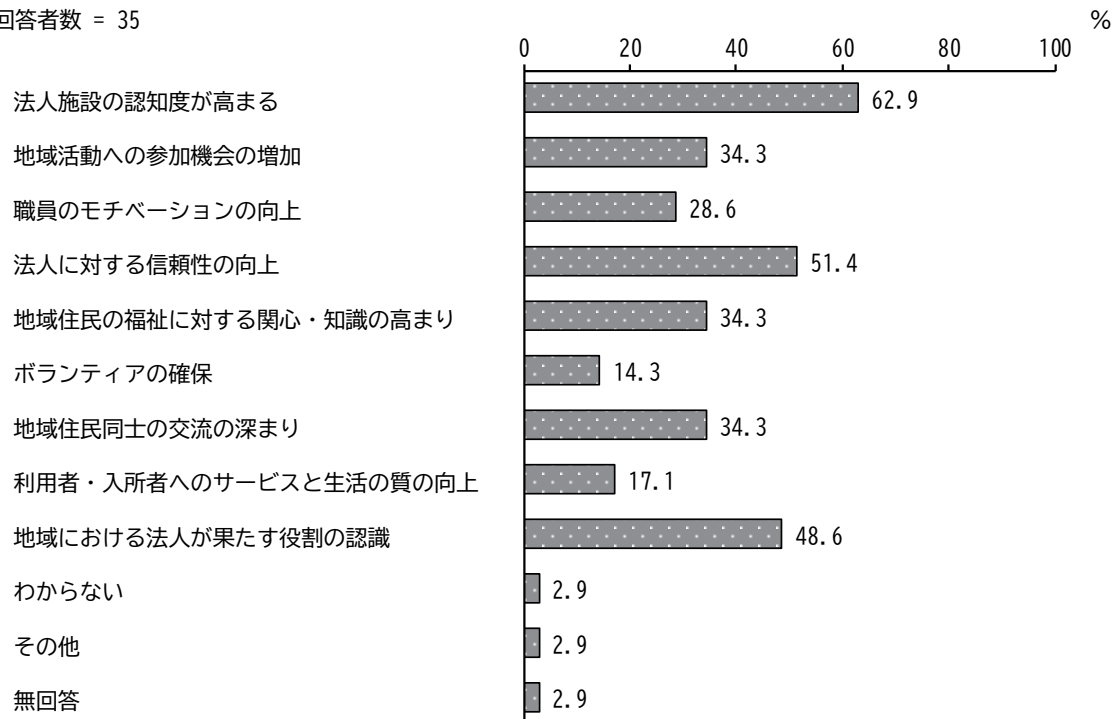
回答者数 = 35



問8 貴法人が地域との交流を通して得ている成果は何ですか。(〇はいくつでも)

「法人施設の認知度が高まる」の割合が 62.9%と最も高く、次いで「法人に対する信頼性の向上」の割合が 51.4%、「地域における法人が果たす役割の認識」の割合が 48.6%となっています。

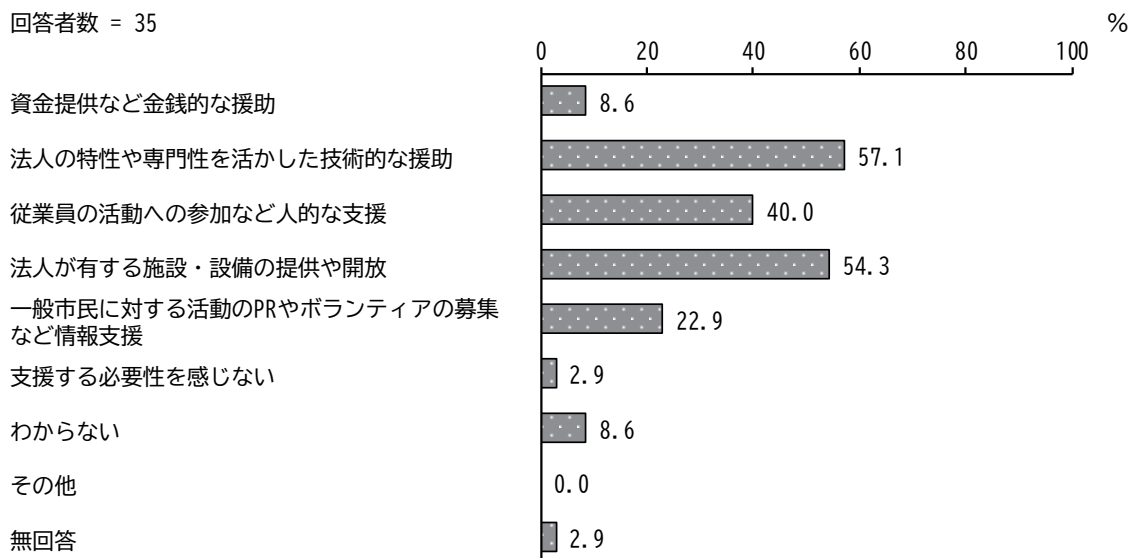
回答者数 = 35



問9 貴法人が市民の主体的なボランティアや地域活動などを支援する場合、可能な支援はどのようなことだと思いますか。(あてはまるものすべてに〇)

「法人の特性や専門性を活かした技術的な援助」の割合が 57.1%と最も高く、次いで「法人が有する施設・設備の提供や開放」の割合が 54.3%、「従業員の活動への参加など人的な支援」の割合が 40.0%となっています。

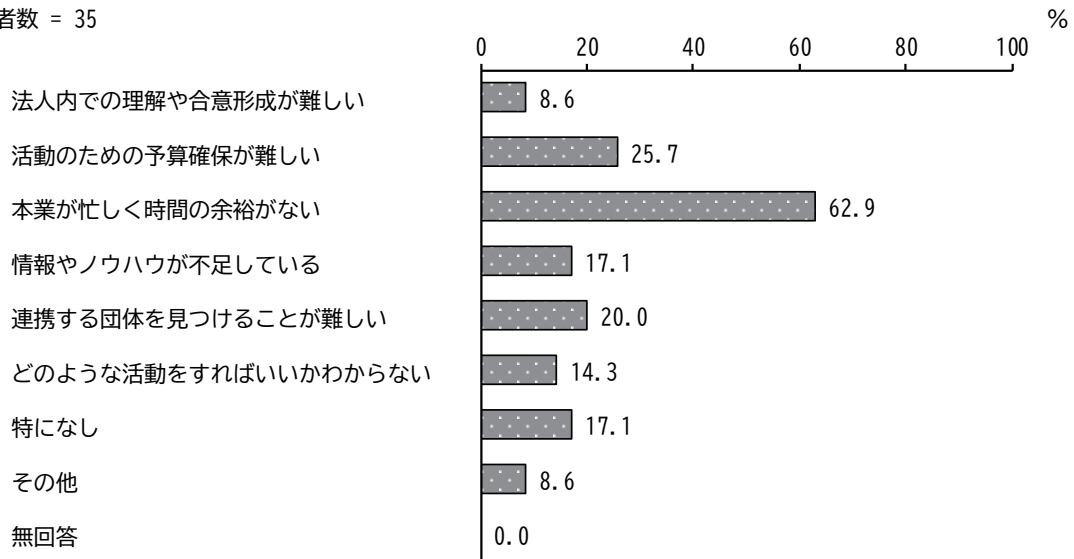
回答者数 = 35



問10 貴法人が地域活動に取り組むうえでの課題は、どのようなことだと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

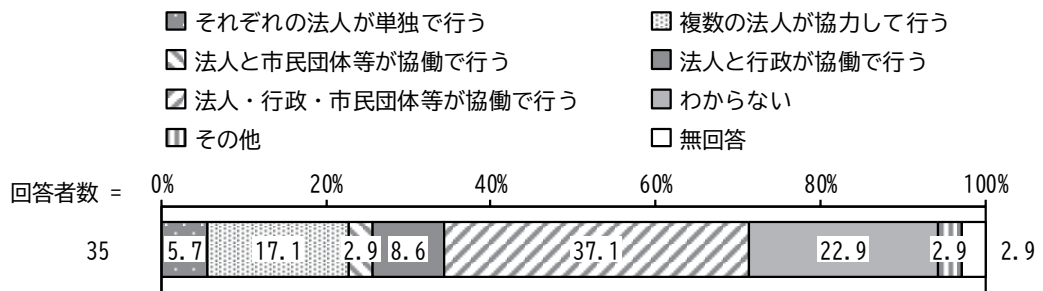
「本業が忙しく時間の余裕がない」の割合が62.9%と最も高く、次いで「活動のための予算確保が難しい」の割合が25.7%、「連携する団体を見つけることが難しい」の割合が20.0%となっています。

回答者数 = 35



問11 貴法人が地域活動に取り組む場合、どのような形態が良いと思いますか。
(○は1つだけ)

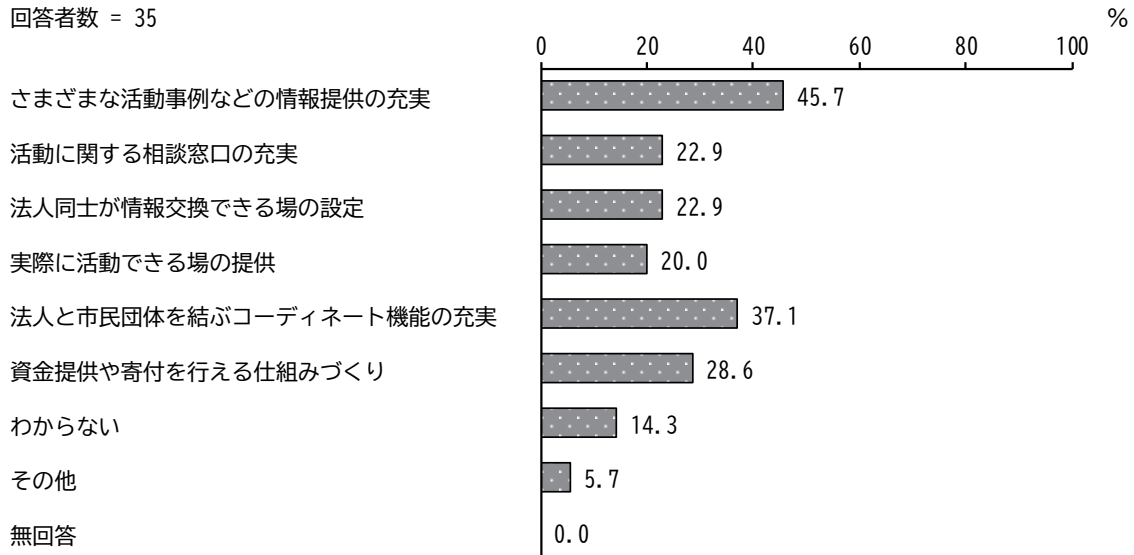
「法人・行政・市民団体等が協働で行う」の割合が37.1%と最も高く、次いで「複数の法人が協力して行う」の割合が17.1%となっています。



問 12 貴法人が地域活動に活発に取り組むためには、行政がどのような方策を行うことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「さまざまな活動事例などの情報提供の充実」の割合が 45.7%と最も高く、次いで「法人と市民団体を結ぶコーディネート機能の充実」の割合が 37.1%、「資金提供や寄付を行える仕組みづくり」の割合が 28.6%となっています。

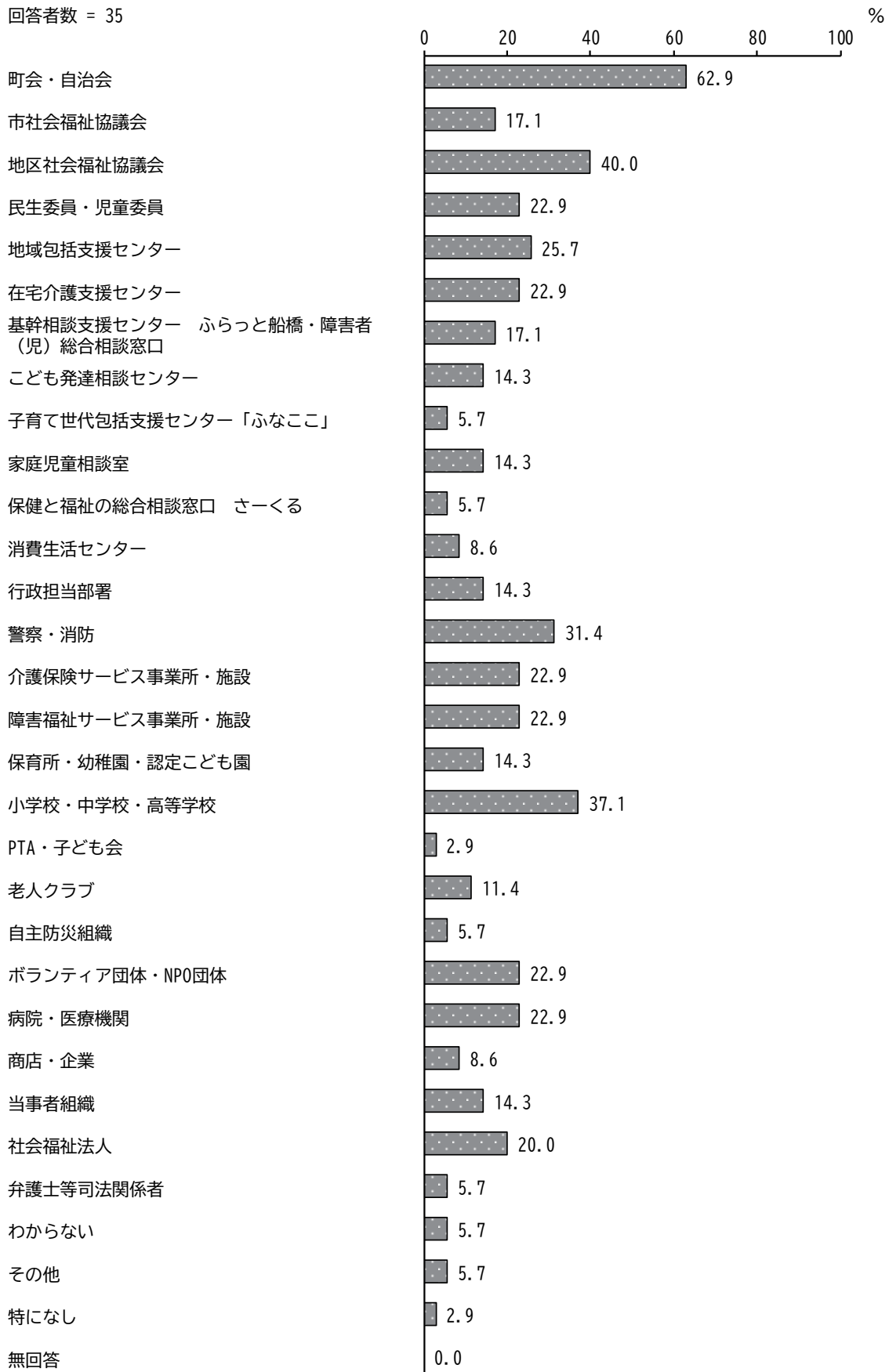
回答者数 = 35



問 13 地域活動に取り組むにあたって、貴法人が連携・協力しているまたはしたことのある関係機関・団体・専門職などは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「町会・自治会」の割合が 62.9%と最も高く、次いで「地区社会福祉協議会」の割合が 40.0%、「小学校・中学校・高等学校」の割合が 37.1%となっています。

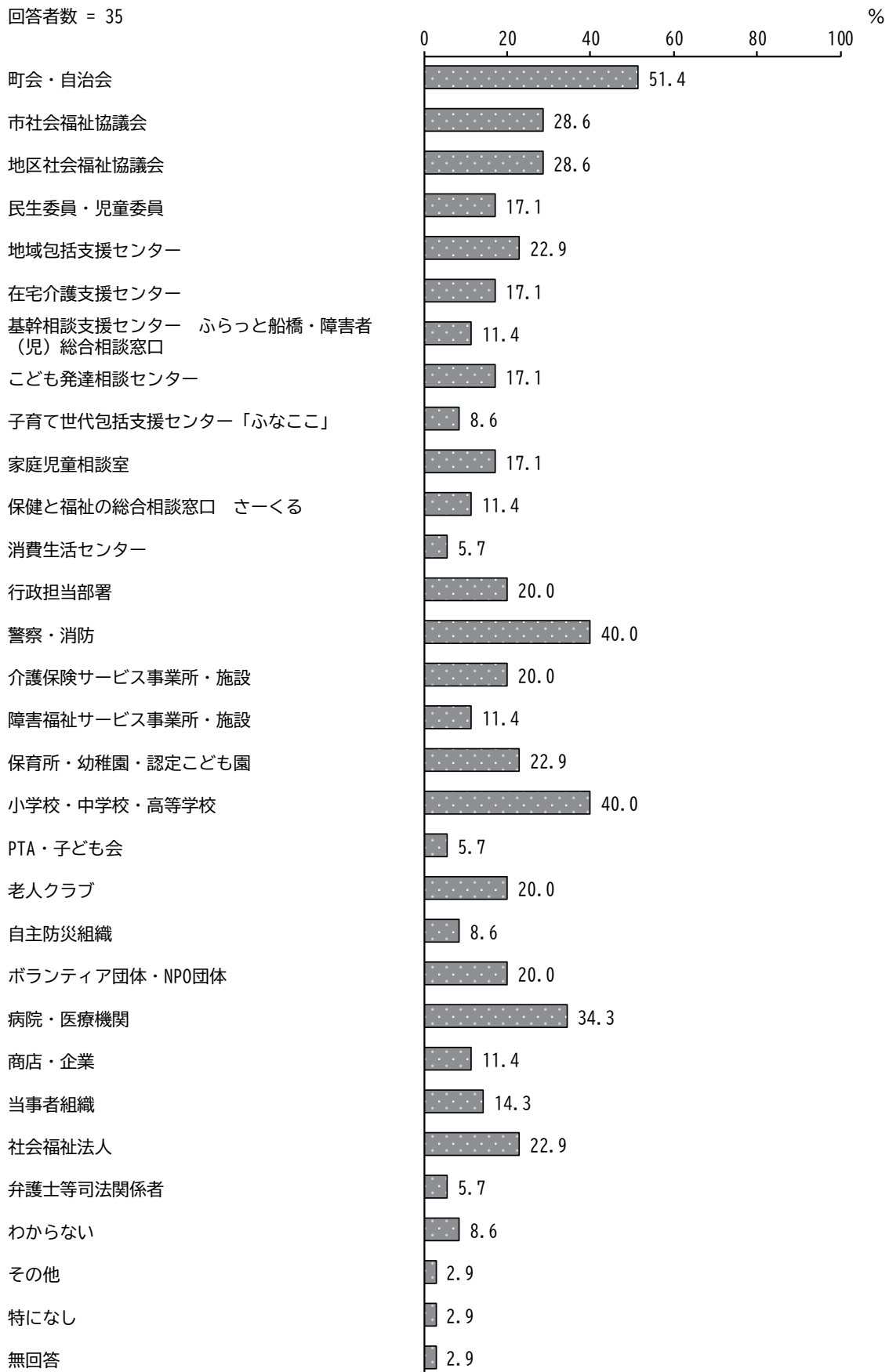
回答者数 = 35



問 14 貴法人が行う地域活動において、今後連携・協力が必要と思われる関係機関・団体・専門職などは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「町会・自治会」の割合が 51.4%と最も高く、次いで「警察・消防」、「小学校・中学校・高等学校」の割合が 40.0%となっています。

回答者数 = 35

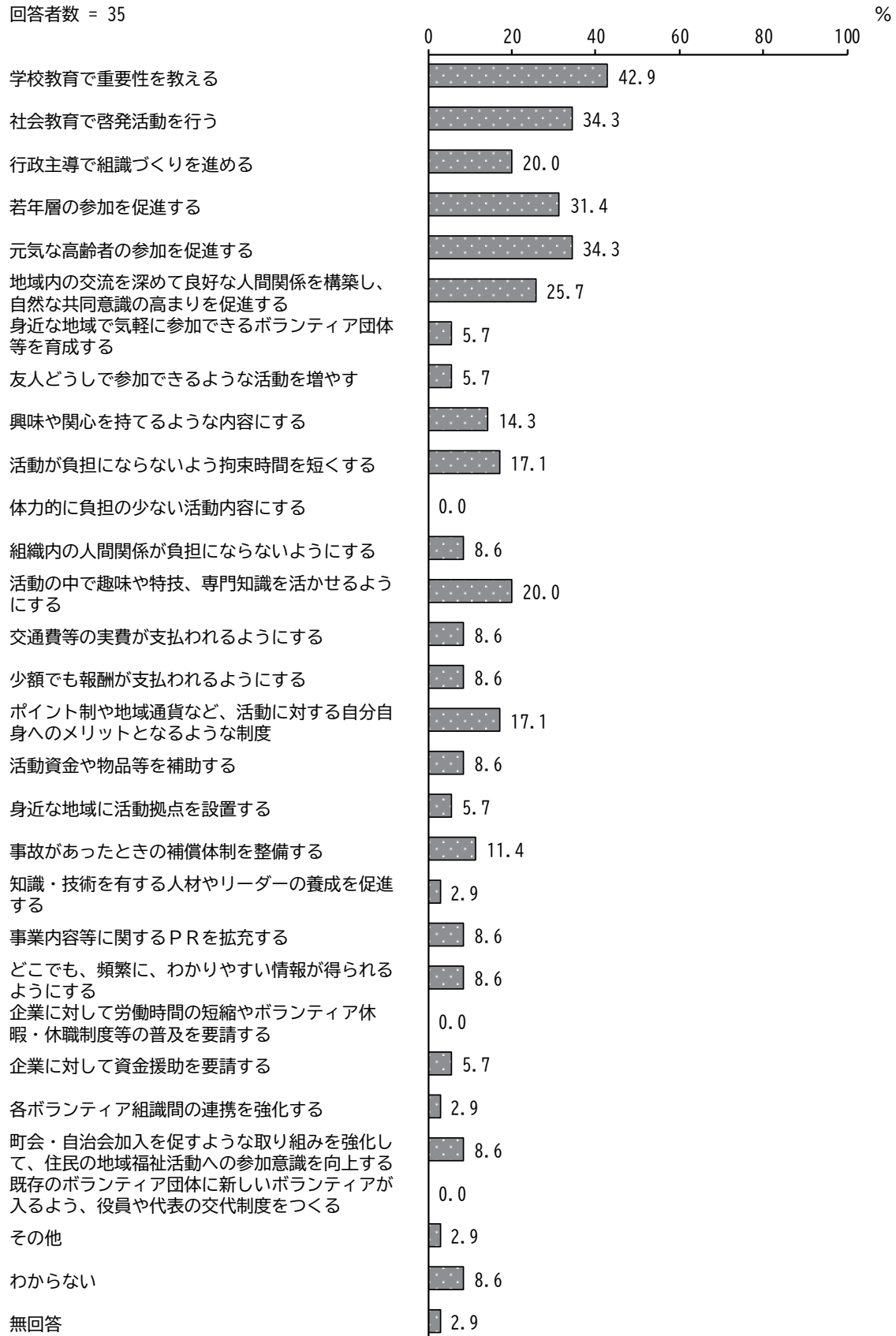


(3) 地域の福祉活動の推進等

問 15 今後、ボランティア活動や市民の自主的な活動等を活性化するためには、活動をするうえで何が重要だと考えますか。(〇は主なもの5つ以内)

「学校教育で重要性を教える」の割合が 42.9%と最も高く、次いで「社会教育で啓発活動を行う」、「元気な高齢者の参加を促進する」の割合が 34.3%となっています。

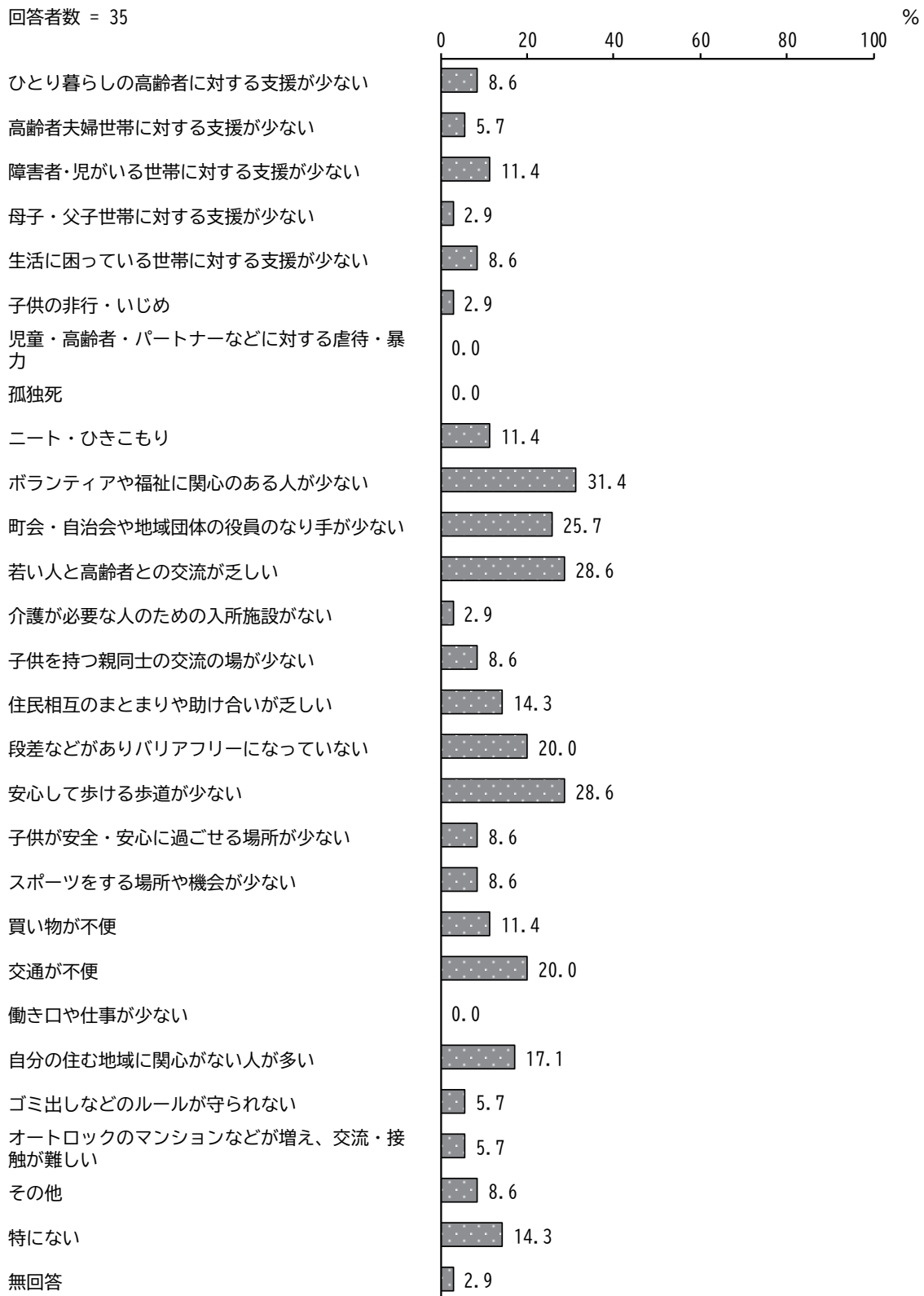
回答者数 = 35



問 16 貴法人の活動を通して、住んでいる地域で、課題と感じていることはありますか。
(〇はいくつでも)

「ボランティアや福祉に関心のある人が少ない」の割合が 31.4%と最も高く、次いで「若い人と高齢者との交流が乏しい」、「安心して歩ける歩道が少ない」の割合が 28.6%となっています。

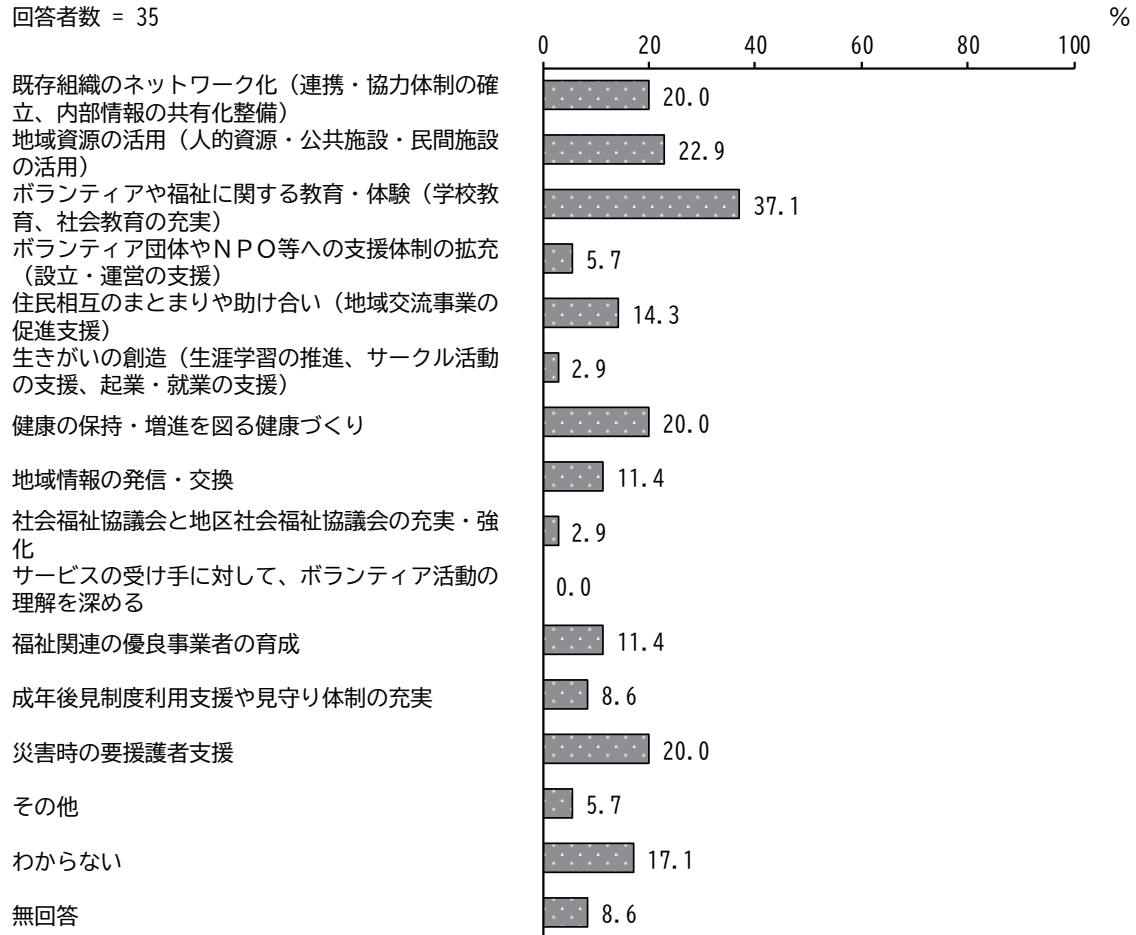
回答者数 = 35



問 17 福祉関連の分野で特に行政に力を入れて取り組んでほしい施策は何ですか。
(○は主なもの3つ以内)

「ボランティアや福祉に関する教育・体験（学校教育、社会教育の充実）」の割合が 37.1%と最も高く、次いで「地域資源の活用（人的資源・公共施設・民間施設の活用）」の割合が 22.9%、「既存組織のネットワーク化（連携・協力体制の確立、内部情報の共有化整備）」、「健康の保持・増進を図る健康づくり」、「災害時の要援護者支援」の割合が 20.0%となっています。

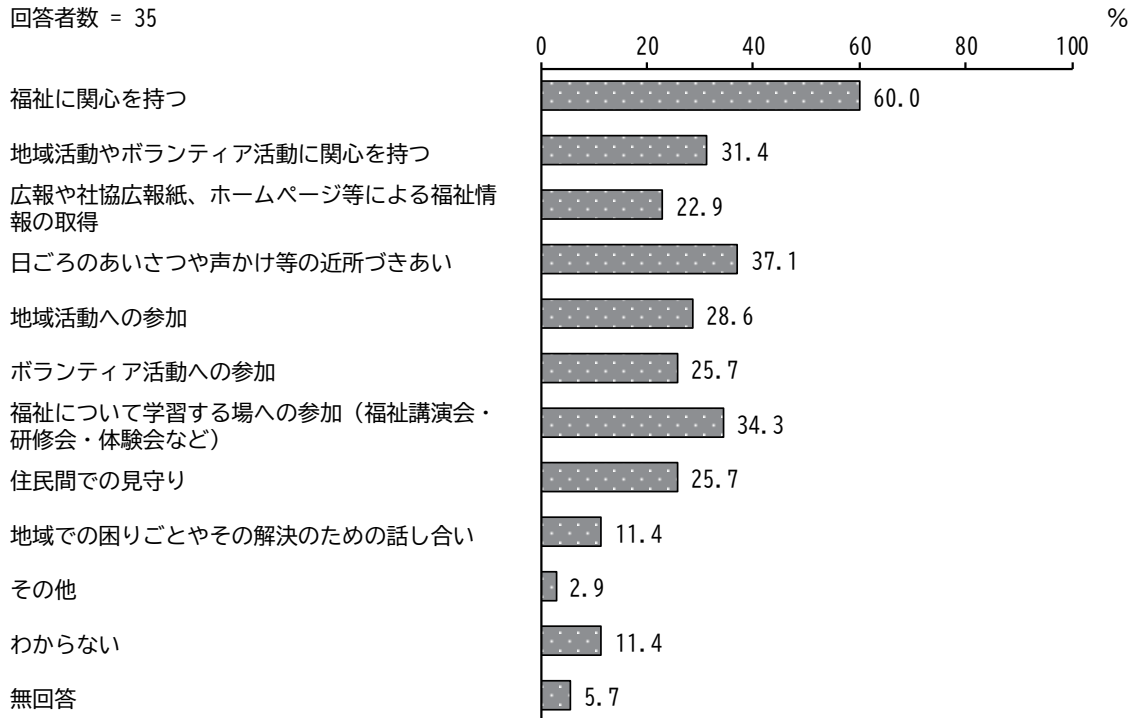
回答者数 = 35



問 18 地域福祉を推進する上で地域住民に求められることはどのようなことと考えますか。
(〇はいくつでも)

「福祉に関心を持つ」の割合が 60.0%と最も高く、次いで「日ごろのあいさつや声かけ等の近所づきあい」の割合が 37.1%、「福祉について学習する場への参加（福祉講演会・研修会・体験会など）」の割合が 34.3%となっています。

回答者数 = 35

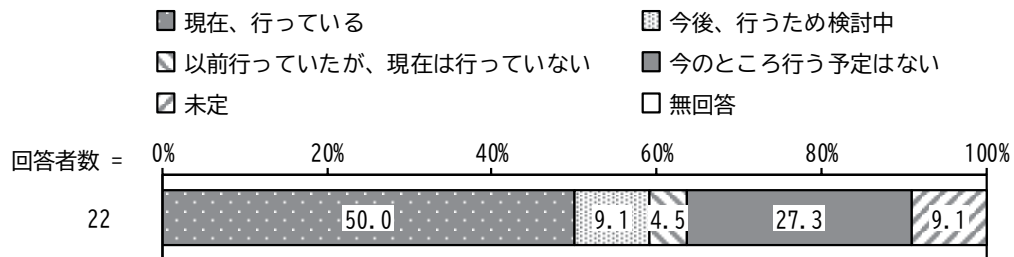


(4) 社会福祉法人の地域における公益的な取組

(社会福祉法人の皆様にお聞きします)

問 19 社会福祉法第 24 条第 2 項に規定されている社会福祉法人の地域における公益的な取組（以下「取組」という。）として、貴法人は当市内の事業所において何か行っていますか。（○は 1 つだけ）

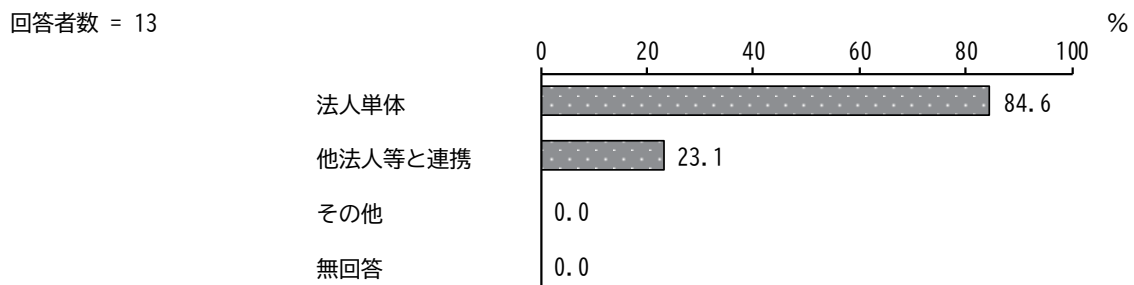
「現在、行っている」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「今のところ行う予定はない」の割合が 27.3%となっています。



(問 19 で「現在、行っている」または「今後、行うため検討中」にお答えの法人にお聞きします)

問 19-2 行っているまたは検討している取組の実施主体について、次のいずれかに○をお願いします。（○は 1 つだけ）

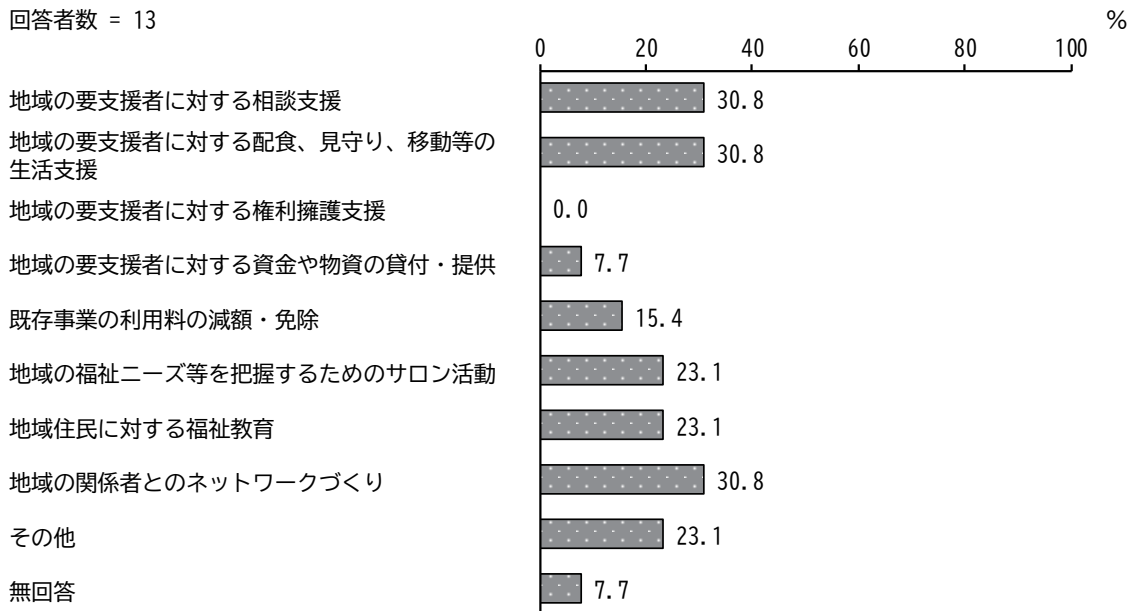
「法人単体」の割合が 84.6%、「他法人等と連携」の割合が 23.1%となっています。



(問 19 で「現在、行っている」または「今後、行うため検討中」にお答えの法人にお聞きします)

問 19-3 行っているまたは検討している取組の内容について、次の該当する番号に○をお願いします。(あてはまるものすべてに○)

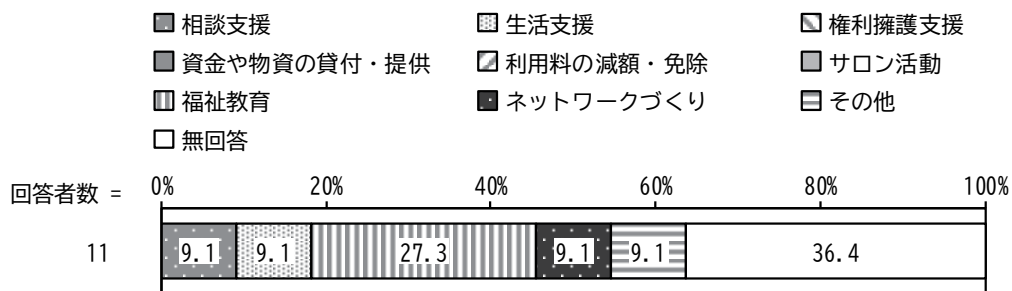
「地域の要支援者に対する相談支援」、「地域の要支援者に対する配食、見守り、移動等の生活支援」、「地域の関係者とのネットワークづくり」の割合が 30.8%と最も高くなっています。



(問 19 で「現在、行っている」にお答えの法人にお聞きします)

問 19-4 行っている取組の具体的な内容について以下に記載をお願いします。(主な取組1つについて記載をお願いします)

「福祉教育」の割合が 27.3%と最も高くなっています。

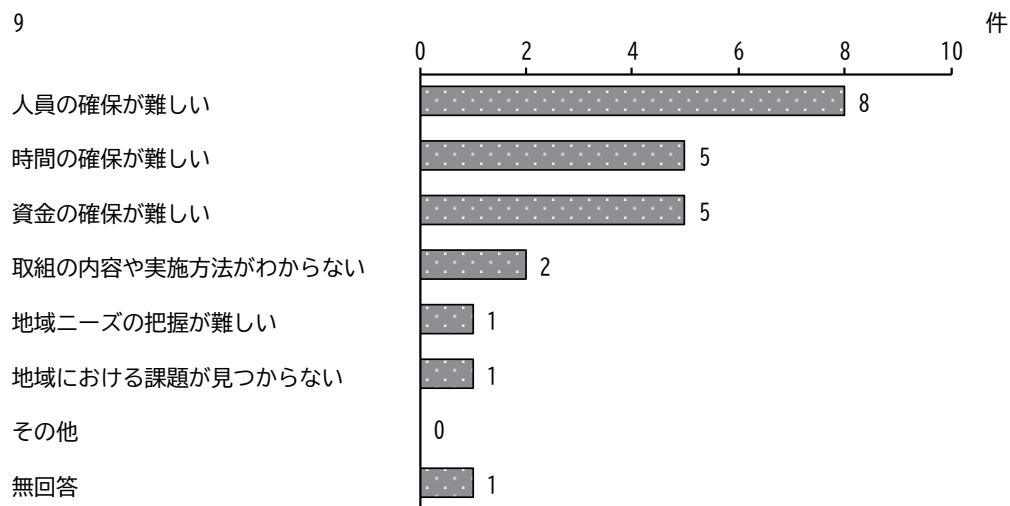


(問 19 で「以前行っていたが、現在は行っていない」「今のところ行う予定はない」「未定」にお答えの法人にお聞きします)

問 19-6 取組を実施していない(できない)理由について、次の該当する番号に○をお願いします。(あてはまるものすべてに○)

「人員の確保が難しい」が8件、「時間の確保が難しい」、「資金の確保が難しい」が5件となっています。

回答者数 = 9

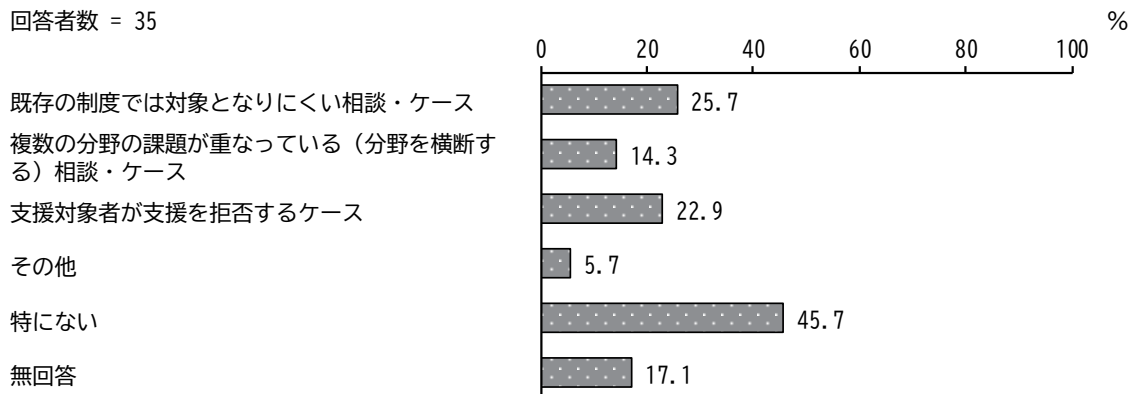


(5) その他

問 20 貴法人で対応が困難な相談・ケースはありますか。(〇はいくつでも)

「既存の制度では対象となりにくい相談・ケース」の割合が 25.7%、「支援対象者が支援を拒否するケース」の割合が 22.9%、「複数の分野の課題が重なっている（分野を横断する）相談・ケース」の割合が 14.3%となっています。

回答者数 = 35

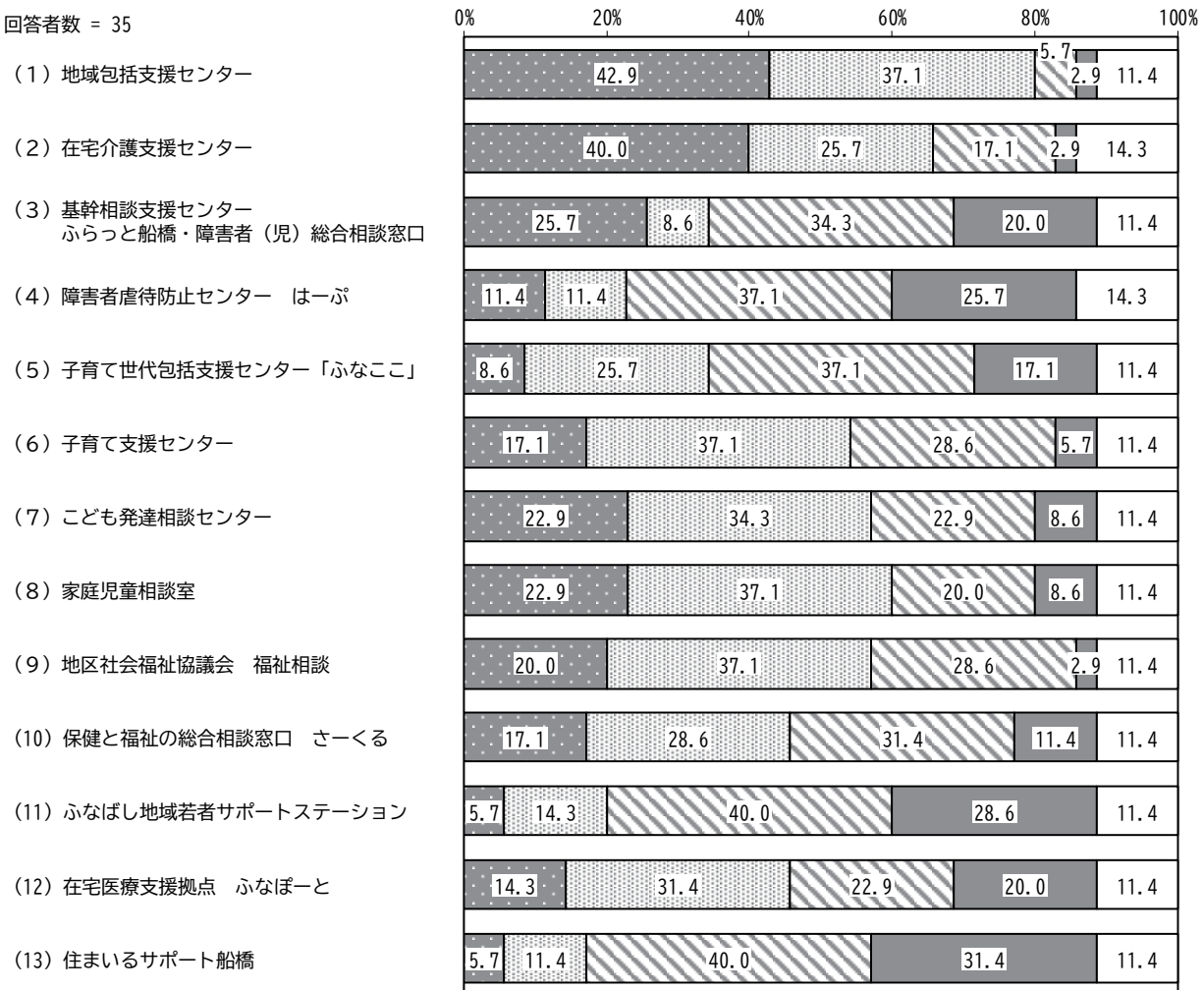


問21 貴法人は、次の相談窓口をどの程度ご存じですか。(それぞれ1つだけ〇)

『(1) 地域包括支援センター』で「よく知っている」と「ある程度知っている」を合わせた“知っている”が高くなっています。一方、『(13) 住まいるサポート船橋』で「ほとんど知らない」と「まったく知らない」を合わせた“知らない”が高くなっています。

よく知っている ある程度知っている ほとんど知らない
 まったく知らない 無回答

回答者数 = 35



第5次船橋市地域福祉計画策定のための
アンケート調査結果報告書

発行年月：令和8年3月

発行：船橋市

健康福祉局 福祉サービス部 福祉政策課

〒273-8501 船橋市湊町2-10-25

T E L : 047 - 436 - 2383

F A X : 047 - 436 - 2409

E-mail : fukushiseisaku@city.funabashi.lg.jp